

19. 土木年表・学会年表

1994 (平成6) 年

会長 中村 英夫 副会長 河野 清, 関 厚, 中川 博次, 藤井 治芳, 芳村 仁

会員数 35,502 名

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>1.27 会費を正会員(正会員である個人)12000 円, 学生会員 6000 円に改訂を決定, 1994 年 4 月より実施 (10 年ぶり), 新規入会者から入会金 1000 円を徴収</p> <p>1.28 論文集購読料を I 部門 4000 円 (据置), II-VI 部門 4000 円に改訂, 4 月より実施</p> <p>1.28 選定映画制度等に関する規程を一部改正, ビデオ作品も選定対象とし「土木学会映画・ビデオコンクール」と改称することに決定</p> <p>1.28 全国大会参加費を 2000 円(現行 1000 円)に改訂, 投稿料は据置きと決定</p> <p>3.18 会議, 委員会等の旅費規程を改訂, 近地交通費を廃止</p> <p>4.一 学会誌 1994 年 5 月別冊増刊号に土木学会地球環境行動計画「一アジェンダ 21-」を掲載</p> <p>5.30 定款および規則を一部変更し文部省に申請, フェロー制度に関する規程承認</p> <p>5.30 NHK テクノパワープロジェクトを特別表彰 (1993.5~8・5 回放映の功績)</p> <p>6.24 「衛生工学委員会」を「環境工学委員会」に名称変更</p> <p>6.24 第 16 期日本学術会議会員の推薦承認</p> <p>9.30 土木学会 AGENDA 21/JSCE に関連する研究に対する寄付の申し入れについて受け入れることを承認</p> <p>9.30 「第 2 回 ITS 世界会議' 95 横浜」セッション・スポンサーについて学術的後援をすることを承認</p> <p>11.18 第 1 回フェローの承認</p>	<p>1.28 「高流動コンクリートの材料、配合、施工方法に関する研究」「未利用エネルギー活用に係わるライフサイクルエネルギー評価研究」「歴史的・文化的土木施設の保存・活用手法に関する調査研究」の 3 受託研究承認</p> <p>3.18 「碓氷峠鉄道施設の現状調査について」の受託承認</p> <p>4.22 「応用力学委員会」「地下空間研究委員会」の 2 委員会設立承認</p> <p>4.22 ミシシッピ川洪水調査報告</p> <p>5.13 第 23 回土木技術者のための海外研修実施承認</p> <p>7.22 「遺跡展示コーナーの設計プラン作成」「社会資本博物館構想策定業務」(西部支部) の 2 受託承認</p> <p>9.30 「変革期における建設マネジメント手法に関する調査・研究」「関東地域における地下水汚染とその対策に関する研究」(関東支部) の 2 受託承認</p> <p>11.18 「土木博物館基本計画策定委託業務」「道路トンネルの安全施設に関する調査研究」「国際貢献業務に係る技術紹介資料作成業務」の 3 受託承認</p> <p>「市ヶ谷駅遺跡展示コーナー設計特別展示会の設置」(営団委託)</p>	<p>1.10~14 「大水深波浪制御技術」(Wave Barriers1994)国際ワークショップ(運輸省港湾技研)</p> <p>1.24 眞柄泰基がタイ・チェンマイ大学より名誉博士号授与</p> <p>2- カナダ土木学会 L.G.Jaeger 会長ら表敬訪問</p> <p>2.15 韓国土木学会「日本技術視察団」(株)北一開発代表理事宋汝隻氏ほか 20 名, 土木学会表敬訪問</p> <p>4.22~24 大韓土木学会総会への参加 (訪問者: 堤 一副会長, 井上頼輝会員)</p> <p>4.29 北郷 繁, 久保 越, 竹内良夫が勲 2 等瑞宝章を受賞</p> <p>5.25 英国土木学会会長の来会</p> <p>6.2 米国高速道路情報調査団の来会</p> <p>6.6 角屋 睦が 1994 年度日本学士院賞に推挙</p> <p>6.9 山本三郎, 「第 1 回前田工学賞」受賞</p> <p>6.11 土木学会創立 80 周年記念式典およびシンポジウム等に係わる英国土木学会会長ほか関係者来日</p> <p>6.21 高橋 裕, 「第 20 回明治村賞」受賞 (土木初)</p> <p>7.1 ノースリッジ地震日米合同ワークショップ (東京都)</p> <p>9.20~10.1 第 23 回土木施工技術者のための海外調査団 (香港・ベトナム・インドネシア・オーストラリア)</p> <p>10.9~14 米国土木学会「1994 年度全国大会」への招請参加 (訪問者: 中村英夫会長, 木村 孟国際委員会第 2 部会長, 富永真生委員, 古池弘隆幹事)</p> <p>10.12 篠塚正宣, ASCE の Theodor von Karman Medal 受賞</p> <p>10.31 「社会基盤整備制度の変遷」研究のための日韓両土木学会の調整会議 (派遣者: 赤塚雄三)</p> <p>11.17~20 CONET'94 建設機械フォトコンテスト (共催) (千葉県)</p> <p>12.2 英国 OSTEMS 調査団の来会</p>

1994 (平成6) 年

行事・集会 (本部)

- 1.20~21 第9回岩の力学国内シンポジウム (共催) (講演 131 題)
- 1.21 美しい橋のデザインマニュアル第2集-刊行記念講習会 (仙台会場, 講演 8 題)
- 1.21 落石等による衝撃問題に関する講習会 (講演 11 題)
- 1.25 第12回建設用ロボットに関する技術講習会 (講演 9 題)
- 1.28 コンクリート用フェロニッケルスラグ細骨材に関する講習会 (宮崎会場, 講演 4 題)
- 1.31 コンクリート用フェロニッケルスラグ細骨材に関する講習会 (福知山会場, 講演 4 題)
- 2.1 コンクリート用フェロニッケルスラグ細骨材に関する講習会 (東京会場, 講演 4 題)
- 2.3 コンクリート用フェロニッケルスラグ細骨材に関する講習会 (八戸会場, 講演 4 題)
- 2.8 鉄筋のアモルファス接合継手設計指針(案)講習会-アモルファス接合のデモ- (講演 6 題)
- 3.18 第6回アゲールシンポジウム (講演 3 題)
- 3.18~19 第38回水理講演会 (講演 139 題)
- 3.24 途上国の経済開発と環境保全研究セミナー
- 3.25 第7回環境システムシンポジウム-環境基本法時代の展望- (講演 6 題)
- 4.6~7 第40回構造工学シンポジウム (共催) (東京都)
- 4.13 定例「映画会」(上映映画数 5 本)
- 4.11 「美しい橋のデザインマニュアル第2集-」(講演 4 題)
- 4.21 シリーズ土木計画学ワンディセミナー「シリーズ2.-ヘドニック・アプローチによる便益計測手法」(講演 4 題)
- 5.11 「トンネル標準示方書(開削編)・同解説に基づいた仮説構造物の設計計算例」講習講演会 (講演 9 題)
- 5.17 構造工学講演会 (講演 3 題)
- 5.19 「美しい橋のデザインマニュアル第2集-」(講演 4 題)
- 5.25 技術講習会「プレストレストコンクリート構造の現況と設計方法の動向」(講演 19 題)
- 6.9~10 第14回土木史研究発表会 (シンポジウム 1 題, 一般講演 16 題)
- 6.9~10 都市域急流河川の河床変動の数値解析に関するシンポジウム (講演 25 題)
- 6.13~14 海洋開発シンポジウム (講演 63 題)
- 6.27~28 地下空間利用シンポジウム 1994 一人, 自然との調和する地下空間利用- (講演 20 題, 特別講演 3 題, PD1 題)
- 6.29 第4回環境水理部会 (講演 8 題, 特別講演 1 題)
- 6.29 土木計画学国際セミナー「パーボ・ベルッキオ氏」
- 6.30~7.1 第2回地球環境シンポジウム (常置委員会 9 題, 一般講演 47 題)
- 7.1 ノースリッジ地震日米合同ワークショップ
- 7.5 コンクリートセミナー「プレストレストコンクリート構造の現況と設計方法の動向」
- 7.6~7 第24回安全工学シンポジウム (共催) (東京都)
- 7.13~15 第13回混相流シンポジウム'94 (共催) (つくば市)
- 7.21 火山工学シンポジウム-火山工学の確立を目指して- (講演 12 題, 特別講演 2 題, シンポジウム 1 題)
- 7.27 講習会「変わりゆく社会環境と技術革新」(講演 5 題, 特別講演 1 題)
- 7.31~8.2 1994 年度「水工学に関する夏期研修会」(講演 18 題)
- 8.22~23 第28回夏期講習会・見学会 (講演 5 題)
- 8.25~31 第24回国際海岸工学会議 (ICCE) (論文 299 題)
- 8.25 コンクリート標準示方書「舗装編」に関するワークショップ (講演 10 題, PD1 題)
- 8.25~26 第22回環境システム研究論文発表会 (講演 74 題, 特別講演 1 題, PS16 題)
- 8.25~31 第19回国際理論・応用力学会議 (共催) (京都市)
- 8.29 コンクリートの基準の動向に関する講習会 (講演 6 題)
- 8.29 「美しい橋のデザインマニュアル第2集-」(講演 4 題)
- 8.31 鋼構造物の終局強度と設計に関する講習会 (講演 13 題) (東京会場)
- 9.2 鋼構造物の終局強度と設計に関する講習会 (講演 13 題) (東京会場)
- 9.2 鋼構造物の終局強度と設計に関する講習会 (講演 13 題) (大阪会場)
- 9.12~13 第38回日本学術会議材料研究連合会講演会 (共催) (京都市)
- 9.15~17 第49回年次学術講演会 (北海道大学, 講演 3792 題)
- 9.19 舗装工学セミナー (講演 6 題)
- 9.21 「工学教育」連合講演会
- 9.22 第6回新しい材料・工法・機械講習会-最新の杭工法の現況と設計・施工ポイント」(講演 9 題)
- 9.27 「美しい橋のデザインマニュアル第2集-」(講演 4 題)
- 9.30 「美しい橋のデザインマニュアル第2集-」(講演 4 題)
- 10.19 「土木自然学懇談会」第1回セミナー (講演 1 題)
- 10.26 マスコンクリート技術の現況に関するコンクリートセミナー (講演 7 題)
- 10.28 第28回土木計画学シンポジウム-社会基盤としての都市内物流システム- (PD1 題, 講演 6 題)

1994（平成6）年

行事・集会（本部）

- 11.1～2 第19回土木情報システムシンポジウム（講演41題，特別講演1題，展示5社，表彰7）
- 11.9 構造工学委員会講演会（講演3題）
- 11.9 マスコンクリート技術の現状に関するコンクリートセミナー（講演7題）
- 11.10～11 第4回トンネル工学研究発表会（論文21題，報告47題）
- 11.15 構造工学委員会風洞実験相似則検討小委員会研究報告会（講演14題）
- 11.18 環境システム委員会第4回地域シンポジウムー広瀬川清流保全条例制定20周年記念ー「都市と清流そして市民」（基調講演1題，PD1題）
- 11.22 第14回「施工体験発表会」ー厳しい施工条件下における工事例ー（講演8題）
- 11.23～27 CITY'94（Civil Engineering-Innovation & Technology, Yokohama'94）（共催）（横浜市）
- 11.29～12.1 第41回海岸工学講演会（講演240題）
- 11.30～12.2 第13回風工学シンポジウム（共催）（東京都）
- 12.2 土木計画学ワンディセミナー「シリーズ3 水辺づくりの計画プロセスを考える」（講演7題）
- 12.8 土木計画学ワンディセミナー「シリーズ4 交通ネットワークの分析手法」（講演5題）
- 12.8 第8回建設コンサルタントシンポジウム（講演2題，PD1題）
- 12.9 第1回「講演と懇談の会」（講演2題）
- 12.9 火山工学セミナー（講演7題）
- 12.12～14 第9回日本地震工学シンポジウム（共催）（東京都）
- 12.14 セミナー「電子図書館の計画と実現ー将来の土木図書館の姿を求めてー」（講演9題）
- 12.15 「岩盤斜面の安定解析と計測」発刊に伴う講習会（講演7題）
- 12.15～17 第31回環境工学研究フォーラム
- 12.13～14 第12回建設マネジメント問題に関する研究発表会（講演39題，特別講演2題，PD1題）
- 12.14 定例「映画会」（上映数4本）
- 12.16 第1回土木学会定例談話会（講演1題）
- 12.16 「セグメントの設計」講習会（講演6題）
- 12.19 第41回風に関するシンポジウム（共催）（東京都）

1994（平成6）年

支部の動き

- 北海道支部
- 7.2.14～15 年次技術研究発表会
- 「土木の日」行事
- 10.2 「土木の日」および「くらしと土木の週間」（見学会（一般市民）砂川遊水池他3か所）
- 10.29 「土木の日」および「くらしと土木の週間」（見学会（小中高教諭）砂川遊水池他3か所）
- 11.18～20 「小学生の土木の絵」図画コンクール展
- 11.18 パネルディスカッション「明日をつくるシンポジウム PartIV」
- 11.18 映画会

- 東北支部
- 3.14 技術研究発表会 発表論文数247題
- 11.27 土木学会創立80周年記念事業講演会
- 「土木の日」行事
- 10.19 「見学会」（名取川ー土湯道路改良事業ー十六橋水門）
- 10.22～23 「フェスティバル」（模擬実験，観察実験，模型，パネル展及びビデオ放映，土木PR用パソコンゲーム）
- 11.21 「土木の日フォーラム」東北地方の社会資本整備に関わった人物像と足跡

- 関東支部
- 3.17 研究発表会
- 5.19 支部総会
- 7.18 見学会「首都高速道路・鶴見航路橋の見学および講習」
- 10.4 鶴見航路横断橋梁技術講習会
- 10.ー 第4回「研究所見学会」（土木の日行事）

1994（平成6）年

支部の動き

- 11.23 関東支部創立30周年記念シンポジウム「21世紀のアジアの建設事業－社会基盤施設と管理運営の課題－」
- 11.30 見学会「東京湾横断道路見学会」

中部支部

- 4.17 支部通常総会
- 5.24 第1回講演会「静岡県における土木事業概要について」
- 5.25 見学会「いず縦貫自動車道他」
- 7.6 留学生交換会「小里川ダム・大里城大橋・和紙のふるさと見学」
- 8.10 第1回技術講座「コンクリート技術の現状と示方書改訂の方向」
- 10.4 講習会「海岸波動」と「地球温暖化の沿岸影響」
- 12.7 第2回技術講座「土木構造物の維持・管理・耐久性」
- 12.12 第1回特別講演会シンポジウム「国土基盤整備と空港システム」

関西支部

- 5.12 第67回通常総会
- 5.11～6.2 平成6年度 学生映画会
- 5.15 平成6年度 関西支部年次学術講演会
- 5.30 Madsen 教授および El-Sabh 教授講演会
- 9.15 土木の日 南港・リゾート博コース
- 10.8 けいはんな・学研都市コース
- 10.14 浪速の橋梁80年史見学会
- 10.21 奈良地方講演会
- 11.7 高専学生対象講演会
- 11.20 土木学会創立80周年記念事業イベント ミステリアスクルージング
- 11.21 Vukan R. Vuchic

中国四国支部

- 5.11 支部通常総会
- 5.11 支部総会に伴う特別講演会「世界一成功した地域開発の例について」
- 5.28 研究発表会に伴う特別講演会「都市と農山村－中山間地域の果たす役割－」
- 5.28～29 支部研究発表会 発表数364題
- 8.31 講習会「土木構造物と生物環境－河川を中心として－」
- 9.8 講演会「地盤工学と施工技術」
- 10.7 見学会「広島県加計町、温井ダム、温井大橋」
- 10.28 見学会「高知県、高知新港、鏡川橋他」
- 11.10 土木学会創立80周年記念支部共同イベント「瀬戸内クルーズと記念講演会」
- 11.25 見学会「香川県、三頭トンネル国営讃岐まんのう公園」
- 「土木の日」行事
- 11.18 「土木の日」開始式 記念講演会、アニメビデオ上映、第3回土木絵画コンクール表彰式（中国地区）
- 10.30,11.6 地区行事：「環境保全に大きな役割をはたす土木のPR」
- 11.9 広島県：工事見学会（便坂トンネル）
- 11.18 岡山県：シビックデザインセミナー
- 11.18 山口県：土木施設見学会
- 11.18 島根県：工事見学会（詰坂BPトンネル）課外学習会
- 11.12～13 鳥取県：くらしと土木展（四国地区）
- 10.31,11.25,12.7 高知県：工事見学会（坂本ダム、南の谷樋門改築工事、高知自動車道川橋工事など）
- 11.12,13 愛媛大学：土木講演会、小学生土木絵画展
- 11.18 高知県：「土木の日」道路清掃
- 11.18 地区行事：土木の日開会式・記念講演会
- 11.18 香川県：工事見学会（坂出駅付近連続立体交差事業など）
- 11.18～25 高松市役所：くらしと土木のパネル展
- 11.18 徳島県：工事見学会（マリンピア沖州、赤石トンネルなど）

1994（平成6）年

支部の動き

11.20～27 徳島市シビックセンター：小学生土木絵画展

11.22、24 愛媛県：施設見学会

西部支部

4.6 支部通常総会

5.24 講演会：「全ては基本から」

9.21～10.31 見学会：高校生の現場見学（佐賀県内のバイパス・ダム・空港・庁舎等）

7.3.16 講演会：「燃える石の研究－天然白リンの発見－」

●「土木の日」行事

福岡地区

11.17～19 「ハートフル土木」（博多駅）

北九州地区

11.23 「土木フェア in 北九州'94」（小倉北区勝山公園）

佐賀地区

9.21 「高校生の現場見学会」

11.12 「親子でふれあいバスツアー」

11.19～23 「土木フェア in SAGA」（佐賀市嘉瀬川河川敷）

11.12～13 「土木の日展示会」

11.18 「地域還元事業」

長崎地区

11.19～20 「パネル・模型展」《わがまち～過去・現在・そして未来～》

11.20 「土木見学会」

7.1.18 講演会：21世紀の土木と宇宙開発

熊本地区

11.12 「親子で遊ぼう土木ツアー」

11.20 「パネル展示」

7.1.18 「熊本のくらしと土木のゼミナール」

大分地区

11.1～24 「パネル展」

11.18 「女性と土木のふれあい見学会」

宮崎地区

11.3 串間市（市民秋祭りと連動して開催、パネル展示）

11.4～18 宮崎市（パネル展示、バザー、建設機械や測量機器の展示）

11.12 日南市（パネル展示、バザー、建設機械や測量機器の展示、吹奏楽（中学生）、造園教室）

11.12 都築市（パネル展示、作業服ファッションショー、バザー、建設機械試乗、園児のマーチング）

11.12 小林市（パネル展、土木災害の記録映画、加久藤トンネル見学、クイズ）

11.12 高岡町（瓜生ダム見学、パネル展示、建設機械試乗、クイズ）

11.12～18 西都市（パネル展示、ドッジボール大会、盆栽コンテスト、土木の日カレンダー配布、建設機械サッカー）

11.12 高鍋町（パネル展示、出店、インラインスケートショー、クイズ）

11.12～14 日向市（講演会、パネル展、建設機械操作コンテスト、測量実演会、なんでも相談、クイズ）

10.29～11.17 延岡市（のさぼるフェスタ'94と連動して開催、パネル展示、建設機械展示、土木施設見学）

11.12 西臼杵郡（国見トンネルと青葉大橋見学、パネル展示、重機展示、綱引き大会、子供工作教室、特産品販売、中千階）

鹿児島地区

11.12 鹿児島市（土木体験バスツアー、ウォーターフロントクルージング、建設機械などの展示、周辺市町村物産展時、小中高生によるマーチングバンド）

11.19 鹿屋市「94土木フェスティバル」（建設機械の展示、物産展、ロボットコンテスト、パネル展、卵のつかみ取り、アトラクション、高校生のブラスバンド演奏）

沖縄地区

11.14～18 那覇市「土木の日パネル展」（土木施設および土木技術の変遷の紹介）

11.18 「土木の日」献血キャンペーン（街頭献血、パネル展、健康相談）

11.1 「現場見学会」（南風原高架橋、那覇港防波堤、那覇新都心開発）

11.18 「第3回沖縄の道写真コンテスト表彰式」

11.20 「ダム湖の自然と親しむつどい」（ダム湖の自然観察、小学生の相互の交流会）

11.18～23 「とよみ大橋図画（絵画）作品展示展」（『とよみ大橋』を題材にした図画、写真コンテストの表彰式および作品の展示会）

11.17 「沖縄県土木建築部研究発表会」

土木一般	社会一般
<p>1.17 閣議, 1993 年のゼネコン贈賄事件の拡大を踏まえ公共事業の入札・契約手続きの内容改善を決定. 一般競争入札制度を推進</p> <p>1.25 労働省, トンネル内での可燃性ガス爆発防止を目的に労働安全規則一部改正を公示</p> <p>2.7 東京西部の 6 区, 環状 8 号線に地下鉄を併設するエイトライナー促進協議会を設置. 羽田空港～北赤羽駅間 41km 実現を協議</p> <p>2- 建設省, 土木学会に対し土木遺産調査を委任. 土木学会, 歴史的・文化的土木遺産特別調査委員会 (委員長: 鈴木忠義) を組織 1999 年度中に全国調査を実施</p> <p>3.4 公正取引委員会, 公共的な入札にかかわる事業者および事業者団体の活動に対する独占禁止法の指針を公表</p> <p>3.11 ゼネコン収賄容疑で中村喜四郎元建設相を逮捕</p> <p>3.17 道路公団, 徳島自動車道・徳島市～愛媛県川之江市間 96km のうち 32.1km 開通</p> <p>3.18 九州電力, 玄海火力発電所 3 号機 118 万 kW 運転開始</p> <p>3.25 中央建設業審議会, 建設業法の見直しを求め協議</p> <p>3.30 道路公団, 東京外環自動車道・大泉 IC～和光 IC 間 2.9km 開通, 関越自動車道と接続</p> <p>3- 建設省土木研究所, ここ 15 年間で砂礫海岸の総延長 9500km 中, 14%1320km, 平均幅 35km が削られていると発表</p> <p>4.2 阪神高速湾岸線・六甲アイランド北～中間間および泉大津～りんくう JCT 間が開通. 関西国際空港と連絡. 2 層鋼斜張橋の東神戸大橋, 200+485+200(m)および鋼床版 2 層アーチで支間長 217m の六甲アイランド橋</p> <p>4.20 首都公団, 東京湾岸線の多摩川トンネル 1.55km (総延長 2.17km) および川崎航路トンネル 1887km (総延長 1954km) 開通</p> <p>4.28 茨城県水府村の竜神ダム湖上に歩行者専用の竜神大吊橋完成, 総延長 375km, 幅 3m は日本最大級</p> <p>4- 建設省, 2000 年までに建設廃棄物処分量を半減する建設副産物対策行動計画を発表</p> <p>4- 水資源公団, 埼玉合口 2 期工事, 延長 76km 完成</p> <p>5.6 英仏海峡にユーロトンネル (海底部 38km) 開通, 上下 2 本, 延長 50.498km, 直径 7.6m, 工期 7 年, 工費 1 兆 6000 億円, 11 台のトンネルボーリングマシン中 4 台は日本製</p> <p>5.10 改正道路交通法施行, 過積載防止に厳しい対策. 6 ヶ月後, 過積載トラックは半数近くに減少</p> <p>5- 米国開拓局 D.ピアード総裁, ブルガリアで開催された国際灌漑排水委員会で, 米国はダム開発事業から撤退すると講演, 各国からの反響大</p> <p>6.22 政府, 建設業法を改正. 不良業者を排除し, 技術と経営に優れた建設会社が高い評価を得るように配慮</p> <p>6.25 道路公団, 別府～阿蘇道路 52.4km の償却に伴う無料化を実施</p> <p>6- 東京電力, 栃木県の塩原に混合揚水式 90 万 kW の塩原発電所完成</p> <p>7.5 兵庫県西宮市の甲子園浜と沖合埋立地の整備が完了, 甲子園浜海浜公園 55ha 開場</p> <p>7.5 公正取引委員会, 公共入札指針を公表</p> <p>7.8 青森県西部の鶴田町・廻堰大溜池(1960)に日本最大級の木造歩道橋 300m の鶴の舞橋</p> <p>7.16 和歌山県, 下津港沖合に 65ha, 500 万 m³ の和歌山マリーナシティを建設</p> <p>7.26 青森港に PC 斜張橋, 支間 240m の青森ベイブリッジ 2 線目. 滋賀県に 3 径間連続箱桁支間 140m の琵琶湖大橋 2 線目</p>	<p>1.17 米国カリフォルニア州南部に M6.8 の直下型ノースリッジ地震, 高速道路, 家屋倒壊, 崖崩れなど死者 61 人, 負傷者 9200 人, 被害総額 3 兆円以上, 5.12 サンタモニカ・フリーウェイ復旧</p> <p>1.25 川崎公害訴訟に判決, 川崎市南部の原告 102 人に 4 億 6300 万円の支払いを 12 企業に命令, 国と首都公団の道路被害は未認定</p> <p>2.4 国産技術 100%の大型ロケット H2 の 1 号機 (開発 10 年, 予算 2500 億円) 種子島宇宙センターで打上げに成功, 2 衛星が軌道にのる.</p> <p>2.7 佐賀県の柚比本村遺跡から吉野ヶ里をしのぐ弥生時代の最大級の建物が出土と発表</p> <p>2.8 政府, 景気刺激の総合経済政策 15 兆 2500 億円を決定 (減税 5 兆 8000 億円)</p> <p>2- マレーシア・クアラルンプールに 88 階建て, 高さ 450m のクアラルンプールセンターを建設</p> <p>3.10 和歌山市沖の人工島・マリーナシティで世界リゾート博覧会開催(～9.25)</p> <p>3.23 岡山地裁, 倉敷市水島コンビナート訴訟で川崎製鉄, 三菱石油など 8 社の責任を認め 53 人に 1 億 8000 万円の支払いを命令</p> <p>4.12 日本物理学会など 3 学会, 子供の理科離れの増加傾向に異例の憂慮を共同宣言, 数学系 4 学会も授業増を要望</p> <p>4.26 台北発中華航空 140 便エアバス, 名古屋空港に着陸失敗, 死者 264 人 (日本人 158 人) 生存者 7 人</p> <p>4- 日本緑化センター, 巨木・名木の戸籍調査 (緑の文化財調査) を実施</p> <p>5.1 上海に塔高 460m のテレビ塔完成, 工費 96 億円, トロント 553.5m, モスクワのオスタンキの 533.3m に次ぐ高さ</p> <p>5.22 建設大臣, 長良川河口堰は必要と発表</p> <p>6.27 松本市住宅街で有毒ガス (のちにサリンと判明) 死者 7 人, 負傷者 260 人余, 松本サリン事件としてオウム真理教が実行</p> <p>7.10 京都景観論争を呼んだ京都市中京区の京都ホテル建替え工事終了, 地上 16 階, 地下 4 階, 同市内 60m 以上の第 1 号</p> <p>7.15 上越新幹線に全 2 階建ての列車 Max を導入</p> <p>7.16 青森市の三内丸山遺跡から巨大な木柱建物跡, 土器, 道路など国内最大級の縄文遺跡を発掘, 1996 年, 公園として復元</p> <p>7.20 水資源公団に対し長良川可動堰中止を提訴していた住民側 20 人敗訴</p> <p>8.29 農水省, 猛暑と水不足による農作物被害は 597 億円と発表</p> <p>8- 深刻な水不足のため給水制限を記録した総人口は 40 都道府県 1250 万人に及び, 1923 年 (1070 万人) を上回る規模となる.</p> <p>8- 秋田港に海の展示館および高さ 143.6m の秋田ポートタワー完成</p> <p>8- 山梨リニア実験線 42.8km のうち高川トンネル 3.96km 完成</p> <p>9.2 気象庁, 6～8 月は 1875 年 (明治 8 年) の気象庁発足以来, 最も暑い夏と発表</p> <p>9.28 フィンランド沖のバルト海でエストニアのフェリーが沈没, 死者・行方不明者 900 人以上</p> <p>10.4 北海道東方沖地震 M7.9 発生, 釧路・厚岸で震度 6, 道路損壊 62 箇所, 負傷者 288 人, ロシア領にも被害</p>

土木一般	社会一般
<p>7- 中部電力、木曽川水系に純揚水式 150 万 kW の奥美濃水力発電所完成</p> <p>7- 東京電力、五井火力発電所 188.6 万 kW へ増設完成</p> <p>8.11 東京電力、柏崎刈羽原子力発電所 4 号機 110 万 kW 運転開始</p> <p>8.20 広島高速鉄道アストラムライン、本通～広域公園間 18.4km 開通</p> <p>9.4 関西国際空港第 1 期工事完成。滑走路 3500m、2 層の併用橋スカイゲート橋 3750m でりんくうタウンの泉佐野市と連絡</p> <p>9.20 建設省・運輸省、高速道路料金の値上げを認め、1993.11 施行命令のおりた高速道路 1184km のうち 9 割にあたる 1065km の車線数を減らし暫定施工を決定。第 2 東名・名神も 6 車線を 4 車線で施工。総事業費 7 兆 2000 億円</p> <p>9- 九州縦貫自動車道、えびの市に 6.213km の加久藤トンネル開通</p> <p>10.7 閣議 1995 年から 10 年間で 630 兆円の公共投資基本計画を決定、1991～2000 年度の 430 兆円を見直し</p> <p>10.21 韓国ソウル市の漢江で鋼ゲルバートラスの聖水大橋落橋、死者・行方不明者 48 人</p> <p>10.27 1976.9.8 破堤した安八町、墨俣町の長良川の住民 1500 人が国家賠償を求めいていた裁判で住民敗訴</p> <p>10.28 首都圏新都市鉄道、東京秋葉原～茨城つくば市間 58km を結ぶ常磐新線起工式</p> <p>10- 札幌市営地下鉄東豊線・栄町～福住間 13.6km 全通</p> <p>11.10 道路審議会、21 世紀に向けた新しい道路指針のあり方を答申</p> <p>11.20 山梨県、雁坂トンネル 3.9km、甲府精進湖 12.6km の両有料道路を償却により無料化決定</p> <p>11.30 和歌山地方裁判所、和歌山県が和歌浦に 1991 年に建設した 80m のあしべ橋は江戸末期の石橋不老橋の歴史的景観を害するとし公金支出の差止めを求めた住民 13 人の請求を棄却。景観論争に一石を投じる。</p> <p>11- 石油公団、鹿児島県串木野地区の地下に 150kl の水封式地下備蓄タンク石油注入完了</p> <p>12.3 智頭急行（第 3 セクター）・上郡～智頭間 56.1km 全通、総工費 442 億円、鳥取～大阪間 2 時間 30 分に短縮</p> <p>12.15 四国電力伊方原子力発電所 3 号機 89 万 kW 運転開始、合計 202 万 kW で事業完了</p> <p>12.21 首都高速湾岸線、羽田空港～横浜ベイブリッジ間開通、この間に逆 Y 字型鋼斜張橋・鶴見つばさ橋 255+510+255 (m)</p> <p>12- 西武鉄道西武有楽町線・練馬～小竹向原間全通、池袋線と相互乗り入れ。</p> <p>12- 東北電力、能代火力発電所(石炭)120 万 kW 完成</p> <p>【その他】 大阪市、大阪南港地区 23ha を整備、魚釣り園・野鳥園・遊泳場などを設置 ●関西電力、福井県大飯火力発電所 4 号機完成、総出力 471 万 kW 完了 ●東名高速、大井松田～御殿場間 25.3km に 19.6km の別線増築完成、トンネル 9、橋 17 橋</p>	<p>10.8 東京渋谷区のビール工場跡地に複合施設「恵比寿ガーデンプレイス」10ha 開場</p> <p>10.12 大分県九重連山の硫黄山（1580m）、257 年ぶりに噴火</p> <p>10.13 大江健三郎、ノーベル文学賞を受賞</p> <p>11.2 年金改革法が成立、厚生年金の満額支給開始年齢を 65 歳に遅らせることに決定</p> <p>11.3 第 56 回文化勲章、朝比奈隆、梅棹忠夫、島 秀雄ら 5 人が受賞</p> <p>11.6 アジア太平洋経済協力会議（APEC）大阪会議開催</p> <p>11.29 北九州市・新日鉄八幡製鉄所が東田第 1 高炉（1901）永久保存に同意</p> <p>12.6 世界遺産調査会、古都京都の文化財（京都市・宇治市・大津市の寺と城）を世界文化遺産に登録</p> <p>12.20 愛媛県の旧別子銅山元従業者と遺族 85 人、削岩機などによる振動被害を提訴、1 億 9000 万円の支払いで 17 年ぶりに和解</p> <p>12.26 東京地裁、第 1 次厚木基地騒音公害訴訟に判決。住民 69 人に 1 億 600 万円の支払いを国に命令。提訴以来 19 年目</p> <p>12.28 東北北部に M7.5 の三陸はるか沖地震、八戸市で震度 6、道路・橋・漁港・港湾で被害、死者 2 人、負傷者 285 人、1995.1.7 八戸・盛岡で震度 5 の余震、負傷者 29 人</p>

注：「土木一般」「社会一般」は、岡本義喬・為国孝敏が原案を作成して編纂した。

1995（平成7）年

会長 小坂 忠 副会長 石井 晃一 河野 清, 関 厚, 長瀧 重義, 廣田 良輔

会員数 35,502名

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>1.18～2.17 阪神淡路大震災地震調査団派遣（第一次～第四次）</p> <p>2.2 土木学会役員候補者選考内規の変更について承認</p> <p>2.2 土木学会・会議・委員会等の旅費規程の変更について承認</p> <p>2.2 事務局関係規程の変更を承認</p> <p>2.2 学会用地購入について全会一致で承認, 定款により臨時評議委員会にはかることを決定</p> <p>2.2 阪神・淡路大震災に対する学会対応として, 調査団の派遣, 緊急報告会の開催, 特別委員会の設置, 被災会員の会費減免を承認</p> <p>3.24 土木学会第7部門の創設を承認</p> <p>3.24 土木学会学術文化基金の設置について承認</p> <p>4.21 土木学会経理規程の一部変更について承認</p> <p>4.21 土木学会学術文化基金の使用内規について承認</p> <p>5.16 土木学会規則の一部変更について承認</p> <p>5.16 土木学会受託研究取扱規程の変更について承認</p> <p>5.16 コンクリート試験方法 JIS 改正案の審議方お願いの件について, 学会として引き受け, コンクリート委員会で担当することを承認</p> <p>7.28 職員就業規則及び事務局分掌規程の改正が承認される。</p> <p>9.29 阪神大震災対応特別研究委員会が設置</p> <p>9.29 吉田博士記念事業基金株の一部売却</p> <p>9.29 科学技術庁「大型三次元振動実験施設整備に係る協力」が承認される</p> <p>11.22 土木学術資料館（仮称）の新築について承認</p> <p>11.22 土木学会学術文化基金の審査について承認</p> <p>11.22 鹿島学術振興財団平成7年度研究助成候補者の7件を推薦することが承認</p> <p>11.22 第2回フェロー353名を認定することが承認</p>	<p>2.8 兵庫県南部地震震害調査緊急報告会</p> <p>3.24 阪神・淡路大震災調査報告書編集委員会の設置が承認, 委員長に片山恒雄理事</p> <p>3.24 土木学会による「耐震基準等基本問題検討会議」の設置が承認, 座長に田村重四郎耐震工学委員会委員長</p> <p>3.24 「欧州洪水被災調査」の受託承認</p> <p>3.24 「廣井勇博士文献資料調査」の受託承認</p> <p>3.24 「海外における歴史的土木施設の保存・活用に関する文献等の収集整理調査」の受託承認</p> <p>4.21 「鋼構造の安全性の調査」の受託承認</p> <p>6.22 「VE（バリューエンジニアリング）の公共事業への適用性に関する研究」の受託承認</p> <p>7.28 「平成7年度四国地方の地震防災に関する研究」の受託承認</p> <p>7.28 「21世紀初頭に向けた土木施設整備のあり方に関する調査研究」の受託承認</p> <p>9.29 「神奈川台場土木遺構調査」の受託承認</p> <p>9.29 「鉄筋自動溶接継手工法」の受託承認</p> <p>9.29 「人工島式原子力発電所の立地技術の体系化に関する研究」の受託承認</p> <p>11.22 「建設業国際貢献推進事業」の受託承認</p>	<p>2.26 大韓土木学会「阪神・淡路大震災調査団の来日と来会」</p> <p>3.21～30 第1次「欧州洪水調査団」の派遣（受託）（団長：四俣正俊 他5名）（視察国：オランダ, ドイツ, フランス）</p> <p>3.24～31 海外における歴史的土木施設の保存・活用調査視察団（団長：馬場俊介 他2名）（視察国：イタリア, フランス, イギリス等）</p> <p>4.3 第2回 混相流国際会議（共催）</p> <p>6.4～15 第2次欧州洪水調査団（4カ国）</p> <p>6.13 米国商務省訪日調査団の来会</p> <p>7.7 「アンサンブルシビル」英国土木学会講演（団長・団員14名）</p> <p>7.25～27 東アジア構造およびマネジメントに関する第5回国際会議</p> <p>8.16 カナダ国土木学会 Jules Houde 会長の来会</p> <p>9.30～10.14 スタディーツワーグラウンド「Mr.Daltn 氏」来日</p> <p>10.19 小坂会長「韓国土木学会」招請訪問</p> <p>10.25～29 小坂会長「米国土木学会全国大会」全国大会招請訪問</p>

1995（平成7）年

行事・集会（本部）

- 1.9～11 第17回土木計画学研究発表会（特別講演3題，一般講演292題）
- 1.10 応用力学フォーラム（関西地区）（講演3題，パネルディスカッション1題）
- 1.13 第2回土木学会定例談話会（講演1題）
- 1.13 「土木自然学懇談会」第2回セミナー
- 1.17 定例「映画会」（上映数5本）
- 1.18 第2回「講演と懇談の会」（講演2題）
- 1.19～20 第26回岩盤力学に関するシンポジウム（講演118題，パネルディスカッション1題）
- 1.19 コンクリート構造物の耐震設計に関する講習会（講演9題）
- 1.27 「東京湾横断道路の施工技術（その2）」講習会（講演8題，映画上映）
- 1.30～2.1 第44回応用力学連合講演会（共催）（東京都）
- 2.8 定例「映画会」（上映数2本）
- 2.10 建設マネジメント原論講習会（講演10題，フリーディスカッション）
- 2.10 第3回土木学会定例談話会（講演1題）
- 2.10 第4回土木学会定例談話会
- 2.13 応用力学フォーラム（北海道地区）（講演3題）
- 2.15 第33回原子力総合シンポジウム（共催）（東京都）
- 2.16 第13回建設用ロボットに関する技術講習会「近未来の建設を支えるハイテク技術について」（講演5題）
- 2.22 「最新の施工技術-1995.2」（講演7題，特別講演1題）
- 2.28 エネルギー土木施設の維持管理技術に関する研究報告会（講演2題）
- 3.8 定例「映画会」（上映数5本）
- 3.10 第8回環境システムシンポジウム「環境基本法時代の施策」（話題数2題）
- 3.13 応用力学フォーラム（東北地区）（講演3題）
- 3.15 応用力学フォーラム（九州地区）（講演4題）
- 3.17 応用力学フォーラム（関東地区）（講演3題）
- 3.22 「土木自然学懇談会」第3回セミナー
- 3.23 応用力学フォーラム（中国・四国地区）（講演3題）
- 3.26 第7回アゲールシンポジウム（講演3題）
- 3.27～28 第39回水理講演会（講演144題）
- 4.5～6 第41回構造工学シンポジウム（特別講演2題，論文発表数：土木部門148題，建築部門75題）
- 4.20 都市環境に関する国際シンポジウム（講演数4題）
- 4.27 「ミティゲーションパネル」講演会（講演数2題，パネルディスカッション1題）
- 4.28 Prof.E.C.Aifantis 特別講演会「スケール不変則；組織を持つ単一すべりに基づく塑性構成式の導入」
- 5.20 平成7年度 熱流体フォーラム講演会（共催）
- 5.26 「舗装工学」講習会（講演数7題）
- 6.8 「舗装工学」講習会（講演数7題）
- 6.8～9 河道の水理と河川環境シンポジウム（セッション4，課題20題，ポスターセッション1題）
- 6.21 土木計画学ワンデイセミナー・シリーズ5（講演数6題）
- 6.22～23 第20回海洋開発シンポジウム（講演数68題）
- 6.26～28 第25回安全工学シンポジウム（共催）
- 6.28 応用力学フォーラム（講演数4題）
- 6.30 「舗装工学」講習会（講演数7題）
- 7.3 土木情報システム講習会（講演数6題）
- 7.7 「舗装工学」講習会（講演数7題）
- 7.7～8 第3回地球環境シンポジウム（講演数49題）
- 7.13～14 第14回 混相流シンポジウム'95（共催）
- 7.14 第5回環境水理部会研究討論会（特別講演1題，発表論文6題）
- 7.14 応用力学フォーラム（講演数3題）
- 7.18 応用力学フォーラム（講演数3題）
- 7.25～27 第31回水工学に関する夏期研修会（Aコース，Bコース）
- 7.27～29 第23回地震工学研究発表会（発表論文数206題）
- 7.28 舗装に関する学術研究講演会（講演数3題）
- 8.7～8 第3回振動制御に関するコロキウム（特別講演1題，一般講演34題）
- 8.21～22 第29回夏期講習会（特別講演1題，講演3題）
- 8.23～25 第23回環境システム研究論文発表会（講演数105題）
- 8.25 「土木建設業における環境管理・監査（ISO 1400への対応）」講習会

1995（平成7）年

行事・集会（本部）

- 8.29 応用力学フォーラム（講演数3題）
- 9.7 「海岸海洋構造物基礎地盤の波浪安定性」講習会（特別講演1題，一般講演3題）
- 9.7 「舗装工学」講習会（講演数7題）
- 9.13 「土木建設業における環境管理・監査（ISO 1400への対応）」講習会
- 9.18 「アゲールフォーラム'95 自然・論理・価値」（講演数3題）
- 9.19～21 平成7年度全国大会（特別講演・研究討論会15題）
- 9.20 阪神・淡路大震災復興対策シンポジウム（基調講演：阪神・淡路地区の復興と課題）
- 9.25～29 第8回国際岩の力学会議（共催）
- 9.26 火山工学フォーラム（講演数6題）
- 10.5 ランドフィルフォーラム（講演数4題）
- 10.5 「シリカヒュームを用いたコンクリートの設計施行針（案）」講習会（講演数6題）
- 10.6 「舗装工学」講習会（講演数6題）
- 10.19 「シリカヒュームを用いたコンクリートの設計施行針（案）」講習会（講演数6題）
- 10.21 応用力学フォーラム（乱流フォーラム）（講演数3題）
- 10.24～25 第20回土木情報システムシンポジウム（発表数60題）
- 10.27 「シリカヒュームを用いたコンクリートの設計施行針（案）」講習会（講演数6題）
- 10.30 「コンクリート構造物の維持管理指針（案）」講習会
- 11.8 第5回地域シンポジウム「中山間地域の振興と環境管理」（講演数17題）
- 11.8 「コンクリート構造物のエスティックス」講習会（講演数8題）
- 11.9～10 第3回合成構造の活用に関するシンポジウム（講演数47題）
- 11.13 衛星データの実利用研修会「人工衛星を用いた地球環境調査の歴史的経緯と近未来の動向」
- 11.14 公開フォーラム「海岸工学はエスチュアリー環境を救えるか」（講演数5題，パネルディスカッション1題）
- 11.15 「コンクリート構造物の耐久設計指針（案）」講習会（講演数8題）
- 11.15～17 第42回海岸工学講演会（論文発表会257題）
- 11.16 「鉄道技術展」（共催）
- 11.20 衛星データの実利用研修会「宇宙から地球環境がモニタリングできる理由」
- 11.21 「コンクリート構造物の維持管理指針（案）」講習会（講演数12題）
- 11.21～22 第5回トンネル工学研究発表会（論文発表数14題，報告発表数55題）
- 11.30～12.1 橋梁交通振動に関するコロキウム（講演数20題）
- 12.1 日本工学会「公開講演会」（共催）
- 12.1～2 第8回キャピテーションに関するシンポジウム（共催）
- 12.4 衛星データの実利用研修会「衛星データの処理／解析を前提としたソフトウェア」
- 12.6～7 地下空間シンポジウム（特別講演1題，論文発表（審査付6題）（一般9題），ポスターセッション12件）
- 12.6～8 第18回土木計画学発表会（講演数320題）
- 12.7～9 環境工学研究フォーラム（講演数88題）
- 12.11～12 第4回システム最適化に関するシンポジウム（講演数35題）
- 12.13 衛星データの実利用研修会「衛星データの種類と具体的な応用分野および利用上の問題点」
- 12.13～14 第13回建設マネジメント問題に関する研究発表討論会（特別講演2題，パネルディスカッション1題，論文発表45題）
- 12.13～15 鉄道技術連合シンポジウム（共催）

1995（平成7）年

支部の動き

- 北海道支部
- 1.25 コンクリート技術の現状と示方書改訂の動向 講演数8題
- 2.14～15 年次技術発表会 発表数238題
- 6.8 講習会「舗装工学」（講演数5題）
- 8.18 第6回「講演と懇談の会」
- 1.17 講習会「地下空間と人間」（講演数7題）
- 2.8～9 年次技術研究発表会（発表数285題，函館市）
- 「土木の日」行事
- 9.17 見学会（一般市民）白鳥大橋他2ヶ所
- 10.28 見学会（小中高教諭）千歳川改修他2ヶ所
- 11.17～22 「小中学生の土木の絵」図画コンクール展

1995（平成7）年

支部の動き

- 11.17 講演会「先端技術と建設システム」
- 10.17 映画会（上映数3本,北見市）
- 11.17 映画会（上映数1本,札幌市）

東北支部

- 4.11 第3回講演と懇談の会「阪神大震災の社会面への影響」,「阪神大震災による建造物の被害」
- 6.28 阪神・淡路大震災第2回報告会「破壊のメカニズムと復旧方法」
- 10.12～22 中国黄河・長江（三峡ダム）調査団
- 11.17 技術講座と映画の会「福島空港の滑走路長2500m拡張工事」,「磐越道技術的特色と開通効果」,「土木の語源と歴史」
- 「土木の日」行事
- 10.15 「市民見学会」東北・山形自動車道,月山工務所,寒河江管理事務所
- 10.20～22 「土木の日フェスティバル'95」
- 11.21 講演会（いま,土木を考える）「地震防災と土木」（講演数5題）

関東支部

- 2.8 講習会「地球温暖化の影響」講演題目4題
- 3.2 講演会「阪神大震災速報講演会」講演題目6題
- 3.9 講習会「土木技術者に求められる資質と素養—技術士を目指されている方々のために—」講演数6題
- 3.17～18 第22回技術研究発表会 発表数314題 特別講演5題
- 7.13～14 映画会
- 9.2 土木系学生によるコンクリートカヌー大会
- * 第1回「KANTO シビックサークル」（建設工事における自然との共生について）
- * 第2回「KANTO シビックサークル」（土木とはなに？これからの土木についての意見交換会）
- 「土木の日」行事
- 10～11 第5回「研究所見学会」
- 11.8 「東京湾横断道路シールドトンネル見学会」

中部支部

- 2.9～10 講演会「高齢者・障害のモビリティ確保と都市行政」
- 2.27 第2回特別講演会「阪神大震災速報講演会」
- 4.25 特別講演会「阪神大震災調査第2次報告会」
- 5.10 第1回講演会「三重県における土木事業概要について」
- 5.11 見学会「三滝川ふるさとの川整備事業」（三重県）
- 6.30 留学生交歓会「伊勢湾岸道路名港三橋」
- 10.25 講習会「土木と労働安全」
- 11.29 第1回技術講座「コンクリート構造のエッセティックス」
- 「土木の日」行事
- 11.14 開始式
- 11.17 市民見学会「水と緑の回廊,能登島を訪ねて」（石川県）
- 11.18 市民見学会「伊豆半島に展開される土木施設を訪ねて」（静岡県）
- 11.18 市民見学会「豊・潤・速（レクリエーション時代の土木に触れる）」（愛知県）

関西支部

- 1.18 新春講演会・会員懇談会
- 2.13 兵庫県南部地震震災調査緊急報告会
- 4.11 阪神大震災調査第2次報告会
- 5.20 平成7年度関西支部年次学術講演会（一般講演432題）
- 5.10～6.15 平成7年度学生映画会（映画2編）
- 6.14 高専学生対象講演会
- 10.3 コンクリート構造の設計・施工の基本に関する研修会打合せ会 第一部 設計技術者対象研修会
- 10.4 コンクリート構造の設計・施工の基本に関する研修会打合せ会 第二部 施工技術者対象研修会
- 10.18 都市部におけるトンネルの合理的施工方法に関する講習会
- 12.8 「耐震・地震防災の基礎」講習会
- 12.12 南河内の歴史と土木見学会（狭山池ダム工事現場,国道309号線水越トンネル工事現場,竹の内街道歴史資料館）

1995（平成7）年

支部の動き

●「土木の日」行事

11.19 神戸復興コンベンション「みんなで学ぼう震災復興，確かめよう！復興拝見ウォーク，考えよう！復興トーク&クイズ」

中国支部

1.26 講習会「コンクリート技術の現状と示方書改訂の動向」

4.28 阪神・淡路大震災第二次調査報告会

5.19 支部総会に伴う特別講演会「これからの土木」

9.15～27 第1回調査（ブラジル，アルゼンチン，アメリカ）

9.22 講習会「舗装工学」

9.30～10.12 第2回調査（アメリカ）

10.6 講演と懇談の会「河川-よもやばなし」，「関東大震災，戦災，そして阪神大震災-その被害と復興」

11.21 「工事見学会」（中国横断自動車道上竹橋他）

11.30 「工事報告会」

●「土木の日」行事

11.18～19 鳥取県米子しんまち天満屋「夢・交差点」展示コーナー未来の土木ファッションショー，土木クイズ他

10.下旬～11.下旬 鳥取県各地 土木工事見学会，土木事業写真展

10.21 山口県 公共事業の見学会及び「ザ・けんせつフェスティバル山口」

10.28 福山大学，広島子ども文化科学館「子どもミニ土木博」

11.17 岡山県 95 シビックデザインセミナー

11.8 広島県 広島呉道路工事見学会，小学生を対象とした現場見学会

四国支部

5.27 年次技術研究発表会（発表数196題，香川大学）

6.2 「阪神・淡路大震災第2回報告会」

6.16 「技術意見検討会」

10.14 「人にやさしい橋梁に関するシンポジウム」

11.11 「貴方を襲う災害・災害から身を守る秘訣を教えます」

●「土木の日」行事

11.20～24 「市民ふれあい土木展」

11.27 「土木の日」および「くらしと土木の週間」記念講演会

西部支部

1.18 講演会「21世紀の土木と宇宙開発」「ここがおもしろいぞ宇宙開発」

3.16 講演会「燃える石の研究—天然白リンの発見—」

5.11 阪神大震災・震災第2次報告会

5.19 「小規模下水処理場の経済性と環境影響評価」

5.24 「福祉のまちづくり」

10.16 土木学会員の現場見学（雲仙普賢岳火山噴火対策事業）

11.5～12 海外研修（ベトナム・香港）

11.29 講演会「河川のよもや話」

11.29 講演会「土木建造物の新たな表情」

●「土木の日」行事

11.18 「面白い話-世界不思議発見裏話-」

福岡地区

11.17 見学会（福岡市西部水処理センター，海の中道公園，マリナーワールド）

11.21 シンポジウム「都市の防災とまちづくり」

北九州地区

11.23 「土木フェア in 北九州'95」

佐賀地区

佐賀市

9.19～10.26 「現場見学会」（工業高校生を対象）

11.11 「親子のふれあい建設バスツアー」

11.12 「土木の日展示会」

11.19 「六角川ありがとう」

11.22～26 「土木フェア in Saga'95」

1995（平成7）年

支部の動き

唐津市
11.18 「文化活動」
長崎地区
長崎市
11.18～19 「パネル展」
11.19 「現場見学会」 不動山トンネル～嬉野総合公園,島原深江道路～水無川導流堤～島原城～千本木被災状況～百花台,城山台稲佐町線～飽の浦トンネル～中尾ダム
熊本地区
熊本市
11.11 「親子で遊ぼう土木ツアー」
11.19 「土木体験ツアー」
大分地区
大分市
11.1～24 「パネル展」
11.13～26 「建設現場見学会」
11.16 「土木映画会」
11.17 「女性と土木のふれあい見学会」
11.17～26 「道路情報版による PR および横断幕等の掲載」
佐伯市
9.28～29 「現場見学」 桑原トンネル
11.8～21 「土木事業 PR およびビデオ鑑賞会」
11.12 「小冊子配布」
11.13～20 「パネル展」
宮崎地区
宮崎市
11.9～25 パネル展,現場見学会,子供参加のイベント
串間市
11.3 土木の日アンケート実施,バザー,ポップコーン,綿菓子無料の配布,ミニ盆栽店,子供絵画展,ミニ動物園,大声コンテスト,距離当てコンテスト,ゴルフゲーム
都築市
11.11 写真パネル展,建設機械展示,試乗,建設機械との大綱引き,測量クイズ,園児のマーチング,熱気球の体験試乗,魚の放流,うなぎのつかみ取り大会,お楽しみ抽選会,地場産品店
小林市
11.11 土木工事写真,パネル展,建設機械展示,始動,測量器具展示,距離当て,ラジコンヘリの実演飛行,中学・高等学校対抗クイズ大会,カレンダーとリフレットの配布
高岡市
11.11 小学生・中学生を対象に道路工事の説明会,建設機械の試乗,絵画の募集・展示・表彰,発泡スチロールによる橋梁組立,土木に関するクイズ大会
西都市
11.7,19 現地見学会,ドッジボール大会,目測距離当て,建設機械を用いたボーリング,盆栽コンテスト,バザー,花の苗無料配布,パネル展,ミニスポーツ大会,土木建設機械の展示と模範演技,お楽しみ抽選会,焼肉大会
高鍋市
11.4,7,8,11 花の種,リーフレットの配布,建設機械展示および試乗,測量機器展示および距離当て,土木写真展示,ミニ盆栽教室,出店,チャリティーバザー
日向市
11.11 パネル展,重機操作コンテスト,ちびっ子綱引き大会,子供絵画展,ビデオ上映,植木市,植木相談会,各市町村の物産展,バザー,出店
延岡市
10.21～11.22 パネル展,土木機械展示,PR 活動,工業高校生の土木施設見学,測量実習
西臼杵郡
11.12 現場見学会,パネル展,測量機器展示,距離当てクイズ,高千穂小学校による吹奏楽,子供絵画,習字展,ストリートバスケット大会,子供広場,特産品販売,プレゼント抽選会
鹿児島地区
鹿児島市
11.18 「95 土木フェスタ in Kagoshima」 建設機械展,建設資材展,測量設計機器展,出店機関 60 秒 PR,出店機関クイズ,お楽しみ抽選会,ミュージアムタートルズショー,高専ロボット競技,ウォーターフロントクルージング,バターゴルフゲームコーナー,ビデオコーナ

1995（平成7）年

支部の動き

<p>鹿屋市</p> <p>11.18 「'95 土木フェスティバル in KANOYA」建設機械展,建設資材展,測量設計機器展,降雨体験機,風力発電機,安全器具展,作業服展,物産展,緑化展,写真パネル展,ゲーム&プレイ(卵のつかみどり,綱引き,抽選会,フライングディスク,建設機械オペレーターコンテスト,測量競技大会,力くらべ),アトラクション(吹奏楽演奏など,鹿屋青龍太鼓,新城鎌手踊り)</p> <p>沖縄地区</p> <p>11.1 「水を考える小学生の集い」</p> <p>11.4～6 「八重山の産業まつりでの広報活動」</p> <p>11.15 「沖縄の道写真コンテスト表彰式」</p> <p>11.15 「沖縄県土木建築部研究発表会」</p> <p>11.18 「漢那ダム自然体験学習会」</p> <p>11.18 「現場見学会」南風原アーチ橋</p> <p>11.20～24 「土木の日パネル展」</p> <p>11.25～26 「宮古の産業まつりでの広報活動」</p> <p>12.4 「渇水対策講演会」</p>
--

1995（平成7）年

土木一般	社会一般
<p>1.12 大阪市営地下鉄長堀鶴見線に世界初の3連MFシールド機が登場</p> <p>1.17 阪神・淡路大震災により交通ライフライン,建造物倒壊,火災をはじめ神戸港・人工島に破壊的な被害,明石海峡大橋の淡路側橋台1.1mずれ,中央支間1991mとなる.名神高速,阪神高速湾岸線,神戸西宮線635mにわたる1本足橋脚の倒壊は,首都高速の橋脚補強を促進.建設省2.27高速道路などの復旧仕様書を関係機関に通達</p> <p>1.19 西武鉄道新宿線,上石神井へ西武新宿間12.8kmの地下複線化計画を実質上中止</p> <p>2.10 和歌山県,紀淡連絡道路橋予定地の海上ボーリングを実施(～2.16)</p> <p>2.11 長野県安曇村中ノ湯の国道158号,安房峠トンネル現場で水蒸気噴出,死者4人</p> <p>2.一 石油公団,愛媛県菊間地区地下に水封式石油地下備蓄タンクに150klの石油注入完了</p> <p>3.2 運輸省,山形県酒田市で波力発電30kWの開発に成功</p> <p>3.4 電源開発・四国電力,橘湾火力発電所(石炭)用地119ha造成,出力280万kW着工,2000.12工事完了</p> <p>3.7 鉄道公団,北陸鉄道ほくほく線(第3セクター)の軟弱地盤に9.1kmの鍋立山トンネル完成</p> <p>3.10 道路公団,九州横断道のうち,日田～玖珠間24.7km開通,長崎～大分間188kmが全通</p> <p>3.13 沖縄県宮古島～未開島を結ぶ農道橋・末間大橋県営一般道4kmの一部1.69km開通</p> <p>3.15 南関東地震に備え横浜新港埠頭に防災岸壁,ヘリポートなどの防災基地が完成</p> <p>3.31 大阪の寝屋川流域に平野川調節池第2期工事完成,1・2期合計34万㎡を貯留</p> <p>4.1 阪神・淡路大震災で不通となったJR東海道本線,75日ぶりに営業再開</p> <p>4.8 山陽新幹線・大阪～姫路間91.7km営業再開,6.12阪急,6.26阪神電鉄など全線再開</p> <p>4.19 建設省,1995年度の建設投資見通しを前年度比1.7%増の82兆2000億円と発表</p>	<p>1.9 日本海で低気圧発達,北日本で暴風雨と大雪で交通混乱,死者・行方不明者7人</p> <p>1.17 5時46分,活断層のずれにより兵庫県南部地震が発生.淡路島北部の深さ14kmを震源にM7.2の直下型で2.14以来,阪神・淡路大震災と改称.倒壊家屋19万2706棟(兵庫県)焼失面積65万2402㎡,焼失家屋7608棟,避難生活者20万人以上,死者6308人(1995.12),被害総額10兆2121億円と推定</p> <p>1.18 政府,地震対策閣僚会議を開催,自衛隊1万3,000人,警察間2万7000人の派遣など86項目の緊急対策を決定し激甚特区に認定</p> <p>1.18 広島県三原市の三丸遺跡から日本最古級の製鉄炉跡が出土と発表</p> <p>1.一 1～2月にかけてライン川中下流部のドイツ,オランダ,ベルギー,フランスなどに第2次世界大戦後最大級の水害,オランダでは25万人が避難</p> <p>2.16 奈良県桜井市の著墓古墳(墳丘長278m)の築造は出土品の分析から280年前後と推定,日本最古の前方後円墳説は後退</p> <p>2.28 7.20を海の日とする国民祝日法改正案が成立</p> <p>3.2 大阪市西淀川区の西淀川公害訴訟で,公害病認定患者遺族600人が関西電力など企業10社と国・阪神公団を訴えた裁判で約40億円の和解勧告が成立,住民側の勝訴だが国・公団の責任は認めず.</p> <p>3.18 北海道中央部の空知炭鉱廃山,残りは太平洋炭鉱(釧路),三井三池(福岡),松島池島(長崎)のみ</p> <p>3.18 宇宙開発事業団,種子島宇宙開発センターから国産大型ロケットHII3号機打上げに成功,気象衛星ひまわり5号と命名</p> <p>3.20 東京地下鉄霞ヶ関駅を通る日比谷・千代田・丸の内線5本の電車内にオウム真理教がサリンを散布,死者11人,重軽傷5500人の地下鉄サリン事件,関連事件で起訴者100人以上.</p> <p>3.24 無人深海探査機かいこうマリアナ海溝1万911mに到着</p> <p>3.31 琵琶湖観光の目玉として大津港の沖合に長さ440mの噴水完成</p> <p>4.1 新潟県南部を震源とするM6.0の直下型地震発生,停電・新幹線運転中止など504棟に被害,重軽傷者42人</p> <p>4.11 環境庁,日本の自然海岸が10年間で293km減少と発表</p> <p>4.23 北九州市小倉区の紫川に木造歩道橋の常磐橋</p>

土木一般	社会一般
<p>4.20 九州電力、玄海原子力発電所 4 号機 118 万 kW 完成、1997.7、総出力 347 万 8000kW 運転開始で全事業終了</p> <p>4.21 労働省、建設現場安全管理指針をまとめゼネコン 4 固体に周知を要請</p> <p>4.24 運輸省、地震に強い港湾のあり方について検討調査委員会を設置（委員長：中村英夫東京大学教授）、8 月中に中間報告にまとめ第 9 次港湾整備 5 ヶ年計画（1996～2000 年）に反映</p> <p>4.26 北海道唯一の炭鉱、釧路の太平洋炭鉱で海面下 600m 延長 6.625 km の坑道運用開始</p> <p>4.26 千葉市～富津市間の館山有料道路 57 km のうち 18 km、7.18 に木更津南 17 km が開通</p> <p>4.29 福井県、400 年前の城下町・一乗谷朝倉遺跡の町並みを 6000 m² にわたり整備</p> <p>4.30 神戸港埠頭公社、ポートアイランドと六甲アイランドのコンテナ擁壁 6 パースを暫定復旧と発表</p> <p>4.一 建設省河川局・都市局などの若手技術者、従来の河川政策を反省し河川の未来像を報告書にまとめ発表</p> <p>5.19 中部縦貫自動車道・安房峠道路の高熱地区安房トンネル 4.3 km 本坑貫通（開通 1997.8）</p> <p>5.23 長良川可動堰の本格運用をめぐり住民側建設省側が円卓会体 4 回開催（3.2）、合意が得られず水資源公団が運用開始と発表</p> <p>5.25 北陸新幹線・高崎～長野間の五里ヶ峰トンネル 15.175 km 貫通</p> <p>5.29 鉄道公団、東北新幹線・盛岡～八戸間 96.6 km の起工式を盛岡で開催</p> <p>5.31 鉄道公団、JR 熊本駅で九州新幹線・熊本～鹿児島間整備事業着工</p> <p>6.8 建設省 建設産業の構造改善に関する支援策を策定</p> <p>6.27 環境庁、香川県小豆島土庄町豊島周辺の産業廃棄物によるダイオキシン汚染調査を 2 週間実施、因果関係を立証</p> <p>6.一 関西電力、兵庫県に地下揚水式の大河内水力発電所 128 万 kW 完成</p> <p>6.一 今治市、瀬戸内海環境保全特別措置違反とする住民訴訟に勝訴した自然海浜・織田ヶ浜の埋立て終了</p> <p>7.1 阪神公団、復旧中の湾岸線 1.3 km 開通</p> <p>7.2 東京駅中央線快速電車ホーム 303m を高架に改築</p> <p>7.6 三重県の長良川可動堰の運用を開始。反対運動激化の中で可動部 551m、ローラーゲート 12 門（1978.9～）</p> <p>7.13 埼玉高速鉄道（第 3 セクター）、川口市で起工式、営団地下鉄赤羽岩淵～浦和美園間 14.6 km、総工費 2591 億円、2001.3 開業し営団地下鉄へ乗入れ。</p> <p>7.18 政府、新防災基本政策を策定</p> <p>7.27 道路公団、人吉～えびの間 22.3 km 開通により九州自動車道 428 km 全通、青森～宮崎・鹿児島間 2150 km が一本化</p> <p>7.28 東北電力、女川原子力発電所 2 号機 82.5 万 kW 完成（2002.1）、3 号機の総出力 217 万 4000kW で事業終了</p> <p>7.29 名神高速・尼崎～西宮間が復旧し 6 ヶ月ぶりに名神と中国道が連結</p> <p>7.31 神戸市のポートライナー、三宮～中公園間 2.8 km 復旧</p> <p>7.一 秋田石油備蓄基地、船川港付近に東西 2 基地 454 万 kl の石油注入完了</p> <p>8.2 道路公団、磐越自動車道・いわき～郡山間 71.4 km が開通。常磐自動車道と接続、いわき～新潟間 213 km のうち 155.4 km 開通</p>	<p>4.28 韓国大邱市の地下鉄現場でガス爆発、死者 101 人、負傷者 107 人</p> <p>5.22 文化庁、国宝や重要文化財の耐震補強強化を検討する協力者会議を設置、指針作成開始</p> <p>5.一 1995 年度 1 次補正予算が成立、1 兆 4300 万円が阪神・淡路大震災後復旧費と決定</p> <p>5.一 環境庁、南西諸島のサンゴ礁がここ 15 年間で 1500ha 消滅と発表</p> <p>5.31 東京都、1996 年に東京臨海副都心で開催予定の臨界都市万博会の中止を決定、副都心計画の本格的な見直しが始まり 1000 億円の被害と推定</p> <p>5.28 ロシア・サハリン州北部に M7.5 の地震、石油パイプラインに被害、死者 1841 人、負傷者 107 人</p> <p>6.6 オウム真理教の麻原彰晃代表らを起訴</p> <p>6.15 東京高等検察庁、日本下水道事業団発注の下水処理場の電気設備をめぐり電機メーカー 9 社と事業団の元工務部長を独占禁止法違反で逮捕。中本至理事長解任</p> <p>6.16 大阪市の池上曾根遺跡から弥生最古級と見られる高床式建物跡を出土と発表</p> <p>6.一 建築基準法一部改正、地下室の容積率緩和により地下室つきマンション続出</p> <p>6.一 大分県臼杵市の臼木石仏（4 群 59 体）国宝に指定</p> <p>6.23 沖縄県、摩文仁の平和記念公園（糸満市）で沖縄戦没者追悼式、戦没者 23 万人の氏名を刻んだ平和の礎除幕式。8.2 天皇・皇后が訪問</p> <p>6.27 文化庁、広島県の原爆ドームなど 7 件を史跡指定</p> <p>6.28 大館市の花岡鉱山で 1945.6 強制労働中国人労働者が蜂起し 420 人が軍により殺害された花岡事件の生存者 11 人が当時の鹿島組に対して損害賠償を告訴、和解が成立</p> <p>6.29 韓国ソウル市の三豊百貨店（地上 5 階、地下 4 階）の建物半分が倒壊、死者・行方不明者 500 人弱、負傷者 900 人以上</p> <p>6.29 近畿・中四国九州で大雨（～7.9）、崖崩れ 798 ヶ所、床上・床下浸水 7266 棟、死者 2 人</p> <p>7.7 最高裁、国道 43 号線・阪神高速道路の沿道住民 131 人による騒音・排ガス公害告訴で国・公団の責任を認め 2 億 3000 万円の支払いを命じた大阪高裁の判決を支持。11 月、国道 43 号・阪神高速神戸線環境対策連絡会議が敗訴による中間報告を作成、今後の具体的な改善策を発表</p> <p>7.11 北陸・信越に集中豪雨、大糸線不通など新潟・長野に被害</p> <p>7.11 神戸市、10 ヶ年計画の神戸市復興計画を決定</p> <p>7.20 7.20 を海の日とする国民祝日法改正案成立</p> <p>8.1 群馬・福島・新潟 3 県、共同で尾瀬保存財団を設立。基本財産 13 億 5000 万円</p> <p>8.4 兵庫県、阪神・淡路大震災の被災各市町の復旧計画を集成し 660 事業を盛り込んだ、ひょうごフェニックス計画を決定</p> <p>8.22 東京の真夏日、連続 31 日の新記録</p> <p>8.23 桜島南岳 1040m の噴火活発化、25 日までに爆発 15 回、九州自動車道一部通行中止</p> <p>8.24 京都の広隆寺、国宝の仏壇台座に耐震装置を取付け</p> <p>9.6 警視庁・神奈川県警、オウム真理教実行幹部らの供述に基づき坂本弁護士一家 3 人の遺体を発見</p> <p>9.20 政府、経済対策閣僚会議を開催、総額 14 兆 2200 億円の対策費を決定</p> <p>9.29 伊豆半島東岸の汐吹崎付丘で 146 回の有感地震</p>

1995（平成7）年

土木一般	社会一般
<p>8.9 道路公団，徳島自動車道・徳島市～愛媛県川之江市間 9.1km 開通，総延長 41.2 kmとなる。</p> <p>8.17 建設省・富士市，海岸の浸食防止に使用した富士川河口の砂採取跡地の幅 80m，奥行き 60mを海水浴場に整備</p> <p>8.20 厚生省，水道施設の耐震化について報告書を作成</p> <p>8.24 第9次港湾整備5ヶ年計画（1995～1999）を策定</p> <p>8.29 動燃事業団，高速増殖原型炉もんじゅ（敦賀市，出力 28 万 kW）の発電・送電開始。12.8 液化ナトリウム漏れ事故で運転停止</p> <p>9.14 建設省，建設技術開発5ヶ年計画を策定</p> <p>10.6 川崎市，市内発生のごみをJR貨物線で臨海部の焼却場まで1日 300 tの輸送開始</p> <p>10.26 建設省，神奈川県内の多目的重力式・宮が瀬ダム 1 億 8300 万 m³の貯水を開始。ダムは 2001.3 完成</p> <p>10.27 青森～黒石間の国道 394 号バイパス内に国内 1 位の RC アーチ，支間 255m の城ヶ倉大橋</p> <p>10.27 関西電力，7 月の集中豪雨で湛水した里部川の出し平ダムの土砂 190 万 m³を排出したが河口汚染が問題化</p> <p>11.1 東京の新橋～有明間をレインボーブリッジで結ぶ新交通システムゆりかもめ 11.9 km開通</p> <p>11.7 道路公団，上信越自動車道・群馬県伊勢崎市～新潟県上越市間の一部開通。1998.2 長野における冬期オリンピックへの準備</p> <p>11.10 道路公団，秩田自動車道 123 kmのうち横手市～岩手県湯田町間 20.3 km開通。全体の 30%が橋とトンネル</p> <p>11.17 東京国分寺の鉄道学園跡地の住宅公用団地造成中，奈良時代の官道・東山道と見られる遺構を発見，設計変更して遺構を保存。標識を設置（1996.2）</p> <p>11.- 中部電力，木曾川に純揚水式の奥美濃発電所 150 万 kW 完成</p> <p>12.1 東京都，現行処分場の南側にゴミの埋立場 480ha の埋立て許可を運輸省に申請。事業費 8400 億円で 1996 年完成予定</p> <p>12.21 首都高速湾岸線，羽田空港～横浜ベイブリッジ 16.4 km開通。逆 Y 字型鋼斜張橋・鶴見つばさ橋（1984m）255+510+255</p> <p>12.24 政府，住宅・下水道・公園・空港など 1996～2000 年の 5 ヶ年計画の事業計画を決定。下水道 23 兆 7000 億円。都市公園 7 兆 2,000 億円，港湾 7 兆 4900 億円，空港 3 兆 6000 億円，海岸 1 兆 7700 億円</p> <p>12.27 道路公団，藤沢～茅ヶ崎海岸間 8.7km の新湘南バイパス開通</p> <p>〔その他〕 フランスのセーヌ川河口に 3 径間複合斜張橋，支間 856m のノルマンディ橋</p>	<p>10.1 伊豆半島東方沖の群発地震が活発化</p> <p>10.12 大分県九重連山の硫黄山 1580m，257 年ぶりに噴火，噴煙 700m に達する</p> <p>10.18 奄美地方に地震，喜界ヶ島で震度 5，19 日以降 11 月までに群発地震 960 回を記録</p> <p>10.23 第 23 回世界湖沼会議，つくば市と水戸市で開催。78ヶ国，8200 人が参加，霞ヶ浦宣言を採択</p> <p>10.28 アゼルバイジャンのバクー地下鉄で火災。死者 289 人，負傷者 270 人</p> <p>10.28 水俣病被害者および新潟水俣病被害者，それぞれチツと昭和電工の補償金支払いで和解，事件発生より 40 年間の長期裁判</p> <p>11.3 第 53 回文化勲章，遠藤周作ら 5 人が受賞</p> <p>11.28 JR 東日本・東京都など，建設省より JR 中央線の三鷹～立川間 13.11 kmの高架化工式の免許を取得，18ヶ所の踏切り解消をねらう</p> <p>11.22 環境庁，1994 年度の全国地盤沈下地域は猛暑と地下水汲上げで 4cm 以上 113 k m²，沈下体積 6790 万 m³と発表</p> <p>12.3 厚生省，阪神・淡路大震災の死者 5488 人の死因を分析，犠牲者の 80%が家屋倒壊による窒息・圧死，高齢者とくに女性の死が男性の 1.5 倍と発表</p> <p>12.4 択捉島付近で M7.2 の地震，北海道にも影響</p> <p>12.6 世界遺産委員会，岐阜県北西部の白川郷・五箇山の合掌造り集落を世界遺産に登録</p> <p>12.20 住友金属鉱山旧別子銅山の元従業員ら 85 人，削岩機使用による労働病として提訴，1 億 1000 万円の支払いで和解，提訴から 17 年目</p>

注：「土木一般」「社会一般」は、岡本義喬・為国孝敏が原案を作成して編纂した。

1996 (平成 8) 年

会長 松尾 稔 副会長 石井 清, 石井 晃一, 木村 孟, 豊田 高司, 廣田 良輔

会員数 32,228 名

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>1.26 支部交付金の基本額 200 万円から 230 万円改訂案が承認される</p> <p>1.26 次長ポストの設置に伴い土木学会運営に関する規程および職員就業規則・事務分掌規程・事務局国内出張旅費を一部変更</p> <p>1.26 土木学会定例映画会を観客数の減少により中止することが承認</p> <p>1.26 棚卸図書に係わる評価替の承認</p> <p>1.26 論文集第 7 部門刊行承認</p> <p>1.26 関西支部不動産取得の報告</p> <p>3.22 特定公益増進法人更新承認</p> <p>3.22 事務局の組織体制の見直しに合わせて「情報システム室」の新設が承認</p> <p>3.22 科学技術基本計画への提言報告</p> <p>4.26 国際委員会の「第一部会」を「学術交流基金管理委員会」と、「第二部会」を「国際委員会」とする提案を承認</p> <p>5.10 英文論文集に関する連絡会議設置について承認</p> <p>6.28 企画運営連絡会議設置及び災害緊急対応部門の新設承認</p> <p>7.26 吉野川第十堰建設事業審議会への専門学者推薦承認</p> <p>9.27 表彰規定の一部変更</p> <p>9.27 常置委員会の名称変更</p> <p>11.22 東南アジア土木技術者会議(仮称)共催に承認</p> <p>11.22 第 3 回フェローに認定 (163 名)</p> <p>11.22 土木学会学術文化募金の助成 (一般型 1 件 (996 千円), 特別型 1 件 (790 千円), 指定型 2 件 (計 4.200 千円) の助成を承認</p> <p>11.22 公益法人会計への移行</p>	<p>1.26 第 2 回世界構造制御会議 (2 W C S C) 共同開催の承認</p> <p>1.26 建設材料に関する国際会議の承認</p> <p>3.22 「社会資本整備の総合研究」「大規模岩盤崩落に関する技術的検討について」「フェロニッケルスラグ[®] 細骨材コンクリート施工指針案の改正及び鋼スラグ[®] は細骨材コンクリート施工指針案の作成」の 3 受託承認</p> <p>4.26 「土木技術者に地球環境問題の知識を普及する活動方法研究」の受託承認</p> <p>5.10 「土木関連 ISO (国際規格) の展望に関する研究」の受託承認</p> <p>6.28 「建設施工現場における安全管理技術指針策定調査研究」の受託承認</p> <p>6.28 「自然と国土防災の科学公園の計画」の受託承認</p> <p>6.28 「21 世紀初頭に向けた四国地方の土木施設整備のあり方に関する調査研究」の受託承認</p> <p>6.28 「四国地方の地震防災に関する研究」の受託承認</p> <p>6.28 「満濃池築造の歴史に関する調査研究」の受託承認</p> <p>6.28 トンネル荷重に関する調査研究部会の設置承認</p> <p>7.26 「玉川上水保存管理指針策定に関する調査研究」の受託承認</p> <p>7.26 「中国地方における土木の今後のあり方に関する研究」の受託承認</p> <p>9.27 「地質とダム基礎岩盤に関する調査」の受託承認</p> <p>10.一 開削トンネル耐震設計法検討部会の設置承認</p> <p>11.22 景観・デザイン委員会の設置承認</p> <p>11.22 「わが国における断層の活動履歴の研究」の受託承認</p> <p>11.22 「わが国における断層活動履歴の評価法の体系化に関する研究」の受託承認</p> <p>11.22 「分布モデルを中心とした洪水流出解析手法の高度化に関する研究」の受託承認</p> <p>11.22 「的確な氾濫原管理を可能とする流域ゲートハウス構築手法の研究」の受託承認</p> <p>11.22 「河岸の侵食過程の予測技術の開発」の受託承認</p> <p>11.22 「物質トレーサによる水循環調査の新たな手法の開発」の受託承認</p> <p>11.22 「河道の水質浄化機構に関する研究」の受託承認</p> <p>11.22 「水循環を中心とした河川の国際間比較」の受託承認</p>	<p>4.22 オーストラリア工学会一行の土木学会表敬訪問</p> <p>5.24 大韓土木学会韓会長来日, 第 28 回通常総会において来賓挨拶</p> <p>6.13 大韓土木学会事務局長来会</p> <p>9.9 CERF 打合会「ローファースト氏」来日</p> <p>11.3 スタディーツアーズ グランド (国際交流日本招聘助成)</p> <p>11.3~16 Bernard Brule 氏来日</p> <p>11.8~18 「ASCE 全国大会」</p> <p>11.20~23 CONET'96 「INTERNATIONAL EXHIBITION for CONSTRUCTION EQUIPMENT & TECHNOLOGY」(共催) (千葉市)</p>

1996 (平成 8) 年

行事・集会 (本部)

- 1.12 「地下空間と人間」シリーズ出版記念講演会 (基調講演 1 題, 特別講演 1 題, 講演 4 題)
- 1.17 「地下空間と人間」シリーズ出版記念講演会 (講演数 7 題)
- 1.17 衛星データの実利用研修会「超解像度衛星データの性質と習得方法および国際的な動向」
- 1.23 「コンクリート構造のエスティックス」講習会
- 1.25～26 阪神・淡路大震災に関する学術講演会 (論文発表 116 題)
- 1.31 衛星データの実利用研修会「衛星データを用いた土地被覆分類図の作成法, 利用法について」
- 2.1 第 9 回建設コンサルタントシンポジウム (特別講演 1 題, 一般講演 2 題, パネル 1 題)
- 2.1～2 第 27 回岩盤力学に関するシンポジウム (論文発表数 83 題, パネルディスカッション 2 件)
- 2.7 応用力学フォーラム (講演数 5 題)
- 2.7 「地下空間の人間」シリーズ出版記念講習会 (基調講演 1 題, 講演 4 題)
- 2.14 第 34 回 原子力総合シンポジウム (共催)
- 2.19 衛星データの実利用研修会「衛星データを用いた土地分級評価の手法および方法について」
- 2.20 舗装工学講習会 (講演 8 題)
- 2.23 「都市 NATM とシールド工法～設計法と現状と課題」講習会 (講演数 7 題)
- 2.28 衛星データの実利用研修会「斜面の安定性評価」
- 3.4 衛星データの実利用研修会「衛星データを用いた地形図作成方法と問題点について」
- 3.7～8 コンクリート標準示方書 (平成 8 年版) 制定に伴う講習会 (講演数 9 題)
- 3.11 第 9 回環境システムシンポジウム (講演数 6 題)
- 3.13～14 高流動コンクリートシンポジウム
- 3.15 平成 7 年度「岩盤力学委員会研究報告会」 「地下深部開発に関する調査・試験法の現状と技術的課題」 (報告数 6 題)
- 3.17 第 8 回アゲールシンポジウム (講演数 3 題)
- 3.18～19 第 40 回水理講演会 (講演数 188 題)
- 3.19 平成 7 年度 溶接シンポジウム (共催)
- 3.20 応用力学フォーラム (九州地区)
- 3.26 応用力学フォーラム (中部地区)
- 3.27 衛星データの実利用研修会「SAR データ (マイクロ派データ) の性質と利用方法」
- 3.27～28 コンクリート標準示方書 (平成 8 年版) 制定に伴う講習会 (講演数 9 題)
- 4.5 第 17 回定例談話会 (課題: 就職市場としてみた「土木と建設産業」)
- 4.10～11 第 42 回構造工学シンポジウム (一般講演 151 題, 特別講演 1 題, パネルディスカッション 1 題)
- 4.17 「第 10 回最新の施工技術-1996.4」講習会 (課題: 最新の施工技術について)
- 4.25 応用力学フォーラム (関西地区) 一波動現象の基礎知識-
- 5.9 第 18 回定例談話会 (課題: 首都移転の意味するもの)
- 5.15 第 14 回建設ロボットに関する技術講習会 (講演数 4 題, パネルディスカッション 1 題)
- 5.17 1996 年「工学教育」連合講演会 (共催) (東京都)
- 5.22 「土木分野における知的所有権」講習会 (講演数 2 題, 報告数 1 題)
- 5.23 「コンクリート標準示方書をめぐる環境・施工技術の最近の動向・性能照査型示方書試案」講習会 (講演数 4 題)
- 5.24 第 2 回応用力学フォーラム (講演数 4 題)
- 5.31 シンポジウム「これからの防災計画と地域づくり」 (講演数 5 題)
- 6.6～7 第 16 回土木史研究発表会 (講演数 75 題)
- 6.6～7 第 3 回落石等による衝撃問題に関するシンポジウム (講演数 54 題)
- 6.7 第 19 回定例談話会 (課題: 日本のトンネル技術-その耐震の考え方-)
- 6.7 応用力学フォーラム (乱流フォーラム) (課題: 大気中の構造物空力学特性 他 1 題)
- 6.27 非線形力学小委員会及び応用力学フォーラム (中部地区) (課題: 飽和土の進行性破壊における土～水連性の効果～ 他 2 題)
- 6.- 英文ライブラリーインターナショナル No.27 および No.28 を編集
- 6.28 「高炉スラグ微粉末を用いたコンクリート施工指針」講習会 (講演数 4 題)
- 7.3 鉄道力学シンポジウム
- 7.3～5 第 4 回地球環境シンポジウム (講演数 36 題)
- 7.3～5 第 23 回海洋開発シンポジウム (講演数 88 題)
- 7.11 第 20 回定例談話会 (課題: 新しい (第 5 次) 全国総合開発計画の議論)
- 7.11 トンネル標準示方書 (シールド・開削工法編)講習会 (講演数: シールド編 5 題, 開削 5 題) (東京都)
- 7.11～12 第 1 回水シンポジウム (基調講演 2 題) (鳥取市)
- 7.12 トンネル標準示方書 (山岳工法編)講習会 (講演数 6 題) (東京都)
- 7.12 風洞実験相似則検討小委員会研究報告会 (講演数 12 題)
- 7.12～13 第 3 回鉄道連合シンポジウム (J-RAIL'96) (講演数 169 題)
- 7.16 建設マネジメント委員会 B.D 小委員会 有識者フォーラム
- 7.17～18 第 41 回水理講演会を開催し, 論文集 (第 41 巻) を編集
- 7.18～20 第 32 回水工学夏季講習会 (A コース) (講演数 18 題)
- 7.20 なぎさ観察会 (参加者数 70 名 (親子 20 組))
- 7.22 海の日記念講演会 (課題: なぎさ, 生き物の視点から語る)

1996 (平成 8) 年

行事・集会 (本部)

- 7.22～24 第 32 回水工学夏季研修会 (B コース) (講演数 18 題)
7.23 「コンクリート標準示方書耐震設計編」講習会 (講演数 9 題) (東京都)
7.24～26 第 24 回地震工学研究発表会 (東京都)
7.29～31 第 15 回混相流シンポジウム' 96 (共催) (福井市)
8.2 第 21 回定例談話会 (課題: 活断層と地震予測)
8.3 一般公開シンポジウム (地球環境問題に取り組む最近の土木建設業)
8.5～6 第 30 回夏期講習会・見学会 (講演数 4 題)
8.8～28 産業技術歴史展テクノフェスタ 21 (パシフィコ横浜)
8.28 「建設業における環境管理システム」講習会 (講演数 4 題)
9.6 第 22 回定例談話会 (課題: 超高解像度衛星データの利用)
9.13 鉄道力学シンポジウム (講演数 3 題)
9.16 市民見学会 (伊勢崎湾道路, 名港中央大橋など)
9.17～19 第 51 回年次学術講演会 (研究討論会 15 題) (共通セッション 188 題)
9.19～20 第 40 回 材料研究連合講演会 (共催) (東京都)
10.3 応用力学フォーラム (乱流フォーラム) (課題: LES の最新の動向, 乱流モデルの改良)
10.8～9 第 26 回安全工学シンポジウム (共催) (東京都)
10.8 第 23 回定例談話会
10.11 第 2 回土木技術映像の一般公開
10.22～23 土木計画学シンポジウム
10.23～25 忠別・滝里の両ダムおよび滝里発電所 (北海道開発局, 北海道電力) の見学会
10.29 「連続繊維補強材を用いた設計・施工指針, 品質規格, 試験方法」講習会 (講演数 10 題) (東京都)
10.30 第 24 回環境システム研究論文発表会
10.30～31 第 24 回環境システム研究論文発表会 (東京都)
11.1 第 24 回定例談話会 (課題: 大深度地下空間開発技術の現状について)
11.1 CONET'96 建設機械フォットコンテスト (共催) (千葉県)
11.2～4 第 19 回土木計画学研究発表会 (講演数 379 題)
11.7～8 第 1 回免震・制震コロキウム (発表数 57)
11.12 第 5 回セミナー「土木自然学懇談会」(課題: 土木と自然一ケルンを中心として)
11.12 最新のマスコンクリート技術に関するコンクリートセミナー (講演数 10 題)
11.12～13 岩手トンネル (東北新幹線) の見学会
11.13 「土木の日」及び「くらしと土木の週間」
11.13～15 第 43 回海岸工学講演会 (講演数 263 題) (和歌山市)
11.19 第 17 回土木学映画・ビデオコンクール表彰式 (入賞作品発表・表彰 6 件)
11.19～20 第 21 回土木情報システムシンポジウム (発表数 80 題)
11.20 最新のマスコンクリート技術に関するコンクリートセミナー (講演数 10 題) (大阪府)
11.21 第 6 回トンネル工学研究発表会 (論文数 9 題, 報告数 59 題)
11.22 構造工学委員会講演会 (講演数 2 題, 報告数 1 題)
11.26 土木計画ワンデイセミナー シリーズ 8 (講演数 11 題)
11.27 東京湾横断道路の施工技術その 3 講習会 (講演数 9 題)
11.28 「連続繊維補強材を用いた設計・施工指針, 品質規格, 試験方法」講習会 (講演数 9 題) (大阪府)
11.30 第 3 回土木技術映像の一般公開 (上映作品 5 編)
12.2 「文化財の登録制度と近代土木遺産の保存・活用」シンポジウム (講演数 7 題)
12.3 最新のマスコンクリート技術に関するコンクリートセミナー (講演数 10 題) (愛知県)
12.4～6 第 14 回 風工学シンポジウム (共催) (東京都)
12.6 第 25 回定例談話会 (課題: 社会資本を考える視点)
12.6 火山工学研究会 (火山地域の防災) (講演数 3 題)
12.9 第 10 回建設コンサルタントシンポジウム (講演数 3 題)
12.12～13 第 14 回建設マネジメント問題に関する研究発表会・討論会 (講演数 6 題, 研究発表数 43 題)
12.12～14 第 33 回環境工学研究フォーラム (金沢市)
12.13 「計算力学の実務への適用とその評価」講習会 (講演数 7 題)
12.13 舗装工学研究小委員会 (講演数 34 題)
12.18 「原子力発電所の立地多様化技術」講習会 (講演数 7 題)
12.20 「計算力学の実務への適用とその評価」講習会 (講演数 7 題) (東京都)

1996（平成8）年

支部の動き

北海道支部

- 6.19 講習会「コンクリート標準示方書（平成8年版）制定」講演10題
- 9.26 講習会「トンネル標準示方書（山岳工法編）・同解説」講演10題
- 10.21 講習会「コンクリート標準示方書耐震設計編」講演9題
- 12.20 講習会「連続繊維補強材を用いたコンクリート構造物の設計・施工指針」講演6題
- 「土木の日」行事
- 9.29 見学会（一般市民対象）地下鉄東西線延長琴似地区施工工事現場 他3か所
- 10.26 見学会（小・中・高教諭対象）砂川遊水地（管理棟、排水門、管理橋等） 他1か所
- 11.18～24 「小学生の土木の絵」図画コンクリート展 展示数：76（特別賞・入選）応募数984題
- 11.18 パネルディスカッション「明日をつくるシンポジウム PART V」講演1題
- 11.18 映画会「鳥がよみがえった水辺」

東北支部

- 1.8 海外調査団報告会
- 3.14 技術研究発表会（発表数364題、秋田大学）
- 5.24 「コンクリート標準示方書改訂講習会」4編
- 7.30 支部編集委員会
- 10.25 第3回講演と懇談の会「適正な防災水準に対する社会的合意—その重要性と学会の役割」講演1題
- 10.10～20 海外調査「ヨーロッパ長大橋梁調査団」訪問先：ノルウェー、デンマーク、イギリス、フランス
- 10.31 「コンクリート標準示方書改訂（耐震設計編）講習会」
- 11.13 「トンネル標準示方書改訂講習会」
- 「土木の日」行事
- 8.24～25 「ランドアート'96」
- 10.6 学園参加型 秋田大学鉱山学部開放事業
- 10.18～20 「土木の日フィスティバル'96」
- 11.17 「三春ダム貯水池湛水区域除草奉仕活動」
- 11.18 記念講演会「豊浜トンネル事故に学ぶこと」
- 10.19 福島建設フェア、写真館、市民会議「近代土木遺産を訪ねて」
- 10.20 現場見学会（大館能代空港、アクセス道路、北欧の森公園等）
- 10.23～30 写真展「近代土木遺産を訪ねて」
- 10.27 市民見学会「仙台の水と電気と道」
- 11.19 土木の日フォーラム「いま、土木を考える」、 「東北の未来像」

関東支部

- 1.26 「生態系の保護と社会基盤整備」（講演数3題）
- 3.5 「土木技術に求められる資質と素養-技術士を目指している方々のために-」（第7回）（講演数6題）
- 3.12～13 第23回技術研究発表会（発表372題）7.9～11 映画会「ベイエリアの新しいモニュメント」等
- 7.10 中学校記者取材講習会
- 8.31 コンクリートカーナー大会
- 10.16～18 新技術フェア関東'96 講演2題
- 12.4 講習会「技術者のためのインターネット活用のヒント」
- 12.10 KANTO シビックサークル 「土木における設計と施工—あなたはどうか考える？」
- 「土木の日」行事
- 11.13 「土木の日」開会式
- 10～11 新技術研究所見学会 鹿島研究所他
- 11.23 都営地下鉄12号線環状部工事見学会

中部支部

- 1.28 第2回技術講座「阪神大震災から得た教訓と今後の耐震設計-橋梁構造物-」
- 3.7 研究発表会（発表数368題）4.16 講演会「土木学会中部支部特別講演会」講演1題
- 5.8 講習会「土木学会中部支部第1回講習会」（コンクリート標準示方書制定に伴う講習会）講演8題
- 5.16 講演会「土木学会中部支部第1回講演会」講演2題
- 5.17 見学会「白馬村ジャンプ台、五輪スタジアム建設現場の見学」
- 7.2 見学会・懇親会「土木学会中部支部留学生交歓会」
- 8.29 講習会「土木学会中部支部第2回講習会」（トンネル標準示方書・同解説）講演10題

1996（平成8）年

支部の動き

- 8.30 講習会「土木学会中部支部第2回講習会」（トンネル標準示方書・同解説）講演6題
- 9.6 講習会「土木学会中部支部第3回講習会」（コンクリート標準示方書制定に伴う講習会）講演9題
- 「土木の日」行事
- 11.18 見学会「土木学会中部支部学生見学会」
- 11.19 見学会「市民見学会（岐阜県）」
- 11.20 見学会「市民見学会（富山県）」
- 11.20 「パネル・写真展」市民対象
- 11.23 見学会「市民見学会（名古屋市）」
- 関西支部
- 1.31 新春講演会・会員懇親会
- 2.16 滋賀地方講演会
- 5.15 支部年次学術講演会 講演494件
- 5.20～6.20 学生映画会（土木関連記録映画）
- 5～6 海外派遣報告会 講演5題
- 8.6～7 コンクリート構造の設計・施工の基本に関する研修会 講演12題
- 9.5～6 阪神・淡路大震災調査研究委員会中間報告会 講演35題
- 10.30 新しい競争の時代における建設プロジェクト方法に関する講習会 講演6題
- 11.27 「人と風土に根づいた都市・地域づくり」講習会・研究討論会 講演10題
- 11.6 和歌山地方講演会 講演3題
- 11.15 高専学生対象講演会 講演2題
- 「土木の日」行事
- 8.23 小中高校生対象見学会「大滝ダム・学べる建設ステーション」
- 12.1 市民対象見学会「住んでる町の土木、発見」
- 11.24 地方見学会（京都府）「文化の薫り高い21世紀のモデル都市建設」
- 1.6 土木文化講座・講演会「土木技術が支えた歴史文化」 講演1題
- 1.30 土木文化講座「大規模な環境問題」 講演1題
- 2.20 土木文化講座「都市防災をどうする」 講演1題
- 11.17 「土木の日」関連事業 夢の架け橋・明石海峡大橋体験
- 12.18 第11回 FCC「秀吉と土木 - 神話に思い出せ、中世・秀吉の偉業を振り返り、そして現在の土木を考える -」 講演3題
- 中国支部
- 5.25～26 平成8年度支部研究発表会 講演309題
- 5.9 通常総会特別講演会 講演1題
- 5.25 研究発表会における特別講演会 講演1題
- 6.14 米国カルフォニア大学教授、広島大学教授による講演会 講演2題
- 9.3 講演と懇談の会における講演会 講演2題
- 10.29 山口県、佐波川堤防耐震補強工事見学
- 11.10 明石海峡大橋見学
- 「土木の日」行事
- 10.27 ひろしまミニ土木展
- 10.26～27 ミニ土木展「知ってる？どぼく」（模型・パネル展示、工作コンテスト他）
- 11.3 ミニ土木展「知ってる？どぼく」（洪水シュミレーション、クイズ、工作コンテスト他）
- 11.2～3 ミニ土木展「知ってる？どぼく」（橋の模型展示・工作コンテスト、パネル展示他）
- 11.16～17 くらしと土木展'96「のぞいてみよう土木夢発見」（パネル展示、工作コンテスト他）
- 11.18 '96 シビックデザインセミナー
- 11.19 瀬戸大橋技術者見学会
- 11.18～24 あのまち、このまち「土木の日」
- 四国支部
- 2.6 映画会「土木工事現場の状況紹介（記録映画）」
- 2.27 見学会「香川県東讃地区」
- 6.10 コンクリート標準示方書
- 6.17 高流動コンクリートについて
- 6.27 構造設計の基礎

1996（平成8）年

支部の動き

- 9.13 土木地質の基礎
- 9.20 土の強度の考え方
- 9.26 地盤災害のメカニズムと対策
- 9.30 斜面安定解析法の基礎論理
- 10.15 東欧の最近の土木技術
- 7.31 あんぜん四国検討委員会報告会
- 8.2 講演と見学の会
- 9.26 コンクリート示方書講習会
- 8.30 技術意見検討論会
- 「土木の日」行事
- 11.19 記念講演会 講演2題
- 10.24～12.12 県政バス（土木施設建設現場見学）
- 10.22～11.8 明石海峡大橋他現場見学会
- 10.29～31 暮らしと土木のパネル展
- 2.4～25 小学生土木絵画コンクール
- 11.9～10 科学フェスティバル
- 11.8～30 水力発電所施設見学会他
- 11 中旬 ふれあい土木展

西部支部

- 2.15 技術発表会（講演数6題）
- 3.20 西部支部活動検討委員会の報告会（検討内容報告と意見交換）
- 3.21 西部支部研究発表会（発表数471題）
- 3.21 「日本の文化・長崎の心」
- 5.22 講演会「人間魅力学 - 出来る男になる為に -」講演1題
- 5.31 「コンクリート標準示方書（平成8年版）」制定に伴う講習会
- 10.3 「トンネル標準示方書（山岳工法・シールド工法・開削工法各編）」
- 10.15 見学会「白鳥石油備蓄基地建設工事」
- 10.25 「コンクリート標準示方書耐震設計編」講習会
- 10.27～11.2 第8回土木学会西部支部「海外研修」
- 「土木の日」行事
- （福岡地区）
- 11.18～19 「パネル展示会」（土木のロマン紀行～近代土木遺産を訪ねて～）
- 11.18 「見学会」（西鉄福岡駅再開発事業）
- 11.28 「見学会」（福岡導水山口調節池、福岡油田山牧業）
- （北九州市）
- 11.18～12.13 「学校訪問」（高校生との懇談）
- 11.13～26 「遠賀川についての勉強会」（小学生対象）
- 11.23～24 「土木フェア in 北九州'96」（絵画コンクール、パネル展示、縁日広場他）
- （佐賀地区）
- 11.17 「六角川フェスタ」
- 11.20～24 「土木フェア in SAGA'96」（土木パネル展、土木ふれあい体験他）
- 11.20～24 「バルーンフェスタ」（パネル、模型展示他）
- （大分地区）
- 10.14 西椎屋橋
- 10.30 上尾トンネル
- 11.29 西椎屋橋、上尾トンネル
- 11.9 高速道路ウォーキング、九州電力火力発電所、大在公共埠頭、別大拡幅
- 10.2～11.28 耶馬溪ダム
- 11.15 「映画館」（海峽、レインボーブリッジ）
- 「ロマン The 土木フェスタ'96 in 佐伯」（スライド上映、スペシャルトークライブ、パネルディスカッション、パネル展示）
- 11.18 「土木事業講演会」
- （長崎地区）
- 11.16～18 「土木の日フェスタ・イン・ナガサキ'96」

1996（平成8）年

支部の動き

（熊本地区）

11.19 「親子でふれあう土木バスツアー」

11.11～15 「写真展」（近代土木遺産を訪ねて）

11.14 「土木とくらしのゼミナール ～清正公さんの残した熊本の城と土木遺産～」基調講演 2 題

11.17 「（土木）2 Touch The Doboku フェアール」（公開実験、パネル展示、重機試乗、チャレンジゲーム、スタンプラリー）

（宮崎地区）

※『土木いきいきふれあいマップ』カレンダー配布

※「図書寄贈」

※「各地区別行事」

11.17～23 パネル展、クイズ、見学会、習字コンクール

（日南地区）

11.17～23 ミニ四駆大会、ビンゴ大会、盆栽作成

（串間地区）

11.3 パネル展示、バザー、アートギャラリー

（都城地区）

11.16 トンネル工事見学会

（小林地区）

11.23 パネル展、建設および測量機器展示

（高岡地区）

11.18 河川の環境整備

（西都地区）

11.23 '96 in SAITO、街頭 PR、見学会、クイズ、建設機械展示、距離当てコンテスト

（高鍋地区）

11.23 パネル展、チャリティバザー、ミニ四駆コンテスト

（日向地区）

※パネル展、子供絵画展、ビデオ上映など

（延岡地区）

11.11～18 「土木の日」 in のぼりざるフェスタ、パネル展、見学会

（西臼杵地区）

11.17 見学会、パネル展、建設機械展示、絵画・習字コンクール

（鹿児島地区）

11.16 「'96 土木フェスタ in KAGOSHIMA ～親子で楽しい一日を土木フェスタで～」

「'96 土木フェスタ in KANOYA」

11.2～24 「'96 土木フェスタ in 北薩」

（沖縄地区）

10.18 「やんばるの産業まつり（土木建築展）」

「写真・パネル展」

11.2～3 八重山の産業まつり

11.18～22 パネル・模型展示

11.23～24 宮古の産業まつり

12.9～13 近代土木遺産を訪ねて

11.6 「ダム施工体験会」

11.15 「土木建築部研究発表会」

11.17 「漢那ダム自然体験ツアーおよび写生大会」

「図面・写真コンテスト」

11.18～22 第 5 回 『沖縄の道』写真コンテスト

11.18～24 南風原道路区間図面・写真コンテスト

11.22 「シンポジウム『沖縄の土木技術を世界に発信しよう』」

12.3 「総合シンポジウム『沖縄の振興開発と土木技術』」

土木一般	社会一般
<p>1.6 1995.7の集中豪雨で不通となっていた新潟県小滝～長野県南小谷間 21.7kmの道路が復旧</p> <p>1.11 運輸省・JR 信越本線、北陸新幹線と併行する信越本線・横川～軽井沢間 11.2kmを廃線、バスに切替え</p> <p>2.2 埼玉県、寄居町の玉淀ダム、仮設ゲートの一部破損、338万m³が流出、240万m³は下流の荒川調整池などへ流入</p> <p>2.6 岩手県競馬組合、盛岡市内に日本最大面積 123haの新盛岡競馬場を開場、工費 409億円</p> <p>2.10 北海道余市町～古平町の境、国道 229 号の豊浜トンネル（延長 1.086km）で高さ 70m、幅 50m、暑さ 13mの岩盤 5万tが崩落、路線バス 1台が下敷きとなり、死者 20人、弱体化した岩盤が 45cm厚の覆工を押し潰す。建設・運輸の両省、1万 3500か所（道路 7000、鉄道 4500か所）の全国点検を通達、3.1再発防止のため検討委員会を設置</p> <p>2.15 環境庁、香川県小豆島土庄町の豊島周辺で 50万tの農業廃棄物により海水や海底土からダイオキシンを検出と発表。住民 237人が処理業者を告発し勝訴</p> <p>3.9 建設省、栃木県藤岡町の渡良瀬遊水池第 1 貯水池 80ha でヨシを利用した水質浄化施設に着工、第 2 貯水池 70ha も計画中</p> <p>3.24 東京都、臨海副都心お披露目パーティを開催</p> <p>3.26 道路公団、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）・東京青葉～埼玉鶴ヶ島間 19.8km 開通。都心から半径 40～60km を結ぶ延長 270km の環状道路の一部として初開通。</p> <p>3.26 滋賀県、琵琶湖の水質保全のため環境基本条例、生活排水条例、排水規制改正条例が可決成立</p> <p>3.26 営団地下鉄南北線・駒込～四ツ谷間 7.1km 開通</p> <p>3.28 道路公団、佐賀県鳥栖市～大分市間 135km の大分自動車道のうち玖珠町～湯布院間 21.8km 開通、11.18 大分市内 7.8km が完成し大分自動車道全通</p> <p>3.29 大阪市港区と住吉区を結ぶ併用海底型、延長 1.1km の大阪南港トンネル完成</p> <p>3.29 横浜市、金沢区に横浜ベイサイドマリーナ第 1 期工事完成。1038 隻のボートを海上係留可能な国内最大級施設</p> <p>3.30 東京臨海高速鉄道りんかい線・新木場～東京テレポート間 4.9km 開通。2000 年、新木場～大崎間 12.2km 全通</p> <p>3.一 JR 東海、2002 年度開業を目標に東海道新幹線品川駅着工</p> <p>4.1 運輸省、建設市場の国際化に備え港湾工事で共通仕様書改正</p> <p>4.2 北海道開発局、アイヌ民族が聖地と主張。建設反対の中で日高管内の二風谷ダム（総貯水量 3150 万 t）試験湛水開始</p> <p>4.15 神戸市ポートアイランド、コンテナ船用大水深岸壁、延長 700m、最大水深 15m が完成</p> <p>4.27 千葉県の東葉高速鉄道（第 3 セクター）、東葉勝田台～西船橋間 16.2km 全通、西船橋で営団地下鉄車両線と直通乗入れ</p> <p>4.一 運輸省港湾局、東京港湾内 6 港（東京・横浜・川崎・千葉・横須賀・木更津）を対象とし 2010 年を目標に港内機能を再構築することを提唱</p> <p>4.一 運輸省港湾局、初の技術開発 5 年計画（1996～2000）を公表。建設費の削減、リサイクル材料の実用化、岸壁の耐震化など</p> <p>5.20 埼玉県、川口市新芝川に芝川マリーナ完成。敷地面積 1 万 2000 m²、105 隻のボート係留可能。防災用水路としても活用</p> <p>5.21 建設省、第 2 東名・名神高速道路のトンネル断面縮小と発表、断面 233.1 m²が 191.9 m²に、212.7 m²が 175.2 m²に変更</p>	<p>1.8 北日本に強い冬型気圧配置、大雪で交通機関混乱（～1.11）</p> <p>1.17 阪神・淡路大震災犠牲者追悼会で 6433 人（1.8 確認）に鎮魂の祈り、皇太子夫妻ほか出席者多数。仮設住宅に 9 万人、避難所には 759 人が生活</p> <p>1.31 スリランカのコロンボで爆発テロ事件、死者 120 人、負傷者 1500 人以上</p> <p>2.3 中国雲南省北西部に M7 の地震。全壊家屋 41 万棟、半壊家屋 38 万棟を記録。死者・行方不明者 300 人以上、負傷者 1 万 6000 人</p> <p>2.17 インドネシアのニューギニア島北部、ビアク市沖で M7 の地震、7m の津波。3000 棟以上倒壊し、死者 166 人、負傷者 600 人</p> <p>2.21 四川省の重慶市、北京・上海・天津に次ぐ第 4 の直轄都市にすると発表、合併で 3000 万都市を目指す</p> <p>2.25 イスラエル・エルサレムの市内およびアシュケロン郊外において連続爆破テロ。死傷者 100 人以上</p> <p>3.3 エルサレム、テルアビブで自爆テロ。死者 20 人、負傷者 150 人以上</p> <p>3.5 北海道駒ヶ岳で小規模の噴火 1942 年以来 54 年ぶり</p> <p>3.9 和歌山県、南紀白浜空港開港、滑走路 1800m</p> <p>3.11 1950 年代後半から 30 年間各地のトンネル工事現場で働きじん肺となった高知県仁淀村のじん肺患者 9 人、企業側 23 社が 1 億 5200 万円の支払いで和解成立。以後、徳島・高知・愛媛の四国じん肺訴訟すべてで和解成立</p> <p>3.12 茨城県北茨城市の旧常磐炭鉱、じん肺病患者 92 人に対し企業側が 3 億 5424 万円の支払いで和解成立</p> <p>3.18 青森市、約 4300 年前の三内丸山遺跡を公園化、長さ 32m、幅 9.8m、高さ 7.5m の建物を復元。高さ 14.7m のクリ材を用いた堀立式櫓を復元</p> <p>3.26 第 6 回ラムサール条約締結国会議で新潟市と巻町の佐潟、徳島県吉野川河口、千葉県習志野市の谷津干潟が渡り島を守る保護区に指定</p> <p>3.28 エクアドルの山岳地帯に M5.2 の地震。家屋 1000 戸倒壊、死者 23 人、負傷者 500 人</p> <p>3.30 JR 東日本、在来線を拡幅する新幹線こまち工事のため大曲～盛岡間の田沢湖線を全面運転中止</p> <p>4.25 環境庁、緑の国勢調査の結果、約 7 万 2700ha の自然林が開発などで草地、人工林に変わっていると発表</p> <p>5.10 大阪府、東大阪市に府立図書館開館。床面積 3 万 7700 m²、蔵書数 130 万冊（最大 350 万冊）は自治体図書館として最大級。</p> <p>5.10 インド東部ホラサン州で M7.1 の地震、死者 1560 人、負傷者 2810 人</p> <p>5.12 栃木県、旧足尾銅山周辺の荒廃を救うため植樹による緑化を開始</p> <p>5.13 イランのマシャドとトルクメニスタンのタジャンを結ぶ 300km の鉄道開通式がイランのサクラスで開催。中国からトルコまで一本化</p> <p>5.15 奈良県橿原市の藤原宮跡（694～710）で西京極とみられる道路遺跡、7.26 東京極と見られる東十条大路が出土。平城京や平安京をしのぐ面積であったことを確認</p> <p>5.22 熊本で水俣病損害賠償事件 16 年ぶりに和解成立</p>

土木一般	社会一般
<p>5.24 高知県, 四万十川の自然環境保護と流域振興のため利水ダムの建設制御を明記した四万十川総合プランを公表</p> <p>5.31 自動車の排気ガスによる大気汚染が原因で気管支炎, ぜんそくにかかったとした患者ら 102 人, 国, 東京都, 首都公団, 自動車メーカー7社に汚染物質の排出抑制と総額 20 億 6000 万円の損害賠償を求め提訴</p> <p>5.一 関西電力, 姫路第 1 火力発電所 (LNG) 144 万 kW 完成</p> <p>6.7 東京都, 臨海副都心の事業規模を縮小, 開発の進行を 2015 年に延期. 就業人口を 10 万 6000 人から 7 万人, 定住人口を 6 万 3000 人から 4 万人に縮小</p> <p>6.12 建設省, 土木構造物の生産性向上とコストダウンのため設計ガイドラインをまとめる (1995.3~)</p> <p>6.一 東京電力, 千葉・五井・姉崎・袖ヶ浦・富津の 5 火力発電所間を LNG 導管で連結</p> <p>6.一 電源開発, 信濃川に純揚水式・奥清津第 2 発電所 60 万 kW 完成</p> <p>7.1 JR 東海・鉄道総合技術研究所, 山梨県都留市にリニア実験センターを開設</p> <p>7.18 JR 九州, 宮崎県・日南線田吉~宮崎空港間 1.4km 開通. 日豊本線の宮崎と連絡</p> <p>7.一 建設省, 6 月末から 7 月にかけての集中豪雨と台風 5 号の影響で全国 6861 か所の土木構造物被害総額は 710 億円と発表</p> <p>7.一 建設省, 公共事業の効率的実施についての検討委員会が中間報告を発表, 投資を広くから集中型への転換を指示</p> <p>7.26 建設省, 高度情報通信社会の実現のため情報通信インフラ整備の考え方や取り組み方をまとめ, 30 万 km の光ファイバー網の設置目標を中間報告書として発表. 公共施設管理用の光ファイバー網は現在 8000km, 道路・河川・下水道空間を利用し 2000 年 4 万 km, 2010 年 30 万 km という計画</p> <p>8.8 建設省, 秋田県雄勝町~宮城県鳴子町の国道 108 号鬼首道路 13.7km が開通, 動物保護対策を実施</p> <p>8.9 建設省, 北海道豊浜トンネル岩盤崩落事故 (2.10) をうけて実施した全国緊急点検の結果 3054 ヶ所のうち廃道を含め 546 か所が対策を必要と判定</p> <p>8.20 農水省, 中海干拓の工事再開を見送り</p> <p>8.23 建設省, 1995 年度末時点の下水道普及率は全国平均で 54% (1994 年度 51%) と発表. 第 8 次下水道整備 5 年計画 (1996 ~1999) までに普及率を 66% に高める予定</p> <p>8.一 建設・運輸・農水の 3 省, 公共事業の実施に関する 3 省連絡会議を設け 13 項目で連携</p> <p>8.一 中部電力, 知多火力発電所 (LNG・原重油) 396.6 万 kW 完成</p> <p>8.一 中国電力, 鳥取県に純揚水式の俣野川発電所 120 万 kW 完成</p> <p>9.18 本四公団, 明石海峡大橋の橋桁閉合式. 1998.4 開通</p> <p>8.28 水資源公団, 木曾川の最上流部に建設を進めていた多目的ロックフィル式の味噌川ダム完成. 堤高 140m, 堤頂高 446.9m, 堤体積 6100 万 m³, 総工事費 1610 億円</p> <p>8.30 建設省・道路公団, 広島呉道路 6.4km 開通により全長 15.9km が開通</p> <p>8.27 阪神・淡路大震災で延長 2km にわたり最大 3m が陥没した淀川西島の堤防復旧工事完了. 120 万 m³ の地盤改良と 6 か所の階段護岸で親水性を高める</p>	<p>6.12 2005 年の万国博覧会, 愛知県瀬戸市で開催決定</p> <p>6.13 福岡空港でガルーダ航空の DC10 型機が離陸に失敗炎上, 死者 3 人, 負傷者 99 人</p> <p>6.27 長野市で 350 万 m³ の土砂崩壊で死者 26 人を出した地附山地すべり災害 (1985.7) で長野県に 5 億 474 万円の支払いを命令</p> <p>6.28 日本原子力発電, 東海原子力発電所 16.6 万 kW を 1998.3 までに廃止と公表</p> <p>6.15 霧の対馬海峡で貨物船同士が衝突. 1 隻沈没, 行方不明者 26 人</p> <p>6.25 サウジアラビア東部のダーラン近郊にある米国空軍基地で爆破テロ. 死者 19 人, 負傷者 359 人</p> <p>7.4 スリランカ・コロンボ北部ジャナフで自爆テロ, 死者 21 人, 負傷者 50 人</p> <p>7.8 建設・運輸・通産・郵政・警察の 5 省庁, 高度道路交通システム (ITS) を積極的に推進するため機能, 今後 20 年間の開発目標など全計画を発表. 道路の情報化にはインフラの整備を積極化し, 国際的な開発を行うことの重要性を指摘</p> <p>7.15 茨城県下館市で風速 50~60m の竜巻発生. 家屋倒壊 200 棟</p> <p>7.17 ニューヨーク発パリ行き米国トランスワールド航空のボーイング 747 ジャンボ機がケネディ国際空港離陸後 30 分で大西洋に墜落. 死者 228 人</p> <p>7.19 米国アトランタで第 26 回夏季オリンピック大会 (~8.4) 日本・金 3, 銀 6, 銅 5 を獲得. 27 日, 市内中心でテロによる爆発事故, 死者 1 人, 負傷者 110 人</p> <p>7.17 台風 6 号が九州を縦断, 関東から西日本一帯で大雨. 住宅被害 2400 棟, 浸水家屋 900 棟, 道路破壊 600 か所, 農林水産被害 787 億円 (~7.21)</p> <p>8.11 宮城県北部と秋田県南部で M5.9 の地震, 宮城県栗駒町で震度 5 を記録, 鳴子町鬼首地区で道路陥没や民家崩壊 250 棟など</p> <p>8.23 ラムサール条約締結国会議で新潟の佐潟が登録湿地に決定</p> <p>8.26 秋雨前線で東北から九州まで豪雨, 浸水家屋 1360 戸, 崖崩れ 160 か所 (~8.31)</p> <p>9.1 北京~九竜間, 2381km・202 駅の京九鉄道が深圳まで開通, 北京西駅が開場 (1997.7 以降は香港に乗り入れ)</p> <p>9.1 環境管理・監査の国際規格 ISO14000 シリーズが発効</p> <p>9.20 台風 17 号により関東~北日本で暴風と大雨. 住宅被害 900 棟, 浸水家屋 8600 棟, 道路破壊 600 か所, 堤防決壊 300 か所, 船舶被害 60 隻, 死者・行方不明者 11 人, 農林水産被害 176 億円 (~9.23)</p> <p>9.27 台風 21 号により南西諸島南部で農水産物被害 1 億円 (~10.1)</p> <p>10.1 気象庁, 震度 0~7 の震度段階のうち震度 5 と 6 をそれぞれ強・弱に 2 分割し, 合計 10 段階とすることを公表</p> <p>10.2 運輸省, 宮崎港に 5 万トン級接岸可能な国際観光船埠頭を完成</p> <p>10.4 東京新宿駅南口に複合商業施設タカシマヤ・タイムズスクエアが開場. 14 階建ての本館と別館. 総床面積は 17 万 5000 m², 新宿南口が様相を一変</p> <p>11.3 欧州海岸考古学研究所, アレキサンドリア沖で 2000 年前の女王クレオパトラの王宮を含むエジプト・プトレマイオス朝の王宮跡を発見</p>

1996（平成8）年

土木一般	社会一般
<p>8.31 北九州港に貯蔵船方式の白島石油備蓄基地完成</p> <p>9.30 阪神高速神戸西宮線の深江～武庫川間 9.3km が1年8か月ぶりに復旧。月見山～武庫川間 27.7km が全通。東灘高架区間が 625m にわたり倒壊、首都高速など1本足橋脚の補強を促進。総工費は 2200 億円</p> <p>9.30 大阪港広域臨海環境整備センター、六甲アイランド沖に 88ha、1500 万 m³ の廃棄物処分場の計画を発表</p> <p>10.4 農水省、岩手県の北上川水系滝名川の山王海アースダム（1952.5）をロックフィル式に改装するため、堤高を 20m かさ上げ 61.5m の定礎式。完成 2001 年</p> <p>10.17 道路公団、磐越自動車道・会津坂下 IC～西会津 IC 間 11.4km 開通。延長 167.6km となり福島側すべて完成</p> <p>10.- 神岡鉄道（第3セクター）・猪谷～奥飛弾温泉口間 19.9km 全通</p> <p>10.- 東海北陸自動車道・飛騨トンネル 10.7km 着工（恵那山トンネルに続く第2位）</p> <p>11.1 建設省、道路橋示方書の耐震設計編を改訂</p> <p>12.17 北海道開発局、2.10 崩落した豊浜トンネルを迂回する新豊浜トンネルを着工、完成は 2000 年度</p> <p>12.6 長野県小谷村の蒲原沢で土石流発生。1995.7 の集中豪雨で大量の土砂が流入、砂防など復旧工事に当たっていた作業員 14 人が行方不明。労働省、危険予想箇所の立入り検査を実施。1997.1.27、1220 現場中 114 現場に改善命令</p> <p>12.13 運輸省、第7次空港整備5か年計画、第9次港湾整備5か年計画（それぞれ 1996～2000）を決定</p> <p>12.13 山梨県大月市の東京電力葛野川発電所ダム工事現場で土砂が崩落。死者 2 人</p> <p>12.27 国土開発幹線自動車道審議会、全長 1 万 1520km の高速道路のうち 77% の整備計画区間を見直し、一部は昇格見送り</p> <p>12.- 文化庁、歴史的文化財登録制度第 1 回登録物件を決定。建築物・土木構造物・工作物を合わせ 119 件、土木構造物は旧舟木橋（三重県 1905）、旧国鉄佐賀線筑後川橋梁（福岡～佐賀 1935）、明治岡本井路（大分県 1921）、若宮井路笹無田石アーチ橋（大分県 1917）、今後年 1 回登録制度を実施、文化財指定により制限が緩やかで建造物を活用しながら保存可能</p> <p>12.- 北海道開発局、帯広市～音更町間の十勝川に PC 斜張橋の十勝大橋。24.1+251+24.1（m）</p> <p>12.- 沖縄開発庁、那覇空港自動車道に RC21 支間、支間長 39m の南風原高架橋</p> <p>〔その他〕 ・全米ネットワーク自動車網インターステートハイウェイ 7 万 4000km 全通</p>	<p>11.12 インド・ニューデリー南西上空でサウジアラビア航空のボーイング 747 とカザフスタン航空のイリュージン 76 貨物機が衝突、両機の死者 350 人</p> <p>11.23 エチオピア航空のボーイング 767 機がアジス・アベバで離陸後に乗っ取られ、インド洋コモロ沿岸の海上に墜落、死者 126 人</p> <p>11.25 東急世田谷線、三軒茶屋駅に隣接し 26 階建てのキャロットタワー完成</p> <p>12.1 東京都、23 区内の事業系ゴミを全面有料化、119 億円の収入と 14 万 t のゴミ減量を予定</p> <p>12.3 パリ地下鉄のポールロワイヤル駅でテロにより電車に仕掛けられた爆弾が爆発。死者 2 人、重軽傷 93 人</p> <p>12.6 世界遺産委員会で広島原爆ドームと厳島神社が世界遺産に登録。原爆ドームに対し中国は態度保留、米国は黙認</p> <p>12.6 長野県小谷村で降雨と雪解け水で自衛隊も出動した大規模な土石流が発生。死者・行方不明者 14 人</p> <p>12.25 川崎市内の排気ガスと工場の排煙による大気汚染で健康被害を受けた川崎市内の公害病認定患者と遺族 401 人が、国・首都公団・東京電力・NKK など 14 企業・団体に汚染物質の差止め、損害賠償を求めた川崎公害訴訟（第 1～第 4）で原告住民側への謝罪と総額 30 億 9000 万円の支払い、公害対策を取ることで和解が成立</p> <p>12.26 岡山県倉敷市の水島コンビナート付近に住む公害病認定患者 183 人が川崎製鉄など企業 8 社に対し、損害賠償と大気汚染物質の排出差止めを求めた倉敷公害訴訟で、企業側が総額 13 億 9000 万円の支払いと公害防止に協力することで和解が成立</p>

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>1.24 全国大会参加費の改正, 2000 円から 3000 円の値上げに承認</p> <p>1.24 日本学術会議第 17 期会員候補者の推薦, 災害工学研究連絡委員会では, 岡村甫 (東京大学), 榎木 亨 (大阪産業大学), 丹保 憲仁 (北海道大学), 松尾 稔 (名古屋大学), 基礎工学研究連絡委員会では, 尾坂 芳夫 (東北学院大学), 楠田 哲也 (九州大学)</p> <p>1.24 土木学会学術文化募金からの助成 【特別型】国際委員会: 100 万円 【特別型】専務理事: 200 万円 【指定型】水理委員会: 80 万円</p> <p>1.24 フィリピン土木学会 (P I C E) との協力協定承認</p> <p>3.21 「情報化検討特別委員会 (仮称)」 「土木構造物の耐震設計法特別委員会 (仮称) について設置期間を 2 年間とすることで承認</p> <p>3.21 経理規定及び役員候補者選考委員会内規の一部改正</p> <p>3.21 就業規則の新設 (介護休暇制度)</p> <p>4.25 土木学会学術文化事業規定の改正</p> <p>4.25 社会資本問題研究委員会の解消</p> <p>5.09 土木学会規則の一部改正</p> <p>6.24 土木学会学術文化事業寄付受入承認 指定型 2 件 (計 8 6 9 万円)</p> <p>9.26 土木学会学術文化事業への寄付金の受け入れについて承認 指定型 1 件 13,200,000 円</p> <p>9.26 「定款改正委員会」を設置することを承認</p> <p>9.26 機構創設検討委員会の設置承認</p> <p>9.26 土木学会委員会規程の一部改正について承認</p> <p>11.27 フェロワーの認定及び「土木学会フェロワー制度に関する規定」の改定を承認</p>	<p>1.24 「土木博物館基本計画策定」の受託承認</p> <p>1.24 蒲原沢土石流災害調査特別委員会の設置</p> <p>1.ー プレライニング設計法検討部会の設置承認</p> <p>3.21 「大規模地下空洞掘削挙動解析手法に関する研究」の受託承認</p> <p>3.21 「シブレットワークに関する研究」の受託承認</p> <p>3.ー 限界状態設計法検討部会の設置承認</p> <p>4.25 「四国地方の地震防災に関する研究」の受託承認</p> <p>5.09 「四国における社会資本整備の進め方に関する調査研究」の受託承認</p> <p>6.24 「高レベル廃棄物処分における処分技術の体系化に関する研究」の受託承認</p> <p>6.24 「LNG 地下式貯槽耐震性能照査手法の適用性評価に関する研究」の受託承認</p> <p>6.24 「建設施工現場における安全管理技術指針策定調査研究」の受託承認</p> <p>6.24 「四国の高速道路の整備効果に関する研究」の受託承認</p> <p>7.25 「「設計・施工技術の一体的活用方式」の公共工事への適用性に関する研究」の受託承認</p> <p>7.25 「シールド工事中標準セグメント」の第 3 回改正内容検討の受託承認</p> <p>7.25 「中国地方における土木の今後のあり方に関する研究」の受託承認</p> <p>7.25 ISO 対応特別委員会 (仮称) の設置承認</p> <p>9.26 「ダム流入土砂の分級過程とそれに対応した効率的除去手法の研究」の受託承認</p> <p>9.26 「リモートセンシングによる河道調査技術の検討」の受託承認</p> <p>9.26 「扇状地河川における氾濫被害に関する研究」の受託承認</p> <p>9.26 「土木建設システムの環境負荷削減の効果とその評価に関する研究」の受託承認</p> <p>9.26 「SFRC を用いた RC 柱部材の設計方法の研究」の受託承認</p> <p>9.26 「建設業国際貢献推進事業に係わる途上国現地交流実施」の受託承認</p> <p>9.26 「流域管理における下水道のあり方に関する調査」の受託承認</p> <p>11.27 「原子力発電所鉄筋コンクリート製地中構造物の耐震性能照査法の高度化研究」の受託承認</p>	<p>1.14~16 「東南アジア土木技術者会議」</p> <p>2.3 「東南アジア土木技術者会議」東京準備会議 (ASCE4 名/PICE6 名/JSCE10 名)</p> <p>2.3 フィリピン土木学会との協力協定締結</p> <p>4.13~18 第 16 回海洋工学及び極地工学に関する国際会議 (共催) (横浜市)</p> <p>4.25 次期会長のカナダ出張</p> <p>5.24 大韓土木学会 金副会長 第 83 回通常総会に來会</p> <p>9.11 大韓土木学会 柳 福暴会長 平成 9 年度全国大会に來会</p> <p>10.6~8 「ASCE 全国大会」に宮崎会長, 三好専務理事, 石井理事, 富永, 花村, 日下部の各国際委員会委員を派遣 (アメリカ・ミネアポリス)</p> <p>10.9 「第 1 回 アジア土木技術国際会議」実行委員会に石井理事, 三好専務理事, 富永, 日下部の各国際委員会委員を派遣 (アメリカ・ミネアポリス)</p> <p>10.16~18 KSCE 大会 会長, 専務理事他, 挨拶</p> <p>12.12 大韓土木学会建設マネジメント委員会委員 李 泰植, 來会講演</p>

1997（平成9）年

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
	11.27 「アジア地域における人間活動、環境変化、社会・経済事象に関する調査研究」の受託を承認 11.27「海岸工学英文論文集（CEJ）」の海外出版社との契約を承認	

1997（平成9）年

行事・集会（本部）

1.10 応用力学「乱流フォーラム」（講演数2題） 1.10 鋼構造の新技术に関する講演会（講演数5題）（東京都） 1.10 第26回定例談話会（課題：地方から見た公共投資） 1.17 地域シンポジウム—21世紀新首都建設への展望—（つくば市） 1.17 第2回地下空間シンポジウム（講演数23題） 1.21～22 第12回環境工学連合講演会（共催）東京都 1.22 フォーラム「大震災の教訓を活かすために」（講演数4題，パネルディスカッション8名） 1.23 土壌・地下水汚染の現状と対策講習会（講演数9題） 1.23～24 阪神・淡路大震災に関する学術講演会（講演数86題） 1.27 環境システム委員会「地域シンポジウム」（21世紀新首都建設への展望） 1.27～29 第46回応用力学連合講演会（共催）東京都 1.30 風に関するシンポジウム（共催）東京都 1.30～31 第28回岩盤力学に関するシンポジウム（論文数11題，自由投稿67題）（東京都） 2.5 応用力学フォーラム（課題：予知技術の最前線） 2.7 第27回定例談話会 2.13 フォーラム「大震災の教訓を活かすために」（講演数4題，パネルディスカッション8名） 2.17 第35回原子力総合シンポジウム（共催）東京都 2.18 第15回施工体験発表会（発表数9題） 3.7 第28回定例談話会 3.13 安全問題研究委員会「安全問題討論会'97」（課題17題） 3.17～19 「環境バイオテクノロジーのための遺伝子操作技術」講習会 3.19 第9回アゲールシンポジウム（中央大学） 3.20 応用力学フォーラム（九州地区）（課題：防災と力学） 3.24 第10回環境システムシンポジウム—廃棄物を切り口とした環境システム—（東京都） 3.26 岩盤力学研究発表会（課題4題） 4.3～4 第43回構造工学シンポジウム（講演175題）（東京都） 4.10 第29回「定例懇話会」 4.18 「第7回新しい材料・工法・機械講習会（講演数6題）（東京都） 5.1 「コンクリートの寸法効果と引っ張り軟化曲線」講演会（講演7題） 5.8 第30回「定例懇話会」（課題 公共投資のあり方を考える—東京の自治体から見た公共事業） 5.14～15 第1回鋼製橋脚の非線形数値解析と耐震設計への応用に関するシンポジウム（講演数51題） 5.15 「第15回建設用ロボットに関する技術講習会（講演数6題）（東京都） 5.16 「工学教育」連合講演会 5.20 構造工学委員会講演会（講演数2題） 5.21 大規模地下空洞の情報化施工講習会（講演数8題） 5.23 自己充填コンクリートセミナー（東京都） 6.5 講習会「橋脚の耐震補強の現状と今後の動向」（講演数9題） 6.6 第33回「定例講演会」（課題 公共投資のあり方を考える—経済学から見た公共投資） 6.6 応用力学フォーラム（第7回乱流フォーラム）（講演数2題） 6.6 「原子力発電所の立地多様化技術」講習会（講演数8題） 6.10～11 第3回河川の水理と河川環境に関するシンポジウム（講演数38題） 6.12～13 第17回土木史研究発表会（講演数63題） 6.20 海洋環境講演会 6.25～27 第22回海洋開発シンポジウム（講演数158題） 6.27 土木計画学ワンデイセミナー シリーズ9 「土木計画とパブリックインボルブメント」（講演数8題）
--

1997（平成9）年

行事・集会（本部）

- 7.2 土木計画学ワンデイセミナー シリーズ 10 「総合ターミナルとしての駅の整備計画」（講演数 7 題）
- 7.3 第 5 回地球環境シンポジウム（講演数 40 題）
- 7.3 一般公開シンポジウム（土木学会地球環境委員会）（講演数 5 題）
- 7.3～4 第 27 回 安全工学シンポジウム（共催）（東京都）
- 7.3～4 混相流シンポジウム'97（共催）（北海道）
- 7.4 第 32 回「定例懇話会」（課題 公共投資のあり方—社会資本の整備を見直す視点）
- 7.9 「コンクリート構造の耐震設計」に関する講習会（講演数 8 題）（東京都）
- 7.15～16 第 6 回建設ロボットシンポジウム（共催）
- 7.17～18 「第 2 回水シンポジウム」（講演数 27 題）（神戸市）
- 7.20 なぎさ観察会（葉山海岸）を開催
- 7.22 土木計画学ワンデイセミナー シリーズ 11 「地域公共交通に明日はあるのか?—市場・計画・技術の新しいフレームを求めて—」（講演数 11 題）
- 7.24～26 第 33 回水工学に関する夏期研修会
- 7.24～26 「第 24 回地震工学研究発表会」（講演数 360 題）
- 7.28～30 サマースクールの実施（中学生対象東京大学）
- 7.28～30 鉄道技術連合シンポジウム J-RAIL'97（共催）
- 7.30～31 第 1 回耐震補強・補強技術、耐震診断に関するシンポジウム（講演数 31 題）
- 8.1 構成モデル小委員会報告会（東京都）を実施
- 8.4～5 第 5 回水資源に関するシンポジウム（共催）（特別講演 2 題，基調講演 6 題，一般講演 126 題）
- 8.8～28 産業技術歴史展テクノフェスタ 21
- 8.21～22 第 31 回夏期講習会・見学会
- 8.22 「土木建設業における環境管理と環境負荷評価」—ISO 14000S 導入に向けて—講習会
- 8.29 第 11 回最新施工技術講演会（講演数 9 題）（東京都）
- 9.4～5 第 32 回土木計画学シンポジウム「阪神・淡路大震災に学ぶ — 土木計画学からのアプローチ —」（特別講演 1 題，基調講演 1 題，一般講演 103 題）
- 9.5 第 33 回「定例懇話会」（課題 公共投資のあり方を考える—大競争時代における国土づくり）
- 9.10～12 第 52 回年次学術講演会（講演 3518 題）
- 10.1 応用力学フォーラム（第 8 回乱流フォーラム）（講演数 2 題）
- 10.3 見学会「滝里発電所 TBM 工事（北海道電力）」実施
- 10.3 第 34 回「定例懇話会」（課題 公共投資のあり方を考える—欧州の評価システム）
- 10.17 応用力学フォーラム（北海道地区）（課題 2 題）
- 10.22 レベル 2 地震動と設計地震荷重の課題 —地震荷重研究小委員会の活動報告—
- 10.22～23 第 25 回環境システム環境論文発表会（講演数 41 題 アブストラクト 56 件）
- 10.27 コンクリートのクリープ収縮に関するワークショップ（講演数 5 題）（東京都）
- 10.27 第 4 回 界面シンポジウム（共催）
- 10.28～29 第 22 回土木情報システムシンポジウム（講演数 87 題）
- 10.29 構造工学委員会講演会（講演数 2 題）
- 10.30 複合構造設計施工指針（案）と最新の複合構造の技術に関する講習会（講演数 8 題）
- 10.30～31 橋梁振動コロキウム'97（講演数 34 題）
- 10.30～31 見学会「温井ダム建設工事現場（建設省中国地方建設局）見学と現地委員会
- 10.30～31 キャビテーションに関するシンポジウム（第 9 回）（共催）
- 11.1～3 第 20 回土木計画学研究発表会（講演数 357 題）
- 11.6～7 見学会「温井ダム（中部地方建設局）」実施
- 11.6～7 見学会「温井ダム建設工事現場（建設省中国地方建設局）見学と現地委員会
- 11.6～7 見学会「山王トンネル建設現場」を実施
- 11.10 ESTUARINE ENGINEERING 第 3 回公開フォーラム（講演数 5 題）
- 11.11 レベル 2 地震動と設計地震荷重の課題
- 11.11～13 第 44 回海岸工学講演会（講演数 260 題）
- 11.12 第 35 回「定例懇話会」（課題 公共投資のあり方を考える—テーマ総括）
- 11.13 複合構造設計施工指針（案）と最新の複合構造の技術に関する講習会（講演数 8 題）
- 11.13～14 第 7 回トンネル工学研究発表会（講演数 75 題）
- 11.14 日本工学会 公開講演会（共催）
- 11.14～15 ジョイントシンポジウム（講演数 13 題）
- 11.17 第 33 回土木計画学シンポジウム「レールと共に歩んできた日本の都市，そしてその明日は?!」（講演数 11 題）
- 11.21 コンクリート教育に関するシンポジウム（委員会報告 3 題，一般講演数 14 題）

1997（平成9）年

行事・集会（本部）

- 11.25 原子力土木委員会 新立地部会講演会（講演数1題）
- 11.26～28 第34回環境工学研究フォーラム（講演数43題）
- 12.2 「コンクリート構造物の腐食・防食および補修」に関する講習会（講演数12題）
- 12.9 土木計画ワンデイセミナー シリーズ12「福祉のまちづくりの哲学と設計思想」（講演数6題）
- 12.11 フライアッシュコンクリートシンポジウム（一般講演数18, 報告3題）
- 12.11～12 第5回システム最適化に関する研究発表討論会（講演数43題）
- 12.16 第2回鉄道力学シンポジウム（講演数11題）
- 12.16 RC・PC構造物の設計に関する現状と今後の展望 -RC・PC部会報告会-（講演数15題）
- 12.19 第2回舗装工学講演会（講演数32題）

1997（平成9）年

支部の動き

北海道支部

- 11.18 支部創立60周年記念事業「記念式典」「記念講演会」（岩盤の破壊現象とその予知）
- 12.11 講習会「複合構造設計施工指針（案）と最新の複合構造物の技術」（講演数8題）
- 「土木の日」行事
- 10.25 見学会（小・中・高教諭対象）（樽前山火山砂防施工現場他1ヶ所）
- 10.28 見学会（一般市民対象）（二風谷ダム他1ヶ所）
- 11.18～24 「小学生の土木の絵」図画コンクール展（展示数76点, 応募数879点）
- 11.18 講演会（支部60周年記念事業と併せて開催）
- 11.18 映画会（支部60周年記念事業と併せて開催）

東北支部

- 1.14 支部運営会議
- 3.14 平成8年度技術研究発表会
- 11.10 土木学会東北支部設立60周年記念事業「記念式典」, 「記念講演会」, 「功労者表彰」
- 12.8 コンクリートライブラリー複合構造設計指針（案）講習会
- 「土木の日」行事
- 8.23～24 ランドアート'97
- 9.7 市民見学会（JR仙石線地下化工事, 国際ゆめ交流博覧会-建設ドーム-）
- 10.25～26 土木の日フェスティバル'97
- 10.13 「土木の日講演会」「橋」あれこれ
- 10.21 高速道路の交通安全シンポジウム 記念講演「中島流, 交通安全のすすめ」, 基調講演「高速道路の交通安全」, パネルディスカッション「高速道路における道路交通安全を目指して」
- 11.27 高速利活用シンポジウム「東北ハイウェイ新時代への期待」～地域づくりと高速道路～ 基調講演「高速道路の役割」, パネルディスカッション「東北ハイウェイ時代」

関東支部

- 2.25 講習会 第8回「土木技術者に求められる素質と素養」
- 3.12～13 第24回 技術研究発表会
- 3.12 懇親会
- 3.13 講演会「大谷石採石場跡地の陥没について」講演2題
- 7.8 第1回映画会「来島大橋主塔建設」, 「21世紀の公園をめざして」
- 8.30 第3回土木系学生によるコンクリートカヌー大会
- 10.14～16 新技術フェア関東'97
- 「土木の日」行事
- 10月～12月 第1回見学会（研究所見学会（各企業体と共催））
- 11.20 第2回見学会（山梨リニア実験線, 一般国道140号線雁坂トンネル）

中部支部

- 1.20 技術講座「土木学会中部支部第1回技術講座」講演6題
- 3.7 発表会「土木学会中部支部研究発表会」講演421題
- 5.14 第1回講演会（講演数2題）

1997（平成9）年

支部の動き

- 5.15 見学会「能越自動車道建設事業,千里浜渚ドライブウェイ,金沢西部土地区画整理事業」
- 6.2 留学生交歓会（訪問先：HSST 実験線,名港三大橋 懇親会：KKR 名古屋三の丸）
- 9.1 第1回技術講座「タンカー事故に伴う重油流出事故の教訓と課題」（講演数6題）
- 9.2 第1回特別講演会「北京市の交通問題について」（講演数1題）
- 10.20 第2回技術講座「21世紀の環伊勢湾圏を拓く」ー環伊勢湾圏の大プロジェクトー（講演数6題）
- 12.2 第3回技術講座「土木構造物の耐震・免震技術の現状と将来の展望」（講演数6題）
- 12.4 第2回特別講演会「地すべり津波の実態と発生機構について」（講演数1題）
- 12.16 第2回講演会（講演と懇談の会）
- 12.22 講習会「複合構造設計施工指針（案）と最新の複合構造の技術」
- 「土木の日」行事
- 11.18 「パネル写真展」
- 11.22 市民見学会（コース1:オリンピックを迎える舞台を見よう,コース2:山から海までの公共施設を求めて,コース3:愛知万博・文化の地・21世紀の地を訪ねて）
- 11.22 地震を体験してみよう

関西支部

- 1.17 新春講演会 講演4題
- 3.4 会員対象見学会 講演1題
- 5.24 支部年次学術講演会（発表数531題）
- 5.19～6.19 学生映画会（土木関連記録映画）（上映数2本）
- 5.21 海外派遣報告会
- 6.21 古代ミュージカル（天日槍）
- 8.29 道路橋の補修・補強に関する講習会（講演数12題）
- 9.20 70周年記念シンポジウム「わが町の防災はこう変わった」
- 9.30 比抵抗高密度探査に基づく地盤評価に関する講習会（講演数10題）
- 10.7. 8 コンクリート構造の設計・施工の基本に関する研修会（講演数14題）
- 11.19 高専学生対象講演会（講演数2題）
- 「土木の日」行事
- 8.22 小中高生対象見学会「いろいろな橋を訪ね,土木の世界をのぞいてみよう！」
- 10.26 地方見学会（福井県）「美しいたくましい福井」を目指す土木事業ウォッチング！（小和清水トンネル建設工事,勝山橋架替工事,九頭竜川鳴鹿大堰建設,福井駅立体交差事業）
- 11.8 市民対象見学会「我が町の土木発見」
- 11.15 土木の日開始式「忘れないであの時のこと」～震災の体験を通じて学ぶ生活と土木～（講演数1題）
- 12.14 土木の日特別行事「見つけよう歴史の足跡」～歴史に見る生活の中の土木～土木遺産調査隊コンテスト～（講演32題）

中国支部

- 1.27 環境と耐震に関する新技術講演会 講演2題
- 5.31～6.1 平成9年度支部研究発表会（講演数370題）
- 5.31 研究発表会における特別講演会（講演数1題）
- 8.7 現地見学会
- 8.9 親子見学会
- 10.11 一般向け講習会「環境保全とクリーンエネルギー開発への取り組み」
- 10.14 工事見学会
- 12.10 土木フォーラム「21世紀の橋梁技術の課題」
- 「土木の日」行事
- 10.1～11.28 土木ふれあい見学会他
- 10.23～25 みる・きく・ふれる建設技術フェア
- 10.25～26 子供ミニ土木博（福山大学）
- 11.2～3 よりよい生活環境を創造する「どぼく」
- 11.2 のぞいてみよう土木夢発見
- 11.2 子供ミニ土木博（広島大学）
- 11.8 土木と触れ合おう（安芸灘大橋親子見学）
- 11.9 子供ミニ土木博（広島工業大学）

1997（平成9）年

支部の動き

四国支部

- 1.20 講演と懇談の会
- 1.22 工事見学会
- 5.24 第3回技術研究発表会（一般発表190題,フォーラム2件）
- 6.2 第1回技術報告会「名橋の誕生と維持管理－三好川・穴吹橋・吉野川橋架橋から70年－」
- 6.12 大型ブロック積み擁壁の設計法と開発の現状
- 6.26 土のせん断特性と強度定数
- 7.8 土圧と地盤の変形
- 7.11 第2回技術報告会「公共土木デザインにおけるコラボレーション－水辺の環境デザインから－」
- 8.8 四国の地震防災に関するシンポジウム
- 8.22 四国の地震防災に関するシンポジウム「四国の地震と活断層」,「四国に被害をもたらした地震・津波」,「地震動予測と橋梁の被害」,「四国の都市域の液状化被害予測」,「四国の地震防災計画の概要」
- 8.24 第1回一般市民対象講演会「淡路のまちづくりを考えるシンポジウム－震災・復興・そして未来－」
- 8.29 技術交流会
- 9.19 河川水理学
- 9.26 河川の機能－治水,利水,環境－
- 10.24 工事見学会
- 10.28 学術講演会「愛媛県の砂防事業について」,「松山市役所前地下駐車場の整備について」,「JH 日本道路公団の事業概要ならびに最近の技術的話題について」
- 11.5 構造力学の基礎
- 11.8 最新の土木技術に関するセミナー「人工衛星による地球環境観測,橋梁の歴史と最新技術」
- 11.12 水理学・河川工学の基礎
- 11.19 土木材料学の基礎
- 11.26 土質力学の基礎
- 11.29 第3回技術報告会「橋湾発電所建設現場見学と講演会」
- 12.3 都市・交通計画の基礎
- 12.10 衛生工学の基礎
- 6月,7月,9月,11月 土木設計のための基礎理論講習会

西部支部

- 1.20 「連続繊維補強材を用いたコンクリート構造物の設計・施工指針（安）」
- 2.14 技術発表会 講演6題
- 3.21 研究発表会 講演521題
- 3.21 講演会「南半球から見た逆さまな日本」講演1題
- 5.13 特別講演会（講演数1題）
- 7.30 講演と懇談の会（講演数2題）
- 8.7 現場見学会（香椎パークポート,アイランドシティ）
- 10.7 現場見学会（玄海原子力発電所他）
- 10.23～31 第9回土木学会西部支部「海外研修」
- 11.18 現場見学会（鳴淵ダム,猪野ダム）
- 11.27 複合設計施工指針（案）と最新の複合構造の技術
- 12.12 「コンクリート構造物の品質保証」講習会

●「土木の日」行事

福岡地区

- 11.23 親子で博多湾クルージング（博多湾1周（香椎パークポート,海の中道,百道地区他））
- 11.18～19 パネル展（全国および福岡地区の土木プロジェクトの紹介）

北九州地区

- 11.18 土木に関する勉強会（小学生）
- 11.23 土木フェア in 北九州'97（建設機械展示,パネル展,土木に関するゲーム）

佐賀地区

- 10.25 低平地防災市民フォーラム（佐賀・低平地の災害と防災を考える）
- 11.15～24 土木フェア in SAGA タッチ・ザ・土木館（ふれてごらん土木のパワーと優しさに...）
- 11.15 バルーンフェスタ（熱気球世界選手権）

1997（平成9）年

支部の動き

長崎地区
11.15～16 浜町パネル展（出島資料展示,パネル・模型展示,ビデオ放映,NBC ラジオ実況中継）
11.15 長崎港クルージング（観光船「ぐらばあ」に乗って,女神大橋建設現場を含む長崎港内のクルージング）
11.16 長崎県内土木見学会（・県内各地の土木現場を見学 ・長崎港では,外輪船「ワーベン・ファン・フォーレン」でのクルージング）
熊本地区
*小学生による土木の絵コンクール
11.13 親子でふれあう土木バスツアー（Aコース：のぞいてみよう熊本の土木とくらし Bコース：熊本県の土木遺構めぐり）
11.13 土木とくらしのゼミナール（熊本の災害と防災－災害対策の在り方を問う－）（基調講演2題,パネルディスカッション）
11.15（土・木）2 Touch the DOBOKU フェア（・熊本の災害と防災－その時あなたは－ ・災害と防災に関するテーマ別展示 ・重機試乗,重機との綱引き,パフォーマンス）
大分地区
10.9 道路工事現場研修（R10号波津久橋,犬飼バイパス）
10.31 道路工事現場研修（R10号波津久橋,犬飼バイパス,桑の原トンネル）
11.1～2 土木施設の重要性や建設省事業のPR（第5回九州かつぱサミット関連行事）
11.9 山国川憩いの川めぐり
11.12 ダム・堰見学会
11.15 土木映画会「黒部の太陽」上映
11.16 女性（親子）と土木のふれあい見学会（米良IC～スポーツ公園～九州電力大分発電所～新日鐵大分製鉄所～田ノ浦海岸）
11.18 河川工事と自然環境の学習会
11.26 公共事業見学会（大野川防災ステーション,宮河内IC）
宮崎地区
11.17～22 パネル展（災害写真と復旧施工写真を展示）
11.18 街頭PR,テレビとラジオによる広報
11.22 現場見学会（建設機械展示と土木に関するクイズ）
日南地区
9.24 絵画の募集（小学校,中学校児童を対象とした絵画を募集）
11.1～30 土木工事写真パネル展（土木工事の流れを紹介する写真パネル展）
11.16 土木ふれあい祭り（募集した絵画の表彰並びに展示,バザービンゴ大会,盆栽作成）
串間地区
11.2 パネル展,バザー,アートギャラリー（土木の日パネル展示（災害危険箇所,災害状況写真）,バザー,ミニ盆栽等）
都城地区
11.8 現場見学会（ウェルネス浄化センター）
11.4～12.2 パネル写真展（・道路工事や河川工事等で使用する建設機械の紹介をする ・建設機械のいろいろ）
小林地区
11.23 「土木の日」イベント（管内土木施設パネル展,建設および測量機器展示,盆栽教室）
高岡地区
11.8 建設機械展示,パネル展示（建設機械の展示及び実演,構造物および災害状況写真の展示等）
西都地区
11.18 街頭PR（PRパンフ,花の苗配布）
11.22 土木の日'97 in SAITO（パネル展,スポーツ少年団対抗ドッジボール大会）
高鍋地区
11.17～20 街頭PR（花の種やリーフパンフレットを配布）
11.22 ふれあい土木広場（パネル展示,チャリティーバザー,建設機械展示試乗会等）
日向地区
11.18 土木の日イベント（日向地区全体の合同セレモニーを開催し,ダンプカーによる街頭パレードを行う.リーフレット,ふれあいマップを配布したPR活動.寿屋前,ホームワイド前）
延岡地区
10.25～26 「土木の日」 in のぼりざるフェスタ（PR活動,北五ヶ瀬川河川敷）
11.12～18 パネル展（市役所ロビーでのパネル展示,延岡工業高校他）
11.9 土木施設見学会（延岡工業高校教師,生徒による土木施設見学）
西臼杵地区
11.16 土木の日フェスティバル（現場見学会,パネル展,子供絵画,習字展等）

1997（平成9）年

支部の動き

<p>鹿児島地区</p> <p>10.30 現場見学会（工業系高校生,一般）</p> <p>11.18～23 パネル展示</p> <p>11.21 現場見学会（工業系高校生,一般）南九州西回り自走車道・鹿児島港新港区橋梁工事現場見学</p> <p>11.26 記念講演会「雲仙災害の教訓と公共事業のあり方」,「薩摩義士と土木の心」</p> <p>11.30 '97 土木フェスタ in Kagoshima（建設機械展示コーナー,出展団体テントコーナー,ステージイベント,各種アトラクション）</p> <p>11.30 現場見学会（工業系高校生,一般）南九州西回り自走車道工事現場・川内原子力発電所見学</p> <p>11.30 行事開催記録誌の発行</p> <p>大隈地区</p> <p>11.18 '97 土木フェスタ in Kanoya（展示,ゲーム,アトラクション）</p> <p>沖縄地区</p> <p>10.17～19 やんばるの産業まつり（土木建築展）（官公庁コーナーにパネルを出展し,ダム事業・水資源開発,道路行政事業および公園整備事業に関する PR 活動を実施）</p> <p>10.31 ダム建設を知る小学生の集い（ダム模型作り,赤土土砂沈降実験,自然観察,現場見学）</p> <p>11.17～21 パネル展（土木に関するパネル・模型の PR 展示）</p> <p>11.22 「南風原道路」見学会</p> <p>11.23 建設フェア'97（公共コーナーにおいて,パネル・模型・ビデオの展示等で「土木の日」の PR を実施）</p> <p>12.3 シンポジウム「沖縄の土木技術を世界に発信しよう」 講演「沖縄の石造文化と技術」,「沖縄における建設技術の向上と産業の振興」 パネルディスカッション「沖縄振興における建設技術の役割」</p>
--

1997（平成9）年

土木一般	社会一般
<p>1- 建設省, 1997 年度のダム事業のうち 4 ダム（直轄 2, 補助 2）を中止, 1996 年度までの投入額 56 億円</p> <p>2.13 建設省, 渡良瀬遊水池総合開発事業 2 期工事, 一時凍結を決定</p> <p>2.21 道路公団四国縦貫松山自動車道・川内～伊予間 21.9km 開通, 大洲市～徳島市 223km の同道は 61%が開通(1988.5～)</p> <p>2.3 東京新橋の旧国鉄汐留跡地 3723 億円で落札</p> <p>3.8 関西文化学術研究都市と神戸, 三田方面を結ぶ JR 東西線の京都～尼崎間 12.5km 開通</p> <p>3.15 道路公団, 中国横断自動車道・岡山総社 IC-北房 JCT 間 40.6km 開通, 岡山県内の横断道が全通. 鳥取県, 高知県が瀬戸大橋をへて一本の高速道路で連結</p> <p>3.22 新潟県西部の信越本線・犀潟～上越線・六日町間 59.5km を結ぶ北越急行ほくほく線(第 3 セクター)全通. 越後湯沢で上越新幹線と連絡</p> <p>3.22 在来線を拡幅し秋田新幹線こまち開業. 3 時間 49 分で東京～秋田間 663km を連絡</p> <p>3.27 東京国際空港の新滑走路 3000m 完成. 供用開始</p> <p>3.28 神戸市・運輸省, 阪神・淡路大震災で被災した神戸港 170 公共岸壁の修復工事完了. 事業費 5700 億円</p> <p>4.1 雲仙普賢岳の噴火災害で一部普通となっていた島原鉄道 78.5km が 4 年ぶりに全線開通</p> <p>4.3 宮崎から移転した山梨リニア実験線・都留市～大月市間 18.4km が開通</p> <p>4.4 政府, 公共工事コストを 1997 年度から 3 年間で 10%以上軽減, 6 月には 1998 年度を前年比 7%以上軽減することを決定</p> <p>4.11 厚生省, 1156 施設のゴミ焼却施設の排出基準を公表.72 カ所から基準を越えるダイオキシンを発見</p>	<p>1.2 島根県沖の日本海でロシアのタンカーが沈没. 250km にわたり重油流出, 県内外から 4 万 1000 人が参加し油の除去に協力. 以後日本海沿岸各地に被害</p> <p>1.4 インドの西ベンガル州の地下水ヒ素汚染で 44 万人を超す住民がヒ素で汚染された地下水を使い 20 万人余りが発病</p> <p>1.9 ナイル川の水で砂漠を緑化するニューバレー運河事業計画がアスワンハイダム上流トシュカで起工式</p> <p>1.13 韓国済州島沖で長崎市の漁船とパナマ船籍の貨物船が衝突沈没, 行方不明 10 人</p> <p>2.4 イラン北東部に M6.8 の地震.倒壊家屋 5000 棟, 死者 88 人, 負傷者 2000 人.</p> <p>2.17 三井石炭鉱業三池鉱業所, 3.30 閉山と決定</p> <p>2.24 大阪市など, 大阪市西区に建設中の大阪ドームが開場. 天井高さ 72m, 収容人員 5 万 5000 人は国内最大</p> <p>2.28 イラン北西部で M6.1 の地震. 倒壊家屋 1 万 5000 棟, 死者 965 人, 負傷者 2600 人</p> <p>2.28 パキスタンで M7.3 の地震. シビ市などで死者 60 人以上, 負傷者 200 人</p> <p>3.3 伊豆半島東方沖で群発地震 440 回（～3.10）</p> <p>3.12 名古屋市東区に国内 4 番目の屋根つきスタジアム・ナゴヤドーム開場</p> <p>3.16 愛知県東部で M5.6 の地震. 東海道新幹線の三島～京都間の上下 20 本が運休, 東名高速・静岡～豊田間も一時通行止め.</p> <p>3.26 鹿児島県北西部に M6.2 の地震. 阿久根市, 川内市で震度 5, 落石など重軽傷者 22 人</p> <p>4.1 政府, 消費税を 3%から 5%に引上げ.</p> <p>4.1 高知県, 第 3 セクターの私立高知工科大学を土佐山田町に設立.</p> <p>4, 3 鹿児島県北西部に M5.5 の地震, 崖崩れ 24 カ所, 道路損壊 7 カ所</p>

土木一般	社会一般
<p>4.14 農水省，長崎県諫早湾干拓工事で潮受け堤防 7km のうち開口部 1.2km を締め切り。塔奥は 70 日で洪水化。3000ha の干拓と生物が消滅</p> <p>4.21 道路公団，川崎市～木更津市間 15.1km の東京湾横断道路のうち川崎側のシールドトンネル部分 6.9km 直径 13.9m の貫通式</p> <p>4.29 建設省，品質管理・保証の国際基準 ISO9000 シリーズを直轄土木工事 11 件で新たに導入することを決定</p> <p>5- 香港チェクラブコップ空港暫定開港。ランタオ島の空港と香港島間は 2 層併用道路・鉄道橋で連結。滑走路 3800m</p> <p>5- 韓国の仁川に金浦空港の代替えとしてソウル・メトロポリタン空港開港。滑走路 4000m</p> <p>6.3 京都市営地下鉄丸線・国際会館～竹田間 13.7km 全通。竹田で近鉄京都線と相互乗り入れ。</p> <p>6.9 建設工事が環境に与える影響を事前に調べる環境アセスメント法が成立。従末の 11 対象のほか林道，鉄道，発電所を加える。1983 年に廃案後復活</p> <p>7.1 建設省，栃木・群馬・茨城・埼玉にまたがる渡良瀬遊水池第 3 調整池建設完了。総貯水量 1 億 8000 万 t となる</p> <p>7.2 東京電力，柏崎刈羽原子力発電所 7 号機 35 万 6000kW 完成し全事業完了。総出力 821 万 2000kW は世界最大出力</p> <p>7.10 建設省 8 地方建設局，地域特性を反映したコスト削減の具体策を発表</p> <p>7.15 千葉県，土壤汚染防止の観点から建設残土を規制する残土条例を 1998.1 より施行</p> <p>7.15 道路公団，12 月開通の東京湾横断道路の通行料金 5050 円を当初 5 年間は 4000 円とする方針，本四公団も本四道路 2 ルートを予定より 20%程度値下げの予定</p> <p>7.23 道路公団，秋田自動車道・酒田～北上西間 21.6km 開通，秋田市が東北自動車道と接続。東北 6 県の県庁所在地と東京が高速道路で結ばれる。</p> <p>7.25 九州電力，玄海原子力発電所 4 号機 118 万 kW 完成，出力合計 347 万 8000kW で完了</p> <p>7- 東急目黒線目黒地下鉄駅完成(1992～)，乗入れ工事続行</p> <p>7- 北京西～九竜間 2381km の京九鉄道，香港に乗入れ。</p> <p>7- 電源開発・九州電力，長崎県に海外石炭専用の松浦火力発電所 270 万 kW で完了（九州電力 70 万 kW）</p> <p>8.10 北海道静内町の道道静内中札内線で建設中の 11 号橋の橋桁が落下，死者 1 名，重軽傷 3 人</p> <p>8.25 北海道開発局発注，北海道島牧村の国道 229 号第 2 白糸トンネルの南側抗口付近で崖の岩盤 2 万 m³ が崩れ延長 100m にわたり岩塊・土砂が堆積。28 日，3800m が崩落</p> <p>8.26 建設省，全国 379 のダム事業を総点検，6 カ所を中止，12 カ所を休止することを決定。投資予算は両者で 207 億円</p> <p>8.26 大阪市営地下鉄長堀～鶴見緑地・大正～門真間 15.1km 全通</p> <p>10.1 長野新幹線・高崎～長野間 125.7km 開通，信越本線・横川～軽井沢間廃線。軽井沢～篠ノ井間は第 3 セクターしなの鉄道。</p> <p>10.1 高知県中村市と宿毛市を結ぶ（第 3 セクター）土佐くろしお鉄道宿毛線 23.6km 開通</p> <p>10.1 道路公団，磐越自動車道・西会津～津川間 22.4 km 開通。福島県いわき市～新潟市間 213km 全通</p> <p>10.12 京都市営地下鉄東西線・二条～醍醐間 12.7km 開通。工費は高騰し 4658 億円（1990.1～）醍醐～六地藏間は 2004.4.11 全通。</p> <p>10.16 道路公団，上越自動車道・信州中野～中郷間 38km 全通。全長 203km のうち 90%開通</p>	<p>4.14 動燃事業団，3.11 東海事業所の火災による爆発事故に続き，敦賀の新型転送原子炉ふげんで放射能もれ</p> <p>5.10 イラン東部に M7.3 の地震。断層ずれの幅は 2m で，死者 2400 人，負傷者 6000 人</p> <p>5.13 鹿児島県北西部に M6.2 の地震。住宅 4847 棟に被害，負傷者 43 人。ダム，河川に亀裂，崖崩れなど</p> <p>5.21 大阪市中央区に国内最大級の地下街・クリスタ長堀開場</p> <p>5.26 鹿児島県国分寺市の上野原遺跡から縄文早期最古級の集落跡を発見と発表</p> <p>6.25 山口県北部に M6.1 の地震，島根県益田市で震度 5</p> <p>6.27 長野地裁，1985.7 の長野市地附山地滑り被害で老人ホーム生活者 26 人が死亡した事件で長野県に対し総額 5 億円の支払いを命令。</p> <p>7.1 香港，150 年ぶり英国から中国に対する返還式開催</p> <p>7.3 活発な梅雨前線により北海道～九州で豪雨，浸水家屋 7700 棟，道路損壊 500 カ所，崖崩れ 800 カ所，死者 25 人（～7.19）</p> <p>7.9 ベネズエラの沿岸で M6.9 の地震。クマナ市などで死者 76 人</p> <p>7.10 鹿児島県出水市の針原川で 15 万 m³ の土石流が流出。針原部落 16 世帯 41 人のうち死者 21 人。10.25 まで 45 世帯 125 人が避難生活</p> <p>7.12 JR 西日本など美観論争を呼んだ京都駅ビル竣工。高さ 60m，幅 400m。ホテル・劇場・デパートなどを併設，総工費 1500 億円</p> <p>7.21 宮城県の仙台空港に新ターミナルビル開場</p> <p>7.25 台風 9 号により東北南部より九州で強風と雨。浸水家屋 800 棟，道路損壊 600 カ所，堤防決壊 200 カ所など。（～7.31）</p> <p>7.29 熊本県，41 年ぶりに水俣港の安全を宣言し 21 年ぶり漁場が復活</p> <p>8.6 ソウル発グアム島行きの大韓航空ボーイング 747，グアム島の丘陵に墜落，254 人の乗客のうち 27 人を救出</p> <p>8.20 カラコルム山脈で神奈川ヒマラヤ登山隊が雪崩で遭難，死者 5 人，負傷者 5 人</p> <p>9.5 2004 年夏期オリンピック大会，108 年ぶりにアテネ開催に決定</p> <p>9.12 近畿より九州に台風 19 号豪雨。浸水家屋 1 万 6000 戸，道路損壊 1400 カ所，崖崩れ 400 カ所，堤防決壊 100 カ所。死者 12 人，農林水産被害 403 億円</p> <p>9.26 イタリア中部のアッシジ・ペルージャ付近で M5.5，M5.9 の地震。2 つの地震で倒壊家屋 5000 棟，死者 10 人</p> <p>9.26 インドネシア・スマトラ島北部メダン付近でガルーダ航空 A300 が墜落，死者 234 人</p> <p>10.1 盛岡市，国史跡の志波城(803)の外郭南門と築地塀など城柵の復元工事が完成。政庁跡など全体完成は 2003 年の予定</p> <p>10.1 千葉県，千葉市美浜区に幕張メッセ新館を開場，総展示面積 7 万 2000 m² となる。</p> <p>10.1 福岡市中央区天神の西日本鉄道福岡駅ターミナルビルに福岡三越 3 万 8000 m² 開場</p> <p>10.17 文化財保護審議会，構造物 8 件(1 件は国宝)を重要文化財に指定するよう答申。土木構造物では，旧横浜船渠会社第 2 号ドック（1896，MM 2 1 内），熊本県本渡市の石桁橋・祇園橋(1832)の 2 件。その他，86 件の建造物を登録文化財とするよう答申，土木構造物は 5 件</p> <p>10.28 中国河南省の洛陽付近の黄河の小浪底ダム(高さ 158m，最大幅 1667km)建設のため黄河が初めて堰き止められる。</p>

1997（平成9）年

土木一般	社会一般
<p>10.30 道路公団，東北横断自動車道酒田線・庄内あさひ～酒田間 31.3km 開通。158km のうち庄内あさひ～寒河江間を残すのみ。</p> <p>10.一 運輸省，港湾施設の耐震基準を改正。1998年に港湾設計の技術上の設計の基準の改定を予定</p> <p>11.1 中部電力，三重県に日本最大火力の川越火力発電所(LNG) 480万2000kW完成</p> <p>11.3 道路公団，秋田自動車道・秋田南～男鹿半島間 25.7km 開通。秋田市～岩手県北上市間 133km 全通</p> <p>11.10 道路公団，東海北陸自動車道・郡上八幡～白鳥間 16.6km 開通</p> <p>11.27 熊本県阿浦町と牛深市にまたがる 140ha の国営羊角湾干拓事業，28年ぶりに事実上の中止</p> <p>12.1 河川法の改正に伴い，河川施工法，河川管理施設等構造令が改正，施行。樹林帯の設置，魚道の位置付けなど明確化。</p> <p>12.3 行政改革会議，現在の1府21省を1府12省に再編する案を答申，建設・運輸・国土・北海道開発の省が合併して国土交通省，環境庁が省に昇格。2001年実施</p> <p>12.3 道路公団，旧四国横断自動車道（徳島自動車道）脇町～美馬間 11.5km 開通。延長 95km のうち 52.7km 開通</p> <p>12.5 農水省，公共事業の再評価システムを検討，農林ダム 15カ所，干拓 2カ所を中止，運輸省は 8カ所の地方港湾工事を中止。</p> <p>12.6 建設省・道路公団，中部横断自動車の安房トンネル 4.37km を完成</p> <p>12.10 道路公団，神戸～山口間の山陽自動車道 419km，23年ぶりに全通</p> <p>12.15 建設省，道路公団に対し高速道路 23 区間 14 路線，合計 333km の施工命令，総工費 2兆 4500 億円</p> <p>12.18 東京湾横断道路会社，川崎市～木更津市間 15.1km をトンネル，人工島，連絡橋で結ぶアクアライン開通。延長 9.54km，上下 4 車線の自動車海底トンネルは世界最長。総事業費 1兆 4823 億円。運用は道路公団</p> <p>12.18 熊本県，天草の牛深漁港内に橋長 883m の連続鋼床版橋・牛深ハイヤ橋（設計：R.ピアノ）</p>	<p>11.1 建築家・安藤忠雄，大学の専門教育を受けていない異例の人物として，東大工学部建築学科教授に就任</p> <p>11.3 第 59 回文化勲章に小柴昌俊，宇沢弘文ら 5 人受賞</p> <p>11.8 三峡ダム工事で長江が堰き止められる。</p> <p>11.8 チベット高原で M7.9 の地震，規模は大きいが無人数帯のため被害なし。</p> <p>11.17 エジプト南部のルクソールでイスラム過激派のテロ。日本人観光客を含め死者 10 人</p> <p>12.1 地球温暖化防止京都会議開催，参加 161 カ国の 1 万人が参加，12.11 京都議定書採択</p> <p>12.5 カムチャッカ半島付近で M7.6 の地震</p> <p>12.24 JR 東海リニアモーターカー，都留～大月間の実験走行で世界新記録 550km を達成(無人)</p>

注：「土木一般」「社会一般」は、岡本義喬・为国孝敏が原案を作成して編集した。

1998 (平成 10) 年

会長 岡田 宏 副会長 栢原 英郎, 合田 良實, 土岐 憲三, 橋本 鋼太郎, 道上 正規

会員数 33,218 名

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>1.23 土木学会学術振興基金規程について承認</p> <p>1.23 「アジア土木技術国際会議」に対する寄付金受け入れについて承認</p> <p>3.20 土木学会「学術文化事業特別会計」への寄付金受け入れを承認</p> <p>3.20 定款の改正について文部省との相談を開始することを承認</p> <p>3.20 海外活動委員会の解散を承認</p> <p>3.20 学会規則等改正検討特別委員会の設置を承認</p> <p>3.20 中部支部からの募金に関する依頼について承認</p> <p>4.24 理事会技術推進部門の創設案を承認</p> <p>4.24 企画調整委員会を企画委員会に名称変更することを承認</p> <p>4.24 大学土木教育委員会,安全問題研究会,地震工学委員会の各内規変更を承認</p> <p>4.24 土木図書館フィルムライブラリー「フィルム貸出規程」改正について承認</p> <p>4.24 土木学会学術文化事業の助成について承認</p> <p>5.8 技術推進部門の構成と関連委員会の設置について承認</p> <p>5.8 土木学会倫理規定制定委員会の設置について承認.合わせて委員長を高橋裕東京大学名誉教授に委嘱することを承認</p> <p>5.8 事務局「国際室」設置と関連規程の改正(案)について承認</p> <p>5.8 「JSCE～土木学会改革策～1998年版」報告書を会員への周知のために,学会誌,学会ホームページ等に掲載することを企画運営連絡会議で検討</p> <p>6.26 学術文化事業「水理委員会(水理学英文論文集)」(40万円)および「水理委員会(国際水理会議)」(60万円)への指定型助成金が承認</p> <p>7.31 新規受託研究の承認に際し,技術推進部門に委員会を設置</p> <p>9.25 学会規則等の改正について承認</p> <p>9.25 予算編成の経費節減を図る事項について,前年比マイナス10%シーリングで予算案を作成</p> <p>9.25 学術文化事業の助成「合計金額620万円」の承認</p> <p>11.27 各委員会の内規の改正について承認</p> <p>公益信託大成建設自然・歴史環境基金助成金100万円は,土木学会田辺家文献資料調査委員会へ贈呈することが決定</p>	<p>5.8 「ダムによる河川環境変化の総合的調査研究」の受託承認</p> <p>5.8 「連続繊維シートによるコンクリート構造物の補修・補強設計施工指針案の作成」の受託承認</p> <p>5.8 「社会資本整備の効果策定手法についての研究」の受託承認</p> <p>6.26 「四国における社会資本整備の進め方に関する調査研究」,「四国の高速道路の整備効果に関する研究(その2)」の受託承認</p> <p>7.31 「基準等移転促進事業に係る調査研究」の受託承認</p> <p>9.25 「都市基盤施設の地震防災性向上に関する調査」,「大地震時における構造物等の破壊過程解明のための試験体設計及び解析に関する調査」,「中国地方における土木の今後の在り方に関する研究」の受託承認</p> <p>11.27 「道路交通安全に関する調査研究」の受託承認</p> <p>* 水理公式集改定編集小委員会の設置</p> <p>* シールド工事標準セグメント研究部会の設置</p>	<p>1.14～16 東アジア構造及び施工マネジメントに関する第6回国際会議(共催)(台湾・台北)</p> <p>1.25 「ECCE(ヨーロッパ土木技術者評議会)」との協力協定調印 岡田会長,日下部国際委員会委員</p> <p>2.19～20 第一回アジア土木技術国際会議(JSCE,ASCE,PICE 共同主催)(共催)(フィリピン・マニラ)</p> <p>3.11 スウェーデン ウルリカ・ジャメソン来会</p> <p>3.19 世界四長大橋国際シンポジウム(共催)</p> <p>3.20 土木学会創立80周年記念出版として刊行した「ヨーロッパのインフラストラクチャー」が交通図書賞を受賞</p> <p>3.20 土木学会の災害緊急対応のシステムについて吉田担当理事が「毎日新聞」紙上に紹介</p> <p>7.2 カナダ土木学会 ピエール・ラボジエール教授一行 表敬訪問</p> <p>10.4～6 フィリピン土木学会フィリップ・クルス会長,米国土木学会パトリシア・ギャロウェイ国際担当部長,アジア土木技術国際会議プレミエーティングおよび平成10年度全国大会に來会挨拶</p> <p>10.10～25 スタディーーツアークラント助成により來日した土木技術者の対応(Mr.Jerome.J.Argue 來日)</p> <p>10.18 「ASCE」全国大会,岡田会長,三好専務理事,石井理事,花村,川島,富永の各国際委員会委員,藤野テクニカルセッションプレゼンター</p> <p>10.18～21 アジア土木技術国際会議第1回実行委員会</p> <p>10.20 「アジア土木技術国際会議ミーティング」岡田会長,三好専務理事,石井理事,花村,川島,富永の各国際委員会委員</p> <p>11.1 メキシコ土木学会フランシスコ・ハメイ・ヒメネス会長一行協力協定仮調印</p> <p>11.19 米国土木学会アルフレッド・アング国際担当理事,表敬訪問</p>

1998 (平成 10) 年

行事・集会

- 1.7 水文過程のリモートセンシングとその応用に関するワークショップ (発表論文数 17 編)
- 1.9 応用力学フォーラム (第 9 回乱流フォーラム) (講演数 2 題)
- 1.13~14 第 3 回地下空間利用シンポジウム・見学会 (特別講演数 2 題, 論文発表数 41 題) (東京都)
- 1.20~21 第 13 回 環境工学連合講演会 (共催) (東京都)
- 1.22~23 第 10 回岩の力学国内シンポジウム (共催) (大阪市)
- 1.26~27 第 1 回地震時保有耐力法に基づく橋梁の耐震設計に関するシンポジウム (講演数 80 題)
- 1.27~29 第 47 回応用力学連合講演会 (共催) (東京都)
- 1.28 第 11 回建設コンサルタントシンポジウム
- 1.28 第 36 回「定例談話会」(課題 新技術の創造と新産業の育成)
- 2.6 応用力学フォーラム (北海道地区) (講演数 3 題)
- 2.9 第 36 回原子力総合シンポジウム (共催) (東京都)
- 2.12 第 37 回「定例談話会」(課題 民間資本参加による資本整備の理想と現実)
- 2.10 地下鉄 12 号線放射部の施工技術講習会(講演数 7 題) (東京都)
- 2.24 鋼スラグ細骨材コンクリート新規指針とフェロニッケルスラグ細骨材コンクリートの改正指針に関する講習会
- 3.9 フェロニッケルスラグ細骨材に関する説明会 (宮津市)
- 3.12 応用力学フォーラム in 八戸 (講演数 5 題)
- 3.13 フェロニッケルスラグ細骨材に関する説明会 (宮崎市)
- 3.13 第 38 回「定例談話会」(課題 社会基盤としての GTS)
- 3.20 第 11 回環境システムシンポジウム (テーマ 資源エネルギー環境に関わる システム技術のまちづくり展開) (基調講演 1 題, 講演 5 題)
- 3.23 応用力学フォーラム (九州地区) (話題提供 2 題)
- 3.23 フェロニッケルスラグ細骨材に関する説明会 (八戸市)
- 3.31 土木計画ワンデイセミナー シリーズ 13 「効果的な TDM の定着を目指して」(講演数 6 題)
- 4.1 応用力学フォーラム関西地区 (講演 2 題)
- 4.2~4 第 42 回水理講演会 (講演 197 題)
- 4.3~4 第 44 回構造工学シンポジウム (講演 175 題)
- 4.6 応用力学フォーラム「計算力学の最前線」(特別講演 1 題, 発表 5 件)
- 4.9 第 39 回「定例談話会」(課題 新たな環境影響評価制度)
- 4.23~24 「コンクリート構造物の補強設計に関するシンポジウム」(委員会報告 6 件, 一般講演 20 題)
- 4.24 鋼スラグ細骨材に関する説明会 (共催) (大分市)
- 5.8 鋼スラグ細骨材に関する説明会 (共催) (岡山市)
- 5.9 平成 10 年度「工学教育」連絡講演会 (共催) (東京都)
- 5.15 第 40 回「定例談話会」(課題 これからの海洋空間利用とメガフロート)
- 5.15 構造工学委員会講演会 (講演 2 題)
- 5.22 鋼スラグ細骨材に関する説明会 (共催) (松山市)
- 5.29 鋼スラグ細骨材に関する説明会 (共催) (高松市)
- 6.5 鋼スラグ細骨材に関する説明会 (共催) (いわき市)
- 6.9~10 第 23 回海洋開発シンポジウム (講演 92 題)
- 6.11 第 41 回「定例談話会」
- 6.11~12 第 4 回構造物の衝撃問題に関するシンポジウム (講演 52 題)
- 6.11~12 第 18 回土木史研究発表会 (講演 64 題)
- 6.11~12 第 4 回構造物の衝撃問題に関するシンポジウム (講演 52 題)
- 6.15~16 土木計画ワンデーセミナーシリーズ 15 (応用一般均衡モデルの公共投資評価への摘要)
- 6.18~19 第 4 回河道の水理と河川環境に関するシンポジウム (講演 31 題, ポスターセッション 25 編)
- 6.18 「岩盤上の大型構造物基礎」講習会 (講演 10 題)
- 6.23 生態系・緑化保全対策技術講習会 (講演 7 題)
- 6.24 地盤に係わる維持・補修・管理技術に関するシンポジウム (講演 9 題)
- 7.2~3 第 28 回安全工学シンポジウム (共催) (東京都)
- 7.9~10 第 6 回地球環境シンポジウム (講演 46 題)
- 7.10 第 42 回「定例談話会」(課題 ITS の環状展望)
- 7.14~15 「第 3 回水シンポジウム」(郡山市)
- 7.14~15 第 7 回建設ロボットシンポジウム (共催) (東京都)
- 7.20 第 3 回なぎさ観察会 (葉山海岸)
- 7.23 「高流動コンクリート施工指針等に関する講習会」(東京都, 講演 10 題)
- 7.23~24 混相流シンポジウム' 98 (第 17 回) (共催) (東京都)
- 7.24~26 第 24 回地震工学研究発表会 (神戸市)
- 7.27~29 平成 10 年度サマーセミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門」(セッション数 10 件)
- 7.28~29 構造物の診断に関するシンポジウム (東京都, 講演 54 題)
- 7.28~30 第 34 回水工学に関する夏期研修会 (名古屋市, 講演 18 題)
- 7.31 第 2 回耐震補強・補修技術, 耐震診断に関するシンポジウム (講演 7 題)

1998 (平成 10) 年

行事・集会

- 8.18～19 交通ネットワーク講習会 (講演 11 題)
8.20～21 第 32 回夏期講習会・見学会—地球環境と土木技術— (講演 4 題)
8.23～26 自己充填コンクリートに関する国際ワークショップ (高知県, 講演 34 題)
8.26 応用力学フォーラム (中国・四国地区, 講演 3 題)
8.27 第 1 回鋼構造と橋に関するシンポジウム (東京都, 講演 11 題)
8.31 トンネル耐震設計の方向と基本課題 (講演 12 題)
9.3 「ISO への対応」に関するシンポジウム (講演 7 題)
9.3～4 第 42 回材料研究連合講演会 (共催) (東京都)
9.4 講演会「コンクリート構造物の補強設計—性能照査型設計に向けて—」(大阪府, 講演 11 題)
9.10 建設分野における衛星リモートセンシングデータの実利用に関する講習会 (講演 5 題)
9.11 第 43 回「定例談話会」(課題 新・全総 21 世紀のランドデザイン)
9.11 橋梁の耐震設計法に関する講習会 (講演 9 題)
9.14 講演会「コンクリート構造物の補強設計—性能照査型設計に向けて—」(福岡県, 講演 11 題)
9.21 講演会「コンクリート構造物の補強設計—性能照査型設計に向けて—」(東京都, 講演 11 題)
10.7 第 1 回応用力学シンポジウム (特別講演 1 題, 発表論文 82 編)
10.4～6 第 53 回年次学術講演会 (神戸大学, 講演 4,087 題)
10.9 第 44 回「定例談話会」(課題 建設副産物リサイクルの推進)
10.13 「地域資産としての土木遺産」シンポジウム (講演 8 題)
10.16 シンポジウム「世紀末の都市計画・20 世紀都市計画を検証する」(共催) (東京都)
10.21 「開削トンネルの耐震設計—設計方法と設計例—」講習会 (講演 9 題)
10.22～23 第 26 回環境システム研究論文発表会 (講演 95 題)
10.27～28 第 23 回土木情報システムシンポジウム (講演 82 題)
10.29 「最近のコンピュータの有効利用」に関するシンポジウム (講演 7 題)
11.5 構造工学委員会講演会 (講演 2 題)
11.6 「限界状態設計法を用いた合成・複合構造物の設計法と将来展望」(講演 9 題)
11.6 最新の施工技術—1998.11 講習会 (講演 10 題)
11.4～5 ダム小委員会の現地見学会実施「建設省大滝ダム建設工事」
11.6 「限界状態設計法を用いた合成・複合構造物の設計法と将来展望」(講演 9 題)
11.9 MECS/LOICZ ジョイントシンポジウム (講演 7 題, パネル討論)
11.10～12 第 45 回海岸工学講演会 (秋田市, 講演 257 題)
11.11 高流動コンクリート施工指針等に関する講習会 (講演 10 題)
11.13 第 45 回「定例談話会」(課題 リモートセンシングと国土管理)
11.13～14 第 2 回鋼構造物の非線形数値解析と耐震設計への応用に関するシンポジウム (名古屋市, 講演 41 題)
11.18 第 16 回建設用ロボットに関する技術講習会 (講演 6 題)
11.20 日本学術会議シンポジウム「農村と都市の共生は可能か」(共催) (東京都)
11.20 第 8 回地域シンポジウム「地域のための河づくりを目指して」(山口市, 講演 4 題)
11.20 第 18 回映画・ビデオコンクール入賞作品発表会・表彰式 (上映 3 題)
11.21～23 第 21 回土木計画学研究発表会 (講演 381 題)
11.24 シンポジウム「コンクリート資源の有効利用」(東京都, 委員会報告 2 題, 一般講演 27 題)
11.24～26 第 35 回環境工学研究フォーラム (京都市, 講演 118 題)
11.25～26 第 34 回土木計画学シンポジウム—地域間交流活性化と観光 分析・計画手法と政策課題— (講演 12 題)
11.25～27 第 5 回鉄道技術連合シンポジウム (J-RAIL' 98) (共催) (東京都)
11.26～27 鋼橋床版シンポジウム (講演 52 題)
11.26～27 第 8 回トンネル工学研究発表会 (論文 12 題, 報告 59 題)
12.1 振動制御セミナー—地震による橋梁の動的応答と設計・制御— (講演 3 題)
12.2～4 第 15 回風工学シンポジウム (共催) (東京都)
12.7 「公共構造物の安全性」に関するパネルディスカッション (講演 1 題)
12.8 確率・統計的意思決定に関するシンポジウム—脱マニュアルの時代を迎えて— (東京都, 講演 16 題)
12.9～10 第 16 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 (講演 52 題)
12.10～11 第 2 回地震時保有耐力法に基づく橋梁の耐震設計法に関するシンポジウム (講演 85 題)
12.11 第 46 回「定例談話会」(課題 中部国際空港の建設)
12.11 「土木デザインワークショップ」—橋梁デザインの可能性—(講演 7 題)
12.11 応用力学フォーラム (第 11 回非線形力学フォーラム) (講演 3 題)
12.11 岩盤力学委員会研究報告会「泥岩の力学モデルと解析」(基調講演 1 題, 講演 4 題)
12.14 ローカルサイト・エフェクトに関するシンポジウム (講演 24 題)
12.16 第 3 回感性工学シンポジウム (共催) (習志野市)
12.17 「ロックシェッドの対衝撃設計」に関する講習会 (講演 6 題)
12.18 第 3 回舗装工学講演会 (講演 31 題)
12.22 第 45 回風に関するシンポジウム (共催) (東京都)
* 「土木の日」, 「くらしと土木の週間」実施

1998（平成10）年

支部の動き

北海道支部

- 1.29 講習会「コンクリート構造物の性能照査型設計法および鉄筋の腐食・防食に関する最新の技術」（講演数6題）
- 2.7～8 年次学術研究発表会（発表数278題）
- 10.23 第1回講習会「限界状態設計法を用いた合成・複合構造物の設計法の現状と将来展望」
- 「土木の日」行事
- 10.4 見学会（一般市民（親子）対象）【札幌駅北口総合整備事業,他】
- 10.24 見学会（高校教諭対象）【札幌市北1条地下駐車場,他】
- 11.18～24 「小学生の土木の絵」図画コンクール展
- 11.18 講演会1題,パネルディスカッション1題
- 12.4 土木の日「講演会」

東北支部

- 3.13 平成9年度技術研究発表会（発表数411題）
- 5.21 支部通常総会
- 7.2～3 「写真展」（宮城県沖地震20年シンポジウム併催行事）
- 9.13～23 海外調査団「南ヨーロッパ都市計画調査」訪問先：ポルトガル,スペイン,イタリア
- 「土木の日」行事
- 6.13 宮城県沖地震20年シンポジウム～都市型地震を考える（基調講演1題,シンポジウム2題）
- 8.1～2 「ランドアート'97」（秋田県建設業協会主催）
- 9.20 市民見学会「野蒜築港120年の夢と近代土木の姿を訪ねて」
- 10.17～18 「土木の日フェスティバル'98」学園祭と併催による研究実験施設の公開
- 11.16 「土木の日記念講演会」

関東支部

- 2.24 「土木技術者に求められる資質と素養—技術士を目指している方々のために—第9回」
- 3.3 第4回KANTOシビックサークル「社会基盤整備の環境保護」
- 3.10～11 第35回技術研究発表会（発表数540題）
- 5.11 支部通常総会
- 5.11 支部総会に伴う懇談会
- 6.30～7.1 第1回映画会
- 8.29 第4回土木系学生によるコンクリートカヌー大会
- 10.一 第1回見学会研究所見学会
- 「土木の日」行事
- 11.14 第2回見学会「東京における近代化土木遺産」見学会
- 11.18 第3回見学会 第2東名工事見学会
- 11.18 「土木の日」記念講演（群馬工業高等専門学校）
- 11.18 「土木の日」イベント「記念講演会」（講演題数2題）
- 11.20～25 土木フェア展示会
- 11.28 「土木の日」の行事県中央水質浄化センター,北関東自動車道工場現場 土木フェア in Gunma

中部支部

- 1.12 新春特別講演会「技術者資格の認定と国際的相互承認について」
- 2.9 第4回技術講座「環境マネジメント」（講演数4題）
- 3.6 支部研究発表会（発表件数424題）
- 4.14 支部通常総会
- 5.19 第1回講演会（講演数2題）
- 5.20 見学会「極楽橋・立山カルデラ砂防博物館・立山黒部アルペンルート」
- 9.18 第1回講習会「高流動コンクリート施工指針等に関する講習会」
- 10.22 現場見学（訪問先・五条川左岸流域下水道ほか）
- 12.11 第2回講習会「限界状態設計法を用いた合成・複合の設計と将来展望」
- 「土木の日」行事
- 10.23～24 「建設技術 in フェア—in'98 中部」
- 11.13 公開シンポジウム「トンネル空間が変わる—人に優しい地下空間デザインを目指して—」
- 11.14 市民見学会「コース1：都市を支える基幹施設をたずねて」「たずねてみよう,夢の舞台づくりの現場から生活関連施設まで」
- 「金沢城跡から21世紀の副都心をたずねて」

1998 (平成 10) 年

支部の動き

11.20 土木学会中部支部 60 周年記念事業 記念式典,記念シンポジウム,祝賀会

関西支部

- 1.22 土木文化講座・講演会「土木・・・それは国づくりの歴史・文化」(講演 1 題)
- 2.4 土木文化講座・一般講座「最近の水環境問題」(講演 1 題)
- 2.23 第 13 回 FCC「21 世紀の土木へ」～土木の DNA を解読する～
- 2.26 地方講演会 (講演数 3 題)
- 3.21 第 12 回 FCC「秀吉と土木 Part 2 - 中世の秀吉の偉業えお振り返り,そして現在の土木を考える」
- 3.26 土木の日コア行事「明石海峡大橋橋上見学会」1.19 新春講演会 (講演数 2 題)
- 4.3 平成 10 年度役員選挙
- 5.7 支部通常総会
- 5.20～6.17 平成 10 年度学生映画会 (映画 2 編)
- 5.23 支部年次学術講演会 (一般講演数 516 題)
- 5.23 平成 10 年度関西支部年次学術講演会講演概要
- 6.9～10 「阪神・淡路大震災から学んだこと」
- 8.20 小中高校生対象見学会「電話のとおり道をたずねて,土木の世界をのぞいてみよう!」
- 8.24 第 I 部:設計技術対象研修会
- 8.25 第 II 部:施工技術対象研修会
- 10.16 講演会等 高専学生対象講演会
- 10.17 市民対象見学会「安心と活力のあるまち創り・くに創り」
- 11.10 兵庫地方講演会
- 11.25 「限界状態設計法を用いた合成・複合建造物の設計法の現状と将来」
- 「土木の日」行事
- 11.14 体験 土の科学～あつと驚く土の性質～
- 11.21～22 近畿未来遺産

中国支部

- 1.30 技術者向け講演会「社会基盤整備とパブリックインボルブメント」(講演数 4 題)
- 4.24 支部通常総会
- 6.5～6 支部研究発表会 発表件数 397 件:特別講演 1 題:学生フォーラム 1 題:学生交流会 1 件
- 10.7 「最近の橋梁技術・地盤工学における観測的手法」
- 10.9 学生工事見学会 (場所:本州四国連絡橋尾道・今治ルート)
- 10.30 技術者向け工事見学会 (場所:中国横断道三刀屋～松江間等の現地見学)
- 11.3 親子見学会 (場所:岩国市)
- 11.13 「場所打ちコンクリート杭の急速載荷試験」
- 11.14 「これまでの環境問題かれからの環境共生」
- 「土木の日」行事
- 10.24 こどもミニ土木博「コンクリートで何か作ってみませんか」コンテスト
- 11.1 こどもミニ土木博「模型水路実験,きき水パネル展示等」
- 11.3 「錦帯橋の見学および構造経緯の説明」
- 11.7～8 21 世紀の土木と環境デザイン展 (パネル展示,CG 研究室紹介等)
- 11.14～15 くらしと土木展 (主催:鳥取県) 建設機械体験,クイズ,橋工作コンテスト
- 11.18 こどもミニ土木博「パネル展示」
- 11.20～22 みる・きく・ふれる建設フェア「展示 (パネル,ビデオ等) 体験コーナ」
- 11.21 親子現場見学会 建設現場見学会 (主催:広島市)

四国支部

- 1.9 題 2 回一般市民講演会「公共事業における住民参加 (パブリックインボルブメント)」
- 2.10 現場技術者による最新の施工技術の紹介「阪神淡路大震災の教訓・実務技術者からの提案」,「石油タンク・高速道路盛土の液化対策工法の有効性に関する実験・解析事例紹介」,「遠心載荷装置による地中構造物の振動実験」
- 5.22 支部通常総会
- 5.23 第 4 回技術研究発表会 (一般発表 235 編,フォーラム 2 件,優秀発表者 20 題)
- 6.12,26,9.10,25 土木計画のための基礎理論講習会
- 6.25,30,7.7 第 1 回基礎技術講習会「環境生態学の基礎」
- 7.10 第 1 回技術報告会「まちづくりにおけるコラボレーション」

1998 (平成 10) 年

支部の動き

<p>8.24 小学生との魚類生息環境調査</p> <p>8.29,9.26,10.8,11.28 岩手県技術者のための土木技術講習会 (実施回数 4 回)</p> <p>9.8 工事見学会 (場所: 船の科学館,北淡町震災講演他)</p> <p>11.10,12,12.1,8 第 2 回基礎技術講習会「土質力学の基礎」</p> <p>11.14 市民向け講演会「環境教育フォーラム 地域づくりの視点から環境教育を考える」</p> <p>11.28 市民向け講演会「平成 6 年濁水を振り返る」</p> <p>12.8 講演と懇談の会 (講演題数 2 題)</p> <p>●「土木の日」行事</p> <p>11.18 土木の日特別講演会 (講演題数 2 題)</p> <p>11.18 「土木の日」および「くらしと土木の週間」土木の日を中心にして,一般国民に対する普及啓蒙活動に取り組む</p> <p>西部支部</p> <p>2.13 技術発表会 (講演数 6 題)</p> <p>3.24 研究発表会 (発表数 562 題)</p> <p>3.24 国際交流特別講演会 (講演数 1 題)</p> <p>5.25 支部通常総会 第 60 回</p> <p>5.25 特別講演会 (講演数 1 題)</p> <p>8.5 九州新幹線トンネル現場等の見学</p> <p>10.14 九州電力玄海原子力発電所等の見学 (一般市民)</p> <p>10.25 海外研修 フィリピン,その他アジア諸国の現場見学等</p> <p>11.18 地下鉄 3 号線,都市高速道路等の見学</p> <p>11.18 高校生への PR 県下の高校へビデオテープ「明石海峡大橋」60 高校</p> <p>11.26 土木学会西部支部 60 周年記念式典並びに「記念講演会」</p> <p>12.4 「限界状態設計法を用いた合成・複合構造物の設計法の現状と将来展望」講習会</p> <p>●「土木の日」行事</p> <p>11.16 テレビとラジオ等による広報 NHKくらしのチャンネル他出演,宮崎県報,宮崎市報</p> <p>11.18 街頭 PR 「土木ふれあい」マップ,リーフレットを配布</p> <p>11.28 特別講演会「森 (くに) と川 (環境) とまち (都市)」をテーマ</p> <p>一.一 県下の高校へビデオテープ「明石海峡大橋」60 高校,冊子「土木モニュメント見歩き」を寄贈 27 図書館</p>

1998 (平成 10) 年

土木一般	社会一般
<p>1.30 建設省, 建設業の経営改善対策を発表. 資金繰り, 財務・経営基盤, 受注環境など 27 項目を支援</p> <p>2.19 建設省, 長崎県の雲仙・普賢岳のふもと水無川に建設中の水無川 1 号砂防ダム, 堤長 870m が完成. 1990.11 の災害対策,</p> <p>4.26 より 1km の登山道再開</p> <p>2.20 香川県坂出市の四国電力聖通寺山送電鉄塔, 高さ 70m 重さ 40t が倒壊. 瀬戸中央自動車道が一時通行止めおよび停電 1 万 7000 棟</p> <p>3.8 京都府, 京都縦貫自動車道・綾部～舞鶴大江間 12.1km が開通. 中国・舞鶴両自動車道が連結</p> <p>3.20 道路公団, 高知自動車道・南国～伊野間 17.9km 開通. 同じく鳥取県と島根県を結ぶ山陰道 12.8km 開通</p> <p>3.21 鉄道公団, 九州新幹線鹿児島ルート・船小屋～新八代間 85.5km 着工</p> <p>3.23 高知市, 総面積 3900m², 延長 250m の新はりまや橋公園が完成. 人工河川 3～8m</p> <p>3.26 閣議, 2010～2015 年目標の 5 全総を決定. タイトルは 21 世紀の国土のデザインー地域の促進と美しい国土の創造. 国土構造の二軸化のため東京湾, 伊勢湾, 紀淡連絡, 豊予海峡, 関門海峡などのプロジェクトを構想</p>	<p>1.10 中国河北省, 張家口北西で M5.9 の地震, 倒壊家屋 13 万棟, 死者 50 人, 負傷者 1 万人</p> <p>1.17 阪神・淡路大震災 3 周年, 名簿に記載された犠牲者 6418 人. 3.26 兵庫県内の仮設住宅で孤独死 200 人</p> <p>2.2 フィリピンのミンダナオ島でセブパシフィック航空の旅客機墜落, 死者 30 人以上</p> <p>2.4 アフガニスタン北部で M6.1 の地震. 死者 4000 人以上</p> <p>2.7 第 18 回冬季オリンピック大会を長野で開催 (～22). 金 5・銀 1・銅 4 個のメダルを獲得</p> <p>2.16 台北で中華航空 676 便が着陸に失敗し墜落, 死者 202 人</p> <p>3.1 横浜市, 港北区に 6 万 4000 m², 集客人数 7 万人の横浜国際総合競技場を開場. 総工費 600 億円. 7.5 都筑区に横浜国際プール, ウォーターアリーナ 3 万 5800 m² も開場</p> <p>3.7 群馬県子持村の浅田遺跡から 5 世紀後半の円墳・埴輪を含む墳丘の全体がほぼ完全な形で出土</p> <p>3.20 東京国際空港, 台湾の中華航空が使用する国際線ターミナル完成</p> <p>3.25 南極大陸バレンジー諸島の近海で M8 の地震</p> <p>3.31 日本原子力発電所東海発電所, 30 年間運転を続けたガス冷却黒鉛減速炉 16 万 6000kW を廃炉</p>

土木一般	社会一般
<p>3.26 道路公団, 高知自動車道・津田東～さぬき三木 IC 間 13.3km, および鹿児島市～熊本県八代市間 140 km を結ぶ南九州自動車道 (西回り) 初の開通区間として伊集院～鹿児島県西間 10.2km 開通</p> <p>3.26 仙台空港, 東北初の 3000m 滑走路完成</p> <p>3.30 道路公団, 第 2 東名名古屋南 IC～東海 IC 間 5.1km 開通. 伊勢湾岸自動車道と呼称. 鋼斜張橋の名港東大橋 (700m, 中央支間 410m), 名港中央大橋 (1170m, 中央支間 590m), 名港西大橋 (750m, 中央支間 405m) の名港 3 大橋 (名港トリトン) が連続</p> <p>3.30 山陰自動車道・18.8km 開通し, 鳥取～島根が連結</p> <p>3.31 青森県の弘南鉄道黒石線・川辺～黒石間 6.2km 廃線</p> <p>3.一 公正取引委員会, 石川・愛知・宮崎で公共工事を受注した建設業や関係団体に対し, 独占禁止法違反で排除勧告を行う (石川 265 社, 愛知 62 社と 1 団体, 宮崎 19 社)</p> <p>3.一 建設省・運輸省・農水省・北海道開発庁・沖縄開発庁は 1998 年度より公共事業の再評価システムを導入と決定. 評価は一般公開</p> <p>3.一 北九州都市モノレール, JR 小倉駅 4 階に乗入れ.</p> <p>4.2 阪神高速, 北神線 2 区間, 池田線 1 区間が開通. 神戸市北部と中心部, 川西市と大阪中心部が直結</p> <p>4.5 本四公団, 神戸鳴門自動車道 89km 全通. 世界最長吊橋の明石海峡大橋. 960+1991+96 (m) および 2 層併用吊橋, 大鳴門橋. 330+876+330 (m)</p> <p>4.18 建設省, 満濃町に四国初の国営公園・讃岐まんのう公園 350ha の一部開場. 2003 年までに 160ha を開場予定</p> <p>4.23 山梨県三富村～埼玉県大滝村を結ぶ国道 140 号線雁坂トンネル 6.625km が 20 年ぶりに開通. 甲府市と秩父市が中央自動車道より短縮連絡</p> <p>5.18 首都高速埼玉大宮線・美女木 JCT～与野間 8km 開通.</p> <p>5.29 第 12 次道路整備 5 ヵ年計画 (1998～2002) を決定. 事業費は過去最高の 78 兆円. 他の計画に比較し道路事業が突出.</p> <p>6.4 建設省, 災害復旧にも多自然型を認める指針を地方自治体に通達. 自然石や木材などの利用拡大で河川事業, 河川復旧が変革</p> <p>6.7 道路公団, 第 2 名神高速の栗東トンネル 3.8km の導坑でトンネルボーリングマシンが発進. 12 月, 先進導坑貫通</p> <p>6.10 本四公団, 西瀬戸自動車道の来島大橋の橋桁が落下. 死者 7 人</p> <p>6.13 北海道開発局, 室蘭港湾口に国道 37 号・白鳥新道 7km に北海道最長吊橋・白鳥大橋. 330+720+330 (m)</p> <p>6.17 公正取引委員会, 関西地区の公共事業談合疑惑でゼネコン 31 社に 4 項目の是正を求める警告</p> <p>6.25 中国電力, 島根県に三隅火力発電所 (石炭) 100 万 kW 完成</p> <p>7.1 北九州市, 八幡西地区にゴミ処理工場完成. ゴミ処理能力 1 日 810t. 最大出力 3 万 6300kW の発電能力を保有</p> <p>7.2 香港国際空港がチェックラップコップ島で開港式. 敷地面積 1248ha, 滑走路 3800m² 本, 香港島とは 2 層道路で結ばれ啓徳空港は閉鎖</p> <p>7.10 建設省, 総合的な土石流対策の推進について (1982) を改訂. 点検・予知・避難などを強化</p> <p>7.18 秋田県鷹巣町に滑走路 2000m の大館能代空港開港</p> <p>7.28 佐賀県川副町に滑走路 2000m の佐賀空港開港</p>	<p>4.2 阪神・淡路大震災の震源である淡路島の野島断層保存館, 長さ 140m, 最大幅 8m, 深さ 3m をドームで被覆. 4.21 に天然記念物に指定</p> <p>4.20 伊豆半島東沖を震源とする群発地震. 伊東市, 熱海市で 887 回の有感地震, JR 伊東線, 東海道新幹線も一時不通. 5.9 終息</p> <p>4.24 政府, 追加の景気浮揚対策として事業規模 16 兆円を決定. 公共事業は情報通信の高度化, 環境対策などに配慮した 7 兆 7000 億円</p> <p>4.29 盛岡地方気象台, 岩手山 2038m の火山性地震の回数が増加. 土砂崩れなどの注意するよう報告</p> <p>5.30 アフガニスタン・タカール州に M6.9 の地震. 壊滅した村は 81 ヶ村, 死者・行方不明者 4000 人以上</p> <p>6.3 ドイツの新幹線 ICE が初の事故. 北部のザクセン州エシエデで脱線し陸橋に激突. 死者 95 人以上</p> <p>6.9 2001 年 1 月を目標とする中央省庁改革基本法が成立.</p> <p>7.1 京王帝都電鉄, 京王電鉄と社名変更</p> <p>7.1 パプア・ニューギニアに M7.1 の地震と津波. 津波の高さ 10m. 死者 1200 人余り.</p> <p>7.29 西淀川公害訴訟の控訴審が 20 年ぶりに和解. 大気汚染公害訴訟で国が和解に初めて応ずる.</p> <p>8.3 梅雨前線の影響から新潟県で集中豪雨. 新潟市で時間あたり過去最大雨量. 1 万 5000 棟以上が床下・床上浸水. JR6 在来線が区間運休, 道路不通も続出, 都市機能麻痺 (~8.4)</p> <p>8.26 台風 4 号による影響で福島・栃木県境で集中豪雨. 土砂崩れで死者 7 人. 被害は北海道・関西の 22 都道府県に広がり死者・行方不明 22 人を追加. 水戸市, ひたちなか市の住民に避難勧告 (~8.31)</p> <p>8.一 中国長江流域の洪水被害, 被害額 3 兆円, 死者 3000 人以上</p> <p>9.6 インド北部からバングラデシュへ流れるガンジス川, 60 年ぶり大洪水. 死者 2400 人</p> <p>9.20 ガンジス川流域で 60 年ぶりの大洪水. インドでは 18 村が水没. 1000ha が浸水, 死者 1625 人. バングラデシュでは死者 800 人</p> <p>9.22 近畿地方を直撃した台風 7 号, 奈良県室生寺で国宝の五重塔の屋根を破壊. 県内だけで国宝 6 件, 重文 41 件が被害</p> <p>9.24 秋雨前線の移動に伴い高知県各地に豪雨. 高知市で床上浸水 6900 棟, 床下浸水 1 万 6100 棟 1000 人以上避難. JR 土讃線一部不通</p> <p>9.30 動力炉・核燃料開発事業団が解散. 10.1 より新法人・核燃料サイクル開発機構が事業引継ぎ.</p> <p>9.一 9 月中・下旬に 5 台風が上陸・接近. 全国的に被害</p> <p>10.1 札幌市の重文・時計台が 3 年 9 ヶ月ぶりに改修終了</p> <p>10.13 台風 10 号により全国的に住宅被害 700 棟, 浸水 1 万 2000 棟. 道路損壊 3200 ヶ所, 崖崩れ 900 ヶ所, 堤防損害 400 ヶ所, 農林水産被害 404 億円, 死者・行方不明者 15 人 (~10.20)</p> <p>10.15 環境庁・秋田県, 白神山地世界遺産センターとして藤里町に藤里館を開館. 1997 年の西目屋館に続くもの.</p> <p>10.18 台風 10 号の影響で中国地方に豪雨. 津山市を中心に床上浸水 2500 棟, 床下浸水 2200 棟など</p> <p>10.22 国鉄精算事業団が解散. 債務 28 兆円は国の一般会計へ引継ぎ.</p> <p>10.25 北海道渡島半島の駒ヶ岳 1131m が小規模噴火</p>

土木一般	社会一般
<p>7- 九州電力, 新大分火力発電所 (LNG) 229 万 5000kW完成</p> <p>7- 北陸電力, 七尾大田火力発電所 (石炭) 120 万 kW完成</p> <p>8.6 京都市, パリ市提案によるセーヌ川の芸術橋をモデルとした三条～四条大橋間の鴨川歩道橋の計画を市民団体の反対などで一時中断と決定</p> <p>8.18 建設省, 3月に公共事業の再評価システムの導入に伴い, 矢作川河口堰の中止 (8.14 決定) などダム 21 件を再評価の対象に指定</p> <p>8.20 環境省, 名古屋市の藤前干潟の埋立式ゴミ処分場計画に対し反対を表明. 代替地案が浮上</p> <p>10.2 関西国際空港第 2 期工事の 4,000m 滑走路工事で漁業交渉まとまる.</p> <p>10.12 岡山県, 高梁川上流の新見市に建設中の多目的・千屋ダム完成. 堤高 97.5m, 総貯水量 2800 万 m³</p> <p>10.18 道路公団, 山形自動車道・寒河江～西川間 14km 開通. 総延長 158km のうち 62%, 98.3km が開通</p> <p>10- 鉄道公団, 開業 10 周年を迎えた青函トンネルを 5 年以内に改修の必要と判断, 1999 年度予算に 4 億 9000 万円を盛り込み.</p> <p>10- 東北電力, 原町火力発電所 (石炭) 200 万 kW完成</p> <p>11.5 石川県, 輪島市など 3 市町にまたがる能登空港 142ha, 滑走路 2000m に着工, 2003 年開港予定</p> <p>11.16 電源開発, 長野県天竜川水系に計画中のダムと揚水式発電所 200 万 kW を凍結と発表</p> <p>11.18 東京の多摩都市モノレール (第 3 セクター) ・立川北～上北台間 5.4km 開通.</p> <p>11.18 京浜急行空港線, 都心～品川～空港間のアクセスとして延長工事が完成. 成田～羽田間の空港間快速特急電車も運転</p> <p>12.3 福島空港, 滑走路を 2000m から 2500m に延長</p> <p>12.8 東京都, 小田急電鉄小田急線・東北沢～梅ヶ丘間 1.6km の複々線化について高架案より地下案を進めたいと発言</p> <p>12.9 建設省, 建設業の経営改善に対する緊急対策の指標を発表</p> <p>12.13 東海北陸自動車道 185km のうち, 一宮 JC～尾西間 3.9km 開通し, 名神高速と一体化</p> <p>12- デンマークのシェラン島とユトランド諸島をつなぐスターアベルト海峡横断道路 (グレートベルトリンク) 開通. 道路・鉄道 併列橋ウエスト橋 (6.6km), イーストトンネル (鉄道 8km), イースト橋 (6.8km, 吊橋支間 1.6241km) など総延長 19 km, 本土と北欧が一体化, 総経費 4000 億円</p>	<p>11.2 中南米各国, カリブ海に発生したハリケーンにより洪水, 土石流で死者・行方不明者 7000 人と発表</p> <p>11.3 第 60 回文化勲章, 芦原義信ら 5 人受賞</p> <p>12.2 世界遺産京都会議, 古都奈良の文化財 (東大寺など 6 社寺を含む) を世界遺産に登録</p> <p>12.7 環境庁, 名古屋市が名古屋港の藤前干潟にゴミ埋立処分場を計画していることが不適切と認定. 代替地の検討を求め通達. 2000.1.15 を断念</p> <p>12.12 タイ航空のエアバス, 豪雨のためタイ南部スラダニ空港への着陸に失敗し墜落. 死者 100 人, 生存者 45 人</p> <p>[その他] 発掘ブームで発掘された遺跡は日本全国で 3518 件に達する.</p>

注: 「土木一般」「社会一般」は、岡本義喬・為国孝敏が原案を作成して編集した。

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>1.22 「アジア土木技術国際会議実行委員会」に関する指定型寄付受入れと「原田静男氏」よりの一般型寄付受入れを承認 また「水工学論文賞及び水工学論文奨励賞記念メダル」の指定型助成金については「山本三郎氏」の寄付金 500 万円を充当させると承認 情報化委員会(仮称)を常置委員会として承認 1.22 日本エンジニア教育認定機構(J A B E E)への参画承認 1.22 ヨーロッパ土木技術者協会との協力協定承認 3.19 第 84 回総会(平成 10 年 5 月 29 日開催)で承認された定款の改正について文部省と協議, 最終改定案を承認 3.19 「企画部門」から, 21 世紀における社会基盤整備ビジョン並びに情報発信に関する特別検討委員会(仮称), 社会基盤施設における事業評価に関する特別委員会(仮称), アクセプトブル・リスクの適用に関する研究特別委員会(仮称)の特別委員会が承認 3.19 学術文化事業の 2 件の助成, 1 件の寄付受入を承認 3.19 技術推進機構規定、特別会計を承認 4.23 土木学会職員就業規則改正に関して承認 4.23 学会の新たなロゴマーク募集について承認 5.7 「土木技術者の倫理規定」承認 5.7 功績賞受賞者に決定した加藤 晃氏及び三谷 健氏の名誉会員追加推薦が承認 5.7 土木学会細則の一部改正を承認 5.7 中国土木工程学会との協力協定承認 6.25 学会運営について「学会運営組織図(案)」の承認 6.25 行事企画委員会を全国大会委員会と名称変更することを承認 6.25 学術文化事業に指定型 1 件、茨木龍雄目名誉会員寄付の承認 7.23 理事会各部門の企画運営連絡会議構成(案)が原案通り承認 7.23 「コンクリートのジョイント問題小委員会」活動経費 200 万円の承認 7.23 「学会規則等改正検討特別委員会」終了、「土木教育委員会(大学土木と高校土木統合・改組)」の設置承認 7.23 タイ工学会との協力協定承認 9.1 「Memorial Conference in TOKYO I」開催に伴う助成申請, およびトルコジャエリ地震被害調査の指定型の助成の承認 9.10 シンガポール工学会との協力協定承認</p>	<p>1.22 「現地における技術紹介と交流事業(建設業国際貢献推進事業)」, 「利根川改修記録検討」の受託承認 4.23 「国際的技術者資格制度に関する調査業務」の受託承認 6.25 「地震規模評価のための活断層調査法の体系化に関する研究」, 「四国における社会資本整備の進め方に関する調査研究」, 「ダムによる河川環境変化の総合的調査研究」の受託承認 7.23 「環境負荷低減型土木構造物および施工法の基礎的研究」, 「自己充填型高強度高耐久コンクリートを用いた構造物の性能照査方法に関する検討」の受託承認 9.10 「津波評価技術の体系化に関する研究」の受託承認 11.26 「高速道路が四国の社会経済に与える影響調査」, 「フライアッシュを原料とする高強度人工骨材を使用したコンクリートの設計施工指針案の作成」, 「土木関連博物館(仮称)設置検討」, 「都市代謝システムの再構築における下水道のあり方」の受託承認</p>	<p>3.5~6 フィリピン土木学会バシール・ラスマン会長一行, 米国土木学会ノエル・ローファスト技術国際部長, アジア土木技術国際会議タスク・フォース・ミーティング 5.9 「E C C E (ヨーロッパ土木技術者評議会) 総会」川島国際委員会幹事長 5.12 「中国土木工程学会との協力協定調印式」岡田会長, 城国際室長 5.19 中国土木水利工程学会(台湾) Yen-Yi Tseng 会長一行 表敬訪問 8.12~14 第 5 回 AHP 国際シンポジウム(共催)神戸市 9.5~12 トルコ地震調査団派遣 団長濱田政則 9.20 米国土木学会 Daniel S.Turner 会長夫妻 表敬訪問 9.22~24 米国土木学会 Daniel S.Turner 会長夫妻 中国土木工程学会(中国) Tang Meishu 秘書長一行 中国土木水利工程学会 J.C.Chern 理事一行 大韓土木学会 Jung-Ho Park 副会長一行 平成 11 年度全国大会およびラウンドテーブル会議出席 9.27~28 米国土木学会 Alfred H.S.Ang 国際担当事務一行 中国土木水利工程学会 Yen-Yi Tseng 会長 大韓土木学会 Chang-Ho Park 副会長一行 フィリピン土木学会 Bashir D.Rasuman 会長一行 アジア土木学協会連合協議会(A C E C C) 設立会議および第 2 回アジア土木技術国際会議第 1 回 Executive Committee Meeting 9.30~10.3 台湾地震調査団派遣 コンクリート関係者 リーダー 町田篤彦 10.1~8 地震工学関係者 リーダー 濱田政則 10.14 大韓土木学会 Jung-Ho Sonu 会長 表敬訪問 10.17~20 「A S C E (米国土木学会) 全国大会」岡村会長, 三好専務理事, 花村国際委員会副委員長, 川島国際委員会幹事長, 石井国際委員会アドバイザー, 吉川参与 10.22~23 「K S C E (大韓土木学会) 全国大会」道上副会長, 渡邊国際担当事務, 五老海事務局長 12.5 第 3 回 L A W Q (国際水質学会) 国際シンポジウム「水環境中の有害物質の評価と制御」(共催) 大津市</p>

1999（平成 11）年

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>11.26 新フェロー会員の認定について認定候補者 44 名の認定の承認</p> <p>11.26 環境賞及び土木遺産顕彰制度設置についての承認</p> <p>11.26 会長の日本技術者教育認定機構理事就任についての承認</p> <p>11.26 「台湾地震被害調査」等 4 件指定型助成および「水理委員会 ISO 開水路の流量測定に関する委員会」の指定型寄付の承認</p> <p>11.26 アジア土木技術国際会議担当委員会がアジア土木学協会連合協議会 (ACECC) 担当委員会に名称変更の承認</p> <p>11.26 土木教育委員会内規の承認</p>		

1999（平成 11）年

行事・集会

<p>1.7 水文過程のリモートセンシングとその応用に関するワークショップ（発表論文数 17 編）</p> <p>1.8 第 47 回「定例談話会」</p> <p>1.13～14 第 4 回地下空間シンポジウム（審査付論文発表 13 件、一般論文発表 22 件）</p> <p>1.22 第 1 回リアルタイム地震防災シンポジウム（講演 26 題）</p> <p>1.25～27 第 48 回理論応用力学講演会（共催）（東京都）</p> <p>1.26～27 第 14 回環境工学連合講演会（共催）（東京都）</p> <p>1.28～29 第 29 回岩盤力学に関するシンポジウム（審査付論文 10 題、自由投稿論文 47 題、パネルディスカッション 1 題）</p> <p>1.29 第 12 回建設コンサルタントシンポジウム「プロジェクトマネジメント PFI—土木技術者の役割—」</p> <p>2.12 第 48 回「定例談話会」</p> <p>2.16 第 16 回施工体験発表会 講習会（講演 10 題）</p> <p>2.19 「環境共生・循環とエネルギー土木」シンポジウム（講演 8 題）</p> <p>2.26 地震災害マネジメントセミナー（講演 11 題）</p> <p>3.3 応用力学フォーラム「第 10 回乱流フォーラム」（講演 6 題）</p> <p>3.5 第 49 回「定例談話会」</p> <p>3.12 安全問題討論会' 99（パネルディスカッション）（発表数 6 題）</p> <p>3.12 応用力学フォーラム(九州地区)（講演 1 題）</p> <p>3.15～17 第 43 回水理講演会（発表数 189 編）</p> <p>3.29 「第 12 回環境システムシンポジウム—化学物質利用に伴うリスクと環境システムの接点課題—」（東京都、講演 4 題）</p> <p>4.6～7 第 45 回構造工学シンポジウム（講演 177 題）</p> <p>4.20～21 コンクリート構造物の耐震設計法の国際比較に関する国際セミナー（講演 8 題）</p> <p>4.28 フライアッシュを用いたコンクリートの施工指針（案）講習会（講演 6 題）</p> <p>4.30 環境システムシンポジウム—沿岸域における開発と環境保護の調和—（講演 4 題）</p> <p>5.10 第 6 回「工学教育」連合講演会（共催）（東京都）</p> <p>5.11 第 37 回 原子力総合シンポジウム（共催）（東京都）</p> <p>5.14 構造工学委員会講演会（講演 2 題）</p> <p>5.19 フライアッシュを用いたコンクリートの施工指針（案）講演会（講演 6 題）</p> <p>5.19～20 第 24 回海洋開発シンポジウム（講演 130 題）</p> <p>5.20～21 「社会基盤整備における事業評価の意義」に関する国内・国際シンポジウム（講演 11 題）</p> <p>5.20～21 「橋梁と地下構造物の免震・制震」講習会</p> <p>6.1 平成 11 年度 溶接シンポジウム（共催）（東京都）</p> <p>6.3～4 地域シンポジウム「共生と循環—環境共生のまちづくり社会は循環をめざす」（講演 10 題）</p> <p>6.10～11 第 5 回河道の水理と河川環境に関するシンポジウム（講演 40 題）</p> <p>6.15 第 3 回鉄道力学シンポジウム（講演 15 題）</p> <p>6.15～16 河村瑞賢没後 300 年記念フォーラム・シンポジウム</p> <p>6.10～11 第 19 回土木史研究発表会（講演 52 題）</p> <p>6.25 「都市と都市計画—世紀末から新世紀へ—」日本学術会議 50 周年記念第 3 回環境工学サロン」（共催）</p> <p>7.1～2 第 29 回 安全工学シンポジウム（共催）（東京都）</p>
--

1999（平成 11）年

行事・集会

- 7.6～7 第 7 回地球環境シンポジウム（講演 51 題，展示 35 点）
- 7.8 シンポジウム「レベル 2 設計地震動：現状と展望」（講演 20 題）
- 7.14 平成 11 年度サマーセミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門」（講演 50 題）
- 7.14～17「CONET'99」～平成 11 年度建設機械と新工法展示会～（共催）（東京都）
- 7.15～16 混相流シンポジウム'99（第 18 回）（共催）（吹田市）
- 7.16 応用力学フォーラム（第 11 回乱気流フォーラム）（講演 2 題）
- 7.16 第 2 回 生活環境設計シンポジウム（共催）（東京都）
- 7.21「第 3 回耐震補強・補修技術，耐震診断技術に関するシンポジウム」（講演 20 題）
- 7.28～30 1999 年度（第 35 回）水工学に関する夏期講習会 A，B コース（講演数：A コース 9 題 B コース 9 題）
- 7.29～31 第 25 回地震工学研究発表会（講演 400 題）
- 7.30 第 1 回鋼構造物の維持管理に関するシンポジウム（講演 11 題）
- 8.1～3 テクノパワー体験 SUMMER SCHOOL'99
- 8.3 水工学における計算機利用の講習会（講演 7 題）
- 8.18～19 高校土木第 33 回夏期講習会・見学会「21 世紀の社会基盤を考える」（基調講演 1 題，講演 3 題）
- 8.25～27 第 2 回構造物の診断に関するシンポジウム（講演 31 題）
- 8.27 杭基礎の耐震設計に関するワークショップ（講演 10 題）
- 8.31 第 2 回鋼構造と橋に関するシンポジウム－鋼構造の新技術に関するシンポジウム－（講演 7 題）
- 8.31 日本学術会議 50 周年記念第 3 回環境工学サロン（共催）（東京都）
- 9.10 「第 5 回レール/車輪の接触力学と摩擦に関する国際会議」「第 46 回風に関するシンポジウム」（共催）
- 9.21 第 2 回応用力学シンポジウム（特別講演 1 題，講演 1 題，論文発表 75 題）
- 9.28 コンクリート標準示方書改訂に関する中期ビジョン－コンクリート委員会・示方書委員会幹事会報告－（講演 11 題）
- 9.30～10.1 第 43 回材料研究連合講演会（共催）（京都市）
- 10.5 コンクリート構造物の補強指針（案）に関する講習会（講演 11 題）
- 10.5～6 橋梁構造等の耐震設計法に関する講習会－耐震設計の現状と今後の展望－（講演 20 題）
- 10.13～14「土木学会による実務者のための耐震設計入門」（講演 30 題）
- 10.18～19 交通まちづくりと TDM－合意形成と社会実験－（講演 11 題）
- 10.21「原子力発電所の立地多様化技術－追補版－」の講習会（講演 7 題）
- 10.22 鋼構造及び合成構造設計・施工基準の世界の動向と今後の展開に関するシンポジウム（講演 9 題）
- 10.26～27 第 24 回土木情報システムシンポジウム（講演 80 題）
- 10.28 資源有効利用の現状と課題の講習会（講演 8 題）
- 10.30～31 第 27 回環境システム研究論文発表会（講演 102 題）
- 10.30～11.1 第 22 回土木計画学研究発表会（講演 102 題，スペシャルセッション 9 題）
- 11.4～5 第 10 回 キャピテーションに関するシンポジウム（共催）福井市
- 11.8 構造工学委員会講演会（講演 2 題）
- 11.9 日本学術会議 50 周年記念シンポジウム都市と都市計画－世紀末から新世紀へ（共催）（東京都）
- 11.10 NATM とシールドの境界領域におけるトンネル荷重に関する研究中間報告会（講演 6 題）
- 11.11～12 第 4 回複合構造の活用に関するシンポジウム（講演 53 題）
- 11.12 ワンディセミナー 16「都市内物流の新たな展開」（講演 2 題）
- 11.15 海岸工学講演会前日シンポジウム「地球環境問題研究/研究レビュー両小委員会の活動」（講演 3 題）
- 11.15「資源有効利用の現状と課題」講習会（講演 8 題）
- 11.16～18 第 46 回海岸工学講演会（講演 271 題）
- 11.17「ISO への対応」に関する第 2 回シンポジウム－ISO と CEN－（講演 8 題）
- 11.17 応用力学フォーラム（第 12 回乱気流フォーラム）（講演 2 題）
- 11.18 講演と懇談の会（四国支部共催）
- 11.25 第 17 回建設用ロボットに関する技術講習会－21 世紀の社会資本整備における建設用ロボットの役割－（講演 7 題）
- 11.25～26 第 9 回トンネル工学研究発表会（講演 59 題）
- 11.26 ワンディセミナー 17「交通事故分析と ITS による交通事故低減の可能性について」（講演 16 題）
- 11.26 Intelligent Bridge/Structure and Smart Monitoring に関する公開講演会（講演 6 題）
- 11.30「第 8 回新しい材料・工法・機械講習会」（講演 10 題）
- 12.1～3 第 36 回環境工学研究フォーラム（講演 90 題）
- 12.2 第 3 回地震時保有耐力法に基づく橋梁の耐震設計に関するシンポジウム（講演 70 題）
- 12.3・9・10・13 「水理公式集改訂版」に関する講習会
- 12.7～8 第 6 回システム最適化に関するシンポジウム－人工生命の最適化技術の発展－（講演 25 題）
- 12.8 応用力学フォーラム（関東）（講演 3 題）
- 12.9 コンクリート構造物の性能設計に関する講習会－研究の現状と LMG 地下タンクの性能照査指針－（講演 12 題）

1999 (平成 11) 年

行事・集会

- 12.9 「ライフサイクルコストに関するワークショップ」(講演 2 題)
- 12.9～10 変革への挑戦－新時代のシビルエンジニア・ビジョナー第 17 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会(講演 35 題)
- 12.10 第 2 回地震災害マネジメントセミナー 一次の大地震で防災計画は機能する－(講演 10 題)
- 12.14 研究報告会「橋梁の空力振動を抑える ー映像で見る現象と対策ー」(講演 14 題)
- 12.15 研究報告会「Bridge Aerodynamics への CFDー橋梁設計実務への適用と評価・将来への展望」(講演 6 題)
- 12.21 第 46 回 風に関するシンポジウム(共催) 宇治市
- 12.22 第 4 回舗装工学講演会(講演 29 題)

1999 (平成 11) 年

支部の動き

- 北海道支部
- 2.4 第 2 回講習会「高流動コンクリート施工指針に関する講習会」
- 2.5 年次技術報告会 講演 283 題
- 2.8 支部活性化中長期ビジョン検討委員会中間報告会
- 2.8～9 年次技術研究発表会 発表数 284 題

- 2.16 講演会 講演数 2 題
- 4.9 支部活性化長期ビジョン検討委員会報告会
- 4.9 第 1 回講習会「北海道・北東北の地域間交流と観光インフラ」講演 6 題
- 5.21 第 2 回講習会「ロックシェッドの耐衝撃設計に関する講習会」講演 7 題
- 10.13～15 第 3 回講習会「土木学会における実務者のための耐震設計入門」講演 12 題
- 12.1.11 第 4 回講習会「コンクリート構造物の補強指針(案)」講演 10 題
- 12.2.23 講演会 講演 2 題
- 「土木の日」行事
- 8.10 見学会(定山溪ダム,札幌北口総合整備事業,JR 学園都市線高架工事現場)
- 11.27 見学会(新千歳空港,北大環状通り「エルムトンネル」,サケのふるさと館)
- 11.18 講演会 講演 2 題
- 11.18 地方講演会 講演 1 題

- 東北支部
- 3.8 東北支部技術研究発表会
- ※「コンクリートポンプ施工指針」講習会
- 12.2.18 技術講座と映画の会 講演 3 題
- 12.3.14 東北支部技術研究発表会 講演 440 題
- 「土木の日」行事
- 6.12 野蒜築港 120 年シンポジウム
- 8.27～28 「ランドアート'99」
- 10.12 「庄内・土木技術フォーラム」講演 2 題
- 11.10～24 「各学園参加型関連行事」
- 11.20 第二回野蒜築港 120 年フォーラム

- 関東支部
- 2.23 講習会「第 10 回土木技術者に求められる資質と素養ー技術士を目指されている方々のためにー」
- 3.17 特別企画講演会(講演数 2 題)
- 3.17 パネル展示
- 3.17 特別鼎談「これからの社会資本整備と建設技術者の果たすべき役割」
- 3.17～18 第 26 回技術研究発表会(発表数 554 題)
- 10.8 講習会「21 世紀のより効率的な社会資本整備に向けて」- 建設 CALS&CADD への取組み状況と課題 - 講演 6 題
- 11.13 学生のための「情報技術(IT)時代における建設産業のすがた」講習会 講演 21 題
- 12.2.23 講習会「土木技術者に求められる資質と素養- 技術士を目指されている方々のために - 第 11 回」
- 8.28 コンクリートカヌー大会
- 「土木の日」行事
- 9.1～30 第 1 回「土木とくらし」写真コンテスト

1999（平成 11）年

支部の動き

<p>(群馬会)</p> <p>11.13 土木フェア in Gunma</p> <p>11.17～21 土木フェア展示会&イベント</p> <p>11.10 土木の日記念講演会</p> <p>(栃木会)</p> <p>11.18 記念講演会</p>

1999（平成 11）年

土木一般	社会一般
<p>1.19 建設省・自治省，各都道府県知事あて指名競争入札の改善につき厳しく通告</p> <p>1.25 名古屋市，環境庁などがゴミ処分場に反対していた藤前干潟干拓計画をほぼ断念</p> <p>1.26 鉄道公団，九州新幹線・新八代～西鹿児島間の吉尾トンネル 6.040km が貫通。新幹線区間 128km のうち 88km がトンネル</p> <p>1.一 福岡県大牟田市に第 3 セクター方式の家庭用ゴミを燃料として使う電力会社が初登場</p> <p>2.20 建設省，雲仙普賢岳の災害復旧工事で建設中の島原深江道路 4.6km が全線開通</p> <p>2.22 運輸省，環境庁の同意を得て，神戸市が申請中の神戸空港の埋立てを許可。</p> <p>3.13 北海道開発局，千歳川放水路計画中止。</p> <p>3.16 電源開発，沖縄県国頭村で世界初の沖縄やんばる海水揚水発電所 3 万 kW の試験を開始</p> <p>3.19 建設省・運輸省，所管する公共事業の再評価の結果を公表。本年度中の中止 11 件。予算を要求しない事業休止 50 件を決定</p> <p>3.24 フランス・イタリア国境のモンブラン道路トンネル内で車両 30 台の衝突・火災事故，死者 42 人</p> <p>3.27 道路公団，千葉県鋸南町～富津市間 11km の富津館山道路開通</p> <p>3.一 デンマークのコペンハーゲンとスウェーデンのマルメを結ぶオーレスン海峡横断沈埋トンネル部 3.51km が完成。2000.7 総延長 15.84km 開通，両国が直結</p> <p>3.一 千葉都市モノレール 1 号線・千葉～県庁前間開通し，千葉みなと～県庁前間 3.2km 全通</p> <p>4.1 建設・運輸・農水 3 省の仕事で使用する単位は SI 単位に切り替えと決定</p> <p>4.17 高知県と愛媛県境の国道 194 号・寒月山道路 6.4km 開通</p> <p>4.28 建設省・道路公団，中部縦貫自動車道・岐阜県白鳥町～福井県和泉村を結ぶ 11.3km のうち 6.2km が開通(田坂峠道路トンネル部を含む)</p> <p>4.一 大分県本耶馬溪町の現在最長の石造アーチ・耶馬溪橋(1923) 116m (18m8 連) の修復工事が完了。通行が再開。</p> <p>5.1 本四公団，西瀬戸自動車道・尾道～今治ルート(通称しまなみ街道) 延長 59.4km 開通。2 車線(橋部分 4 車線歩道つき)。鋼斜張橋・多々羅大橋(当時世界最長支間 890m)。3 連続吊橋(第 1 来島大橋 980m，第 2 来島大橋 1465m，第 3 来島大橋 1570m) など合計 10 橋</p> <p>5.13 川崎市の公害認定患者・車の排気ガスによる大気汚染として遺族が国と首都公団を提訴していた川崎公害訴訟の控訴審に対し，提訴から 17 年ぶりに和解勧告成立</p>	<p>1.1 欧州連合(EU)の単一通貨ユーロ発行。流通は 2002.1，導入 11ヶ国</p> <p>1.12 中央省庁等改革推進本部，2001 年からの行政組織の再編を決定するが一部先送り。</p> <p>1.19 奈良県明日香村の飛鳥京跡苑池遺跡から 683 年ごろに製造されたと見られる富本銭が出土</p> <p>1.29 国土地理院，1 年間に 8 万㎡の土地が埋め立てにより増加と発表</p> <p>3.16 大阪に売場面積 4896 ㎡のジュンク堂書店が開店。この頃，各地で大型書店の開店が相次ぐ。</p> <p>3.18 横浜みなとみらい 21 地区に高さ 112.5m の観覧車の営業開始。東京のお台場にも高さ 115m の観覧車が登場</p> <p>3.19 ロシア南西部，北オセチア共和国のウラジカフカズで爆弾テロ。死者 64 人，負傷者 100 人以上</p> <p>4.14 JR 東海，山梨の実験線走行試験で無人リニアモーターカー時速 552km の世界新記録</p> <p>4.28 改正道路交通法成立。走行時の携帯電話の使用禁止</p> <p>6.14 奈良県明日香村の飛鳥浄御原宮跡(672 頃)と見られる地域から庭園遺跡を発見と発表</p> <p>6.29 九州・中国地方に豪雨。死者・行方不明者 40 人</p> <p>7.12 日本原子力発電，敦賀発電所 2 号機の配管に亀裂。大量の冷却水漏れを発見</p> <p>7.16 JR 東日本，上野～札幌間に新型特急寝台カシオペアの運行開始。2 階建て全室 2 人用の個室でテレビ・トイレつき。</p> <p>8.2 インドの西ベンガル州で列車が正面衝突。死者 280 人以上</p> <p>8.14 神奈川県川北町の玄倉川で，大雨による増水でキャンプ中の 18 人が中州に取り残され濁流により死者 13 人</p> <p>8.17 トルコ西部イズミットで M7.4 のコジャエリ地震。死者 1 万 7000 人</p> <p>9.15 台風 15 号が九州南部から近畿，中部地方を縦断。死者 9 人</p> <p>9.23 台風 18 号が九州，中国地方を縦断。死者 26 人</p> <p>9.21 台湾中部の車籠埔断層が動き M7.7 の地震。死者 2300 人以上</p> <p>9.30 茨城県東海村の加工会社 JCO の施設で臨界事故が発生。作業員 100 人が被爆，茨城県は半径 10km の住民 31 万人に退避を呼びかけ，死者 2 人</p> <p>10.1 新計量法が施行され，cc という単位が単位記号から外される。</p> <p>10.31 米国マサチューセッツ州沖でエジプト航空 990 便が墜落，死者 217 人</p>

土木一般	社会一般
<p>5.18 水資源公団, 岐阜県の徳山ダム周辺で絶滅が近いクマタカの生息を確認, 国が調査を行う</p> <p>5.21 運輸省・新東京国際空港公団, 成田空港の平行滑走路を2500mで計画を進めるが困難な場合は2200mの滑走路の建設で対応する方針を決定</p> <p>5.ー 営団地下鉄13号線・池袋～渋谷間8.9km(2007開通予定)7駅に加え新千駄ヶ谷駅を追加決定</p> <p>6.2 愛知県瀬戸市の愛知万博会場付近でもオオタカの生息を確認. 道路予定地を変更</p> <p>6.9 千葉県, 東京湾内の干潟・三番瀬740haの埋立て計画を100haに圧縮する案を発表. 環境庁は見直し案の再検討を指示</p> <p>6.12 開発事業による環境破壊を軽減するため環境影響調査法(アセスメント法)施行</p> <p>6.18 建設省, 発注する直轄公示に国際規格ISO9000シリーズを導入と決定</p> <p>6.22 神戸市, ポートアイランド沖に設置する埋立て面積271.6ha, 滑走路2500mの神戸空港着工. 2005年度開港の予定</p> <p>6.27 山陽新幹線の福岡トンネル(8.488km)内でコンクリートがはく離しパンタグラフが損傷, 送電不能のため14本が運休. 落下したコンクリートは200kg. JR西日本では142本ある山陽新幹線の全トンネルで目視検査を実施, 93本のトンネルで異常を発見. 手抜き工事として補修を開始. 運輸省, 建設省とも同調</p> <p>7.15 首都高速湾岸線・並木～杉田間および三溪園仮出入口～本牧阜頭間開通</p> <p>7.30 神戸市, ポートアイランドと新港埠頭を結ぶ神戸港島トンネルが完成. 1.6km中520mは沈埋, 取付部は開削工法で施工. 神戸大橋に続く第2のアクセス</p> <p>8.ー 横浜市営地下鉄1号線・横浜～湘南台間22.5km全通に伴い3号線・横浜～あざみ野間17.9kmと直通運転</p> <p>11.1 道路公団, 中部縦貫自動車道・油坂峠道路9.5km全通</p> <p>12.4 山形新幹線・山形～新庄間全通し, 東京～新庄間421.4kmを3時間30分で連絡</p> <p>12.28 台湾で計画の中の新幹線プロジェクト, 独仏連合を押え日本の企業連合が受注内定</p> <p>12.31 1914年米国工兵隊により開通以来, 米国の強い支配下におかれていたパナマ運河の管理権・運営権がパナマに移還</p> <p>12.ー 東京電力, 山梨県大月市・塩山市に有効落差714mを利用した純揚水式・葛野川発電所1号機40万kW完成. 将来160万kWの予定</p> <p>〔その他〕 ●スイスにアルプスを横断する延長19.1kmのフェライナ鉄道トンネル完成 ●米国ボストンの幹線道路に世界最大幅8車線, 56.4mのチャールス川横断橋</p>	<p>11.1 関西電力, 核燃料検査結果のデータ捏造で福井県高浜原子力発電所3号機のプルサーマル運転延期の最終報告. 12.16 エネルギー庁が4号機にもデータ捏造疑惑を発表</p> <p>11.3 第61回文化勲章, 阿川弘之, 梅原猛ら5人が受章</p> <p>11.12 トルコ北西部でM7.2の地震, 死者500, 負傷者3000人以上. アンカラ北部でもM7.2の地震, 死者705人, 負傷者5100人</p> <p>11.ー 東京の東村山市で生ゴミの堆肥化を開始. この頃, 生ゴミの堆肥化に取り組む自治体は10カ所を超える.</p> <p>12.1 世界遺産委員会, 日光の3社寺を世界遺産に登録.</p> <p>12.15 ベネズエラ北部に集中豪雨. 土砂崩れと洪水で死者3万人</p> <p>12.20 ポルトガルに統治されていたマカオ, 450年ぶりに中国</p> <p>12.20 ポルトガルに統治されていたマカオ, 450年ぶりに中国へ返還</p> <p>12.22 奈良の長屋王屋敷跡から奈良時代の庭池の遺構が出土と発表</p> <p>12.24 鹿児島県指宿市の水迫遺跡から1万5000年前の後期石器時代の堅穴住居跡, 道路状置構が出土と発表</p>

注: 「土木一般」「社会一般」は、岡本義喬・為国孝敏が原案を作成して編纂した。

2000 (平成 12) 年

会長 鈴木 道雄 副会長 岸 清, 彦坂 熙, 三浦 尚, 森地 茂, 山本 卓朗

会員数 33,559 名

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
1.21 土木遺産顕彰制度設置について承認	3.17 「電気化学的補修工法に関する検討」, 「ベネズエラ洪水・土砂災害調査」の受託承認	2.29 「バングラデシュ工学会との協力協定調印式および全国大会」古川参与 (バングラデシュ・ダッカ)
1.21 土木技術者資格制度検討 WG 設置について承認	6.23 「広域最終処分場計画調査 (廃棄物海面埋立環境保全調査)」 「歴史的土木構造物等調査」の 2 件受託承認	3.3 ベトナム建設学会 Pham Hong Luan 教授一行 表敬訪問
1.21 日本学術会議 18 期会員候補者の推薦承認	7.21 「四国における市民参加型公共事業の進め方に関する調査」の受託承認	4.16~18 ベトナム建設協会 (VCA) との協力協定調印式
1.21 JABEE が正式に発足	7.21 「四国の自然災害に関する調査」の受託承認	4.18~20 台湾分会設立総会へ岡村会長, Ellen Wang 国際委員会委員, 吉川国際室長が参加
1.21 土木図書館増改築の承認	7.21 「四国の自然災害に関する調査」の受託承認	4.24~26 「ACECC 第 2 回 Executive Committee Meeting」へ岡田 ACECC 会長, 日下部同事務総長, 芹野同事務局長, 住吉 2ndCECAR 組織委員会委員長, 寺師司幹事長が参加
1.21 バングラディッシュ工学会の協力協定承認	7.21 神津島近海地震被害調査団の設置	5.15 ドイツ工学会 Mr.Franz Biedermann 表敬訪問
3.17 土木学会ロゴマークを選定	9.14 「新技術教育の外部承定制度導入に関する調査」の受託承認	7.5~8 「韓国分会設立総会」へ鈴木会長, 花村国際委員会副委員長, 吉川国際室長が参加
3.17 土木技術者の論理規定 (英文) についての承認	9.14 「土木施工マニュアルにおける現地における技術交流」の受託承認	9.7~9 第 4 回国際流体力学会議 (共催) (横浜市)
3.17 ISO/TC113 の国内審議団体の引き受けについての承認	9.14 「東海豪雨災害に関する調査団」の派遣	9.21~22 中国土木水利工程学会 Dr.John Chien-Chuan Li 会長一行, 大韓土木学会 Dr.Kwang-Il Kim 会長一行, シンガポール工学会 Ms.Lee Bee Wah 副会長一行, 平成 12 年度全国大会出席
3.17 ベトナム建設学会との協力協定承認	11.22 災害緊急対策部門よりメコン河洪水氾濫調査費用として災害調査費より 200 万を支出	9.23~25 シンガポール工学会 Ms.Lee Bee Wah, 学術交流基金
3.17 支部交付金の新算定方式による算出を承認	11.22 新世代交通システム用超高性能コンクリート構造物建設施工指針 (案) の検討, 「土木海岸・海洋環境学」の受託承認	9.25 米国工兵隊 Dr.Dennis Norris 夫妻 ミシシッピ川リバー トレーニング紹介
4.21 土木学会賞の検討についての承認		10.17 「ACECC 第 3 回 Executive Committee Meeting」へ日下部 ACECC 事務総長, 芹野同事務局長, 住吉 2ndCECAR 組織委員会委員長, 寺師司幹事長, 花村同委員, 奥村同委員が参加
4.21 「社会資本と土木技術に関する 2000 年宣言—土木技術者の決意—」 標記宣言 (案) の承認		10.18 会長の海外出張 ASCE 全国大会 (ワシントン州シトル市)
4.21 海外支部設置に伴い細則を一部改正		10.18~21 「ASCE (米国土木学会) 全国大会」へ鈴木会長, 三好専務理事, 嘉門国際委員会委員長, 花村同副委員長, 内村土木学会会員, 奥村土木学会会員, 中村土木学会会員, 吉川国際室長が参加
4.21 建設コンサルタント委員会からコンサルタント委員会への名称変更の承認		10.26 会長の海外出張 KSCE 全国大会 (江原道コンピュンリゾート)
5.12 土木技術者資格認定制度の承認		10.26~29 「KSCE (大韓土木学会) 全国大会」へ鈴木会長, 花村国際委員会副委員長, 松尾事務局長が参加
6.23 「社会資本整備と技術開発の方向に関する検討委員会」の設置を承認. 同時に鈴木会長の委員長就任を承認		10.30 長瀬部長以下 10 名程度の派遣で ISO 欧州調査
6.23 「技術者環境に関する特別委員会」の設置を承認, 委員長に岡村 甫前会長		11.2 カナダ土木工学会 Dr.Robert Loov 会長, 表敬訪問
6.23 土木学会技術者資格評議会の規定等及び議長に岡村 甫前会長を承認		12.1 会長の海外出張中国 (台湾) 土木水利工程学会の全国大会に出席
6.23 学術文化事業の指定型 1 件の承認		12.1~3 「CICHE (中国土木水利工程学会) 全国大会」へ鈴木会長, Ellen Wang 国際委員会委員長, 吉川国際室長が参加
6.23 海外支部規定について承認		12.8 大韓土木学会 Dr.Kwang-Il Kim 会長, 表彰制度打ち合わせ.
7.21 理事会・企画運営連絡会議構成について承認		
7.21 固定資産の除却の承認		
9.14 表彰規定, 学術振興基金規程の変を承認		
9.14 学術文化事業の指定型 2 件, 一般型の承認		
11.22 フィリピン土木学会協力規定の更新について承認		
11.22 学術文化事業指定型 2 件の承認		
11.27 JABEE・土木工学分野の説明会		

2000 (平成 12) 年

行事・集会 (本部)

- 1.10 ワンデイセミナー18「ITS—効率的な道路利用に向けて」(講演 15 題)
- 1.14 第 5 回地下空間シンポジウム—環境と共生できる地下空間をめざして— (特別講演 3 題, 査読付論文発表 13 題, 一般投稿論文発表 18 題)
- 1.14 シンポジウム「国際化時代の橋梁デザイン」(講演 7 題)
- 1.25 平成 11 年度版コンクリート標準示方書〔施工編〕講習会 — 耐久的なコンクリート構造物の構築を目指して— (講演 14 題)
- 1.25~27 第 49 回理論応用力学講演会 (共催) (東京都)
- 1.26~27 第 30 回岩盤力学に関するシンポジウム (講演 74 題)
- 1.27 第 13 回建設コンサルタントシンポジウム「千年紀に考えるコンサルティング・エンジニア—21 世紀社会への良質な資産の創造に向けて—」(講演 3 題)
- 2.1~2 第 15 回 環境工学連合講演会 (共催) (東京都)
- 2.5 応用力学フォーラム (北海道支部) (講演 3 題)
- 2.9 コンクリートのポンプ施工指針に関する講習会 (講演 9 題)
- 2.10 コンクリートのポンプ施工指針に関する講習会 (講演 9 題)
- 2.22 最新の施工技術—2000. 2 講習会「トンネル・シールド技術の最前線」(講演 10 題)
- 3.1 応用力学フォーラム (第 13 回乱流フォーラム) (講演 2 題)
- 3.10 応用力学フォーラム (西部支部) (特別講演 1 題, 論文提供 3 題)
- 3.15~17 第 44 回水理講演会 (講演 211 題)
- 3.22 コンクリートのポンプ施工指針に関する講習会 (講演 9 題)
- 3.22 土木における景観・デザイン教育に関するワークショップ (講演 6 題)
- 3.27 第 1 回構造物の破壊過程解明に基づく地震防災性向上に関するシンポジウム (講演 54 題)
- 3.28 鋼繊維補強コンクリート柱部材の設計指針 (案) 講習会 (講演 7 題)
- 3.29 第 3 回生活環境設計シンポジウム (共催) (東京都)
- 4.4~5 第 46 回構造工学シンポジウム (講演数 200 題)
- 4.18 21 世紀における社会基盤整備のあり方に関するシンポジウム (基調講演 1 題, パネルディスカッション)
- 4.18 第 4 回環境工学サロン(共催) (東京都)
- 4.20 コンクリート構造物の耐震性能調査—検査課題と将来像— (講演数 10 題)
- 4.20~21 土木計画学ワンデイセミナーシリーズ 19「土木計画における公平論を巡って」(パネル 1 件, 講演数 16 題)
- 5.8 構造工学委員会講演会 (講演数 2 題)
- 5.8~10 地下水に関する国際シンポジウム 2000 (共催) (大宮市)
- 5.9・16 ケーブル・スペース構造の基礎と応用に関する講習会 (講演数 9 日 11 題, 16 日 11 題)
- 5.10 第 7 回工学教育連合講演会 (共催) (東京都)
- 5.11~12 第 38 回原子力総合シンポジウム (共催) (東京都)
- 5.12 計算力学フォーラム「日本の計算力学の現状と課題」(特別講演 1 題, 活動報告パネルディスカッション)
- 5.12 「土木工学における逆問題入門」講習会 (講演数 11 題)
- 5.18~19 第 2 回リアルタイム地震防災シンポジウム (講演数 12 題)
- 5.18 研究報告会「コンクリート構造物のデザイナー—材料特性・プレキャスト・先人のデザイン・マネジメンター—」(講演数 5 題)
- 5.19 「阪神淡路大震災の被害分析の基づくコンクリート構造物の耐震性能照査方法の検証—検討課題と将来像—」に関する講習会 (講演数 19 題)
- 5.26 感性工学 2000 (第 4 回感性工学シンポジウム)
- 6.1 第 2 回ライフサイクルコストに関するワークショップ (講演数 4 題)
- 6.2 第 2 回海洋シンポジウム (共催) (東京都)
- 6.8~9 第 5 回構造物の衝撃問題に関するシンポジウム (講演数 59 題)
- 6.8~9 2000 年度新しい河川整備・管理の理念とそれを支援する河川技術に関するシンポジウム (講演数 72 題)
- 6.9~10 地域シンポジウム「環境まちづくり交流会 in 京都」(基調講演 2 題, 講演数 9 題, 展示)
- 6.10~11 第 20 回土木史研究発表会 (発表 132 件)
- 6.15~16 第 25 回海洋開発シンポジウム (講演数 107 題)
- 6.20 第 5 回環境工学サロン (共催) (東京都)
- 6.21~23 「土木学会による実務者のための耐震設計入門」平成 12 年度東京セミナー (講演数 11 題)
- 6.23 都市と都市計画—21 世紀— (共催) (東京都)
- 6.27 リサイクル工学シンポジウム (共催) (東京都)
- 6.29 舗装工学研究小委員会講演会 (講演数 4 題)
- 6.29 土木情報システム関西セミナー2000「土木分野における IT と情報共有技術」(講演数 9 題)
- 6.30 応用力学フォーラム「第 14 回乱流フォーラム」(講演数 2 題)
- 6.30 土木学会環境システムシンポジウム 2000「自然を利用した都市づくり」

2000 (平成 12) 年

行事・集会 (本部)

- 7.6~7 第 8 回地球環境シンポジウム (講演題数・論文 46 件, パネル 37 件)
- 7.12 第 14 回コンサルタントシンポジウム「国際化と地震防災～構造技術者の役割と育成～」(講演数 8 題)
- 7.13~14 第 8 回建設ロボットシンポジウム (共催) (東京都)
- 7.13~14 第 30 回安全工学シンポジウム (共催) (東京都)
- 7.15 土木計画学シンポジウム「災害リスク研究の最前線と社会への提言」(講演数 14 題)
- 7.19 フレッシュコンクリートのコンシステンシー評価指標に関するシンポジウム—スランプの次にくるもの— (講演数 16 題)
- 7.25~7.27 第 5 回レール/車輪の接触力学と磨耗に関する国際会議 (共催) (東京都)
- 7.31~8.2 第 2 回交通・運輸研究に関する国際会議 (共催) (北京市)
- 7.27 「連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針」に関する講習会 (講演数 9 題)
- 7.28 第 4 回耐震補強・補修技術, 耐震診断技術に関するシンポジウム (講演数 19 題)
- 7.28 The Second International Summer Symposium (講演数 100 題)
- 8.1~3 2000 年度 (第 36 回) 水工学に関する夏期講習会
- 8.1~3 国際標準 (ISO) の基づく構造物の設計法講習会 (講演数・1 日 4 題, 3 日 4 題)
- 8.3・9・25 トンネルコンクリート施工指針およびコンクリート構造物のールドジョイント問題と対策に関する講習会 (講演数 3 日 12 題, 9 日 12 題, 25 日 12 題)
- 8.8 土木工学系高等教育機関における倫理教育に関する講習会 (講演数 6 題)
- 8.8~9 第 5 回水シンポジウム 2000 in くまもと (基調対談, テーマ 4 題)
- 8.22~23 第 34 回夏期講習会・見学会「21 世紀の土木を変革する情報技術 (IT:Information Technology)」(講演数 5 題)
- 8.28 土木計画学ワンデイセミナーシリーズ 20「近年の豪雨災害を踏まえた新たな洪水対策の展開—ソフト対策による被害軽減策の新しい流れ— (講演数 18 題)
- 8.30 第 3 回鋼構造と橋に関するシンポ—環境に配慮した鋼構造物— (講演数 8 題)
- 9.1 コンクリート長大アーチ橋の設計・施工技術の現状と将来に関するワークショップ (講演数 7 題)
- 9.12 「コンクリート構造の時間依存変形・ひび割れ評価—現状と今後の課題—」に関する報告会 (講演数 21 題)
- 9.13~14 第 44 回材料研究連合講演会
- 9.20 第 3 回応用力学シンポジウム (特別講演 1 題, 講演数 89 題)
- 9.21~23 第 55 回年次学術講演会 (3890 題)
- 9.28 高地震力に対する土構造物の耐震設計法に関する研究報告会 (講演数 13 題)
- 10.5~6 「1995 年兵庫県南部地震」5 周年特別企画「日本, 地震, あれから, これから」(講演数 55 題)
- 10.11~13 「土木学会による実務者のための耐震設計入門」平成 12 年度福岡セミナー (講演数 11 題)
- 10.11~12 「第 2 回道路橋床版シンポジウム」および「鋼橋床版の調査研究小委員会活動成果報告会」(講演数 57 題)
- 10.13 ローカルサイトエフェクト (地震動の地盤内増幅) の耐震設計への導入に関するワークショップ (講演数 8 題)
- 10.20 橋梁構造等の耐震設計法に関する講習会 (講演数 11 題)
- 10.24~25 第 25 回土木情報システムシンポジウム (講演数 100 題)
- 10.26~27 第 28 回環境システム研究論文発表会 (講演数 125 題)
- 10.27 ワンデイセミナーシリーズ 21「行動理論と土木計画」(講演数 7 題)
- 11.2 「鋼構造物の性能照査型耐震設計と耐震用高機能鋼材」に関するセミナー (講演数 8 題)
- 11.6 コンクリートのクリープ・乾燥収縮に関する研究成果報告会 (講演数 9 題)
- 11.6 風災害フォーラム「21 世紀を前に—強風災害の変遷と教訓—」(共催) (東京都)
- 11.6~8 第 4 回構造物の安全性および信頼性に関するシンポジウム (共催) (東京都)
- 11.7 橋梁振動モニタリングのガイドラインに関する講習会 (講演数 7 題)
- 11.7~9 第 47 回海岸工学講演会 (講演数 276 題)
- 11.8~9 第 2 回日本制震シンポジウム (共催) (京都市)
- 11.10 「環境評価・環境コスト」講習会 (講演数 5 題)
- 11.13 構造工学委員会講演会 (講演数 2 題)
- 11.16 第 2 回免震・制震コロキウム (講演数 42 件)
- 11.17 社会資本のメンテナンスに関するシンポジウム—第 3 回構造物の診断に関するシンポジウムと第 2 回鋼構造物の維持管理に関するシンポジウム—の合同シンポジウム (講演数 8 題)
- 11.20 平成 12 年度土木の日特別行事公開座談会 (講演数 2 題)
- 11.23~25 第 23 回土木計画学研究発表会 (講演数 2 題, 発表 430 件)
- 11.27~28 日本技術者教育認定機構・土木分野の説明会 (講演数 10 題)
- 11.28 講習会「都営地下鉄 12 号線 (大江戸線) 環状部の施工技術」(講演数 10 題)
- 11.29 トンネルの設計における限界状態設計法の適用についての中間報告会 (講演数 4 題)
- 11.29 「ISO への対応」に関する第 3 回シンポジウム (講演数 7 題, パネルディスカッション 1 題)
- 11.29~12.1 第 16 回風工学シンポジウム
- 11.29~30 第 37 回環境工学研究フォーラム (講演数 84 件)

2000 (平成 12) 年

行事・集会 (本部)

11.30 応用力学フォーラム (第 15 回乱流フォーラム) (講演数 3 題)
11.30 ライフサイクルコストに関するワークショップ (講演数 4 題)
11.30~12.1 第 10 回トンネル工学研究発表会 (講演数 12 題, 報告 44 題, パネルディスカッション「21 世紀のトンネル工学を考 える」1 題)
12.5 「第 19 回土木学会映画・ビデオコンクール」入賞作品発表会・表彰式 (上映 3 作品)
12.5 「コンクリート構造物の腐食・防食および維持管理」に関する講習会 (講演数 19 題)
12.6 土木のデザインとコンセプト
12.6 第 18 回建設用ロボットに関する講習会 テーマ「災害復旧における無人化施工」一施策の背景と技術の変遷 (雲仙から有珠 山まで) と将来展望一 (講演数 6 題)
12.7 土木計画学ワンデイセミナーシリーズ 22「交通事故分析と ITS による交通事故減の可能性について (2)」 (講演数 12 題)
12.7~8 第 18 回建設マネジメント問題に関する研究発表会 (パネル 1 件, 講演数 2 題, 発表 48 件)
12.8 第 4 回地震時保有耐力法に基づく橋梁の耐震設計に関するシンポジウム (講演数 100 件)
12.8 第 3 回東京湾海洋環境シンポジウム
12.9 コンクリート標準示方書[維持管理編]に関する講習会 (講演数 12 題)
12.13~15 第 7 回鉄道技術連合シンポジウム (共催) (川崎市)
12.22 流体力の評価とその応用に関するシンポジウム (講演数 8 件)

2000 (平成 12) 年

支部の動き

北海道支部
2.9 第 5 回講習会「有効資源利用に関する講習会」講演 6 題
5.10 第 1 回講習会 平成 11 年度コンクリート標準示方書 (施工編) (講演数 2 題)
6.2 第 2 回講習会 水理公式集改訂版に関する講習会 (講演数 12 題)
7.13 第 3 回講習会 岩盤斜面の調査と対策に関する講習会 (講演数 6 題)
8.25 第 4 回講習会 仮設構造物の計画と計画と施工「平成 12 年版」に関する講習会 (講演数 10 題)
12.8 第 5 回講習会 コンクリートのポンプ施工指針に関する講習会 (講演数 7 題)
●「土木の日」行事
8.5 一般市民対象 (親子) 現場見学会 (豊平峡ダム, 藻岩発電所)
8.11 高校教諭対象現場見学会 (有珠山噴火の現状, 日本道路公団・豊浦間工事現場)
11.17 講演会 (パネルディスカッション)
11.17 映画会 (「土木の日」講演会)
東北支部
* 講習会「仮設構造物の計画と施工」
* 「技術講座と映画の会」 (講演数 3 題)
●「土木の日」行事
8.12 見学会 (安積疎水通水から 120 年—今再び郡山を考える—) 安積疎水関連施設
9.30~10.1 「ランドアート' 2000」
11.1 「庄内・土木技術フォーラム」
10.21~22 学園参加型関連行事 (東北工業大学)
10.21~22 学園参加型関連行事 (日本大学工学部)
11.18 土木の日フェスティバル' 2000 (安積疎水通水から 120 年—今再び郡山を考える—)
11.25 野蒜築港 120 年フォーラム
関東支部
4.21 第 6 回「KANTO シビックサークル」一産・官・学の技術者交流会—
7.17 平成 12 年度中学生記者取材講習会 (港湾コース: 運輸省第 2 港湾横浜調査設計事務所水理環境実験センター等, 空港コース: 空港内緒施設見学)
8.26 第 6 回土木系学生によるコンクリートカヌー大会
8.31 講習会「仮設構造物の計画と施工 (平成 12 年版) に関する講習会」 (講演数 10 題)
11.10 講習会「21 世紀のより効率的な社会資本整備に向けて—PM (プロジェクトマネジメント) への取り組みの現状」 (講演数 6 題)
* 次世代土木技術者育成支援事業 (仮称)

2000 (平成 12) 年

支部の動き

●「土木の日」行事

6.1～9.30 第1回「土木とくらし」写真コンテスト

10～12. 第1回見学会 技術研究所見学会 (各企業体と共催)

11.25 第2回見学会 「東京における近代土木遺産」見学会 (高校生対象) (東京大学工学部1号館)

11.22 第3回見学会 (首都高中央環状線西新宿シールドトンネル工事,みなとみらい21線との相互直通運転に伴う東急東横線地下工事現場見学)

中部支部

5.9 講演会「最近の科学技術の進歩」,「静岡県の土木行政の概要」

5.11 講習会「平成11年度版コンクリート標準示方書施工編 ー耐久性照査型ー制定に伴う講習会」

6.28 講習会「仮設構造物の計画と施工〔平成12年度版〕

9.13 市民ゼミナール 第1回「愛知万博をめぐる最近の動き」

10.6 留学生交歓会

10.11 市民ゼミナール 第2回「山の時間と人の時間 ー山国日本の治山・治水ー」

11.18 市民ゼミナール 第3回「明治の土木事業に学ぶ ーデ・レイケの業績に見るシビル・サイエンス」

11.30 講習会「渋滞と環境を中心とした欧州の交通政策の最新情報」

12.18 技術講座 第1回「土木構造物の耐震設計」

12.19 市民ゼミナール 第4回「土木景観をつくる ー風景と土木構造物との融合・調和ー」

* 見学会 (国152号 (新鹿島橋),佐鳴湖公園・佐鳴湖浄化事業, (主) 浜松環状線 (新川大橋), 東地区区画整理事業)

●「土木の日」行事

10.28 土木の日見学会「名古屋港周辺及びその周辺土木施設及び工事現場の船上見学」(名港トリトン,高潮防波堤,中部国際空港,第2名神木曾川揖斐川橋梁架設現場)

11.12 市民見学会「土木施設と海のかかわりを考えよう」(第2名神高速道路建設現場,中部国際空港建設現場,四日市港ポートビル,中部電力川越火力発電所)

11.12 市民見学会「鉄道のかこ・げんざい・みらいをたずねる」(地下鉄4号線 (本山～名古屋大学),レトロでんしゃ館,HSST大江実験センター)

11.19 市民見学会「大型橋梁工事,地すべり対策,下水道処理の取り組み」(茂管2号橋,下石川地すべり,アクアパル千曲)

関西支部

5.26 トンネル切羽前方探査に関するシンポジウム・講習会

6.27 平成11年度版コンクリート標準示方書〔施工編〕講習会

8.21 コンクリート構造の設計・施工の基本に関する研修会 (設計技術者対象研修会)

8.22 コンクリート構造の設計・施工の基本に関する研修会 (施工技術者対象研修会)

9.8 仮設構造物の計画と施工〔平成12年度版〕に関する講習会

11.16 これからの社会資本整備に関する講習・研究討論会

●「土木の日」行事

11.11 「環境楽土 (エコパラダイス)」(エコランド音羽の杜見学とシルクホールでのイベント開催)

11.11～12 '00 土木の日行事「すごいぞ土木 Heart Warming」

中国支部

10.3 技術者向け講習会

10.20 コンクリート講習会

11.1 技術者向け講習会

11.20～21 土木フォーラム

11.25 工事報告会

6.2～3 支部研究発表会 (発表数 391 題)

* 学生工事見学会 (土木の日の見学会と共催)

●「土木の日」行事

10.6～8 みる・きく・ふれる建設技術フェア

10.20～23 こどもミニ土木博 (福山会場)

11.1～3 「土木遺産を考える」

11.5 こどもミニ土木博 (東広島会場)

11.4～5 こどもミニ土木博 (広島会場)

2000（平成12）年

支部の動き

11.10 土木の日記念講演会
11.11～12 第7回くらしと土木展
11.18 土木と環境デザイン
11.18 しまなみ海道橋梁技術勉強会
11.18 親子見学会
11.18 「土木の日」行事
11.18（周辺）山陽道見学会
11.18（周辺）山陰道見学会
10月11月 現地見学会

四国支部

5.22 講演会「APEC エンジニア相互承認の特徴と技術者教育に与えるインパクト」
9.29 「トンネルコンクリート施工指針及びコンクリート構造物のコールドジョイント問題と対策」
10.13 「仮設構造物の計画と施工」に関する講習会
11.14 土木の日記念講演会

西部支部

1.18 「沿岸域・河川域の環境改善技術」講習会
2.16 技術発表会 講演6題
3.7 「コンクリートのポンプ施工指針」講習会
4.25 「平成11年度版コンクリート標準示方書施工編 ー耐久性照査型ー制定」講習会
5.25 特別講演会（総会）
7.14 「新しい材料、工法・機械」講習会
8.30 見学会（会員）「長崎駅、女神大橋現場等の見学」
9.13 「仮設構造物の計画と施工」講習会
10.14～22 海外研修 アメリカ現場見学等
10.25 見学会（一般市民）「九州電力九重地熱発電所等の見学」
11.25 見学会（会員）「北九州空港連絡橋及び響灘現場見学」

●「土木の日」行事

福岡地区

建設技術フェア2000 会場の一角にて、土木の日PR、パネル展示、ビデオ上映会、イベント

北九州地区

「土木学会選奨土木遺産」引渡式、土木重機展示・試乗、ビデオ上映会等

佐賀地区

土木フェア、嘉瀬川河川敷バルーンフェスタ会場、パネル展示、体験コーナー、クイズ他

長崎地区

土木の日「浜町パネル展」浜町アーケード街、パネル及び模型展示他

熊本地区

小学生による絵画コンクール

大分地区

土木の日PR、見学会、他

宮崎地区

街頭PR「土木ふれあい」マップやリーフレット等配布、現場見学会

鹿児島地区

'00土木フェスタ in KAGOSHIMA スケッチコンクール表彰式、優秀作品展示・表彰

沖縄地区

「土木の日」パネル展、模型PR展示

土木一般	社会一般
<p>1.10 東京の多摩都市レール・立川北一多摩センター間 10.6km 開通し、多摩センター～上北台間 16km が全通</p> <p>1.22 韓国の大邱市の地下鉄 2 号線の工事現場で長さ 30m、幅 40m にわたり道路と覆工板が崩壊。死者 3 人</p> <p>1.23 吉野川可動堰計画の賛否を問う住民投票に対し反対票 90.14% (総投票数 11 万 4000 票弱)。計画を白紙に戻し再検討となる。</p> <p>2.28 運輸省、山陽新幹線、福岡・北九州トンネルのコンクリート崩落事故を受けトンネル安全問題討論会を設置、報告書を公表</p> <p>3.17 文化財保護審議会、横利根閘門 (1921)、船頭平閘門 (1902)、など 8 件を重要文化財に指定。109 件の登録文化財を決定</p> <p>3.22 中部電力、三重県知事の要請を入れ芦浜原子力発電所の建設を断念</p> <p>3.22 奈良県明日香村教育委員会、日本最大級の導水施設を同村で発見と発表。655～661 年の両槻宮の一部とされる。</p> <p>3- JR 仙石線・仙台地区地下鉄工事および JR 立体交差化終了。地下鉄南北線と結節</p> <p>4- 本四公団、神戸鳴門ルートの大鳴門橋の下層鉄道橋部分を廃線、遊歩道として公開</p> <p>4- 東京電力、千葉県に専用埠頭を持つ富津火力発電所 (LNG) 200 万 kW 完成</p> <p>4- 八丈島で日本初の風力発電 500 万 kW の発電開始</p> <p>5- 建設現場の廃棄物再利用のための建設資材リサイクル法公布</p> <p>7- 東北電力、秋田県能代市に能代火力発電所 (石炭) 120 万 kW 完成</p> <p>7- デンマークとスウェーデン両国を複合沈埋トンネル・人工島、併用橋で結ぶ 15.84km のオーレスン海峡横断路が開通、工費 2700 億円は同距離の東京湾横断道路の 5 分の 1 と野党が批判</p> <p>8.7 農水省、1988 年以来工事が中断中の島根県中海干拓工事の中止を決定</p> <p>8.22 国際調査団、ペルー・ボリビア国境のチチカカ湖底に水没していた延長 3km、幅 60m の遺跡群を発見、寺院・石垣・道路などを確認。先インカ期 500～1000 年のものと推定</p> <p>8.28 政府、予党 3 党の申し入れを受け公共工事 255 件 2 兆 8000 億円の中止勧告に同意、中止確定の 24 件は中海、吉野川河口堰など。11.28 建設・運輸・農水の 3 省で最終決定</p> <p>9.9 鉄道公団、東北新幹線・盛岡～八戸間に世界最長の陸上鉄道トンネルの岩手一戸トンネル 25.8km 貫通</p> <p>9.18 朝鮮戦争で分断されていた韓国と北朝鮮間の京義線と沿線道路の連結起工式</p> <p>9.26 東急目蒲線目黒駅完成。目蒲線の復々線化を行い、営団地下鉄南北線、都営地下鉄三田線が相互乗り入れ開始</p> <p>9- 香港道路局、九竜からビクトリア湾口を横切り北の新界へつながる道路の一部にストンカッター島橋の競争設計を公開。2006 年の完成時には中央支間 1018m の世界最長支間斜張橋</p> <p>9- 北陸電力、敦賀火力発電所 (石炭) 120 万 kW 完成</p> <p>10.8 土木学会、選奨土木遺産 10 カ所を初指定</p> <p>10- 中国電力、島根県に三隅火力発電所 1 号機 (石炭) 100 万 kW 完成。2 号機は出力・期間とも未定</p> <p>10- 東京都、三宅島噴火をうけ 440ha に火山砂防ダム 28 基の建設に着工 (～2001)</p>	<p>1.30 ルーマニア北西部バイアマールの金製錬工場でシアン化合物 100t がドナウ川ティサ川に流入、ハンガリー、ユーゴスラビアの流域一帯で川水の飲料中止、漁業に大被害</p> <p>1.31 ケニア航空のエアバス A310 アビジャンの空港を離陸後、海に墜落。死者 169 人</p> <p>1.31 神戸地域、尼崎公害訴訟で国と阪神公団の責任の一部を初認定</p> <p>2.3 京都の長岡京跡から 13 棟の建物跡を発見</p> <p>2.22 アフリカ南東部一帯に洪水、モザンビーク南部に壊滅的被害。河川の氾濫で冠水。死者 700 人以上。被害者数十万人</p> <p>3.8 営団地下鉄日比谷線の中目黒付近で下り電車脱線上り電車と衝突、死者 5 人、重軽傷者 35 人、脱線事故をめぐり議論続出</p> <p>3.21 大口需要家向けに電力小売り自由化、一般企業・団体も電気の販売が自由となる。</p> <p>3.27 奈良県桜井市の前方後円墳ホケノ山古墳は 3 世紀半ば、この種では最古の古墳と発表</p> <p>3.28 年金制度改正法が成立、厚生年金の支給年齢 65 歳</p> <p>3.29 北海道の有珠山、23 年ぶりに噴火し噴煙 3200m に達する、温泉街が長期間閉鎖</p> <p>4.1 介護保険制度が発足</p> <p>4.13 平城京跡から奈良時代後半の池や建物などの園池遺跡を発見</p> <p>4.14 コンゴの首都キンシャサ国際空港で弾薬庫が爆発、死者 10 名</p> <p>4.28 出雲大社から高層本殿を推測させる直径 3m の柱 3 組を発見</p> <p>4- 東京都、ビルの屋上 2 割を緑で覆う屋上緑化の指導を強化</p> <p>5.5 さいたま新都心 (大宮、浦和、与野) の街開きを開催</p> <p>5.23 ヨーロッパ 4 カ国を訪問中の天皇・皇后、オランダ初訪問で第二次世界大戦中の旧日本軍による戦争被害を謝罪</p> <p>5.30 政府、2001 年 1 月から実施の中央官公庁再編に関する政令を決定。国土交通省は大臣官房、総合政策局、国土計画局、土地・水資源局、都市・地域整備局、河川局、道路局、住宅局、鉄道局、自動車交通局、海事局、港湾局、航空局、北海道局の 13 局</p> <p>5- 埼玉大学、東京八重洲に国立大学初のサテライト教室を開設</p> <p>6.1 ドイツのハノーバーで万国博覧会開催 (10.31)。入場者は 4000 万人の予測が 1800 万人で大赤字</p> <p>6.4 インドネシア・スマトラ島南西部で M7.3 の地震。ベンクルーやエンガノ島で建物多数が崩壊、死者 120 人以上、負傷者 500 人以上</p> <p>6.6 公害調停委員会、香川県豊島に違法投棄された産業廃棄物 50 万 t の撤去につき香川県と豊島との間に 2016 年末処理を条件に調停、県が謝罪</p> <p>6.13 韓国の金大中大統領と北朝鮮の金正日総書記が 1945 年の分断後初会見 (～6.15)</p> <p>6.16 皇太后良子 (香淳皇后) 97 歳で没</p> <p>6.26 三宅島に地震多発、緊急火山情報、住民 2300 人に避難勧告、安定したため 29 日勧告解除</p> <p>7.1 伊豆半島で M6 級の地震多発。神津島・新島・三宅島では火山噴火などで被害多発 (～7.17)</p> <p>7.8 三宅島雄山噴火</p>

土木一般	社会一般
<p>10.- 関西電力、大阪市内の電力需要増大策として 11.5km の電力幹線洞道をシールド工法で建設、地下空間の有効利用を推進</p> <p>11.- 韓国ソウルと仁川国際空港間に 40km の高速道路開通、併用自走式 2 層吊橋で中央支間 300m の永宗大橋</p> <p>11.- ノルウェー、オスロとベンゲルを結ぶヨーロッパ道路 16 号に道路トンネルでは最長の 24.5km のラウダールトンネルが開通。工事費 150 億円</p> <p>12.12 都営地下鉄大江戸線小径トンネル採用で都庁前～光が丘間 40.7km 全通(環状部 28.8km)</p> <p>12.12 台湾高速鉄道、日本企業 7 社と台湾新幹線への日本新幹線システム導入につき調印、台北～高雄間 345km を 90 分で結び開通は 2005 年 10 月</p> <p>12.14 東北新幹線・八戸～青森間の市ノ渡工区で世界最長となる八甲田トンネル 26.5km(2010 年完成)の切羽付近で大量の土砂が流入。エアモルタルを注入して固化。死者 1 名</p> <p>12.15 チェルノブイリ原子力発電所(1986.4.26 爆発事故)全面閉鎖決定。事故を起こした 4 号機内部はコンクリートで封じられているが内部には 140t の核燃料が放置、嚴重な注意が必要</p> <p>12.- 電源開発・四国電力、徳島県阿南市に栈橋を持つ橋湾火力発電所 1, 2 号機 210 万 kW, および四国電力橋湾発電所 70 万 kW, 合計 280 万 kW 完成。総面積 118 万 k m², 海底ケーブル 50km, 送電線 5km で和歌山県へ送電</p> <p>12.- 建設省、創設した歴史的ダム保全事業として日本最古のアースダム・狭山池の治水ダムへの改修と旧堤体の全断面(底幅 60m, 堤高 15m)を移築し保全。狭山池博物館を建設</p> <p>〔その他〕 ●1999 年から 2000 年にかけて、1970 年代に建設された新幹線トンネルの内部コンクリートが崩落する事故が頻発。高価な補修工事につながる。 ●三菱横浜造船所(旧横浜船渠)第 1 号ドック、1999 年の第 2 号に続き重要文化財に指定(横浜 MM21 地区に移設)</p>	<p>7.10 フィリピンのマニラ首都圏北東部のパタヤ地区のゴミ集積場で高さ 50～60m のゴミ山が 100m にわたり崩落、死者・行方不明者 200 名以上</p> <p>7.21 第 26 回サミット、沖縄県名護市で開催</p> <p>7.25 エールフランスの超音速旅客機コンコルドがシャルル・ドゴール空港離陸後に墜落、死者 113 人</p> <p>8.10 奈良の方広寺で東大寺大仏をしのぐ規模の仏像台座と見られる最大級の台座跡を出土と発表</p> <p>8.14 ロシアの原子力潜水艦クルクスがバレンツ海海底で航行不能、救助作業に失敗、死者 118 人</p> <p>8.18 三宅島で噴煙 8000m 以上に達し島全体に火山灰降下</p> <p>8.23 カイロ発マナマ行きでカフル航空のエアバス、パーレーン国際空港付近で墜落、死者 143 人</p> <p>8.27 モスクワのオスタンキノテレビ塔の地上 460m で火災、死者 3 人、30 日から放送開始</p> <p>9.11 北海道浦河町沖で底引き網漁船・第 5 竜宝丸が沈没、行方不明者 14 人</p> <p>9.11 台風 14 号が沖縄に接近、名古屋など東海地方で記録的な大雨。愛知県内の 8 河川で床上・床下浸水 6 万 9000 棟、東海道新幹線も 22 時間ストップ(～9.12)</p> <p>9.15 第 27 回オリンピック競技大会、シドニーで開催(～10.1)。日本は金 5・銀 8・銅 5 のメダル獲得</p> <p>10.6 中国地方を中心に M7.3 の鳥取県西部地震、境港市で震度 6、岡山県、香川県で震度 5、家屋崩壊 500 棟以上、地盤の液状化、交通機関の寸断、停電 1 万 7000 棟、負傷者 90 人以上</p> <p>10.10 大蔵省、国家財政の貸借対照表を初公開、負債総額 776 兆円</p> <p>10.10 2000 年のノーベル化学賞、白川秀樹筑波大学名誉教授ら 3 人が受賞、化学賞は福井謙一以来 2 人目(1981)</p> <p>10.17 奈良の元興寺の禅室に 582 年伐採の世界最古と見られる木材が使われていたと発表</p> <p>10.31 シンガポール航空のボーイング 747-400 機が台北の中正桃園空港で離陸に失敗し炎上、乗客・乗員 179 人中、死亡者 83 人</p> <p>11.3 第 62 回文化勲章、石川忠雄、白川秀樹、野依良治ら 6 人が受賞</p> <p>11.5 東北旧石器研究所の藤森純一副理事長、宮城県の上高森遺跡と北海道の総進不動坂遺跡の石器発見を捏造と記者会見。以後調査で捏造続出</p> <p>11.11 オーストリア・アルプスの登山ケーブルカーの 3.2km のトンネルを通過中に火災。死者 155 人(日本人 10 人)</p> <p>11.29 秋田県大館市の花岡鉱山で、1945.6.30 中国人労働者が蜂起し 418 人が処刑された事件の中国人側が保証を求めた訴訟で、鹿島組が被害者 986 人に対し 5 億円の基金を設立、中国紅十字会に寄託することで和解。戦後補償裁判での一括救済は初の経験</p> <p>11.30 世界遺産委員会、琉球王国のグスク及び関連遺産群を世界遺産に登録</p> <p>12.2 インドのパンジャブ州パティアーラー近郊で列車の衝突事故。死者 43 人負傷者 150 人以上</p> <p>12.8 尼崎公害訴訟で原告側の住民が勝訴し国と阪神公団が控訴していた裁判で、大型車の交通規制の具体化を条件に控訴から 12 年目に和解が成立</p> <p>12.15 2005 年日本国際博覧会(愛知万博)開催決定。のちオオカの営巣の確認などから開場の森会場位置を移転、敷地も縮小。宅地開発も中止となる。</p>

2000（平成 12）年

土木一般	社会一般
	12.17 福井県松岡町で京福電車の上り線，下り線が正面衝突，死者 1 名，重傷者 25 人 12.25 中国・洛陽市のビルで火災，死者 309 人

注：「土木一般」「社会一般」は、岡本義喬・为国孝敏が原案を作成して編纂した。

2001（平成13）年

会長 丹保 憲仁 副会長 青山 俊樹, 角田 與史雄, 川嶋 康宏, 富岡 征一郎, 彦坂 照

会員数 34,420 名

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>1.19 土木学会継続教育の実施について承認方法を一部修正することで承認</p> <p>1.19 海外支部規定等の変更承認</p> <p>1.19 環境工学、地球環境委員会の内規変更の承認</p> <p>1.19 学術文化事業指定型 4 件、寄付 岡田 宏元会長の受入承認</p> <p>4.20 土木技術者資格認定制度について、4 ランクの技術者資格と名称、5 つの資格要件、審査方法、資格分野等の技術者試験の仕組みについて取りまとめることが承認</p> <p>4.20 技術者登録制度の承認</p> <p>4.20 基本財産取り崩し承認</p> <p>4.20 土木学会土木会館増改築工事について、図書館建替に伴い、個人会員から 1 口 5000 円以上寄付の依頼を決定</p> <p>4.20 土木学会論理規定の運用について、名誉を傷つけ、目的に違反した場合の対応について検討していく旨を承認</p> <p>4.20 土木学会規程および内規の「緊急災害発生に対する緊急調査派遣にかかわる内規」、「土木学会フェロー制度に関する規程」、「土木学会会計規程」の一部変更が承認</p> <p>4.20 土木製図 JIS 改正特別委員会の設置が承認</p> <p>4.20 学術文化事業指定型 1 件助成及び指定型寄付 1 件の受入承認</p> <p>5.11 土木技術者資格認定制度について、1 級技術者の総合的資格分野は当面 1 つにするなど「資格分野」の欄の改善と 1 級技術者を 9 つの分野に分け承認</p> <p>5.11 土木学会技術推進機構運営規程の制定に伴い、土木学会の運営規程、事務局就業規則が一部改正</p> <p>5.11 フェローの認定</p> <p>5.11 技術者登録制度と技術者環境改善の提言を承認</p> <p>5.11 パキスタン工学会との協力協定を承認</p> <p>5.24 土木図書館増改築起工式</p> <p>6.26 日本中国共同主催、「日本・中国地震防災技術セミナー」承認</p> <p>6.26 「日本・中国地震防災技術セミナー」への参加者に交通費 50 万円を支給することが承認</p> <p>6.26 「原子力土木委員会」「地下空間研究委員会」の内規変更</p> <p>6.26 「継続教育実施委員会」「技術評価制度検討委員会」の新設承認及び土木学会技術者資格委員会、技術者登録委員会内規の承認</p> <p>6.26 学術文化事業指定型 1 件の助成を承認</p>	<p>1.19 エルサルバドル地震被害調査団の派遣を承認。ただし、調査報告は災害現地へも報告することを条件に承認</p> <p>3.23 インド西部地震被害調査団の派遣</p> <p>4.20 平成 12 年度鹿児島学術振興財団研究助成が決定</p> <p>5.11 「建設技術の研究開発助成制度」の受託承認</p> <p>5.11 技術者教育プログラム審査委員会の設置</p> <p>5.11 「電力施設解体コンクリートの利用技術確立に関する研究」の受託承認</p> <p>6.26 「四国地方の土木遺産八十八カ所調査研究」「宍道湖・中海の水質生態系の評価に関する研究」「神戸文明博物館群構想の中核を担う土木博物館（仮称）の屋外展示等具体化検討調査」3 件の受託承認</p> <p>7.27 「電気炉酸化スラグ骨材を用いたコンクリートの設計施工指針案の作成」「四国的高速道路利用者の将来推定に関する研究」「四国における石炭灰のコンクリートへの適用性に関する調査研究」「平成 13 年度大深度地下利用に関する技術開発ビジョンの検討に関する調査」「基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価手法の体系化に関する研究」5 件の受託承認</p> <p>11.19 「包括設計コード検討基礎調査」の受託承認</p>	<p>1.19 関西国際空港が ASCE の「ミレニアム・モニュメント」(20 世紀を代表とする土木事業選定プロジェクト) に選定され表彰</p> <p>2.16～20 IEB (パシフィックエンジニアリング学会) 全国大会に花村国際委員会副委員長参加 (パシフィックエンジニアリング学会)</p> <p>3.13 大韓土木学会 Dr.Kwang-Il Kim 会長、学立取得に伴う表敬訪問</p> <p>4.13 中国土木学会 李逸定 国際連絡部顧問表敬訪問</p> <p>4.16～19 米国土木学会 Mr.Robert Bein 会長、中国土木水利工程学会 (台湾) Dr.John Chien-Chung Li 会長一行、大韓土木学会 Dr.Kwang-Il Kim 会長一行、フィリピン土木学会 Mr.Efren H.Sison 会長一行、ベトナム土木学会 Dr.Nguyen Thuong Tien 理事、オーストラリア工学会 Mr.Andrew McIntyre 土木委員長一行、第 2 回アジア土木技術国際会議出席</p> <p>4.16～20 第 2 回アジア土木技術国際会議 (共催) (東京都)</p> <p>5.24～29 「パキスタン工学会 (IEP) との協力協定調印式」花村国際委員</p> <p>5.24 CH2M Hill 社名誉会長、米国土木学会前会長 Dr.James W.Poirot, 第 87 回通商総会出席</p> <p>7.11 ベトナム土木学会 Mr.Nguyen Duy Thang 副事務局長、学術交流基金</p> <p>7.19～20 日本・中国地震防災技術セミナー (共催) (北京市)</p> <p>8.19～22 第 2 回材料に関する国際会議 (共催) (USA・カリフォルニア州)</p> <p>9.10～14 第 2 回 IAHR Symposium on River, Coastal and Estuarine Morphodynamics (共催) (帯広市)</p> <p>9.21 国際委員会において合意を得たトルコ土木学会 (TCCE) との 18 カ国目の協力協定が承認</p> <p>10.2～4 パキスタン工学会 Engr.Ch.Muhammad Rashid Khan 事務局長、大韓土木学会 Dr.Sung-Pli Chang 会長一行、中国土木水利工程学会 (台湾) Mr.Chi-Shou Hsieh 理事一行、アジア土木学会連合協議会 Dr.Kwang-Il Kim 会長、平成 13 年度全国大会出席</p> <p>10.18～21 「英国分会設立総会」丹保会長、三木国際委員会委員長</p> <p>10.29～11.1 「ACECC 第 5 回 Executive Committee Meeting」岡田前会長、日下部 Executive Advisor, 住吉 2nd CECAR 組織委員会委員長、寺前同幹事長、奥村 ACECC 担当委員会委員長</p> <p>10.30 「大韓土木学会創立 50 周年記念全国大会」丹保会長</p> <p>11.16～18 第 5 回 IWA (国際水学会) 国際シンポジウム「農業関連産業における廃棄物・廃水管理問題：2001」(共催) (彦根市)</p> <p>11.28～12.28 「フィリピン土木学会全国大会」花村国際委員会委員</p> <p>12.4～6 第 8 回流れのモデル化と乱流測定に関する国際シンポジウム (共催) (東京都)</p> <p>12.6～8 「中国土木水利工程学会全国大会」古木専務理事、Ellen Wang 国際委員会委員</p> <p>12.12～15 EcoDesign2001 (共催) (東京都)</p> <p>12.20～21 The First Thailand National Convention on Water Resources Engineering (共催) (タイ・Nonthabun 市)</p>

2001（平成13）年

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>6.26 「社会との情報受発信の仕組み委員会」の設置承認。委員長は岸 清承認</p> <p>7.27 論文集投稿要綱の改定承認</p> <p>7.27 学術文化事業指定型 3 件の助成承認</p> <p>7.27 「2001 年の日本社会の姿と社会資本整備のあり方」委員会の設置及び委員長丹保 憲仁を承認</p> <p>9.21 建設技術審査証明実施の 14 機関とは異なった新しい分野での技術評価制度を 10 月からスタートすること、内規を承認</p> <p>9.21 トルコ土木工学会協力協定の承認</p> <p>9.21 視聴覚教育委員会から土木技術映像委員会への名称変更が承認</p> <p>9.21 科学技術振興事業団体の技術者継続的能力開発情報提供事業への参画が承認</p> <p>9.21 表彰規程の一部改訂、「選奨土木遺産選考委員会」「地球環境委員会」の内規改正、「継続教育実施委員会」内規の承認</p> <p>9.21 学術文化事業指定型 1 件、一般型 1 件の助成の承認</p> <p>11.19 平成 14 年度全国大会実施大綱が承認</p> <p>11.19 平成 15 年度全国大会実施支部を四国支部に決定</p> <p>11.19 土木学会学術文化事業について、水理委員会からの申請の助成を承認</p> <p>11.19 フェローの認定（118 名）承認</p>		

2001（平成13）年

行事・集会（本部）

<p>1.9 土木技術者と歴史感覚—Antoine Picon 教授記念シンポジウム（講演数 3 題，パネルディスカッション）</p> <p>1.10 土木計画学ワンデイセミナーシリーズ 23 「ITS—効率的な道路事情に向けて②」（講演数 12 題）</p> <p>1.12 第 6 回地下空間シンポジウム—21 世紀の都市の創造と再生に向けて—（パネルディスカッション，調査報告，審査付論文発表 8 件，一般論文発表 25 件）</p> <p>1.16～17 第 16 回環境工学連合講演会（共催）（東京都）</p> <p>1.17 「原位置岩盤試験法の指針—平板載荷試験法，せん断試験法，孔内載荷試験法—」改訂版発行に伴う主旨説明講演会（特別講演 10 題）</p> <p>1.23 第 1 回 FRP 橋梁に関するシンポジウム（講演数 19 題）</p> <p>1.23～25 第 50 回理論応用力学講演会（共催）（東京都）</p> <p>1.25～26 第 31 回岩盤力学に関するシンポジウム（審査付論文 8 題，自由投稿論文 57 題，パネルディスカッション）</p> <p>1.30 第 15 回コンサルタントシンポジウム「技術者の復権と新展開—21 世紀に輝く技術者とは—」（講演数 4 題，パネル 1 件）</p> <p>2.1・8 土木計画学ワンデイセミナーシリーズ 24 「交通安全対策のフロンティア—道路安全監査システム—」（講演数 1 日 25 題，8 日 25 題）</p> <p>2.5 「土木海岸・海洋環境学」第 1 回講演会（講演数 2 題）</p> <p>2.23 最新の土木技術 14 講習会（講演数 10 題）</p> <p>3.14 第 2 回ジョイントシンポジウム—沿岸環境の総合的評価と管理—</p> <p>3.14 土木計画学ワンデイセミナーシリーズ 25 「高齢社会の都市基盤整備と交通システム」（講演数 7 題）</p> <p>3.15～17 第 45 回水理講習会（講演数 213 題）</p> <p>3.15 第 13 回アゲールシンポジウム</p> <p>3.15 河川災害に関するシンポジウム</p> <p>3.23 安全問題討論会'01</p> <p>4.2 第 1 回計算力学小講習会「計算力学における均質化法入門」</p> <p>4.3～4 インテリジェント材料とスマートストラクチャー（講演 262 題）</p>
--

2001 (平成 13) 年

行事・集会 (本部)

- 4.10 海洋施設設計便覧講習会 (大阪, 講演 6 題)
- 4.13 海洋施設設計便覧講習会 (東京, 講演 6 題)
- 4.16 第 2 回アジア土木技術国際会議
- 4.26 土木海岸・海洋環境学第 2 回講演会 (講演 2 題)
- 5.8 構造工学講演会 (講演 2 題)
- 5.8 第 37 回土木計画学シンポジウム「安全かつ円滑な道路空間を ITS は達成できるか?」(講演 34 題)
- 5.15 これからのメンテナンス技術と市場
- 5.15~16 第 39 回原子力総合シンポジウム(共催)東京都
- 5.18 応用力学フォーラム (第 16 回乱流フォーラム) (講演 4 題)
- 5.22 平成 13 年度「工業教育」連絡講演会 (共催) (東京都)
- 5.26 第 3 回ジョイントシンポジウム「有明海の環境と漁業」(講演 9 題)
- 6.1 性能照査型システムにおけるコンクリート構造物の補強に関する報告会ならびにシンポジウム (講演 14 題)
- 6.2~3 第 21 回土木史研究発表会 (講演 43 題)
- 6.7~8 第 7 回河川技術に関するシンポジウム (講演 110 題)
- 6.8 環境負荷低減のための土木構造物設計ガイドライン講習会 (講演 11 題)
- 6.12 土木海岸・海洋環境学第 3 回講演会
- 6.14 第 26 回海洋開発シンポジウム (講演 116 題)
- 6.19 第 5 回鉄道力学シンポジウム (講演 14 題)
- 6.21 プレキャストコンクリート部材の力学的特性に関するシンポジウム (講演 23 題)
- 6.23 第 4 回ジョイントシンポジウム (講演 7 題)
- 6.26 自己充てん型高強度耐久コンクリート構造物の設計・施工指針 (案) に関する講習会 (講演 9 題)
- 7.6 「ダム建設における水理地質構造の調査と止水設計」講習会 (講演 7 題)
- 7.12~13 第 31 回安全工学シンポジウム (共催) (東京都)
- 7.12~13 第 20 回混相流シンポジウム 2001 (共催) (北九州)
- 7.17 第 5 回耐震補強, 補修技術, 耐震診断技術に関するシンポジウム (講演 17 題)
- 7.17 自己充てん型高強度耐久コンクリート構造物の設計・施工指針 (案) に関する講習会 (講演 9 題)
- 7.18~19 第 9 回地球環境シンポジウム (講演 48 題, パネル展示 50 件)
- 7.23 応用力学フォーラム (第 1 回固体の破壊現象フォーラム) (講演 1 題)
- 7.25~26 第 1 回「木橋技術に関する講習会ならびにシンポジウム」(講演 23 題)
- 7.30 土木計画学ワンジセミナー-26「超長期的展望にもとづく持続可能な都市への再生戦」
- 8.1 第 26 回地震工学研究発表会 (講演 372 題)
- 8.3 高強度フライアッシュ人工骨材を用いたコンクリートの設計・施工指針 (案) に関する講習会 (講演 8 題)
- 8.7 第 6 回水シンポジウム in とやま (講演数 1 題)
- 8.8 国際委員会第 3 回 International Summer Symposium (講演 90 題)
- 8.20 地層処分と地質環境に関する講習会 (講演 4 題)
- 8.23~24 第 35 回夏期講習会・見学会 (講演 4 題)
- 8.29 第 4 回鋼構造と橋に関するシンポジウム (講演 6 題)
- 9.6 「ISO への対応」に関する第 4 回シンポジウム”設計標準はどこへ行く” -国際標準の最新動向-
- 9.6~7 杭基礎の耐震設計法に関するシンポジウム (講演 30 題)
- 9.10 第 38 回土木計画学シンポジウム「都市交通調査を考える~新しい技術と展望」(テーマ 17, パネルディスカッション 2 件)
- 9.18~19 第 45 回材料研究連合講演会 (共催) (東京都)
- 9.20 土木海岸海洋環境学第 4 回講演会 (講演 2 題)
- 9.26~11.28 平成 13 年度シンポジウム「技術者教育認定制度と最近の産業界を取り巻く技術者教育の動向について」(共催)
- 9.28~29 第 11 回キャビテーションに関するシンポジウム (共催) (東京都)
- 10.1 第 4 回応用力学シンポジウム (講演発表 75 題)
- 10.2~4 第 56 回年次学術講演会 (熊本大学, 講演 3,743 題)
- 10.22~23 第 4 回橋梁構造物等の耐震設計法に関する講習会 (講演 17 題)
- 10.26 応用力学フォーラム (第 2 回固体の破壊現象フォーラム) (講演 3 題)
- 10.26~27 橋梁振動コロキウム (講演 36 題)
- 10.30~31 第 26 回土木情報システムシンポジウム (講演 53 題)
- 11.1~2 第 29 回環境システム研究論文発表会 (講演 101 題)
- 11.8~9 「土木学会による実務者のための耐震設計入門」平成 13 年度東京セミナー (講演 11 題)
- 11.12 海岸工学講演会前日シンポジウム「沿岸生態系の機能評価と評価指標」(講演 4 題)
- 11.13 第 48 回海岸工学講演会 (講演 294 題)
- 11.14 第 16 回コンサルタントシンポジウム「メンテナンスの時代」(講演 4 題)

2001（平成13）年

行事・集会（本部）

11.16 土木構造物の耐震設計ガイドラインに関する講習会
11.17 公開シンポジウム よみがえれ砂浜－砂浜再生のための方策－（講演3題）
11.22 新しい複合橋梁に関するシンポジウム（講演9題）
11.23～25 第24回土木計画学研究発表会（講演422題）
11.26 電気化学的防食工法設計・施工指針（案）に関する講習会（講演10題）
11.26 応用力学フォーラム（第17回乱流フォーラム）（講演2題）
11.28～29 第19回建設マネジメント問題に関する研究発表会・討論会（講演65題，パネルディスカッション）
11.28～29 第38回環境工学研究フォーラム（講演88題）
11.29～30 第11回トンネル工学研究発表会（講演60題）
12.4 土木計画ワンデイセミナーシリーズ27「参加型計画への集団意思決定手法の応用」（講演12題）
12.4～5 「土木学会による実務者のための耐震設計入門」平成13年度大阪セミナー（講演11題）
12.6～7 第7回システム最適化に関するシンポジウム（講演33題）
12.10 電気化学的防食工法設計・施工指針（案）に関する講習会（講演10題）
12.11 講習会「土木ISO定期セミナー」
12.11 土木学会地震工学委員会数物小委員会講演会
12.12～14 第8回鉄道技術連合シンポジウム（共催）（東京都）
12.14 「第2回社会資本のメンテナンスに関するシンポジウム」－第3回鋼構造物の維持管理に関するシンポジウム－（講演6題）
12.14 第19回建設用ロボットに関する技術講習会「IT時代の自動化・情報化技術の現状と展望」（講演7題）
12.21 第6回舗装工学講演会（講演28題）

2001（平成13）年

支部の動き

北海道支部
2.3～4 年次技術研究発表会（発表数304題）
5.18 第1回講習会 コンクリート標準示方書（維持管理編）講演7題
9.18 第2回講習会 舗装に関する最新の話題 講演3題
10.18 第3回講習会 自己充てん型高度強度耐久コンクリート構造物設計・施工指針（案） 講演5題
11.16 パネルディスカッション
●「土木の日」行事
8.10 高校教諭対象現場見学会
8.19 一般市民対象（親子）現場見学会 （北見地区）
10.28 「土木の日」クイズ
11.15～18 「土木の日」書道展
10.28 「土木の日」PRイベント
10.13 「土木の日」映画会 ※ 「野付牛大橋」橋名板取付け（昨年橋名を公募したもの） （苫小牧地区）
7.34 土木施設見学会
8.2～3 小・中学生対象トラス模型の作成
10.20～21 環境を配慮した都市模型の展示 （室蘭地区）
10.20～21 土木クイズ・オープンラボ
10.27 自然災害に関する市民シンポジウム （函館地区）
8.2 一日体験学習
10.20～21 高専祭（展示・土木クイズ）
東北支部
※ 継続教育制度創設記念講習会
14.3.9 東北支部技術研究発表会 講演381題 「土木の日」及び「くらしと土木の週間」関連行事,その他市民参加行事
※ 若手技術者育成・若年者啓蒙事業

2001（平成 13）年

支部の動き

※ 東北の土木技術者を語る

3.13 東北支部技術研究発表会（発表数 400 題）

8.3 見学会「奥の細道から三百年～みちのくの玄関福島街道～」

10.20～21 「学園参加型関連行事」

11.17 シンポジウム「奥の細道から三百年～みちのくの玄関福島街道～」

11.10 一般市民見学会「土木遺産と道路建設現場」

11.17 講演会・見学会「大榛第一水源地堰堤」

関東支部

2.22 講習会「土木技術者に求められる資質と素養 - 技術士を目指されている方々のために」（第 12 回）（講演数 6 題）

3.14～15 第 28 回技術研究発表会（発表数 449 題）

6.1 講習会「土木技術者に求められる資質と素養」 - 技術士を目指している方々のために - （群馬県と共催）講演 3 題

7.17 平成 13 年度中学生記者取材講習会

8.25 第 7 回土木系学生によるコンクリートカヌー大会

8.31 講習会「21 世紀の技術者に求められるマネージメント能力」 - 技術士総合技術管理部門を目指している方々のために - 講演 5 題

11.2 講習会「21 世紀のより効果的な社会資本について」 - いま、メンテナンスビジネス - 講演 6 題

●「土木の日」行事

10～12 第 1 回見学会 技術研究所見学会（各企業体と共催）

11.10 第 2 回見学会「東京における近代土木遺産」

11.22 第 3 回見学会

（群馬地区）

11.10 土木フェア in Gunma：親子現場見学会

11.16～18 土木フェア in Gunma：土木フェア展示会

11.14 土木の日記念講演会「新しい空間の創造 - 海洋構造、浮体構造、浮体橋 - 」

（栃木地区）

11.16 記念講演会

中部支部

1.23 市民ゼミナール 第 5 回「行政・市民・学識 3 者の役割」

1.30 技術講座 第 2 回「土木構造物の維持・管理、補修・補強」

3.2 研究発表会（講演数 317 題）

4.26 第 1 回「環境負荷低減のための土木構造物設計ガイドライン講習会」

6.19 第 2 回「仮設構造物の計画と施工[平成 12 年版]に関する講習会

9.18 平成 13 年度継続教育制度創設記念講習会「これからの技術者像と地域の安全・安心を考える」

11.30 第 1 回「豪雨災害 都市はどう対応すべきか」

●「土木の日」行事

11.18 市民見学会 <コース 1>

11.17 市民見学会 <コース 2> <コース 3>

11.9 「木曾三川 未来へのかけ橋」記念講演会

11.10 土木の日見学会

11.13 土木学会選奨土木遺産銘板授与式

11.1 自治体、学校イベントの協賛

関西支部

2.22 土木技術者資格に関する講演会

5.22 2001 年制定コンクリート標準示方書[維持管理編]講習会

7.13 緩衝型落橋防止システムに関する調査研究講習会

8.23 コンクリート構造の設計・施工の基本に関する研修会 第 I 部：設計技術者対象研修会

8.24 コンクリート構造の設計・施工の基本に関する研修会 第 II 部：施工技術者対象研修会

9.12 シールドトンネルの合理的耐震設計法に関するガイドライン（案）講習会

●「土木の日」行事

11.10 「土木の日」関連行事関西地区連絡会及び共催団体合同会議

中国支部

4.2 コンクリート標準示方書講習会 講演 8 題

2001（平成13）年

支部の動き

- 4.27 特別講演会「絵かきのくらしの中の土木」
- 6.1 特別講演会 講演 2 題
- 6.1～2 支部研究発表会 講演 456 題
- 6.2 現場見学会
- 6.1 学生交流会
- 7.13 コンクリート構造物の時間依存変形・ひび割れに関する講習会 講演 11 題
- 8.31 第 19 回 水環境フォーラム山口 講演 6 題
- 9.14 建設技術者・コンクリート技術者のためのわかりやすいコンクリート講習会 講演 6 題
- 9.16 環境に配慮した社会資本整備に関する講習会 講演 4 題
- 9.21 コンクリート構造物の耐久性とその向上に関する講習会 講演 6 題
- 11.6 第 285 回コンクリートセミナー[セメント・コンクリートに関する最新の技術と話題] 講演 6 題
- 11.7 「環境を考える」講習会 講演 2 題
- 11.1 土木フォーラム「萩地域のまちづくりを考える」
- 11.12 「山岳トンネル工法の設計施工に関する講習会」 講演 3 題
- 11.26 「みらいビジョン中国 21」シンポジウム～中国地方の将来像と今後の地域づくり～
- 12.4 第 3 回 水文・水資源セミナー 講演 6 題
- 12.13 「みらいビジョン中国 21」シンポジウム～中国地方の将来像と今後の地域づくり～
- 「土木の日」行事
- 10.20～21 こどもミニ土木博
- 10.27～28 第 8 回くらしと土木展
- 11.1 現場見学会
- 11.2～3 みる・きく・ふれる 国土建設フェア
- 11.2～4 建設工学展
- 11.4 こどもミニ土木博
- 11.10～11 現場見学会
- 11.14 現場見学会
- 11.17 親子見学会
- 11.18 間伐材でつくるレッサーバンダが遊ぶ橋
- 11.18 こどもミニ土木博
- 11.21,26,27 現場見学会
- 四国支部
- 1.17 学術講演会
- 1.25 「コンクリート標準示方書〔維持管理編〕に関する四国地区講習会」
- 2.20 「豪雨と地震による土砂災害から身を守る」
- 5.11 芸予地震調査緊急報告会
- 5.12 国際問題講演会「四国地区建設系外国人留学生等交流会」
- 7.6 建設マネージメント・フォーラム in 四国
- 9.20～29 海外視察調査
- 10.18 継続教育制度創設記念講習会 共催：土木学会技術推進機構
- 11.21 四国社会資本問題研究会研究フォーラム「市民参加による社会資本整備」
- 12.4 フォーラム「世界における PFI の現状と将来」
- 12.7 土木の日記念講演会
- 12.21 学術講演会 共催：地盤工学会
- 「土木の日」行事
- 11 月 18 日の土木の日を中心にして、一般国民に対する普及啓蒙活動に取り組んだ。
- 西部支部
- 2.13 技術発表会
- 3.10 研究発表会
- 3.10 特別講演会
- 5.21 特別講演会（総会） 講演 1 題
- 6.1 コンクリート標準示方書 維持管理編 講習会
- 9.26 見学会（一般市民）「九州電力玄海エネルギーパークーほか」
- 10.4 国際交流特別講演会 講演 2 題
- 10.25 見学会（一般市民）「北九州空港連絡橋及び北九州博覧会」

2001（平成 13）年

支部の動き

<p>●「土木の日」行事 （西部支部） シンポジウム ビデオ上映,基調講演,パネルディスカッション</p>

2001（平成 13）年

土木一般	社会一般
<p>1.一 大阪臨海部の埋立地・舞州と夢州を結ぶ旋回式浮体橋で中央支間長 280m の夢舞大橋, 旋回開閉テストを開始 (2000.7 据付)</p> <p>2.20 田中康雄長野県知事, 県の脱ダム宣言を発表</p> <p>3.4 ポルトガル北部, ポルト東方の町でドーロ川を渡る長さ 200m の橋 (115 年前の架橋) が大雨による増水で崩落, 死者 150 人以上</p> <p>3.4 西武鉄道池袋線, 都道目白通りとの交差方式を一夜で上下を逆転 12.15 中村橋～練馬間の復々線化完成</p> <p>3.18 埼玉県高速鉄道・赤羽岩淵～浦和美園間 14.6 km 開通. トンネル下部に導水管 15 km を新設, 荒川の水を綾瀬川・芝川に導入し浄水. 東急目黒線・営団地下鉄南北線と相互乗入れ.</p> <p>3.26 長野県, 治水・利水ダム等検討委員会条例を公布・施行</p> <p>3.28 米国, 世界各国に CO₂ 排出量の制限を求める京都議定書への不支持を表明. 米国の離反で議定書の発効は絶望的. 7.23 ドイツのボンで開催された国際会議で京都議定書の運用規則主要部分が確認され, 大枠で合意</p> <p>3.29 韓国, ソウル市の西 40km に仁川国際空港第 1 期開港. 永宗島など 1521ha の埋立地に滑走路 3750m×2 本</p> <p>3.一 南京の長江に鋼斜張橋で支間 628m の南京長江第 2 大橋</p> <p>3.一 建設省, 神奈川県に多目的重力式の宮ヶ瀬ダム完成. 堤高 156m, 堤頂長 400m, 堤体積 200 万 m³</p> <p>3.一 道路公団, 首都圏中央連絡自動車道に NATM による 2 階建て大断面の新青梅トンネル完成</p> <p>5.一 中国電力, 岡山県・鳥取県境の旭川・日野川に純揚水式の保野川発電所, 出力 120 万 kW 完成</p> <p>5.一 北九州市, 紫川マイタウン・マイリバー準備事業により, 緑とウォーターフロントを生かした紫川 10 橋など水景都市をめざす</p> <p>6.一 中部電力, 神島火力発電所 (重油) 3 号機が完成, 72 万 kW となる</p> <p>7.8 東北電力, 東新潟火力発電所 4 号機・1 系列 80 万 5000kW 完成, 381 万 6000kW となる. 2006 年の最終出力 460 万 kW (天然ガス+LNG)</p> <p>9.11 ニューヨークの世界貿易センタービルの崩壊により同地区の郊外鉄道 PATH, 地下鉄駅, 地下鉄網に重大な被害. 地下鉄 1・9 号など一部閉鎖</p> <p>10.一 日本政府の開発援助としてアフリカのエジプト本土とアジアのシナイ半島間に側径間 7 運の PC 橋と鋼斜張橋で支間 408m の日本・エジプト友好橋</p> <p>10.一 東名高速, 第 2 名神に鋼箱桁と PC 合成 5 支間, 支間長 275m の木曾川橋および隣接して 6 径間, 支間長 272m の揖斐川橋</p> <p>11.27 政府の特殊法人等改革推進本部, 道路公団・首都公団・阪神公団・本四公団など 7 法人の改革と 2005 年までの民営化を決定. また, 住宅金融・都市基盤・石油公団なども独立法人化決定</p>	<p>1.1 震災予防協会が中心となり地震工学会を設立</p> <p>1.6 中央省庁, 1 府 22 省庁から 1 府 12 省庁に再編成. 運輸省・建設省・国土庁・北海道開発庁が国土交通省. 20 局から 14 局に削減</p> <p>1.13 エルサルバドル南部で M7.7 の地震. 中米一帯に大被害. エルサルバドルで死者 800 人以上, 負傷者 4500 人</p> <p>1.17 米国カリフォルニアに電力危機, シリコンバレーを含む 100 万世帯が停電, 原因は老朽化</p> <p>1.26 インド西部グジャラート州で M7.7 のプーージ地震. 家屋倒壊 35 万棟, 死者 2 万人以上, 負傷者 17 万人近く, パキスタン南部に波及</p> <p>1.28 関東甲信越の雪で高速道路・鉄道に影響. 死者 6 人. 負傷者 258 人</p> <p>2.9 愛媛県立宇和島水産高校実習船えひめ丸, 米国原子力潜水艦グリーンヒルと衝突し沈没. 乗組員 35 人中, 行方不明者 9 人,</p> <p>10. 14 船体引上げ終了</p> <p>2.13 エルサルバドルに M6.6 の地震. 死者 300 人以上, 150 万人が避難生活</p> <p>2.26 アフガニスタンの M.M. オマル師, イスラム教以外の文化財を破壊するように命令, 3 月末バーミヤンの世界遺産 2 体を爆破</p> <p>3.24 瀬戸内海の安芸灘で M6.4 の平成 13 年芸予地震. 広島県・愛媛県・山口県の一部で震度 5 強, 全壊家屋 48 棟, 死者 2 人, 負傷者 261 人</p> <p>3.27 有明海のノリ不作で漁師が諫早湾干拓事業の凍結を要求. 第三者委員会は早くとも 1 年後に諫早湾の開門を結論づけ</p> <p>3.31 大阪市此花区の臨海地帯に 54ha のユニバーサルスタジオジャパン (USJ) 開場. ハリウッド映画のテーマパークで大阪市 25% 出資の第 3 セクター</p> <p>5.1 埼玉県, 県南東部の浦和・与野・大宮の 3 市が合併, 2003.4, 人口 103 万人の政令指定都市さいたま市</p> <p>5.18 ユネスコ, 日本の能楽など 19 件を無形の第 1 回世界遺産に登録</p> <p>5.30 奈良の檀原考古学研究所, 桜井市東田の勝山古墳を発掘材からみて 211 年, 伐採の最古と確定. 古墳時代の始まりも 50 年ほど早まると予測</p> <p>6.23 ペルー南部アレキパ県で M8.4 の地震. 建物の倒壊, 地すべり, 津波など. 死者 145 人, 負傷者 2734 人</p> <p>6.24 京福電鉄越前本線, 福井県で普通列車と急行列車が正面衝突, 重軽傷者 25 人</p> <p>7.13 IOC 総会, 2008 年の第 29 回オリンピック大会を北京で開催と決定. 大阪は最下位投票</p> <p>7.17 イタリア南部シチリア島のエトナ火山噴火. 落石によりケーブルカーが炎上</p> <p>7.21 兵庫県明石市の花火大会で明石海岸と JR 明石駅を結ぶ延長 100m, 幅 6m の歩道橋で 6000 人がひしめき, 誘導・警備態勢が不十分のために死者 11 人, 負傷者 200 人以上</p>

土木一般	社会一般
<p>10.ー 東京都, 荒川区と足立区を結ぶ日暮里～舎人線 10 kmの着工を 2007 年に延期と決定</p> <p>11.ー 埼京線・大宮～恵比寿～大崎間 36.9 km全通. 東京臨海高速鉄道りんかい線と相互乗入れ.</p> <p>12.11 中部電力, 碧南火力発電所 (石炭) 4 号機 100 万 kW 完成</p> <p>12.15 ピサの斜塔の修復が完了し 12 年ぶりに一般公開. イタリア北部トスカナ地方のピサの斜塔 (1350 完成), 1934 年以来とくに傾斜が加速, 1990 年に閉鎖, 1998 年から修復作業に入る. 傾斜部分の反対側土台下を掘削, 頂上部の傾斜を 4.1m にまで戻して公開</p> <p>12.18 国土交通省, 熊本県の川辺川ダム計画で漁業権などの取用を同県収用委員会に申請. 2002 年夏頃の裁定までダム本体の着工は見送り</p> <p>[その他] ●中国の高速道路, 米国に次ぐ世界第 2 位, 総計 2 万 5130 kmとなる. ドイツは 3 位 ●中国沿岸部で海峡横断道路 (渤海湾・長江口・杭州湾口・珠江など) を計画中. 1000m 超の斜張橋, 2000m 以上の吊橋など, 2008 年の北京オリンピックを控え大規模な計画多数</p>	<p>8.6 自動車排ガスと工場排煙の複合大気汚染で健康被害をうけた原告 328 人, 国と企業 10 社を提訴してした名古屋南部公害訴訟が和解</p> <p>8.10 アンゴラの首都・ルアンダ南東 150 kmで独立派による列車襲撃事件. 死者 250 人, 負傷者 150 人以上</p> <p>8.21 台風 11 号, 紀伊半島に上陸, 近畿から北海道にかけ 27 都道府県に被害. 床上・床下浸水 718 棟, 重軽傷者 32 人, 湯水問題は解決</p> <p>8.29 宇宙開発事業団, 種子島宇宙センターから国産ロケット HA1 号機の打ち上げに成功. 1988, 1999 年とも 2 回失敗</p> <p>9.1 東京新宿歌舞伎町の雑居ビル, 地上 4 階, 地下 2 階の明星五六ビル火災, 死者 44 人, 重軽傷者 3 人</p> <p>9.11 ニューヨーク・マンハッタンの世界貿易センタービル (WTC) 42 階, 高さ 110m2 棟, ハイジャックされた旅客機 2 機が自爆テロにより崩壊. さらにハイジャック機 1 機が米国国防省ビルに突入, 別の 1 機がピッツバーク郊外に墜落するなど 4 機の自爆テロによる死者・行方不明者 3250 人以上の重大事故</p> <p>9.26 千葉県の堂本暁子知事, 船橋市沖の三番瀬埋立て 101ha. の計画を中止と表明</p> <p>9.29 東北旧石器研究所の藤本新一元副理事長, 改めて 20 余カ所での石器埋造行為を告白. さらに 10.7, 道県 42 遺跡に及ぶことが判明. 日本考古学協会が調査を開始, 2003 年までに最終結論を出す方針を固める.</p> <p>10.4 ロシアのシベリア航空ツボルフ 154 機, ウクライナ軍により黒海上空で誤射爆発. 死者 78 人</p> <p>10.8 イタリア・ミラノ空港でスカンジナビア航空 MD - 87 機が小型機と衝突, 両機で死者 118 人</p> <p>10.10 2001 年のノーベル化学賞, 野依良治名古屋大学教授ら 3 人が受賞, 平和賞はコフィ・アナン国連事務総長が受賞</p> <p>10. スイスのサンゴットルト・トンネルで大型貨物トラック同士が正面衝突. トンネル閉鎖で貨物輸送網まひ, 死者 11 人</p> <p>11.7 中部電力, 浜岡原子力発電所 1 号機で冷却装置の配管破断発見. さらに原子炉停止後, 放射能を含んだ水が原子炉格納容量内に洩れていることも確認</p> <p>11.3 第 63 回文化勲章, 中根千枝, 井口洋美ら 5 人が受賞</p> <p>11.12 アメリカン航空 587 便のエアバス A300 - 600 がサントドミンゴへ向け J.F. ケネディ空港を離着後ニューヨークの住宅地へ墜落, 死者 265 人</p> <p>12.1 皇太子夫妻に第 1 子誕生. 敬宮 (としのみや) 愛子と決定</p> <p>12.29 ペルーのリマ歴史地区で商業ビル 3 棟が炎上, 死者 290 人以上, 被害総額 1000 万ドルを越す.</p>

注: 「土木一般」「社会一般」は, 岡本義喬・為国孝敏が原案を作成して編纂した。

2002 (平成 14) 年

会長 岸 清 副会長 角田 典史雄, 川嶋 康宏, 田崎 忠行, 濱田 政則, 村上 仁士

会員数 33,555 名

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>1.25 特別上級技術者資格審査について登録者はフェロー会員であること、審査の透明性を図るため原則として試験官の氏名を公表する方針が承認</p> <p>1.25 マレーシア工学会との協力協定承認</p> <p>1.25 海岸工学委員会・大蔵海岸陥没事故調査小委員会の設置が承認</p> <p>1.25 学術文化事業特別型 1 件、指定型 1 件の助成を承認</p> <p>1.25 支部交付金の算定方式変更承認</p> <p>1.25 土木図書館増改築工事報告承認</p> <p>3.15 「技術推進機構運営規程」の変更に伴い細則、運営規程の変更と事務局に「調査役」についての就業規則の一部変更が承認</p> <p>3.15 インド工学会ならびに香港工学会との協力協定承認</p> <p>4.26 書籍売り上げ大幅増により平成 13 年度決算において約 5,900 万円の黒字</p> <p>4.26 舗装工学委員会の設置について承認、また「JSC2000」提言を実現するための調査研究部門活動方針(案)の基本方針・支援内容・具体的活動が諮られ承認</p> <p>4.26 環境賞選考委員会の設置、土木図書館規程、応用力学委員会内規の変更について承認</p> <p>4.26 フェローの認定(124名)承認</p> <p>4.26 モンゴル土木学会との協力協定を承認</p> <p>4.26 学術文化事業指定型 1 件の助成、指定型 1 件の寄付受入を承認</p> <p>5.10 土木図書館・会館収支について承認</p> <p>5.10 技術推進機構運営規程、職員就業規則、事務局分掌規程の変更について承認</p> <p>5.10 平成 15 年度科学研究費補助金の審査委員候補者について承認</p> <p>5.13 土木図書館増改築竣工式</p> <p>6.28 新設の舗装工学委員会の内規案、土木技術映像委員会に内規変更を承認</p> <p>6.28 土木施工研究委員会を「建設技術研究委員会」に名称変更</p> <p>6.28 土木情報システム委員会を「情報利用技術委員会」に名称変更</p> <p>6.28 建設系継続教育連絡協議会準備会設立を承認</p> <p>7.26 PDE 協議会委員会運営への協力</p> <p>7.26 学術文化事業指定型 2 件の助成承認</p> <p>7.26 イランバム地震被害調査団派遣を承認</p>	<p>1.25 「国土政策による温暖化防止効果の定量的予測手法に関する研究」の受託承認</p> <p>1.25 年次学術講演会のフェロー会員特別セッションの創設承認</p> <p>3.15 「開水路の流量測定に関する国際規格における基礎資料作成業務」の受託承認</p> <p>4.26 「舗装工学委員会(仮称)」の新設承認</p> <p>6.28 海外調査(ISO対応特別委員会の活動の一環として、欧州における適合性評価・認証制度に関する調査)</p> <p>6.28 「土木技術者のための合意形成技術の教育方法に関する研究」の受託承認</p> <p>7.26 「土木耐震分野に関する国際規格共同開発調査」「技術分野別の認定審査試行調査」「公共工事における環境物品の調達品目に関する技術検討業務」「物流関連企業の行動メカニズムを考慮した物流交通対策とその評価手法の体系化に関する研究」の 4 件の受託承認</p> <p>9.20 「中山間地域等における歴史的砂防施設の保存・整備活用による地域活性化調査」の受託承認</p> <p>9.20 「原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震安全性評価手法の体系化調査」の受託承認</p> <p>12.03 「高レベル廃棄物処理における調査技術の体系化に関する研究」の受託承認</p> <p>12.03 「万年橋架替に伴う「万年橋歴史的調査」」の受託承認</p> <p>12.03 「表面保護工法に関する研究」の受託承認</p> <p>12.03 「「ISO/TC113/SC5」国際規格回答原案作成」の受託承認</p> <p>12.03 「2002 年ヨーロッパ水害調査」の受託承認</p> <p>12.3 「アフガニスタン国土復興ビジョン検討懇談会」(西野文男座長)の国際会議(カプール)の報告</p>	<p>1.17 中国土木工学会 Mr.Yao Bing (姚兵) 常務理事一行、表敬訪問</p> <p>1.22 アジア土木学協会連合協議会 Dr.Kwang-Il Kim 会長、表敬訪問および第 2 回アジア土木技術国際会議最終組織委員会出席</p> <p>2.7 米国土木学会 Mr.Fredric S.Berger 国際委員会副委員長、表敬訪問</p> <p>5.30 「香港工学会」との協力協定調印式 藤野国際委員会幹事長(香港)</p> <p>5.31 アジア土木学協会連合協議会(ACECC) Dr.Kim Kwang-Il 会長 表敬訪問</p> <p>6.5 「マレーシア工学会」との協力協定書交換式 吉田好孝会員 マレーシア</p> <p>6.8~11 第 4 回熱心力に関する国際会議(共催)(大阪市)</p> <p>6.17~21 第 8 回構造物の安全性および信頼性に関する国際会議(共催)(ニューポートビーチ市)</p> <p>6.20 「モンゴル土木学会」との協力協定書交換式 嶋津晃臣会員 モンゴル</p> <p>6.24 ネパール土木学会(NEA) 会員 Mr.Rajendra NIRAULA Mr.Bodh Prasad POUDYAL 表敬訪問</p> <p>7.15~19 International Meeting of the Psychometric Society(共催)(吹田市)</p> <p>7.22~25 イラン北西部 Changrueh 地震被害調査団派遣 団長 小長井 一男</p> <p>9.3~5 WAVES01(USA・サンフランシスコ市)</p> <p>9.21~25 「International Conference on Kabul and national Urban Vision」派遣 団長 西野文雄</p> <p>9.25~27 大韓土木学会 Dr.Kim Kwang-Il 前会長一行 中国土木水利工学会(台湾) Dr.Jenn-Chuan,Chern 会長一行 フィリピン土木学会 Prof.Primitivo C.Cal 代表、インド工学会 Prof.Samiran Choudhuri 会長一行 平成 14 年度全国大会出席</p> <p>9.2~28 COASTLINES,STRUCTURES AND BREAKWATERS2001(共催)(ロンドン市)</p> <p>10.7 バングラデシュ工学会 Dr.S.M.Parvaz Mohit 学術交流基金</p> <p>10.10 タイ工学会 Dr.Taweeep Chaisomphob 土木部門長 表敬訪問</p> <p>11.2 「ACECC 第 6 回 Executive Committee Meeting」岡田 ACECC 前会長、他(米国)</p> <p>11.3~7 「米国土木学会 150 周年記念全国大会」岸会長、濱田副会長 他(米国)</p> <p>11.7~17 「2002 年ヨーロッパ水害調査団」派遣</p> <p>11.8 「大韓土木学会全国大会」古木専務理事、三木国際委員長、山口栄輝国際委員会委員(韓国)</p> <p>11.12 米国土木学会 Ms.Patricia GalloWay 次期会長 表敬訪問</p> <p>11.26~29 「中国素朴工学会 90 周年記念全国大会」古木専務理事、大林副委員長、他(中国)</p> <p>11.28~29 「中国土木水利工学会全国大会」岸会長、天野国際委員会委員、須田国際委員会委員</p>

2002（平成14）年

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>9.20 「土木分野に関する裁判支援（鑑定人制度）」につき、土木鑑定検討委員会を事例ごとに設置し対応することを承認</p> <p>9.20 資格制度 2 級技術者の受験要件の変更</p> <p>9.20 火山工学研究委員会の新設</p> <p>9.20 表彰規定（国際貢献賞選考委員会、出版文化賞選考委員会）の内規の一部改正を承認</p> <p>9.20 学術文化事業指定型 1 件の寄付受入を承認</p> <p>12.3 フェローの認定（71 名）承認</p> <p>12.3 学術文化事業指定型 1 件の助成、指定型 1 件の寄付受入を承認</p>		

2002（平成14）年

行事・集会（本部）

<p>1.11～12 第 4 回鋼構造物の非線形数値解析と耐震設計への応用に関するシンポジウム（講演 34 題）</p> <p>1.16 「減震・免震・制震構造設計ガイドライン」セミナー（講演 14 題）</p> <p>1.17 応用力学フォーラム（第 3 回固体の破壊現象フォーラム）（講演 3 題）</p> <p>1.18 第 7 回地下空間シンポジウム（パネルディスカッション，審査付論文 16 件，一般投稿論文 36 題）</p> <p>1.19～21 第 2 回高専・短大・専門学校土木教育シンポジウム（講演 3 題）</p> <p>1.21 土木デザインワークショップ 2002 機能空間のデザイナー—その思想と手法—（講演 3 題，パネルディスカッション）</p> <p>1.21 第 2 回計算力学講習会「計算力学における並列計算法入門」（講演 5 題）</p> <p>1.22～24 第 51 回理論応用力学講演会（共催）（東京都）</p> <p>1.24～25 岩の力学国内シンポジウム（共催）（千葉市）</p> <p>1.25 第 5 回地震時保有耐力法に基づく橋梁構造らの耐震設計に関するシンポジウム（講演 64 題）</p> <p>1.25 第 48 回風に関するシンポジウム（講演 13 題）</p> <p>1.29～30 第 17 回環境工学連合会議（共催）（東京都）</p> <p>2.1 「原子力発電所の津波評価技術」に関する講習会（講演 4 題）</p> <p>2.8 応用力学フォーラム（関西/中国・四国地方）（講演 2 題）</p> <p>2.26 第 3 回地震災害マネジメントセミナー「地震リスクマネジメントを考える—その必要性和課題について」（講演 10 題）</p> <p>3.5 土木計画学ワンデイセミナーシリーズ 28「高齢者・障害者を中心とするコミュニティ交通計画と交通バリアフリー」（講演 5 題，パネルディスカッション）</p> <p>2.28～3.1 第 3 回構造物の破壊過程解明に基づく地震防災性向上に関するシンポジウム</p> <p>3.5～6 2002 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会（東京，講演 9 題）</p> <p>3.8 応用力学フォーラム（西部支部）（講演 2 題）</p> <p>3.11 ワークショップ「人口減少下の社会資本の在り方」（講演 1 題）</p> <p>3.12～13 2002 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会（大阪，講演 9 題）</p> <p>3.15 土木計画学ワンデイセミナーシリーズ 29「ITS 社会にむけた交通安全研究の方向性」（講演 16 題）</p> <p>3.18～20 第 46 回水理講演会（講演 207 題）</p> <p>3.18 土木学会地震工学委員会数物小委員会講演会</p> <p>4.2～3 第 48 回構造工学シンポジウム（講演 166 題）</p> <p>4.17 岩盤力学委員会「深地層における軟岩の評価研究報告会」（講演 5 題）</p> <p>4.21 公開シンポジウム明日の仙台海岸を考える—（講演 5 題）</p> <p>5.14 コンクリートの環境自荷評価に関する講習会ならびにシンポジウム（講演 15 題）</p> <p>5.16 第 4 回 固体の破壊現象フォーラム（講演 3 題）</p> <p>5.16 特別シンポジウム「土壌汚染対策法」と土壌・地下水保全の今後（共催）（東京都）</p> <p>5.18 平成 14 年度「工学教育」連合講演会（共催）（東京都）</p> <p>5.20 「鉄筋コンクリート製地中構造物の耐震性能照査技術」に関する講習会（講演 10 題）</p> <p>5.21～26 創立 50 周年記念国際研究集会—21 世紀の材料学—（共催）（大阪市）</p> <p>5.21～22 第 40 回 原子力総合シンポジウム（共催）（東京都）</p> <p>5.23 土木建設技術シンポジウム 2002（講演 70 題）</p> <p>5.23 環境システムシンポジウム「環境の評価システムの理論と実践について」（講演 5 題）</p> <p>5.28～29 設計工学シンポジウム「21 世紀のデザイン・ビジョン」（共催）（東京都）</p>
--

2002 (平成 14) 年

行事・集会 (本部)

- 5.26～31 第 12 回 (2002) 国際海洋極地工学会議—北九州 (共催) (北九州市)
- 5.28 構造工学委員会講演会 (講演 2 題)
- 5.29 George Gazetas 教授講演会 (講演 1 題)
- 6.5～7 第 25 回土木計画学研究発表会 (春大会) (講演 223 題)
- 6.6～7 第 27 回海洋開発シンポジウム (講演 137 題)
- 6.7 近年の国内で発生した大地震の記録と課題シンポジウム (講演 20 題)
- 6.13～14 第 8 回河川技術に関するシンポジウム (講演 98 題)
- 6.21～22 第 22 回土木史研究発表会
- 7.3 水辺のコンクリート構造物研究小委員会 委員会報告とシンポジウム (講演 18 題)
- 7.4～5 第 6 回構造物の衝突問題に関するシンポジウム (講演 18 題)
- 7.11～12 第 32 回 安全工学シンポジウム (共催) (東京都)
- 7.16～17 第 10 回地球環境シンポジウム (講演 76 題)
- 7.16 第 6 回鉄道力学シンポジウム (講演 14 題)
- 7.19 第 18 回乱流フォーラム (講演 2 題)
- 7.23 浮体橋の性能照査型に関するシンポジウム (講演 15 題)
- 7.23～25 第 3 回交通・運輸研究に関する国際会議 (共催) (中国)
- 7.25 第 6 回耐震補強・補修技術・耐震診断に関するシンポジウム (講演 13 題)
- 7.25～26 第 9 回 建設ロボットシンポジウム (共催) (東京都)
- 7.29～31 第 21 回 混相流シンポジウム 2002 (共催) (名古屋)
- 8.2～3 第 6 回 水資源に関するシンポジウム (共催) (東京都)
- 8.3～4 第 4 回 International Summer Symposium (講演 89 題)
- 8.6 第 36 回夏期講習会「21 世紀の社会基盤整備の課題と方向 (21 世紀の土木を考える)」(講演 4 題)
- 8.6～7 第 2 回 リサイクル工学シンポジウム (共催) (東京都)
- 8.9 地震考古学の話題提供と地震痕跡学見学会 (講演 1 題)
- 8.19～20 第 7 回水シンポジウム (講演 5 題)
- 8.27 第 5 回固体の破壊現象フォーラム (講演 3 題)
- 8.30 第 5 回鋼構造と橋に関するシンポジウム (講演 7 題)
- 9.3～4 第 38 回水工学に関する夏期研修会 (講演 16 題)
- 9.10 水理公式集例題プログラム集講習会 (東京会場) (講演 6 題)
- 9.12～13 平成 14 年度土木学会による実務者のための耐震設計入門 東京セミナー (講演 12 題)
- 9.13 第 3 回計算力学講習 (講演 3 題)
- 9.13 水理公式集例題プログラム集講習会 (福岡会場) (講演 6 題)
- 9.14 公開シンポジウム 新潟海岸の砂浜再生—その方策と課題— (講演 4 題)
- 9.18 「美しい国土の創造」に関するシンポジウム国土デザインのビジョン—後世に伝えるべき美しい国土とは— (共催) (東京都)
- 9.18～19 第 46 回 材料研究連合講演会 (共催) (京都市)
- 9.19 水理公式集例題プログラム集講習会 (大阪会場) (講演 6 題)
- 9.20 第 18 回環境工学連合講演会 (共催)
- 9.20 シンポジウム「放射性物質による環境汚染の予防に向けて」(共催)
- 9.24 第 5 回応用力学シンポジウム (講演 103 題)
- 10.9～13 シェル・空間構造の理論 設計および実現に関する国際シンポジウム (共催) (名古屋)
- 10.10～11 平成 14 年度「土木学会による実務者のための耐震設計入門」(仙台セミナー) (講演 12 題)
- 10.18 第 5 回橋梁構造等の耐震設計に関する講習会 (講演 10 題)
- 10.23～25 第 49 回海岸工学講演会 (講演 308 題)
- 10.25 「山岳トンネル覆工の現状と対策」講習会 (講演 6 題)
- 10.25 土木計画学ワンデイセミナー シリーズ 30「効率・環境改善に向けた I T S—現状と課題」(講演 15 題)
- 10.25～27 「ESR 放射線量計測と年代測定の新戦略」国際シンポジウム (豊中市)
- 10.26～27 第 30 回環境システム研究論文発表会 (講演 94 題)
- 10.29～30 第 27 回土木情報システムシンポジウム (講演 50 題)
- 11.1 シンポジウム「放射性物質による環境汚染の予防に向けて」(共催) (東京都)
- 11.6 シンポジウム「道路交通騒音低減のための総合取り組み」(共催) (東京都)
- 11.15 第 4 回地震災害マネジメントセミナー (神戸開催) 地震リスクマネジメントを考える—その必要性と課題について— (講演 10 題)
- 11.2～4 第 26 回土木計画学研究発表会 (講演 353 題)
- 11.8 既設構造物の耐震補強に関するシンポジウム (講演 20 題)
- 11.14～15 第 39 回環境工学研究フォーラム (講演 98 題)
- 11.26～27 変革への挑戦～新しい公共工事システムを考える～ 第 20 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 (講演 43 題)
- 11.27～29 鉄道技術連合シンポジウム[J-Rail'02] (講演 193 題)
- 11.28～29 第 12 回トンネル工学研究発表会 (講演 98 題)
- 11.28～30 アジア太平洋安全シンポジウム (共催) (京都市)

2002（平成14）年

行事・集会（本部）

11.29	土木計画ワンデイセミナー シリーズ 31「効率的で環境にやさしい物流システムー道路交通を中心とした物流施策ハンドブック策定に向けてー」（講演 8 題）
12.02	複合構造物の性能照査指針（案）に関する講習会（講演 7 題）
12.03	第 2 回地震防災技術懇談会（講演 1 題）
12.03	応用力学フォーラム（東北支部）（講演 2 題）
12.03	日本学術会議シンポジウム「エコトピア社会の構築をめざして」（共催）（東京都）
12.03	平成 15 年度工学教育連合講演会（共催）
12.03	「エコトピア社会の構築をめざして」（共催）
12.03	第 18 回環境工学連合講演会（共催）
12.03	ロングライフ鋼橋のための先端工学（共催）
12.04	「建設リサイクル技術」講習会（講演 6 題）
13.4～6	第 17 回 風工学シンポジウム（共催）（東京都）
12.05	「コンクリート耐久性データベースフォーマット」に関する委員会報告とシンポジウム（講演 15 題）
12.06	「化学混和財の性能評価」に関する講習会ならびにシンポジウム（講演 15 題）
12.12	第 20 回建設用ロボットに関する技術講習会「最近の環境問題に関連した自動化・IT化の現状と展望」（講演 8 題）
12.12	2002 年制定コンクリート標準示方書〔耐震性能照査編〕の発刊ならびに「阪神・淡路大震災の被害分析」に関する講習会（東京都）（講演 16 題）
12.19	「アフガニスタン国土復興ビジョン検討懇談会」報告会～《復興ビジョン試案》現地発表と調査の報告～（講演 2 題）
12.20	第 7 回舗装工学講演会（講演 38 題）

2002（平成14）年

支部の動き

北海道支部	
1.28～29	年次技術研究発表会 講演 287 題
6.17～18	第 1 回講習会 2002 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会 講演 8 題
8.26	第 2 回講習会 交通解析におけるマイクロ交通シミュレーションの理論と実践 講演 3 題
12.6	第 3 回講習会 土木遺産から発想する土木の将来 講演 5 題
●	「土木の日」行事 （札幌地区事業）
8.3	親子現場見学会
8.9	高校教諭現場見学会
11.18	「土木の日」記念シンポジウム （北見地区事業）
9.8	土木クイズ
10.27	PR イベント
11.15～18	書道展
11.17	映画会 （苫小牧地区事業）
8.22	市民のための見学会
10.19～20	土木構造物模型展示 （室蘭地区事業）
10.20	室蘭港クルージング
10.19～20	オープンラボの開催
10.19～20	缶バッチの配布 （函館地区事業）
7.31	1 日体験学習会
10.18～20	土木クイズ
10.17	土木公開講座
東北支部	
※	コンクリート標準示方書講習会
※	コンクリート技術講習会
※	東北支部技術研究発表会 講演 398 題
※	技術講座と映画の会（技術推進機構 共催）
※	海外技術調査（都市再開発）

2002（平成14）年

支部の動き

※ 講演会「上下水道と環境ホルモン&新幹線八戸八甲田トンネル」

● 「土木の日」行事

※ 野蒜築港120年ワークショップ 計2回

※ 東北の土木技術を語る会 計3回

8.12 見学会「ふるさとの歴史を訪ねる”土木の魅力”」

10.19～20 「学園参加型関連行事」

11.16 シンポジウム「福島の水環境を考える～水環境を支える人々～」

11.9 一般市民見学会「摺上川ダム建設現場」

11.2 講演会と土木遺産顕彰式

関東支部

2.22 講習会「土木技術者に求められる資質と素養」 - 技術士を目指されている方のために - 講演6題

3.14～15 技術研究発表会 講演536題

6.7 「都市再生とこれからの技術者像を考える」 - (継続教育制度創設記念講習会・共催) 講演3題

7.12 平成14年度中学生記者取材講習会

8.24 第8回土木系学生によるコンクリートカヌー大会

8.30 講習会「21世紀の技術者に求められるマネージメント能力」 - 技術士総合技術管理部門を目指されている方のために - 講演5題

● 「土木の日」行事

10～12 第1回見学会 技術研究所見学会 (各企業体と共催)

11.22 第2回見学会

6.1～9.30 第4回「土木とくらし」写真コンテスト

中部支部

1.22 第2回「土木技術者に求められる姿 - 技術士取得のために - 」

4.25 第1回「2002年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会」

7.30 第1回「土木をとりまく最新のシミュレーションとビジュアル評価」

10.11 留学生交換会

● 「土木の日」行事

11.10 市民見学会 <コース1>「見て、聞いて、ふれて知る 西美濃水源地の旅」

11.16 市民見学会 <コース2>「未来を拓くとやまの土木」

11.16 市民見学会 <コース3>「水の流れをめぐる旅」

11.27 講演会「人々の暮らしにいくづく土木シンポジウム」

11.9 土木の日見学会 「環境にやさしい高速道路 見学会」

11.27 土木学会選奨土木遺産

関西支部

8.5 コンクリート構造の設計・施工の基本に関する研修会 第I部：設計技術者対象研修会

8.6 コンクリート構造の設計・施工の基本に関する研修会 第II部：施工技術者対象研修会

9.13 地下水制御が地盤環境に及ぼす影響評価に関する講習会

10.11 LRTによる都市づくりに関する講習会

● 「土木の日」行事

「土木の日」関連行事関西地区連絡会及び共催団体合同会議

中国支部

4.30 特別講演会「酒を造りて思うこと」

5.31～6.1 支部研究発表会 講演369題

4.22 建設VEのポイントと動向

7.24 日本の近代土木を築いた人びと

7.25 2002年制定コンクリート標準示方書改訂の概要と解説に関する講習会

8.23 講演会「水系環境の保全と創造をめざして」

8.29 「擁壁の新しい設計法—片持ちばり式擁壁と大型ブロック積み擁壁—」

8.29 2002年版コンクリート標準示方書に関する講習会

9.3 2002年版コンクリート標準示方書に関する講習会

10.18 コンクリートの環境負荷評価に関する講習会

2002（平成14）年

支部の動き

●「土木の日」行事

9.27～28 みる・きく・ふれる 国土建設フェア2002

10.26～27 こどもミニ土木展

11.2～3 土木工学科展

11.3 こどもミニ土木展

11.3 山口大学工学部文化祭「常盤祭」における研究室展示

11.3～4 建設工学科展

11.9～10 秋の塔頂体験ツアー

11.16 建設工事現場の親子見学会

11.17 土木工学に関する展示とイベント、体験学習

11.17 親子で作るレッサーパンダの遊び場

11.18 ハイウェイちびっこセミナー

11.18 選奨土木遺産顕彰式・手づくり郷土賞伝達式・特別講演

11.18 産業副産物の建設材料への有効利用

11.6 現場見学 江島大橋,中国横断自動車道,出雲バイパス

11.12 現場見学 宇部港,小野田港,高山バイパス

11.14 現場見学 苫田ダム,岡山自動車道

11.19 現場見学 八田原ダム,生口島道路

11.19 現場見学 国営備北丘陵公園,灰塚ダム

11.20 現場見学 市内電線共同溝,殿ダム

11.20 現場見学 徳丸防災工事,市内電線共同溝,殿ダム

11.20 現場見学 殿ダム

11.20 現場見学 八田原ダム,生口島道路

11.22 現場見学 東広島バイパス工事,出島地区岸壁工事,護岸災害復旧

11.22 現場見学 岡南共同溝,金剛川

11.25 現場見学 河川防災 ST,河川環境整備事業,両国トンネル

11.26 現場見学 苫田ダム,米子自動車道

11.26 現場見学 東広島バイパス工事,出島地区岸壁工事,護岸災害復旧

11.26 現場見学 島バイパス工事,出島地区岸壁工事,護岸災害復旧

11.28 現場見学 灰塚ダム

四国支部

5.18 国際問題講演会[CPDプログラム] 四国地区建設系外人留学生等交流会

10.25 特別講演会「21世紀の水環境を考える」[CPDプログラム]

●「土木の日」行事

11.22 土木の日記念講演会「CPDプログラム」

西部支部

5.24 「最近のアスファルト舗装とIT（情報化施工）」講演1題

6.7 「2002年制定コンクリート標準示方書」講習会

8.2 土砂災害に関するシンポジウム

9.19 見学会（会員）有明湾岸道路および九州新幹線高田,三池トンネル工事現場

10.23 見学会（一般市民）九州電力榑天山揚水力発電所および展示館

11.29 見学会（会員）長崎自動車道（長崎～長崎多良見間）中里とトンネル,日見橋建設現場

12.10 「社会基盤構造物の維持・管理と技術開発」講習会

土木一般	社会一般
<p>1.6 兵庫県明石市の人工海浜・大蔵海岸で2001.12.30におきた死者1人の陥没事故をうけ、明石市は国土交通省に対策を要望</p> <p>1.一 5年間の空白期間をへて東北電力、宮城県の女川原子力発電所3号機82万5000kW完成、総出力217万4000kWで事業完了</p> <p>1.一 英国企業が同国が施工する工事へ対応のため、中国人やインド人技術者を雇用する計画を発表</p> <p>3.11 愛知県半田市発注の雨水管内の堆積物しゅんせつ作業中、硫化水素が原因とみられる事故で死者5人</p> <p>3.31 1953.1.15 交換した山口県岩国市の木造アーチ錦帯橋の支間35.5m5連の中央部第3橋が在来工法で架替え。2004.3最終完了、岩国市が保有している地元産材を活用</p> <p>3.一 道路公団・圏央道に2階建ての青梅トンネル開通。NATMによる超大型道路トンネル</p> <p>3.一 建設省、広島県太田川支流滝山川に日本第2位の多目的アーチ式、堤高156m、堤頂長382mの温井ダム完成</p> <p>4.18 新東京国際空港(成田空港)に2180mの第2滑走路供用開始。用地買収難航のため2500mを短縮</p> <p>4.24 長崎県諫早湾の水門を2ヶ月間開放。有明海と諫早湾の一部を締め切る潮受け堤防の排水門が明けられ5年ぶりに海水流入、短期間の調査は無意味との批判あり</p> <p>4.一 マレーシアのクアラルンプール空港～中央駅間57km開業</p> <p>4.一 上海の浦東国際空港と市内の龍陽路間30kmにドイツの指導で磁気浮上式鉄道の試験走行開始</p> <p>5.10 首都公団、鋼製橋脚にひびわれが多数発生している問題で本格的な措置として4号新宿線、253基の橋脚を順次補修工事を進めて2003年度までに終了の予定。道路公団705基、阪神公団1199基の点検も2003年度までに補修工事を完了。</p> <p>5.22 国土交通省、社会資本整備事業部会道路部会において高規格幹線道路の基準緩和を決定。片側2車線以上を原則としている基準を改め片側1車線道路も認めることを内定</p> <p>5.22 土壌汚染対策法案が成立。11.18施行を閣議決定</p> <p>5.31 三井観光開発、国道135号に併行して所有する熱海ビーチライン6km(1965)を証券化し、126億円の資金を調達、利子負債の返却にあてる。有料道路の証券化は初の試み。</p> <p>6.24 政府の道路関係4公団民営化推進委員会が発足。今井敬新日本製鉄会長のもとに7人の委員で構成。土木関係では中村英夫武蔵工業大学教授が就任。以後の会合では道路公団側の資料をめぐる紛糾が続く。</p> <p>6.一 国土交通省、2003年度～2007年度にわたる道路整備5ヶ年計画、港湾整備5ヶ年計画に政策評価を導入、年度ごとの予算項目に反映させることを決定</p> <p>6.一 国土交通省、首都圏郊外放水路事業として水害常襲地帯の中川流域の治水対策を実施、流入施設、5ヶ所の立坑、シールドトンネル、排水施設で構成。深度50m～60m。6月に試験通水を実施、効果を確認</p> <p>7.5 国土交通省、2001.12.30の兵庫県明石市大蔵海岸の陥没事故を分析、復旧工法を発表。2002年中に復旧工事を完了予定。事故後の点検で発見したアジュール舞子などの人工海浜についても手直し工事を実施</p> <p>7.17 道路関係4公団民営化推進委員会、高速道路40路線中27路線が累積赤字となることを認め、関係者の意見を聞きながら厳しい対応を示す。7.30までに9回開催</p> <p>8.1 国土交通省、直接工事に使用するアルカリ骨材反応制御対策を改正。各地方整備局に通知、現場における運用方法を示した実施要領も改正</p>	<p>1.1 30年の歳月をかけヨーロッパ12か国でユーロ貨幣が流通開始</p> <p>1.9 国内の石炭産業、輸入産業に依存し最後まで残った釧路市の太平洋炭鉱が操業を終了。1.30閉山と決定。以後は既に閉山した長崎の池島炭鉱とともに技術を開発途上国に伝承</p> <p>1.17 コンゴ東部のニイラコンゴ火山が噴火。山麓の都市ゴマが壊滅的被害。死者40人、家屋1万2000戸破壊。ガソリンスタンド爆発で死者50人前後</p> <p>1.27 ナイジェリアのラゴス郊外イケジャの軍弾薬庫が爆発。死者1000人以上</p> <p>2.8 米国ソルトレークシティで厳重なテロ対策をとった第19回オリンピック冬季大会開催(～2.24)。日本は銀1、銅1のみ</p> <p>2.20 エジプトのカイロ郊外アラヤト付近でカイロ発アスワン行き旅客列車10車両中7車両が全壊。食堂車のガスボンベに引火したのが原因。死者373人、負傷者75人</p> <p>2.27 インド西部グジャラート州で列車放火事件、放火され58人を失ったヒンズー教徒が暴徒化しイスラム教徒に報復、死者295人</p> <p>3.3 アフガニスタン北部でM7.2の地震。死者150人</p> <p>3.25 アフガニスタン北東部にM6.1の地震。最大被害地はバグラーン州ナフラン。通信・交通事情が劣悪のため死者800～1210人、被害者10万人以上と推定</p> <p>4.15 韓国釜山市近郊に中国国際航空のボーイング767機が墜落。乗客166人のうち死者128人</p> <p>5.1 2001.9.11ニューヨークの同時爆破テロで崩壊したワールドトレードセンターの崩壊原因を調査していた米国土木学会など調査チームは調査報告書を発表。旅客機の衝突だけではビルは崩壊せず。原因は旅客機に蓄えられていた大量の燃料が爆破した火災が原因と分析</p> <p>5.7 中国北方航空のボーイングMD-82機が大連沖の海中に墜落。死者112人</p> <p>5.14 インド北部のカシミール州ジェム付近で路線バスとインド軍駐屯地が襲撃され死者37人、負傷者50人以上</p> <p>5.25 中華航空ボーイング747機、台湾海峡の澎湖島近くに空中分解で墜落。死者225人</p> <p>5.25 モザンビークのマプト近郊で客車と貨車が衝突。死者196人、負傷者400人</p> <p>5.28 経済団体連合会と日本経団団体連盟が合併。日本経済団体連合会(日本経団連)が発足、会長 奥田碩</p> <p>5.31 サッカーのFIFAワールドカップ第17回大会。日本・韓国で開催(～6.30)ブラジル5回目の優勝。韓国ベスト4、日本ベスト16に入る。</p> <p>6.4 閣議、地球温暖化防止のため京都議定書の批准を決定</p> <p>6.22 イラン北西部のテヘラン西でM6.3の地震、日干煉瓦の家屋倒壊で2万5000人が家を失い、死者300人、負傷者1000人</p> <p>7.1 ロシアのバシキール航空ツポレフ154機と国際宅配のボーイング757貨物機がドイツ南西部上空で空中衝突。死者72人</p> <p>7.10 台風6号、東海・東北地方に暴風雨。長良川の堤防決壊。大垣市、岩手県釜石市などに浸水被害(～7.12)7.16引き続き台風7号により全国に被害。土砂災害150か所、道路崩壊1400か所など。</p> <p>7.27 ウクライナ西部リビアで開かれていた航空ショーで演技飛行中の戦闘機が観客の中に墜落。死者82人、負傷者100人</p> <p>8.10 三重県鈴鹿市の東名阪自動車道路で7台の追突事故。4台炎上、死者5人、負傷者6人</p>

土木一般	社会一般
<p>8.1 各省庁 2003 年度の概算要求を決定。国土交通省は、2003 年～2007 年度の道路整備 5 年計画を現行計画から 25%減らし総投資額を 58 兆 5000 億円と予定。</p> <p>8.1 ドイツのケルン～フランクフルト間 177km に高速鉄道が開通</p> <p>8.6 道路関係 4 公団民営化推進委員会、8.7 にかけて集中審議を行い 4 公団民営化する場合の新設建設など具体的な仕組みを論議。道路管理費も審議</p> <p>8.22 道路関係 4 公団民営化推進委員会、8.23 にかけて 2 回目の集中審議を行い、同意した事項を 8.30 首相に提出。委員会での審議が一本化せず、10 月、11 月に各 3 回の委員会でも結論はまとまらないまま調整の上 12 月に最終意見をまとめる予定</p> <p>9.7 栃木県日光市にある国道 120 号の上り専用道路第 2 いろは坂で谷川の斜面が道路とともに崩落、路面の長さ 30m、すべり面の深さは 6m、原因は降雨とみられ、9.28、1 車線が復旧</p> <p>10.27 千葉県の芝山鉄道・東成田～芝山千代田間 2.2km 全通、京成電鉄本線と連絡</p> <p>10.29 道路関係 4 公団民営化推進委員会、建設中の路線すべてを作る場合のコストダウン額を試算</p> <p>10.一 蘇州と南通を結ぶ世界最長の鋼斜張橋、中央支間 1088m の蘇通長江公路大橋定礎式、2008.8 完成</p> <p>10.一 米国ワシントン州タコマに現吊橋と平行して中央支間 840m の第 2 タコマナローズ橋着工。2007 年完成予定</p> <p>11.14 東京水道局、埼玉県所沢市の堤高 35m、堤長頂 691m、有効貯水量 1953 万 m³ のアース式山口貯水池(狭山湖 1934)の耐震強化工事終了。村山貯水池は 2003.3 着工</p> <p>11.一 東京港区の再開発地・汐留シオサイト 31ha 開場、大江戸線とゆりかもめ接続</p> <p>11.一 中部電力、愛知県に碧南火力発電所(石炭)5 号機完成で合計 410 万 kW 工事完了</p> <p>11.一 日本土木工業協会、100 万人の市民現場見学会の計画。会員会社、土工協本部・支部がそれぞれ計画。2004.7 までの総参加者 56 万人</p> <p>12.1 東北新幹線、盛岡～八戸間 96.6km が開業。岩手一戸 25.8km (世界 1 位)、金田一(8.7km)、三戸(8.2km) など各トンネル完成。東京～八戸間 2 時間 56 分で連絡</p> <p>12.6 道路関係 4 公団民営化推進委員会、最終報告を答申、水資源公団、鉄道公団、交通営団など 10 法人の民営化や独立行政法人化する法律も成立</p> <p>12.13 農水省、島根県～鳥取市にまたがる中海・宍道湖淡水化を中止(1963～1988 凍結) 両事業の投資額 851 億円</p> <p>12.15 首都高速板橋足立線・板橋 JCT～江北 JCT 間開通。JR をくぐる飛鳥山トンネル(内回り 482m、外回り 745m) および荒川を渡る 2 層ニールセンアーチ式の五色桜大橋、支間 142 m。</p> <p>12.一 東京臨海高速鉄道、新木場～臨海副都心～大崎間 12.2km 開通</p> <p>12.一 熊本県球磨川の荒瀬ダム、堤高 23m、頂長 210.8m (1995) を初めて撤去決定。撤去は水利権の消失する 2010 年</p> <p>12.一 スペインのマドリッド～レリダ間 450km の高速新線開通</p> <p>12.一 シベリア鉄道 9280km の全線電化完成</p> <p>12.一 ベルギーのブリュッセルからドイツ国境を結ぶ 139km の高速鉄道のうちルーフェン～リエージュ間が開通</p> <p>〔その他〕●韓国のプサンに中央支間 500m の吊橋・広安大橋</p> <p>●首都高速中央環状線・板橋 JCT～葛西 JCT 間開通。中央環状新宿線 11km に NATM による幅 16m、高さ 19m、直径 13m の大断面シールドトンネルを掘削中(～2006) ●横浜港南本牧埠頭、水深 16m の高規格 24 時間コンテナターミナル完成</p>	<p>8.14 チェコのプラハを流れるブルタバ川の水位が大雨により上昇。中心市街地ほぼ浸水。歴史的建造物・遺産に甚大な被害。エルベ川流域のドレスデンなどドイツ東部、南部地方のドナウ川地域も冠水。1 月末以来 2 週間以上続いた大雨がロシアの黒海沿岸部に大規模な洪水をもたらす(～8.18)</p> <p>8.一 東京都千代田区丸の内三菱地所により丸の内ビルディング建替え。地上 37 階、高さ 180m</p> <p>9.17 日朝首脳会議のため小泉純一郎首相、金正日総書記と会談</p> <p>9.26 セネガル南部から首都ダカールに向かっていたフェリー・ジュラ号が大西洋で沈没。定員 550 人に対し 1000 人以上が乗船。死者 900 人以上</p> <p>9.一 3 年前に飛行機テロで倒壊したニューヨークの世界貿易センター跡地に 6 チームによる複合施設的设计案を委託</p> <p>9.一 6～9 月まで大阪で気温 30℃以上の猛暑が続く。</p> <p>10.6 イエメン沖で爆発物を積んだボートのテロのためタンカーランブル号爆発炎上。40 万バレルの原油流出</p> <p>10.8 2002 年ノーベル物理学賞、小柴昌俊東京大名誉教授ら 3 人が受賞。9 日、島津製作所分析計測事業部の田中耕一研究者ら 3 人が化学賞受賞。日本の化学賞受賞は白川英樹(2000)、野依良治(2001)に続く 3 年連続の記録</p> <p>10.12 インドネシアのバリ島南部クタの繁華街のナイトクラブで爆発。爆弾テロとみられ死者 190 人以上</p> <p>10.23 モスクワの劇場にチェチェン共和国のイスラム派武装勢力が 800 人を人質に立てこもる。ロシア軍の武装グループが攻撃、人質の死者 128 人</p> <p>11.3 第 64 回文化勲章、田中耕一、近藤次郎ら 6 人が受賞</p> <p>11.3 米国アラスカに M7.9 の地震、高速道に崩壊</p> <p>11.19 スペイン北西部ガリシア地方沖でパハマ船籍のタンカー・プレステイジの船体中央部が 2 つに折れ沈没。7 万 7000 t の重油中 9000 t が流出。沿岸漁業に打撃。ヨーロッパ連合老朽タンカーの航行規制を強化</p> <p>11.21 高田宮憲仁。47 歳で没</p> <p>12.3 博覧会国際事務局総会、2005 年愛知万博に次ぎ 2010 年の万国博覧会を上海で開催を決定</p> <p>〔その他〕●東京駅、明治生命館、三井本館、日本工業倶楽部など、一部を保存、再現した上で再開発中、旧新橋駅の復元をはじめ汐留地区、東京駅丸の内地区も全面的に再開発が進行中</p>

注：「土木一般」「社会一般」は、岡本義喬・為国孝敏が原案を作成して編纂した。

(社) 土木学会の動き		
組織・運営	調査・研究	表彰・海外交流
<p>1.24 土木学会選奨土木遺産選考委員会内規の変更</p> <p>1.24 土木学会技術者資格審査結果の報告承認</p> <p>1.24 学会誌英文名「Civil Engineering」に変更承認</p> <p>1.24 ネパール技術者協会との協力協定承認</p> <p>1.24 選奨土木遺産選考委員会内規の改正承認</p> <p>3.20 創立 90 周年記念事業準備委員会と委員長を濱田副会長に依頼することが承認</p> <p>3.20 技術開発推進委員会の設置を承認 委員長には濱田政則副会長を承認</p> <p>3.20 学術文化事業の指定型 2 件の助成を承認</p> <p>3.20 地下空間研究委員会内規の変更</p> <p>3.20 最高裁よりの「調停委員候補者の推薦」依頼につき、「土木鑑定人検討委員会」を改組し「土木分野最高裁判所支援協議会」として承認</p> <p>4.25 水理委員会を「水工学委員会」に名称変更</p> <p>4.25 出版規程および内規の変更が承認</p> <p>4.25 フェローを認定 (60 名) 承認</p> <p>4.25 学術文化事業の指定型 1 件、特別型 1 件の助成を承認</p> <p>5.9 役員候補者選考委員会内規の変更</p> <p>5.9 J S C E 2 0 0 5 「学会の改革策」を承認</p> <p>6.20 トンネル工学委員会の相談役に関する内規の一部改正</p> <p>6.20 土木学会が日本圧接協会と相互入会することを承認</p> <p>6.20 会長特別委員会「土木技術者の気概について (仮称)」の報告承認</p> <p>7.25 「岩盤力学委員会」「海洋開発委員会」の内規改正を承認</p> <p>9.19 調査研究企画委員会 (調査研究部門) の設置と「調査研究委員会の活動度評価要領 (案)」を承認</p> <p>9.19 表彰委員会の 5 選考委員会の内規改正を承認</p> <p>11.21 フェロー認定 (48 名) 承認</p> <p>11.21 土木学会細則の変更「教育企画部門」も新設承認</p> <p>11.21 会長特別委員会「巨大地震災害への対応検討特別委員会 (委員長: 濱田政則)」設置承認</p>	<p>1.24 「超高強度繊維補強コンクリート構造物の設計・施工指針」の受託承認</p> <p>3.20 「吹き付けコンクリートの設計施工技术に関する指針」の受託承認</p> <p>5.29~6.6 地震工学会からのトルコ地震被害調査団派遣申請</p> <p>6.20 「海域活構造評価の高度化に関する研究 (海域活構造評価技術の体系化に関する研究)」「四国の地盤情報に関する研究」「地域づくりの視点を考慮した社会整備評価システムの研究」の 3 件の受託承認</p> <p>7.25 「道路関係 P F I 事業のリスクに関する分析調査研究」「北海道における社会基盤施設の資産価値調査業務」の 2 件の受託承認</p> <p>9.19 「都市域と森林域・海洋域との連携をもとにする資源循環システムの構築に関する研究」「沿岸環境における鋼・複合構造物の防食および耐久性評価に関する研究」「平成 15 年度台風 1 0 号災害関係調査業務」の 3 件の受託承認</p> <p>11.21 「建設マネジメントに係る近年の動向に関する調査研究」「勝どき橋の再跳開技術に関する調査研究」「社会資本の管理 (アセットマネジメント) システムの研究」の 3 件の受託承認</p>	<p>1.7~8 大韓土木学会 Dr.Park Kyung-Boo 韓国分会長, 他 視察団</p> <p>1.15 アジア土木学協会連合協議会 (ACECC) Dr.Kim Kwang-Il 会長 表敬訪問</p> <p>1.25 ヨーロッパ土木技術者協会との協力協定調印式</p> <p>3.26 Norwegian University of Science and Technology(NTNU) 表敬訪問 Mr.Pederssen Viggo Borg</p> <p>5.28 大韓土木学会 Dr.Kyung-Boo Park 副会長 (兼土木学会韓国分会長) 一行 表敬訪問</p> <p>5.28~30 IS-Okayama2003 (共催) (岡山市)</p> <p>5.29~6.6 「トルコ地震被害調査団」派遣 団長: 宮島 昌克</p> <p>6.12 ネパール技術者協会日本支部 Mr.Laxman Sunuwar 表敬訪問</p> <p>6.22~27 「アルジェリア地震被害調査団」派遣 団長: 後藤 洋三ほか</p> <p>6.23 「ACECC第7回 Executive Committee Meeting」岡田ACECC担当委員会顧問他 (豪州)</p> <p>6.30~7.11 第 23 回国際測地学・地球物理学連合 2003 年総会 (共催) (北海道)</p> <p>7.23 タイ工学会との協力協定の承認</p> <p>8.12 米国土木学会 Mr.Fredrick S.Berger 国際委員会 副委員長 表敬訪問</p> <p>9.1~2 橋梁の構造健全度モニタリングに関する国際ワークショップ 橋梁振動コロキウム '03 (講演 52 題) 《主催》(北海道)</p> <p>9.18 モンゴル土木学会 Mr.Gantumur Tulga 学術交流基金助成研修</p> <p>9.24~26 中国土木水利工程学会 (台湾) Dr.Kyung-Chuan Chern 会長一行 大韓土木学会 Dr.Soo-Sam Kim 会長一行 モンゴル土木学会 Dr.Ganzorig Eredene 会長一行 平成 15 年度全国大会出席</p> <p>10.1 英国土木学会 Prof.Tan Qinglian 会長一行 表敬訪問</p> <p>10.16 米国土木学会 Ms.Patricia Long 時期会長 建設マネジメント国際会議出席</p> <p>10.23~26 「大韓土木学会年次大会および」J S C E-K S C E 共同セミナー」古木専務理事他 (韓国)</p> <p>10.31 中国土木工学学会 Prof.Tan Qinglian 会長一行 表敬訪問</p> <p>11.5~7 「フィリピン土木学会年次大会」古木専務理事 (比国)</p> <p>11.10~15 第 2 回日中舗装技術に関する国際ワークショップ (講演 50 題) 《主催》(名古屋)</p> <p>11.11~15 「米国土木学会年次大会」石井弓夫国際委員会顧問ほか (米国)</p> <p>11.26 米国土木学会 Ms.Patricia Galloway 会長一行 表敬訪問</p> <p>12.3~6 「中国土木水利工程学会創立 30 年記念大会および ACECC Forum」御巫会長他 (台湾)</p> <p>12.8~11 エコデザイン 2003 (共催) 東京都</p> <p>12.19 大韓土木学会 Dr.Kyung-Boo Park 副会長 (兼韓国分会長) 一行 視察団表敬訪問</p>

2003 (平成 15) 年

行事・集会 (本部)

- 1.15～16 第 2 回流体力学の評価とその応用に関するシンポジウム (講演 25 題)
- 1.15 土木デザインワークショップ 2003「歴史の創造性」(講演 3 題)
- 1.17 コンクリート構造物の非線形解析技術に関する研究成果報告会—非線形解析の信頼性向上を目指して—その現状と課題— (講演 6 題)
- 1.17 第 8 回地下空間シンポジウム「ストック & メンテナンス時代の地下空間利用」(審査付論文発表 10 題, 一般投稿論文発表 25 題)
- 1.17 計算力学フォーラム (計算力学の可能性) (講演 6 題)
- 1.17 第 6 回固体の破壊現象フォーラム (講演 3 題)
- 1.20 第 1 回日本—台湾国際シンポジウム 環境管理における膜技術 (講演 10 題)
- 1.23～24 第 6 回地震時保有耐力法に基づく橋梁構造等のシンポジウム (講演 76 題)
- 1.23～24 第 32 回岩盤力学に関するシンポジウム (講演 64 題)
- 1.24～25 環境工学委員会 40 周年記念シンポジウム「環境工学の新世紀」(講演 10 題)
- 1.27 平成 14 年度シンポジウム人口物の寿命と再生—構造・機器のリニューアルに果たす溶接・接合技術— (共催) (東京都)
- 1.28～30 第 52 回 理論応用力学講演会 (共催) (東京都)
- 1.30 2002 年制定コンクリート標準示方書〔耐震性能照査編〕の発刊ならびに「阪神・淡路大震災の被害分析」に関する講習会 (大阪府) (講演 16 題)
- 2.4 「岩盤斜面防護用吹付けコンクリート」に関する講習会 (講演 8 題)
- 2.6～7 第 18 回 環境工学連合講演会 (共催) (東京都)
- 2.21 土木学地球環境委員会シンポジウム「ヨハネスブルグ環境サミット後の地球環境問題と日本の土木界」(講演 3 題)
- 2.24 「ISOへの対応」に関する第 5 回シンポジウム—動き出したユーロコードと我が国の対応— (講演 3 題)
- 3.6～7 第 4 回構造物の破壊過程解明に基づく地震防災性向上に関するシンポジウム (講演 47 題)
- 3.11～13 第 47 回水理講演会—河川技術に関するシンポジウム (講演 222 題)
- 3.13 土木計画学ワンデイセミナー シリーズ 32「大規模社会基盤施設の計画史評価」(講演 7 題)
- 3.13 土木学地震工学委員会数物小委員会講演会
- 3.14 第 9 回新しい材料・工法・機械講習会—最新の土留め工法の現状と設計・施工ポイント— (講演 6 題)
- 3.17 歴史的鉄橋の保存・利活に関する講演会 (講演 3 題)
- 3.18 計算力学フォーラム—土木学における計算力学の新展開— (講演 5 題)
- 3.19 土木計画学ワンデイセミナー シリーズ 33 「ITS 社会にむけた交通安全研究の方向性 2」(講演 14 題)
- 3.20 土木計画学ワンデイセミナー シリーズ 34 「規制緩和後のバスサービス—現状と課題」(講演 14 題)
- 3.26 応用力学フォーラム (関東地区) (講演 2 題)
- 4.3～4 第 49 回構造工学シンポジウム (講演 142 題)
- 4.7 第 1 回土木学会トークサロン (講演 1 題)
- 4.16 鋼構造物の性能照査型設計体系に関するシンポジウム (講演 7 題)
- 4.22 第 3 回地震防災技術懇話会 (講演 1 題)
- 5.6 シンポジウム「21 世紀におけるものづくりのシステムデザイン」(共催) (東京都)
- 5.14 第 16 回環境システムシンポジウム「沿岸域の賢明な利用に向けた複眼的アプローチ」(講演 5 題)
- 5.16 土木計画学ワンデイセミナー シリーズ 35「土木技術者の新しい地平—交通バリアフリー実現に向けて」(講演 7 題)
- 5.20～21 第 41 回原子力総合シンポジウム (共催) (東京都)
- 5.27 デザイン賞受賞式 (講演 13 題)
- 5.27 「美しい国土の創造」に関するワークショップ (共催) (東京都)
- 6.3～4 2003 年度・河川技術に関するシンポジウム—新しい河川整備・管理の理念とそれを支援する河川技術に関するシンポジウム— (講演 91 題)
- 6.5～6 第 3 回道路橋床版シンポジウム (講演 55 題)
- 6.6～8 第 27 回土木計画学研究発表会 (春大会) (講演 311 題)
- 6.10 第 4 回地震防災技術懇話会 (講演 1 題)
- 6.11 波浪荷重に関する講演会 (講演 1 題)
- 6.11 「波浪荷重」に関する ISO 基準 WG の報告書原案説明会 (講演 1 題)
- 6.12 「PC 構造物の現状の問題点とその対策」に関するシンポジウム (講演 18 題)
- 6.13 土木学会・地盤工学会合同 2003 年宮城県沖地震被害調査団速報・報告会
- 6.13 「社会基盤メンテナンス工学」講習会 (講演 7 題)
- 6.14 平成 15 年度工学教育連合講演会 (共催) (東京都)
- 6.17～18 レベル 2 地震動による液状化に関するシンポジウム (講演 27 題)
- 6.18～19 第 23 回土木史研究発表会 (講演 68 題)
- 6.20 「コンクリートの化学的侵食・溶脱」に関するシンポジウム (講演 9 題)
- 6.27 第 2 回土木学会トークサロン (講演 1 題)

2003 (平成 15) 年

行事・集会 (本部)

- 6.27 橋の動的耐震設計に関する講習会 (東京会場) (講演 7 題)
- 6.27 土木計画ワンデイセミナー シリーズ 36「関西からの復権! 都市計画に未来はあるのか?」(講演 5 題)
- 7.5~6 第 7 回 J A B E E 審査員研修会 (講演 6 題)
- 7.7 「電気炉酸化スラグ骨材を用いたコンクリートの設計施工指針 (案)」に関する講習会 (講演 5 題)
- 7.7 「都市地域計画シンポジウムー自然環境共生の大都市像ー」(共催) (東京都)
- 7.10~11 第 33 回安全工学シンポジウム (共催) (東京都)
- 7.12~13 第 8 回 J A B E E 審査員研修会 (講演 6 題)
- 7.15 第 7 回鉄道力学シンポジウム (講演 15 題)
- 7.16~17 第 28 回海洋開発シンポジウム (講演 152 題)
- 7.17 第 17 回コンサルタントシンポジウム (講演 4 題)
- 7.22~23 第 11 回地球環境シンポジウム (講演 61 題)
- 7.23~24 第 8 回水シンポジウム (講演 4 題)
- 7.23~25 第 22 回混相流シンポジウム (共催) (豊中市)
- 7.25 土木建設技術シンポジウム 2003 (講演 80 題)
- 7.25 「フレッシュコンクリートの今システムー評価指標」に関するシンポジウム (講演 13 題)
- 7.26 第 5 回インターナショナルサマーシンポジウム (講演 91 題)
- 7.29 第 2 回木橋技術に関するシンポジウム (講演 25 題)
- 8.1 第 37 回夏期講習会 (講演 4 題)
- 8.5 「水循環シンポジウム: 21 世紀の研究課題と展望」(共催) (東京都)
- 8.6 社会資本へのアセットマネジメントの適用に関するワークショップ (講演 5 題)
- 8.6~7 第 39 回水工学に関する夏期研修会 (講演: A コース 8 題, B コース 8 題)
- 8.9~10 第 9 回 J A B E E 審査員研修会 (講演 6 題)
- 8.19~22 鉄道技術シンポジウム (STECH⁰³) (共催) (東京都)
- 8.21 宮城県沖の地震・アルジェリア地震被害調査報告会 (共催) (東京都)
- 9.1~2 橋梁の構造健全度モニタリングに関する国際ワークショップ 橋梁振動コロキウム⁰³ (講演 52 題)
- 9.2 第 6 回鋼構造と橋に関するシンポジウムー鋼構造と橋の耐久性ー (講演 6 題)
- 9.9 「コンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法の制定と基準化が望まれる試験方法の動向」および「コンクリートからの微量成分溶出に関する現状と課題」に関する講習会 (講演 11 題)
- 9.9~10 土木学会による実務者のための耐震設計入門平成 15 年度東京セミナー (講演 20 題)
- 9.11 「トンネル変状メカニズム」発刊に伴う主旨説明講習会 (講演 9 題)
- 9.12 応用力学フォーラム (変形の局所化不安定と数値解析ー地盤材料と金属材料ー) (講演 2 題)
- 9.12 第 9 回新しい材料・工法・機械講習会 (講演 5 題)
- 9.14~15 第 10 回 J A B E E 審査員研修会 (講演 2 題)
- 9.23 第 6 回応用力学シンポジウム (講演 135 題)
- 9.24 平成 16 年度全国大会 (徳島大学)
- 9.29 土木学会トークサロン (講演 1 題)
- 10.2~3 平成 15 年度土木学会による実務者のための耐震設計入門名古屋セミナー (講演 20 題)
- 10.9 講習会「土木技術者の論理」(講演 2 題)
- 10.10 「トンネル変状メカニズム」発刊に伴う主旨説明講習会 (講演 9 題)
- 10.14 I S O 23469 に関する公開討論会 (講演 5 題)
- 10.23 環境システム地域シンポジウム「地域と環境のエコデザインー北九州市の取り組みを題材に考えるー」(講演 7 題)
- 10.24 第 8 回固体の破壊現象フォーラム (講演 3 題)
- 10.24~25 第 31 回環境システム研究論文発表会 (講演 144 題)
- 10.25 土木学会ー大韓土木学会共同セミナー ``Durability Concern on Concrete Structures for the Future `` (共催) (韓国)
- 10.28~29 第 28 回情報利用技術シンポジウム (講演 60 題)
- 10.29~30 第 47 回材料研究連合講演会 (共催) (京都市)
- 10.31 「都市 N A T M とシールド工法の境界領域ー荷重評価の現状と課題ー」講習会 (講演 8 題)
- 11.4 液状化による地盤流動と構造物の挙動, 設計法に関するシンポジウム (共催) (東京都)
- 11.6~7 第 5 回複合構造の活用に関するシンポジウム (講演 55 題)
- 11.7 「トンネル変状メカニズム」発刊に伴う主旨説明講習会 (講演 9 題)
- 11.10 「コンクリート標準示方書[維持管理編]に標準した維持管理マニュアル (その 1) および関連資料の発刊」ならびに「エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針の改定」に関する講習会 (講演 12 題)
- 11.10 第 4 回計算力学講習会「有限要素の性質とその評価」(講演 3 題)
- 11.12 橋梁の耐風設計に関する講習会 (講演 3 題)
- 11.13~15 第 1 回「構造ヘルスマニタリング及び知的インフラストラクチャ」に関する国際会議

2003（平成 15）年

行事・集会（本部）

- 11.14～15 第 40 回環境工学研究フォーラム（講演 144 題）
- 11.17 第 50 回海岸工学講演会記念シンポジウム「海岸工学の新たな発展に向けて」（講演 7 題）
- 11.18～20 第 50 回海岸工学講演会（講演 286 題）
- 11.25 十勝沖地震被害調査報告会（講演 5 題）
- 11.25～26 建設マネジメント問題に関する研究発表会・討論会（講演 71 題）
- 11.26 応用力学フォーラム（東北地区）（講演 2 題）
- 11.26～28 第 5 回構造物の安全性および信頼性に関するシンポジウム（共催）（東京都）
- 11.27～29 第 28 回土木計画学研究発表会（講演 335 題）
- 11.28 これからの舗装評価方法に関する講習会（新潟）（講演 3 題）
- 12.1 第 5 回地震防災技術懇話会（講演 1 題）
- 12.2 「水理公式集例題プログラム集」講習会（講演 6 題）
- 12.2 第 21 回建設用ロボットに関する技術講習会（講演 7 題）
- 12.4 土木計画学ワンデイセミナー シリーズ 37「バスサービスの課題と処方箋」（講演 12 題）
- 12.4～5 第 8 回設計工学に関するシンポジウム（講演 35 題）
- 12.5 これからの舗装評価方法に関する講習会（大阪）（講演 5 題）
- 12.5 「トンネル変状メカニズム」発刊に伴う主旨説明講習会（講演 9 題）
- 12.5 2003 年十勝沖地震被害調査報告会（共催）（東京都）
- 12.6～7 第 3 回高専・短大・専門学校土木教育シンポジウム（講演 4 題）
- 12.8 応用力学フォーラム（第 19 回乱流フォーラム）（講演 2 題）
- 12.9～10 安全で経済的な施工計画を行うための講習会「仮設構造物の計画と施工に関する講習会」「鋼構造物架設の設計と施工に関する講習会」（講演 10 題）
- 12.9～11 第 10 回鉄道技術連合シンポジウム（J-Rail）（共催）（川崎市）
- 12.9～12 第 27 回地震工学研究発表会（講演 281 題）
- 12.12 第 50 回風に関するシンポジウム（共催）（仙台市）
- 12.19 第 8 回舗装工学研究発表会（講演 27 題）

2003（平成 15）年

支部の動き

- 北海道支部
- 2.1～2 年次技術研究発表会 講演 267 題
- 7.1 第 1 回講習会 2002 年制定コンクリート標準示方書「耐震性能照査編」の発刊ならびに「阪神淡路大震災の被害分析」に関する講習会（講演数 4 題）
- 7.2 第 2 回講習会「複合構造物の性能照査指針（案）」及び「技術者倫理」に関する講習会（講演数 6 題）
- 8.22 第 3 回講習会 橋の動的耐震設計に関する講習会（講演数 14 題）
- 「土木の日」行事
- 札幌地区
- 8.2 親子現場見学会（厚真火力発電所、白鳥大橋、国道 230 号復旧工事（三豊トンネル））
- 11.18 「土木の日」記念シンポジウム
- 北見地区
- 11.10～16 写真展
- 11.13～16 書道展
- 11.16 土木のあれこれ無料相談所
- 11.17 映画会
- 苫小牧地区
- 8.1 市民のための見学会
- 10.18～19 映画及び土木に関する展示
- 室蘭地区
- 10.9～10 現場見学会（室蘭港、三豊トンネル、錦多摩川遊水地）
- 10.18 オープンラボの開催
- 10.18 「土木の日記念蛍光ペン」の配布
- 11.18 トラスコンテスト
- 函館地区
- 8.1 一日体験学習会（函館港、えとも大橋、赤川浄水場、新中野ダム）

2003（平成 15）年

支部の動き

- 8.2 身近な川の水質を調べよう
- 8.19 都市のアイデンティティの発見
- 9.6 身近な微生物を調べよう
- 9.20 身近な微生物を調べよう
- 10.17～19 土木クイズ
- 11.16 橋を作ってみよう

東北支部

- * 「複合構造物照査基準（案）」に関する講習会
- * 講演会「青森の暮らしと建設材料」
- * 技術講座と映画の会（技術推進機構 共催）

3.8 東北支部技術研究発表会（発表数 421 題）

- 「土木の日」行事
- 8.11 見学会「今迎る、ファン・ドールンが安積疎水計画の現地を歩いた道」
- 10.19 学園参加型関連行事（東北工業大学）
- 10.25 一般市民見学会「北上川改修の今昔探訪」
- 10.25 現場見学会「東北新幹線八甲田トンネル」
- 11.8 シンポジウム「今、ファン・ドールン氏を振り返る」
- 11.14 現場見学会「東北新幹線八甲田トンネル」
- * 野蒜築港 120 年ワークショップ
- * 東北の土木技術を語る会

関東支部

- 2.28 講習会「土木技術者に求められる資質と素養」－技術士を目指されている方のために－
- 3.10～11 技術研究発表会 講演 505 題
- 4.18 第 8 回「KANTO シビックサークル」－産・官・学の技術者交流会－
- 7.8 講習会「土木技術者に求められる資質と素養」－技術者倫理の涵養第 1 回－（講演 3 題）
- 7.16 平成 15 年度第 12 回中学生記者取材講習会（ケーソンヤード、大黒ふ頭側臨海道路現場見学、ベイブリッジ下国道現場見学）
- 8.20 第 4 回「談話会」－清宮理先生を囲んで－「公共事業のリスクマネジメント」
- 10.10 講演会「水とのたたかい・水からの恩恵－新潟の水と酒の話－」（講演数 2 題）
- 11.20 講習会「都市再生」－都市再生事業が動き出した・・・取り組みの現状－（講演数 4 題）
- 2.26 講習会「土木技術者に求められる資質と素養」－技術士を目指している方のために 第 15 回－
- 3.5～6 第 31 回技術研究発表会（発表数 521 題）
- 「土木の日」行事
- 10～12 月 第 1 回見学会（土木の日行事）（技術研究所見学会）
- 11.18 第 2 回見学会（土木の日行事）（滝沢ダム建設工事現場）
- 11.22 第 3 回見学会（土木の日行事）（山梨県リニア見学センター（リニア実験線施設見学およびリニア試乗）、東京電力葛野川水力発電所見学）

中部支部

- 2.5 「中部地方の土木プロジェクトと新たな土木のパラダイス」
- 3.3 第 2 回 「2002 年制定コンクリート標準示方書〔耐震性能照査編〕の発刊ならびにコンクリート構造物の耐震設計法に関する講習会」
- 4.22 第 1 回技術講座「都市防災に関する技術講座シリーズ」－（1）地震動と被害予測・防災計画
- 5.20 第 2 回技術講座「都市防災に関する技術講座シリーズ」－（2）耐震診断と補強
- 6.24 第 1 回講習会 「複合構造物の性能照査指針（案）に関する講習会」
- 9.5 第 2 回講習会 「コンクリート製長大アーチ橋の設計手法に関する講習会」
- 2.20 第 3 回講習会 技術士講習会「土木技術者に求められる姿」－技術士資格取得のために－
- 3.6 研究発表会（発表数 313 題）
- 「土木の日」行事
- 10.4～5 中部国際空港連絡鉄道新線高架橋ウォーク
- 10.11 シンポジウム「土木のプロジェクトを支えた戦士たち」
- 10.26 市民見学会「見てみよう自然と共生する土木事業」（釜ヶ淵砂防堰堤、新釜トンネル）

2003 (平成 15) 年

支部の動き

- 10.25～26 学校イベントの協賛・講演 工嶺祭 (長野工業高等専門学校環境都市工学科)
- 10.30～11.2 学校イベントの協賛・講演 岐阜大学学園祭 (岐阜大学工学部社会基盤工学科)
- 11.1～2 学校イベントの協賛・講演 こうよう祭 (豊田工業高等専門学校環境都市工学科)
- 11.2～3 学校イベントの協賛・講演 高専祭 (岐阜工業高等専門学校環境都市工学科)
- 11.15 市民見学会「新しい中部の玄関口”セントレア”を見に行こう」(中部国際空港)
- 11.16 市民見学会「未来へつながる道づくり,環境づくり」(第2名神自動車道,亀山サンシャインパーク,関塾)
- 11.17 土木出前講座

* 見学会「金沢外環状道路 山側新幹線はどこまでできた？」

関西支部

- 1.31 第2回継続教育制度講習会
- 5.31 関西支部年次学術講演会 (一般講演数 434 題)
- 5.14～7.2 学生映画会「地域と自然との共生をめざす道づくり」,「土のクリーニング」,「大断面メガネトンネルへの挑戦 大代古墳トンネル」
- 6.6 複合構造物の性能照査指針 (案) に関する講習会
- 6.9 浅層大断面トンネル工法に関する講習会
- 7.26 小中高生対象対象見学会「世界一高い明石海峡大橋の’てっぺん’に登ろう! 一明石海峡大橋塔頂体験会一」(明石海峡大橋,橋の科学館,北淡町震災記念公園見学)
- 8.19 フェロセメントカヌー競技大会 (共催)
- 9.19 TDM を活用した持続可能な交通システムに関する講習会
- 9.27 一般市民見学会「琵琶湖疏水散策と工事中の地下鉄線路を歩こう」(京都市地下鉄東西線延伸工事の見学,琵琶湖疏水散策)
- 10.7 高専学生対象講演会
- 10.26 地方見学会「世界一の技術!琵琶湖の水はこうして守られている!!」(湖南中部浄化センター,山寺川市街地排水浄化施設,守川河川浄化施設,琵琶湖再生施設の見学)
- 11.21 全会員対象見学会 (南阪奈道路)
- 11～12月 土木文化講座 (一般講演会)「大地のようす」(松原市立布忍小学校,全6年生対象の総合学習授業)
- 12.4 コンクリート構造の設計・施工・維持管理の基本に関する研修会 (第I:設計に関する研修会)
- 12.5 コンクリート構造の設計・施工・維持管理の基本に関する研修会 (第II:施工・維持管理に関する研修会)
- * 関西支部会員海外派遣研修
- * インターンシップ関西
- 「土木の日」行事
- 11.15 「海に浮かぶ人工島へ遊びに行こう!!」(関西国際空港2期工事現場,空港消防隊他の見学)
- * 「土木の日」関連行事関西地区連絡会及び共催団体合同会議

中国支部

- 1.10 土木鋼構造物の性能照査設計法に関する講習会
- 1.31 降雨および地震による斜面災害の防止と軽減
- 5.16 2002年コンクリート標準示方書「耐震性能照査編」制定に伴う講習会
- 5.30 工事見学会
- 5.30 特別講演会 (テーマ1:福山市の将来の夢 (中核都市福山の活性化),テーマ2:環境バイオテクノロジー)
- 5.30 交流会
- 5.31 支部研究発表会 (発表数 315 題)
- 8.22 コンクリートのクリープ・収縮に関する研究調査
- 9.12 水環境の保全と創造を目指して 一環境に関する技術一
- 12.5 橋の動的耐震設計に関する講習会
- 「土木の日」行事
- 11.1 映画上映会
- 11.1～2 土の造形と魅力
- 11.2～3 建設工学科展
- 11.2 秋の建設・環境ジュニアサイエンス
- 11.2 映画上映会
- 11.8 鳥取県自動車道路建設現場見学会
- 11.8 秋の塔頂体験ツアー
- 11.14～15 しまね建設技術展
- 11.16 環境都市工学展

2003（平成15）年

支部の動き

11.19 選奨土木遺産顕彰式・手づくり郷土賞伝達式

* 土木の日親子見学会

四国支部

2.4 2002年制定コンクリート標準示方書「耐震性能照査編」の発刊ならびに「阪神大震災の被害分析」に関する四国地区講習会[CPDプログラム]

2.24 国際問題講演会[CPDプログラム] フォーラム「諸外国の公共事業における官民リスク分担の動向」

3.18 学術講演会[リモートセンシングとGISの土木工学・地盤工学への応用]（地盤工学会共催）

6.19 フライアッシュを細骨材補充混和剤として用いたコンクリートの施工指針（案）講習会（徳島県会場）

6.24 フライアッシュを細骨材補充混和剤として用いたコンクリートの施工指針（案）講習会（高知県会場）

7.1 フライアッシュを細骨材補充混和剤として用いたコンクリートの施工指針（案）講習会（愛媛県会場）

7.8 フライアッシュを細骨材補充混和剤として用いたコンクリートの施工指針（案）講習会（香川県会場）

* 「四国のインフラの将来と課題に関する」に関する講演会

* 四国の自然災害に関するフォーラム（CPDプログラム）

* 学術講演会（CPDプログラム）

● 「土木の日」行事

9.26 現場見学会（三島川之江港ケーソンヤード及び港周辺）

10.1 現場見学会（三島川之江港ケーソンヤード）

10.9 仁淀川第3発電所佐川制御所見学

10.14 第3回四国の港湾空港技術を考えるセミナー

10.17 ケーソン築造工事現場見学会（徳島小松島港明石地区）

10.21 本川発電所見学会

10.22 薩平発電所小見野々ダム見学

10.25～26 土木専門展と子供実験（阿南工業高等専門学校）

11.1～2 土木・環境パネル展（愛媛大学）

11.4 現場見学会（伊予港ケーソンヤード）

11.7 現場見学会（海洋環境整備事業サンポート高松）

11.7 名野川発電所中津川取水ダム見学

11.7～8 土木パネル展（高知工業高等専門学校）

11.9 新四国の道ハイキング

11.3 パネル展 大洲まつり

11.8～9 サイエンスフェスタ2003 in 高松高専（高松工業高等専門学校）

11.10 那賀川バスツアー

11.15～21 梁瀬ダムパネル展

11.16 パネル展 三里まつり

11.16 新四国の道ハイキング

11.17 道路清掃（高知県一円）

11.17～21 鉄道土木写真展

11.18～19 パネル展（高知工科大学）

11.18 現場見学会えひめの土木体験プログラム（今治市中堀（街）中堀樋口前線道路改良事業）

11.18 現場見学会えひめの土木体験プログラム（伊予市上三谷（二）大谷川河川改修事業）

11.18 「吉野川橋の博物館」現場見学会

11.19 薩平発電所小見野々ダム見学

11.20 橋湾発電所見学会

11.21 現場見学会えひめの土木体験プログラム（西条市禎端（主）壬生川新居浜野田線, 新兵衛大橋）

11.21 土木の日記念講演会（CPDプログラム）

11.21～22 パネル展 くらしと技術の建設フェア（松江市）

11.21～22 パネル展 くらしと技術の建設フェア（松山市）

11.21～22 くらしと技術の建設フェア（松山市）

11.21～22 くらしと技術の建設フェア（一般市民 松山市）

11.21～22 くらしと技術の建設フェア（地元の小学生 松山市）

11.22 土木の日体験ツアー

11.23 水力発電所設備見学会

11.26 惣川発電所見学会

11.27 パネル展（香川大学）

2003（平成15）年

支部の動き

11月～12月 高知県内の工事見学会

12.3 現場見学会えひめの土木体験プログラム（宇和島市柿原須賀川ダム及び柿原浄水場）

西部支部

1.11 都市水害に関するシンポジウム

2.14 技術発表会 講演7題

3.8 研究発表会 講演585題

※ 特別講演会「青年乃木希典日記」－島探勝記抜粋－

● 「土木の日」行事

（福岡地区）

※ 2002年制定コンクリート標準示方書「耐震性能照査編」講習会

※ 見学会（会員）九州電力小丸川発電所建設

※ 特別講演会「中国における大型土木プロジェクト」（講演数1題）

※ 「複合構造物の性能照査指針」講習会

※ 「橋の動的耐震設計」講習会

※ 「コンクリート製長大アーチ橋の設計手法」講習会

※ 見学会（外国人留学生）雲仙現場

※ 見学会（会員）関門自動車道関門橋・関門トンネル

※ 見学会（一般市民）九州電力八丁原地熱発電所

※ 海外研修視察

※ 支部独自主催「九州の将来像と今後の社会資本整備について」講習会

※ 技術発表会（発表数7題）

※ 研究発表会（発表数595題）

※ 特別講演会「沈み込み帯の温泉－陸域と海域の物質循環系－」（講演数1題）

※ 特別講演会「土木技術者の気概と高揚を目指して」（講演数1題）

● 「土木の日」行事

福岡地区

※ 国営海の中道海浜公園「土木の日」ファミリーフェスタ2003（建設機械展示、土木工作教室、土木クイズ、キャラクターショー、焼き芋作り体験他）

北九州地区

※ 土木フェア in 北九州2003（建設重機展示・試乗会、土木今昔パネル展示、土木スタンプラリー・〇×クイズ、小学生絵画コンテスト表彰式）

※ 土木フェア in 北九州2003 Part II（到津の森公園キャラクターショー、パネル展示他）

※ 土木パネル展、北九州市庁舎周辺 パネルによるPR

※ 土木の日記念シンポジウム（武蔵工業大学教授 中村英夫氏による基調講演等）

佐賀地区

※ 土木フェア（パネルによる土木のPR、体験コーナー他）

※ 土木の日展示会（パネル展示）

長崎地区

※ テクノパワーおもしろ探検隊（土木工学に関する科学実験について体験学習）

※ 子供に夢を与える講演（春山幸男氏による「宇宙へ飛び出そう」）

※ 旧国鉄近代遺産見学ツアー（旧国鉄の長崎本線・大村の鉄道に関わる近代遺産を臨時貸切列車で見学）

※ 映画「伊能忠敬」上映会

※ 「魅力ある活力あるまちを未来に」DOVOC フェア2003 浜の町ベルナード、観光通 パネル展、長崎土木新発見ウォークラリー、模型展示、土木クイズラリー他

※ 長崎港クルージングツアー（女神大橋及び港湾施設等を会場より見学）

※ 土木現場見学会長崎地区（長崎芒塚 IC ランプ、日見 BP 新妙相寺橋梁工事、出島バイパストンネル島原地区、雲仙岳災害記念館、大野木場砂防みらい館、水無川2号砂防堰堤 他）

熊本地区

※ 絵画・写真コンクール展示

※ 親子バスツアー

※ 子供シンポジウム

※ 土木フェア熊本 in2003 Do!工房（原点「つくるヨロコビ」!）

※ 土木遺産めぐりバスツアー

大分地区

2003（平成15）年

支部の動き

大分

- * 土木の日 PR,ポスター・横断幕・マスコミ等への広報
- * 親子と土木のふれあい見学会（大分市内の土木施設見学ツアー）
- * 土木の日写真コンテスト（写真コンテスト,表彰式）

宮崎地区

宮崎

- * 「土木の日」広報,ラジオ PR「土木で働く女性たち」,県内向け広報誌による PR,新聞社等への「土木の日」投げ込み PR 他
- * 「土木の日」イベント（パネル展,建設機械展示・試乗,測量機器・案内表示板,展示,現場見学会,ゲーム他）

日南

- * ふれあい土木祭,油津堀川まつり（パネル展,測量機器展示・展示,建設機械展示・試乗,模型展示,現場見学会,ゲーム他）

串間

- * 市民秋祭り（建設機械展示・試乗,パネル展,バザー,ミニ盆栽,苗木配布,現場見学 他）

都城

- * 「土木の日」イベント（建設機械試乗,パネル展示,ゲーム,造形教室,測量機械展示,上映会）

小林

- * 「土木の日」イベント（パネル展,建設機械展示・試乗,盆栽教室他,スーパー6 店舗チラシ配布測量機械展示,草花配布,各種ゲーム他）

高岡

- * 「土木の日」総合町民祭（パネル展示,ブロック橋梁組立て,土木の日 PR,クイズ等イベント,事業 PR 等）

西都市

- * 「土木の日」（パネル展,建設機器展示,土木クイズ,造景コンテスト 他）

高鍋

- * 「土木の日」イベント（リーフレット配布,花の苗配布等）

日向

- * 「土木の日」日向産業商業まつり（塩見橋パネル展,建設機械試乗,測量機器展示,木工教室,花の種配布）
- * 各町文化祭（パネル展,建設機械試乗,チラシ配布,花の種配布,学童作品展示他）

延岡

- * のぼりざるフェスタ（チラシ配布,パネル展,建設機械展示他）
- * 現場見学会（延岡工業高等学校生徒）
- * カルチャープラザ延岡（パネル展）

鹿児島地区

鹿児島

- * 土木パネル展（土木関連パネル展）
- * 土木フェスタ in Kagoshima（北埠頭：建設機械展示・試乗,災害関係対策車展示,パネル展示,スケッチコンクール他 見学会：新幹線及び武岡トンネル）

大隈

- * 土木フェスティバル in Kanoya（建設機械展示・試乗,パネル・模型展示,災害対策車展示他）

沖縄地区

- * やんばるの産業祭り「土木建築展」
- * 沖縄県土木建築部「研究発表会」
- * 那覇港湾施設巡りバスツアー
- * 電光広報（県民広場「土木の日」にちなんで電光掲示板による PR）
- * 「土木の日」パネル展
- * 八重山「パネル展」
- * 宮古「パネル展」
- * 第11回「沖縄の道路」写真コンテスト表彰式
- * シンポジウム
- * 写真展

土木一般	社会一般
<p>1.14 国土交通省, 設計の総点検要領に従い 2007 年度の公共事業コストを 2002 年度に比較し 15%削減する構造改革実施のため点検項目を定義, 施行</p> <p>1.21 東京電力, 1972~97 年にかけて PC ウェルの基礎を使って建設した同社管内の鉄塔 16 基のうち 4 基の基礎支持力が 6~9 割しかなかったことを発表</p> <p>1.23 三菱重工業など 7 社, 台湾新幹線の最終工区を正式受注, 2005 年開通予定</p> <p>1.28 1995.1 の阪神・淡路大震災で阪神高速神戸線が崩壊した事故で, 損害賠償を求める訴訟が, 設計震度を上回る地震力と判断され敗訴</p> <p>2.8 英仏海峡トンネル連絡線・フォークストン~ロンドン間 113km のうち 74km の開通区間中, ロンドンのアベンダー通りでシールド掘削が原因で直径 10m, 深さ 20km が陥没</p> <p>3.11 閣議, 特定都市河川浸水被害対策法案を決定. 都市部の河川 30~40 を特定箇所指定する予定</p> <p>3.16 第 3 回世界水フォーラム, 琵琶湖・淀川をテーマに京都・滋賀・大阪で開催. 170 カ国, 48 機関, 来場者 2 万 4000 人 (日本人 1 万 8000 人) が参加. 皇太子夫妻参列し皇太子が記念講演.</p> <p>3.19 国土交通省, 道路橋のアルカリ骨材反応に対する維持管理要綱 (案) を作成, 国道・高速道路の橋脚や橋台 1465 基の調整と補修を関係機関に通達</p> <p>3.25 政府, 高速道路のコスト削減計画を決定, 道路関係 4 公団民営化推進委員会に報告. 委員会はさらなるコスト削減と公団首脳陣の刷新を要求</p> <p>3.一 営団地下鉄半蔵門線・渋谷~押上間 16.8km 全通, 東急田園都市線, 東武伊勢崎線・日光線と相互乗入れ.</p> <p>4.11 国土交通省, 韓国大邱市の地下鉄火災事件をうけ 684 駅を調査. 火災対策基準 268 駅, 排煙設備 200 駅, 誘導設備 122 駅で大半が不備と発表</p> <p>4.15 東京電力, 管内 17 基の原子力発電所を検査のためすべて停止</p> <p>4.15 道路関係 4 公団民営化推進委員会, 首都高速と阪神高速の予算削減路線を要求</p> <p>4.15 環境省, ダイオキシンを含む水底土砂の排出基準を設定と発表</p> <p>4.21 国土交通省, 施工体制等調査指導団 (2000.9) 発足により建設業法違反の疑いが浮上した 77 社中 44 社の調査を終了し 20 社を処分</p> <p>4.一 山陽新幹線の高架橋や橋の橋脚 6 基でアルカリ骨材反応が原因と見られる主鉄筋の破断発生を発見, JR 西日本で対策</p> <p>5.1 青森県風間浦村の国道 279 号で南側の斜面から重さ 170t の岩石が崩落, 約 130m の高さから落下した岩石は国道をふさぎ路面が 50m 陥没</p> <p>5.2 経済産業省, PC ウェルを使って建設した鉄塔 913 基の強度を調査した結果を発表. 東京電力の 4 基と住友共同電力 3 基の計 7 基の鉄塔基礎で支持力不足と発表, 補強を行う予定</p> <p>5.一 首都高速, 鋼製の橋脚にひび割れ多数発見, 集中しているのは鋼製橋脚の柱と桁が接合する隅角部. 2000 年に 2011 基のうち 566 基のひび割れ修理に続き 4 号新宿線 253 基を 2003 年度末までに補修. 阪神高速にも波及</p>	<p>1.21 メキシコ南西部のコリマ州で M7.6 の地震. 死者 25 人, 負傷者 500 人以上</p> <p>2.1 米国航空宇宙局のスペースシャトル・コロンビアが空中分解し墜落. 死者 7 人</p> <p>2.18 韓国の大邱市で放火と見られる地下鉄火災, 防災設備の不備から 12 両全焼, 死者 198 人, 負傷者 150 人に達する.</p> <p>2.24 中国西部の新疆ウイグル自治区カシュガル市近郊で M6.8 の地震. 公共施設・民家などの倒壊 8000 棟, 死者 216 人</p> <p>2.28 閣議, 99 の国立大学を独立法人化することに決定</p> <p>3.6 アルジェリア南部のタマンラセットでアルジェリア航空ボーイング 739 機が墜落, 死者 97 人</p> <p>3.13 静岡県富土市吉原でビル解体中にコンクリートと鉄骨が落下, 車 2 台が下敷き. 死者 4 人</p> <p>3.19 米英軍, イラクに対し攻撃を開始</p> <p>3.一 西東京市田無の東京大学農場 22ha が千葉県検見川へ移転決定. 跡地利用をめぐる諸計画があるが未定</p> <p>4.1 日本郵政公社が発足. 民営化に向け多くの検討課題が山積.</p> <p>4.1 浦和・与野・大宮が合併. 103 万人の新政令都市さいたま市が発足</p> <p>4.9 米英両軍, イラクのバクダットを制圧</p> <p>4.13 イラクのバクダットで国立博物館などの所蔵文化財が多数略奪され一部は国外へ持ち出される</p> <p>4.21 イラクのフセイン政権崩壊</p> <p>4.25 森ビル, 東京都港区に再開発ビル六本木ヒルズを開館. 11 万㎡の敷地に森ビル 54 階建をはじめ事務所・住宅・ホテル・公園などを整備. 総事業費 2700 億円</p> <p>5.1 米国の G.H.W ブッシュ大統領, イラク戦争の終結を宣言</p> <p>5.12 サウジアラビアのリアド郊外で連続爆破テロ. 死者 34 人, 負傷者 200 人</p> <p>5.16 モロッコのカサブランカで連続爆破テロ. 死者 45 人, 負傷者 100 人</p> <p>5.22 アルジェリア北部に M6.8 の地震. 被害はアルジェリアのほか地中海沿岸部に集中. 全半壊家屋 1200 棟, 死者 2200 人以上, 負傷者 1 万 2000 人以上</p> <p>5.26 宮城県南部を震源に M7.1 の三陸南地震. 岩手県南部, 宮城県北部で被害. 道路 154 ヶ所, 橋 10 ヶ所, 河川 30 ヶ所, 大船渡港など港湾 30 ヶ所</p> <p>5.26 米国オクラホマ州のアンカーソー川に架かる州間道路の橋の橋脚にはしけが激突. 自動車 10 台が川に転落, 死者 14 人. はしけは長さ 150m, 幅 15m の石油輸送用</p> <p>6.一 インド南部など連続熱波の影響で死者 1000 人</p> <p>7.20 九州各地で集中豪雨による土石流や崖崩れが発生. 熊本県水俣市では集川沿川の土石流で死者 15 人, 深川地区で 4 人, 鹿児島県, 長崎県でも死者 3 人. 福岡市の中心部が浸水</p> <p>7.26 宮城県北部に M6.2 の連続地震. 震源に近い鹿島台町, 南郷町, 矢本町, 河南町, 鳴瀬町には災害救助法が適用された. 山形県, 岩手県を加え全半壊住宅 5000 棟, 道路 162 ヶ所, 河川 23 ヶ所, 急傾斜地 25 ヶ所など, 公共土木施設の被害額 33 億 6570 万円</p> <p>8.1 ロシア南部北オセチア共和国の陸軍病院で自爆テロ, 死者 50 人</p> <p>8.8 台風 10 号が, 沖縄列島を通過後 8 日夜半に四国へ上陸し, 日本列島を縦断, 10 日終息. 暴風, 高潮により全国で建物被害 3200 棟, 死者・行方不明者 19 人 (北海道平取町の河川で 11 人)</p>

土木一般	社会一般
<p>6.3 5.26 の地震被害を重視した国土交通省, JR 東日本, JR 東海, JR 西日本に対し新幹線高架橋の橋脚耐震補強について整備計画を要求. 特に阪神・淡路大震災後の補強対策に入っていなかった JR 東日本は 1 万 5000 本の橋脚柱の耐震補強を表明. 工費 200 億円</p> <p>6.14 韓国のソウルと北朝鮮の新義州を結ぶ京義線および東海岸の東海線, 国境付近の復旧工事を終了, 連結式を開催</p> <p>6.18 国土交通省, 東京国際空港に 4 本目の滑走路 2500m を 6900 億円 (総事業費 9000 億円) で建設する入札手続きを公表. 2005.3 入札, 2009 開業予定</p> <p>6.25 国土交通省, 5.22 開催の委員会の内定を受け, 道路構造令の改正案を発表. 渋滞解消のため小型専用道路, 車線数の減少 (中央分離帯を設けたまま片側 1 車線, あるいは 1.5 車線) など弾力的な運用を決定</p> <p>6.26 尼崎公害訴訟, 2000.12 後の和解成立後も国と阪神公団は和解成立条件を履行していないと住民 21 人が公害等調整委員会に斡旋を依頼. 国土交通省は国道 43 号と阪神高速 3 号神戸線につき対策を強化することで斡旋案が成立</p> <p>6.一 電源開発, 奥只見発電所 (1962.6, 36 万 kW を 20 万 kW 増設), 大島発電所 (1963.10, 9 万 5000kW を 8 万 7000kW 増設) の再開増設工事終了. 特に天然記念物イヌワシの繁殖に成功するなど自然保護を重視</p> <p>6.一 中国長江の三峡ダム, 三峡発電所湛水開始. 堤高 181m, 堤頂長 2.3km, 出力 1820 万 kW の世界最高, 2009 年完成予定</p> <p>6.一 環境省, 2003.4 時点の産業廃棄物は全国で 1100 万 t と発表, うち 586 万 t は生活環境に影響するとし処理費用 3500 億円と推定.</p> <p>6.一 営団地下鉄 13 号線, 池袋～渋谷間 8.9km 着工, 2008.3 完成予定</p> <p>6.一 上海の黄浦江に世界最大の鋼アーチ, 支間 550m の盧浦大橋</p> <p>7.17 国土交通省道路事業評価手法検討委員会, 直接事業で建設する高速道路の着工順位を決定する評価手法 16 項目を選定. 同省は 15 年間で 3 兆円を投入し通行料無料で直接高速道路を建設する予定</p> <p>7.一 阪神高速神戸山手線に神戸長田トンネル 2.1km 完成. 住宅密集市街地に NATM 工法を採用した難工事</p> <p>7.一 舞浜リゾートライン, 跨座式のディズニーリゾート・ラインを循環する一周 5km 開通</p> <p>7.一 東京電力, 横須賀火力発電所 280.4 万 kW 増設</p> <p>8.10 沖縄都市モノレール, 那覇空港～首里間に 12.9km の沖縄モノレール開通</p> <p>9.28 英国とフランスを結ぶ 109km の英仏海峡連絡鉄道, 第 1 期 74km 開通</p> <p>9.一 仙台市, 地下鉄東西線 13.9km の免許取得. 開業は早くて 2015 年</p> <p>10.1 東海道新幹線, 品川駅開業 (総事業費 950 億円). 周辺地区再開発, 汐留・錦糸町駅前地区など大規模開発進行中</p> <p>11.1 国土交通省, 有料道路の料金値下げ実験で通行料が 1.5 倍になったと発表</p> <p>11.27 北海道電力, 泊原子力発電所 32 号機 91 万 2000kW 着工. 合計 207 万 kW の完成予定は 2009.12</p> <p>11.28 国土交通省, 道路公団など 4 公団を民営化する枠組みについて複数案を政府与党協議会に提示</p> <p>11.一 東京電力, 富津火力発電所 (LNG) 325kW に増設</p>	<p>8.25 インドのムンバイ (旧ボンベイ) 市内 2 ヶ所で爆弾テロ, 死者 50 人, 重軽傷 150 人</p> <p>8.一 欧州各地で 30 年ぶり, 40 度を越す異常気象を記録</p> <p>9.26 農水省 1993 年以来 10 年ぶりの米不足と発表</p> <p>9.26 北海道太平洋沿岸部に M8.0 の平成 15 年十勝沖地震. 津波も発生, 特急列車の脱線, 釧路空港の天井落下など, 住宅, 停電, 断水などで負傷者 849 人</p> <p>9.28 9.26 の十勝沖地震による石油タンク火災に続き石油タンク火災が続発. 鎮火は 30 日, 苫小牧西港 43 時間閉鎖</p> <p>10.16 環境省・林野庁, 北海道の知床を世界自然遺産に推挙</p> <p>10.17 ユネスコの無形文化財の保護に関する条約が採決され, 能楽 (2001) に続き人形浄瑠璃文楽など 28 件を宣言</p> <p>10.26 カリフォルニア州の山火事発生, 南部 4 郡に対し非常事態宣言. 27 日災害地域に指定. 10.21 の出火以来, 焼失面積 3000 m², 焼失家屋 3500 棟, 死者 21 人以上, 炎はロサンゼルスの高速度道路に迫る.</p> <p>10.27 イラクのバクダットで赤十字国際委員会など 3 ヶ所で連続自爆テロ. 双方合わせて死者 30 人, 負傷者 450 人</p> <p>11.3 第 65 回文化勲章, 緒方貞子・森亘ら 5 人が受賞</p> <p>11.12 イラク南部ナージフィーヤのイタリア警察軍駐屯地でトラックによる自爆テロ. 死者 28 人, 負傷者 80 人</p> <p>11.20 トルコのイスタンブールの英国総領事館, 英国系銀行の 2 ヶ所で自動車爆弾テロ. 両方で死者 30 人, 負傷者 450 人以上</p> <p>12.13 米国急襲部隊, イラクのサダム・フセイン元大統領を拘束</p> <p>12.23 重慶市開県の天然ガス田で掘削作業中にガス噴出. 6 万 4000 人が緊急避難, 1 万人が中毒症状を訴え死者 243 人</p> <p>12.26 イラン南東部で M6.2 の地震発生. ケルマン州の古都バム付近に壊滅的被害. 日干煉瓦の家屋 85%以上が倒壊. 死者 4 万人以上と発表. 古都城塞アルゲ・バム崩落, 原形なし</p>

2003 (平成 15) 年

土木一般	社会一般
<p>12.13 名古屋地下鉄名城線 (4 号線)・砂田橋～名古屋大学間開通. 2004.10 名古屋大学～新端橋間開通し地下鉄環状線となる</p> <p>12.22 道路関係 4 公団民営化案が決定. 実施は 2005 年予定</p> <p>12.24 東北電力, 新潟県巻町の巻原子力発電所の建設を中止</p> <p>12.25 国土交通省・水資源開発機構が群馬県片品村に建設中の戸倉ダムの事業中止を決定. 水需要予測をもとに関係 4 機関が撤退をきめた直接工事の第 1 号, 2008 年完成予定で 271 億円を投入済み.</p> <p>12.ー 東京港埠頭公社, 1965 年代に借用を開始した既存の大井コンテナ埠頭再整備事業を実施. 既設機能を保全しつつ推進 15m, 連結 7 パースに再編成. 予算 800 億円</p> <p>12.ー 東京都西部の青梅・羽村・福生市を結び延長 7.3km, 内径 4～6m の多摩川流域下水道雨水幹線をシールド工法で施工</p> <p>〔その他〕 ●台湾の高速鉄道, 台北～高雄間 345km, 日本の新幹線技術の協力のもとに 2005.10 開業に向け工事中 ●九州新幹線, 熊本～新矢代間の 2004.3 開業に向け最終調整中 ●京都市交通局, 高速鉄道東西線・醍醐～六地蔵間延伸工事 (2004.12 開通) にあたり複線断面矩形シールド (縦 6.5m, 横 9.5m) 753.2m を施工 ●北九州空港, 滑走路 2500m に延長工事中, 2006.3 完成予定</p>	

注: 「土木一般」「社会一般」は、岡本義喬・为国孝敏が原案を作成して編纂した。